

平成26年度

# 保育士のキャリアパスに関する 調査研究報告書



社会福祉法人 日本保育協会

# 保育士のキャリアパスに関する調査研究報告書

社会福祉法人 日本保育協会



# 序

本報告書は、厚生労働省の補助事業として、日本保育協会が実施した「平成26年度保育士のキャリアパスに関する調査研究」の結果をまとめたものです。

本調査研究事業は保育所保育士のキャリアパスについて研究を行い認可保育所で働く保育士の資質向上と処遇改善の方策を得ることを目的として、実態調査を行うものです。

今年度は民間認可保育所を調査対象として全国の民間認可保育所の10分の1抽出による調査票調査を行いました。

さらに保育士勤続20年以上、30年以上、40年以上のベテラン保育士さんへのヒアリング調査をアンケート調査の補完として実施しております。

これらの調査結果をもとに考察し、考察結果からは現場実践の課題と展望が明らかにされました。

本書を、今後の保育所業務の進め方の参考としていただければ幸甚でございます。

このたびの調査研究事業の実施にあたりましては、西村重稀委員（仁愛大学）、溝口元委員（立正大学大学院）、石川昭義委員（仁愛大学）、清水益治委員（帝塚山大学）、千葉武夫委員（聖和短期大学）、田中浩二委員（東京成徳短期大学）、高橋英治委員（福山市・富士保育園）の各研究委員の方々にご尽力いただいたこと、また、調査対象保育所の皆様にご協力いただいたことに対しまして深甚の感謝の意を表するものであります。

平成27年3月

社会福祉法人 日本保育協会



# 目 次

## 序

第1章 調査研究の背景と目的	西村重稀委員	1
----------------	--------	---

第2章 保育士のキャリアパスにおける関連研究	石川昭義委員	7
------------------------	--------	---

第3章 調査票調査	清水益治委員	15
-----------	--------	----

① 方法	17
------	----

② 結果	18
------	----

③ 考察：キャリアパスモデル	44
----------------	----

## 第4章 調査結果の考察及び課題

1 やりがいについて	田中浩二委員	51
------------	--------	----

2 研修について	千葉武夫委員	54
----------	--------	----

3 保育現場から	高橋英治委員	57
----------	--------	----

## 第5章 ヒアリング調査について

溝口 元委員

1 はじめに	63
--------	----

2 勤続20年台の保育士に対するインタビュー	65
------------------------	----

3 勤続30年台の保育士に対するインタビュー	73
------------------------	----

4 勤続40年台の保育士に対するインタビュー	84
------------------------	----

## 第6章 総合考察

西村重稀委員

## 付 録

平成26年度保育士のキャリアパスに関する調査票	107
-------------------------	-----

調査研究委員・執筆者一覧	225
--------------	-----



# 第1章

## 調査研究の背景と目的





## 第1章 調査研究の背景と目的

西村重稀

保育所は戦後、混乱と疲弊の中で急増した生活困窮者に対する公的扶助を目的として制定された。旧生活保護の中で保護施設の1つとして託児所の事業を実施されていたが、1947（昭和22）年に児童福祉法が制定されるに伴い、託児所は保育所として位置づけられた。

保育所が託児所と異なっているのは、①低所得階層の保護者の救済としてではなく、児童の福祉を図ることが主な目的であること。②生活困窮者、低所得者に限らず、日中家庭に世話をする者がいない（保育に欠ける）児童を入所措置することとしたこと。③児童の保育担当者としての保母（現在は保育士）の資格を明確に規定したことである。

児童福祉法制定の翌年の1948（昭和23）年時点では公立保育所395カ所、私立保育所1,223カ所、合計1,618カ所の保育所が設置されていた。しかし、近年の都市化や、核家族化、女性の社会進出などの社会情勢の変化により、夫婦共働き家庭が一般化し、保育需要が増大化してきた。また、保育需要の増大化の中で、保育所の利用は昔のように働かなければ生活ができない家庭が利用する施設からごく普通の家庭の子どもが一般的に利用する施設として定着してきた。このように保育所の利用が一般化する中で就業形態の多様化の影響を受け、延長保育や低年齢児保育等多様化するニーズに保育所は対応してきた。

そして、2014（平成26）年10月1日時点の保育所数は、公立保育所9,595カ所、私立保育所14,416カ所。合計24,011カ所となり、1948（昭和23）年7月に比べて約14.8倍に増加している。

このように保育所数の増加とともに保育所で働く職員（保育士）も増加した。そして1カ所の保育所の職員の数も、保育ニーズの多様化に伴い増加していった。

例えば、昭和20年代から30年代では1カ所の保育所の職員の数が10人以下の保育所が多かったが、児童福祉施設最低基準の改正や保育ニーズ多様化等の理由により、職員数も増加した。近年では、1カ所の保育所における職員の数は以前の2倍以上になった。

一方、近年の都市化や、核家族化、女性の社会進出などの社会情勢の変化により、保育所に入所できない児童が出現した。この待機児童数は年々増加し、最近では毎年4月1日時点で2万人を超えるようになった。

そのため、待機児童解消は国や大都市の大きな緊要の課題となり、この対策として、子ども・子育て関連三法が2012（平成24）年6月に制定され、2015（平成27）年4月から施行されることとなった。

そして、大都市では待機児童対策として新設保育所の建設を予定しているが、保育所を新設する場合には多数の保育士の確保が必要である。

しかし、近年は保育士の確保が困難であるため、保育所を新設しようとしても困難な状況である。

一方、保育士の養成について調べると、平成10年度における全国の保育士養成校は332カ所（入学定員30,745人）で大学が28校、短期大学が217カ所、その他が87カ所であった。しかし、平成20年4月現在では563カ所（入学定員54,505人）で大学が191カ所、短期大学が265カ所、その他が107カ所になり、ここ10年間で養成校の数は約1.7倍と増加し、入学定員で約1.7倍になっている。また、平成20年度の保育士試験の合格者は3,989人であり、平成20年度の保育士資格取得者は約58,000人を超え、平成21年3月31日現在で保育士の登録者は954,120人になっている。

厚生労働省の調査によると、平成2年度の保育士養成校（当時は保母養成所）の卒業生のうち、保育所に就職した者の割合は33.8%（33,088人中11,174人）であった。これが平成10年度では42.3%（33,275人中14,082人）、平成19年度では46.0%（41,613人中19,124人）となっていた（第1回保育士養成課程等検討会参考資料〔平成21年11月16日〕）。

このように、保育士資格取得者は年々増加し、保育所への就職率も年々高まっているが、ここ数年前から保育所の保育士の需要に対して、供給不足が続いている。

この保育士確保が困難であるという問題は、先ほども述べたように大都市の待機児童解消のための保育所の増設計画を妨げている一つの要因にもなっている。

この保育士不足の問題は、大都会だけでの問題ではなく、地方においても低年齢児保育や延長保育等の多様化された保育ニーズに対応するために保育士の確保が必要であるが、保育士の確保が困難になり、保育所の運営や保育ニーズの対応にも影響を及ぼしている。

このような状況を踏まえて全国保育士養成協議会の専門委員会（石川昭義委員長・仁愛大学教授ら）は平成21年度から2年間にわたり、保育士養成協議会の会員校を卒業した学生のうち①保育士資格取得者がどれくらいいるのか、②保育士資格取得者のうち保育所に就職する学生はどれくらいいるのか、③保育所に就職したが何年で離職をしているのか、④保育所を離職する要因は何か、などについて調査研究を進めた。

この結果によると、平成20年度の保育士養成校の卒業者のうち保育士資格取得者は約95%であったが、保育所に就職した学生は約45%（約23,800人）であった。

しかし、子どもが大好きで、保育所の保育士になることが夢で希望を持って保育所に就職した学生が、就職後2年以内で離職した人は約20%（約4,800人）もあり、6年以内に離職した人は50%（約11,900人）と約半数にも達していた。次に、保育所の保育士という職を選択した理由を聞いたところ、「子どもが好きで、保育士になるのが子どもの頃からの夢であった」という理由で保育士を選択した人は約80%を超えていた。また、「保育士としてやりがいがある」と感じている人は90%を超えていた。しかし、就職後2年目の保育士に「やめたいと思ったこ

とはあるか」と質問したところ約78%の人が「やめたいと思ったことがある」と答えた。

「やめたい」と思った理由（複数回答）について質問したところ約半数以上の人が「職場の人間関係」、「仕事の量が多い」、「園の方針に疑問を感じた」、「自分の仕事に自信が持てなくなった」、「仕事に見合う報酬が保障されていない」等の理由をあげていた。

国の調査によると私立保育所における保育士の勤務年数は、公立保育所に勤務している保育士の勤務年数より短く、平均的離職は約7年であると報告されているが、もし、私立保育所の保育士が定年まで就職を続けていると仮定すれば、現状の保育士の養成や試験合格者で対応ができるのではないかと思われる。

また、公立保育所では係長、課長補佐などの階級制があり、給料等にも影響をするが、私立保育所では各保育所の規模がそれほど大きくないため階級制を用いているところは少ない。また、公私を問わず、長期間勤務しても所長や主任保育士になることは、現状の制度ではなかなか困難であること。主任保育士になれるとしても何十年間も勤務をしていなくてはならない。このような課題があるため、他の職種に比べて、勤務における役職や地位などの目標を定めるのは困難な職種であると言われている。

そのため、保育士にとっては勤務における目標を定めることが困難で、長期間勤務したとしても、いつまでも保育士という職名であり、キャリアモデルもなく、勤務中にちょっとした困難な問題にぶつかると魅力のない職場となり、離職してしまうのではないかと思われる。

一方、所長、主任保育士からは保育士の資格を取得しても保育現場で一人前の保育士となるためには、保育現場で3年以上の勤務が必要であるとよく言われる。

2015（平成27）年4月から施行される子ども・子育て関連3法の改定認定こども園法（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律）第14条（職員）によると幼保連携型認定こども園において子どもの教育・保育に携わる保育教諭については主幹保育教諭、指導保育教諭、保育教諭、助保育教諭、講師というように5階級が示されている。

このようなことを踏まえ、保育士にとっても保育所が魅力ある職場となり、長期間勤務したくなるためには、その業務にあった報酬や地位が保障されることと、保育士自身の保育の質の向上のためのキャリア形成ができ、働きやすい職場環境の整備などが必要ではないかと考えられる。

そのため、本年度の調査研究では私立保育所でのキャリアパスのあり方を以下の方法で調査研究することとする。

## **(1) アンケート調査研究**

- ①保育所の業務について、実際行っている保育士の勤務年数と保育所長 が業務を行ってほしいと思っている勤務年数について調査する。

- ②保育士にキャリアパスを導入することが必要か。また、キャリアパスの構築に必要な要素を調査する。

## **(2) ヒヤリング調査研究**

私立保育所で勤務している保育士のうち、20年間以上勤務している保育士、30年間以上勤務している保育士、40年間以上勤務している保育士を各1人選択し、

- ①長期間保育士として勤務ができた要因や秘訣
- ②キャリア形成、キャリアパスを検討するための情報収集などを行う。

# 第2章

## 保育士の キャリアパスにおける 関連研究



## 第2章 保育士のキャリアパスにおける関連研究

石川昭義

近年、保育士養成において、「保育士のキャリア」または「保育士の専門性」が注目され、それらに関連する研究が数多く出されている。その中には、学生のキャリア形成あるいはキャリア支援といった視点からの研究や現職者の専門性の認識といった視点など、多様な視点からの分析も示されている。

「キャリアパス (career path)」については、介護福祉、医療、看護等の分野において、タイトルに「キャリアパス」と付けられた著書、論文が数多く見られるようになっている。これらに比べると、「保育士のキャリアパス」と付けられた著書、論文はまだ多くはない。しかしながら、保育士の仕事の継続と離職、保育士の研修等の問題提起を視野に入れて、キャリアパスに関連する研究が増えてきているのも確かである。

本章では、わが国における保育士のキャリアパスに関連する研究や報告書を複数取り上げ、そこでの着眼点や分析結果の概要をまとめておきたい。

### 1. 論文、報告書等

(1) 廣川大地「保育者の仕事継続意欲、離職意向に関する研究の動向」『中村学園大学・中村学園大学短期大学部研究紀要』第40号 pp.83-90 2008年

この研究では、教師・看護師といった対人援助職を対象とした仕事継続意欲、バーンアウト、離職に関する研究が概観され、保育者（幼稚園や保育所に勤務する教諭や保育士）の仕事継続意欲、離職意向に影響すると考えられる要因が抽出されている。その中で、バーンアウトに関しては、様々なソーシャルサポートが抑制効果のある組織的要因として影響していること、職務の曖昧さがバーンアウトを引き起こす可能性が高いと考えられるとしている。また、保育者の離職やバーンアウトを抑制する組織的要因として、同僚との情報共有、保育観の共有、同僚からのサポートや職場の人事管理などの重要性が示唆されている。

(2) 社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国保育士会「保育士のキャリアパスの構築に向けて」 2011年

全国保育士会は、2007（平成19）年に『保育士の研修体系』をまとめ、そこでは、初任者、中堅職員、リーダー的職員、主任保育士等管理的職員の4つの階層別に期待される組織上の役割と習得すべき知識・技術を示した。そして、「保育士のキャリアパスの構築に向けて」では、キャリアパスの体系図を示しながら、“専門保育士（仮称）”を提案している。これは、主任保



育士 (generalist) をサポートしながら専門領域において高い専門性を有し、保育・保護者支援を行うとされる領域別の専門保育士 (specialist) を配置する構想であり、ここには、乳児保育、障がい児保育、子育て支援、社会的養護、食育、保健衛生の6つの領域における専門保育士が提案されている。

(3) 大森弘子他「保育士の専門性を活性化するキャリアパスの構築に向けて一専門性に応じた実践を推進する保育園の取り組みを通じて」『保育士養成研究』第30号 pp.31-40 2013年  
この研究では、保育実習を終えた学生と現職の保育士を対象にアンケート (自由記述) が実施されており、学生や保育士が考える保育士としての専門性と職務効力感について、アンケートの結果とともに保育所での実践事例がまとめられている。

研究では、学生は「新人 (Advanced Beginner)」を4～6年、「一人前 (Competent)」を7～10年と考えるのに対し、現職保育士は「新人」を11年、「一人前」を20年以上と考えていると報告されている。また、現職保育士は専門性が高く段階的にも上位の仕事をしているにもかかわらず、到達目標地点が高いと考察されている。

さらに、保育士の専門性として、「自身を發展させ意欲を維持していく力」を基礎に、「発達援助技術」、「生活援助の知識と技術」、「環境構成の技術」、「生活・遊びを展開する知識・技術」、「関係構築の知識・技術」、「相談・援助の知識・技術」が導き出されている。

(4) 一般社団法人全国保育士養成協議会 平成24年度課題研究「保育者の専門性についての調査—養成課程から現場へとつながる保育者の専門性の育ちのプロセスと専門性向上のための取り組み—」(委員長：原孝成) 2013年

この研究では、保育に向かう態度の獲得時期及び保育者の専門的知識・技能の獲得時期について、保育所、児童養護施設、乳児院に勤務する保育士並びに保育者養成校教員を対象に調査分析を行っている。ここでは、68項目の専門的知識や技能について、それぞれが「最初の保育実習までに」、「実習を経て卒業までに」、「勤務年数1、2年までに」、「勤務年数3、4年までに」、「勤務年数5年以上」、「勤務年数10年以上」の6区分のうち、どの段階までに獲得すべきと考えられているかが分析されている。

保育所保育士の考え方を見ると、獲得時期について回答者の割合が「勤務年数10年以上」で90%を超える (90パーセント) 項目は、「国内外の保育・幼児教育の取り組みの理解」、「ソーシャルワークの方法と技術についての理解」、「個々の状況に応じた保護者支援の方法を考えられる」、「子育て家庭に対する情報・技術を提供することができる」、「家庭に対する相談支援ができる」、「小学校との連携に関して必要な役割を担うことができる」、「関係機関との連携に関して必要な役割を担うことができる」である。

また、獲得時期について回答者の割合が「勤務年数5年以上」で90%を超える項目は、「カリキュラムの編成とそれに基づく指導計画の意義」、「カリキュラムに基づいて長期の指導計画が作成できる」、「PDCAに基づく改善の意義の理解と実践の振り返り」、「カンファレンスに基づく子ども理解」などが挙げられている。

50パーセントから90パーセントまでの幅は、各項目によって違いがあるが、総じて、保育の観察・記録、保育の環境構成に関する項目では「勤務年数3、4年までに」獲得が期待され、保育内容のさらなる展開や特別な配慮が必要な子どもに対する理解・保育方法に関する項目では「勤務年数5年以上」が求められている。さらに、家庭支援・地域連携に関する項目では「勤務年数10年以上」が求められていることがわかる。

## 2. 日本保育協会がまとめた調査研究報告書

(1) 社会福祉法人日本保育協会「主任保育士の実態とあり方に関する調査研究報告書」（調査研究委員長：寺田清美） 2011年

この調査研究は、主任保育士という職務・職位の実態や主任保育士の意識を把握する目的で実施されている。調査票は2,325か所の保育所に送付され、「主任保育士または主任保育士に替わる方（保育及び保育士を総括する主任保育士の役割を担う保育士）」1,122人の回答結果が分析されている。

ここでは、主任保育士の職務として現在行っていることとしては、13項目のうち「園児の全体的把握」89.1%、「施設長のサポート役」81.6%、「相談対応（保育士や他の職員）」77.5%、「課題のある子どもへの対応」76.6%、「相談対応（保護者）」71.7%、「家庭の全体的把握」70.9%の6項目が7割を超えている。「地域子育て支援への対応」51.4%、「地域の関係機構との連携」47.8%、「職員のスーパーバイザー」42.6%の3項目は約5割にとどまっている。

また、今後特に力を入れていきたいことについては、「職員（保育士）の資質向上」が最も高く68.7%、「職員のスーパーバイザー」49.9%、「保育所の活性化」48.8%、「課題のある子どもへの対応」47.0%、「課題のある家庭への対応」43.1%、「地域子育て支援への対応」42.0%の順に挙げられている。

主任保育士は、施設長のサポート役、保育士間の業務調整、新人保育士らの指導などを担う職場のリーダー的な存在であり、キャリアパスの一つの節目となる職位であるといえる。その職務の内容は保育所の持つ機能全般にわたっていると同時に、管理運営や人事に関わる業務も含まれる。

(2) 社会福祉法人日本保育協会「平成23年度 保育士の実態に関する調査研究報告書」（調査研究委員長：西村重稀） 2012年

この研究では、全国の保育所から抽出された1,174か所の保育所及びそこに勤務する保育士を対象に調査が行われた。保育士対象の質問紙では、「経験年数3年以下」、「経験年数4年以上10年未満」、「経験年数10年以上」の3区分で回答を求めている。

この研究では、12項目の業務について、それらの実施の程度がまとめられている。それらを見ると、「保育所の保育方針に合わせた指導計画の立案」、「子どもの姿や季節に合わせた指導計画案の立案」、「子どもの一人ひとりの発達の把握」など、業務全般にわたって経験年数が大きくなるにつれて、「できている」と思える割合が大きくなる傾向が示されている。

ただ、その同じ傾向ではあるが、「他の専門機関との連携」、「地域の子育て家庭への支援」は、「あまりできていない」に近い数値となった。これらの業務は「経験年数3年以下」において「担当していない」という回答割合が多かったことと併せて、「経験年数10年以上」であっても実践の難しさを示唆するものとなっている。

また、仕事に関わる意識では、「現在の仕事に対するやりがい」、「子どもと過ごす時間の楽しさ」は経験年数にかかわらず「感じる」の割合が大きかった。それに対して、「保護者からの信頼」、「仕事における自分の持ち味の発揮」、「仕事における肉体的なきつき」、「仕事における精神的なきつき」は、経験年数が大きくなるほど「感じる」傾向があり、特に肉体的・精神的なつらさは、「経験年数10年以上」において「とても感じる」割合が大きくなっている。

### (3) 社会福祉法人日本保育協会「平成23年度 保育所運営の実態とあり方に関する調査研究報告書—人材育成について—」 2012年

この調査では、全国の認可保育所の10分の1に当たる2,296施設に調査票が配布され、回答のあった1,245施設の保育所長からの回答について集計と分析が行われている。

保育士の質の向上のために、保育士が保育所で継続して働けることが必要と思っているかどうかを尋ねたところ、「思う」という回答が86.2%、「思わない」は1.1%であった。

保育士が継続して働けるような工夫については、「職員同士の人間関係を大切にし、相互理解や親睦を促すように配慮している」(78.8%)、「職員会議での発言のしやすさ、意見を十分に聞くなど運営を心がけている」(73.5%)、「施設長と職員のコミュニケーションを密にしている」(66.0%)、「勤務時間や休暇を配慮するなど、ワークライフバランスに力を入れている」(64.2%)といった項目の回答割合が多くなっている。

また、経営主体別にみると、民営保育所では、「勤務時間や休暇を配慮するなど、ワークライフバランスに力を入れている」、「給与など待遇をできるだけ改善する」といった項目の回答割合が公営保育所に比べて高く、特に、「給与など待遇をできるだけ改善する」は公営14.2%に対し、民営51.1%という差が出たという結果が示されている。

(4) 社会福祉法人日本保育協会「平成25年度 保育所運営の実態とあり方に関する調査研究報告書」 2014年

この調査では、全国の認可保育所の10分の1に当たる2,360施設に調査票が配布され、回答のあった1,350施設の保育所長からの回答について集計と分析が行われている。

新人職員が働きやすい・やりがいを持てるように工夫していることで、「している」と回答のあった項目では、「職員の能力を引き上げられるよう研修等に積極的に参加させる」(68.8%)、「人間関係になじめるように配慮」(57.6%)、「勤務時間に配慮」(51.7%)が半数を超えている。「給与等の処遇改善」は25.6%、「事務作業が軽減するように配慮」は31.5%にとどまっている。

また、過去3年に勤務していた保育士が辞めた要因では、「出産・育児のため」(32.5%)、「結婚のため」(32.1%)、「違う仕事を希望したため」(26.3%)、「配偶者の転勤や介護などの家庭の事情による」(25.0%)が多かった要因として挙げられている。一方で「辞めていない」の回答は24.8%あり、およそ4分の1の保育所では過去3年間に退職した保育士がいないことも明らかになっている。

(5) 社会福祉法人日本保育協会「平成25年度 保育所における業務改善に関する調査研究報告書」 2014年

この調査では、全国の認可保育所の約30分の1に当たる815施設に調査票が配布され、回答のあった382施設の保育所長及び保育士からの回答について集計と分析が行われている。

ここでは、保育士に対して、現在勤務している保育所を辞職したいと思ったことがあるかどうかを尋ねたところ、「一度だけある」20.5%、「複数回ある」50.1%の回答となり、約7割の人が一度以上は辞職を考えたことがある。その理由としては(複数回答)、「自分の適性に疑問を感じた」43.1%、「仕事が予想以上に精神的に辛いと感じた」39.4%、「職場の人間関係で行き詰った」38.7%、「自身の結婚・出産・育児等の問題が起きた時」31.2%となっている。その一方で、「給与面に不満を持った時」は15.2%であった。保育士の離職は、給与という経済的な側面よりも、保育士自身の能力、適性、人間関係が契機となっていることを示唆する結果が示されている。

このような辞職を考えたことのある一方で、自身の仕事の満足度では「満足している」15.7%、「どちらかといえば満足している」63.5%で、約8割の人は「満足」と回答している。

### 3. 関連研究における着眼点のまとめ

関連する研究では、経験年数を積むことによって、保育士としての力量が向上すると同時に、その地位や経験年数に応じて期待される力量や実際の職務内容も違ってくることが明らかになっている。換言すれば、保育に係る職務の難易度及び専門性を示唆するものであった。また、

離職の背景が考察され、保育所ではそれぞれの状況に応じて仕事の継続の工夫が行われている様子もうかがえた。

これからの保育士のキャリアパスに係る研究では、保育所の実情を踏まえながら、保育士の仕事の継続を可能にしていく仕組みを一つのモデルまたは理念型として表示することが必要と考えられる。そこでは、子どもの保育や保護者の支援に係る職務の体系、すなわち専門性の階梯をさらに具体的に示す必要があり、また、車の両輪のごとく、キャリアパスを実現するための条件整備あるいは研修の在り方も併せて考えていかなければならない。

# 第3章

## 調査票調査



## 第3章 調査票調査

清水益治

### ①方法

#### 1. 調査対象

調査対象は、全国の各都道府県の民営認可保育所に限定した。層化無作為抽出法を行い、その10分の1にあたる1,429施設を抽出した。

#### 2. 材料

保育所長用（以下、保育所長編）と保育士用（以下、保育士編）の調査票を作成した。

保育所長編は、調査対象の保育所の所長に記入を求めた調査票であり、以下の6つの設問で構成した。

- (1) 保育所のこと：①園の所在地、②同一法人内の保育所の数、③児童定員数、④クラス別在籍児童数、⑤職員数、⑥他の認可保育所の勤務を経験した保育士の有無、⑦給与体系、⑧年功序列に別法人等で働いた保育士経験を含めているかどうか、⑨就業規則に人事考課を位置づけているか、⑩保育士の昇級や昇格にキャリアパスを考慮しているか、⑪キャリアパスを考慮した保育所職員の処遇システムが必要と思うか、⑫主任保育士という役職を置いているか、⑬主任保育士の勤務年数
- (2) 回答者自身のこと：①所長としての通算勤務年数、②持っている資格・免許、③キャリアパスについての知識の有無、④キャリアパスについての理解の程度
- (3) さまざまな業務を実際に行っている保育士の経験年数
- (4) さまざまな業務に対して、理想として、任せたい保育士の経験年数
- (5) 保育所でキャリアパスを構築していくために、様々な要素が必要となる程度
- (6) 市や自治体がキャリアパスを構築していくために、様々な要素が必要となる程度

保育士編は、認可保育所での保育士（正規職員）としての通算勤務年数が7年未満の方用と、7年以上の方用の2種類の調査票を作成した。内容は全く同じであり、以下の5つの設問で構成した。

- (1) さまざまな業務に対してどの程度できるか
- (2) さまざまな業務に対して、自信を持ってできるようになるには何年の経験年数が必要と思うか
- (3) さまざまな業務に対する研修の希望と経験
- (4) 仕事へのやりがいをどの程度感じるか



- (5) 回答者自身のこと：①保育士資格の取得方法、②保育士としての通算勤務年数、③年齢、④保育士以外の職務経験、⑤現職場以外での保育士としての勤務経験、⑥配偶者の有無、⑦子どもの有無、⑧将来、いつまで働きたいか
- 実際に用いた調査票を、本書巻末P109ページから掲載する。

### 3. 手続き

- (1) 調査期間：平成26年10月27日～平成26年11月19日
- (2) 調査時点：平成26年10月1日
- (3) 配布・回収方法：調査依頼状（倫理的配慮に関する内容を含む）とともに、保育所長編を1通と、保育士編は経験年数7年未満の者用2通と同7年以上の者用2通を送付した。回収に当たっては、回答されたすべての調査票を1つの回収用封筒に入れて、日本保育協会に送付してもらう形にした。

## 2結果

回収された調査票は、保育所長編が529票（回収率37.0%）、保育士編が1,850票であった。このうち、保育所長編については、Ⅲ、Ⅳの設問において、選択肢ではなく、実年数を用いた記述と思われる調査票（8までしかない選択肢に対して10、15などの数字が記入されていた）が19票あった。そこでこれらは分析から外した。分析対象は保育所長編が510票、保育士編が1,850票である。

### I. 保育所長編の分析

#### 1. 回答した保育所

- (1) 同一法人内にある保育所の数

無回答が29票あった。平均は2.9、最小値は0、最大値は46であった。

- (2) 児童定員数

分布を示したものが図 I - 1 である。90人、60人、120人が多かった。この結果は一般的な保育所の定員の分布と類似している。

- (3) 在籍児童数

表 I - 1 は、年齢別の在籍児童数の平均、最小値、最大値等を示したものである。

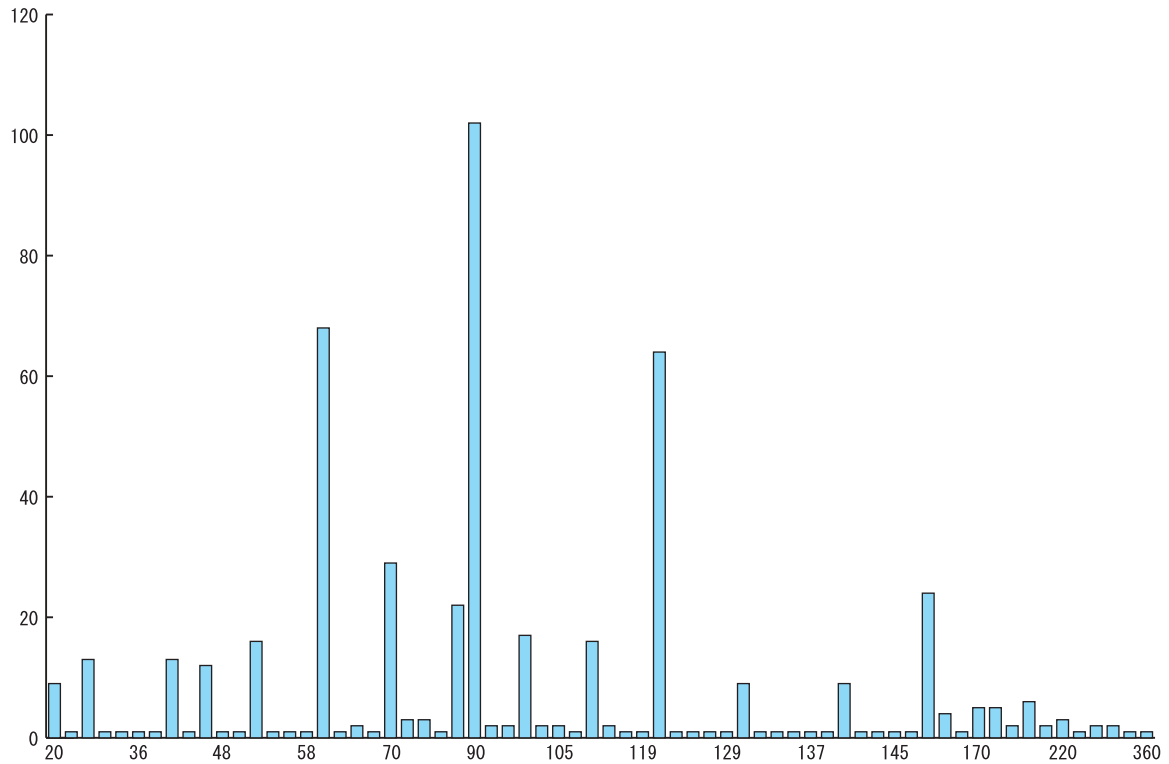


図 I-1 児童定員数の分布 (縦軸は回答者数、[人]。以下、括弧内は縦軸)

表 I-1 在籍児童数の平均等

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児以上	計
平均	9.8	16.0	18.5	20.7	20.6	20.3	104.0
最小値	0	0	0	0	0	0	2
最大値	35	54	66	79	77	78	367
無回答票数	19	11	11	24	26	28	26

(4) 職員数

表 I-2 は、職員数の平均等を示したものである。

表 I-2 職員数の平均等

	保育所長	保育士			調理員		事務員		その他	合計
		正規		非正規	正規	非正規	正規	非正規		
		勤務年数7年以上	勤務年数7年未満							
平均	1	5.8	6.2	8.0	1.8	1.8	0.8	0.6	2.1	26.0
最小値	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
最大値	1	26	28	31	8	10	4	5	20	78
無回答票数	4	25	25	38	58	86	199	218	109	57

#### (5) 他の認可保育園の勤務経験者の有無

「職員の中に保育士として他の認可保育所（公営・民営）での勤務を経験した方がおられますか」と尋ねて、「いる」場合は、その人数を書いてもらった。「いる」という回答は92.7%と、9割以上の保育所には、他の保育所勤務経験者がいた（「いない」は5.3%、無回答2.0%）。人数の平均は、6.8人で、その分布を示したものが図 I-2 である。5名程度までが多いが、20名以上いると回答した保育所長も10名以上いた。

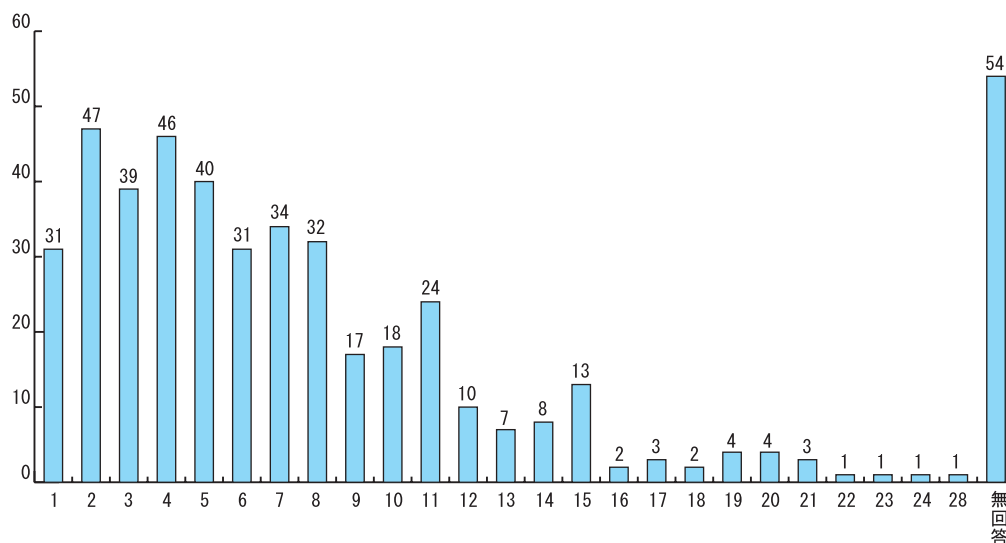


図 I-2 他の保育所勤務経験者数の分布（人）

#### (6) 年功序列の給与体系

「給与体系は年功序列ですか」と尋ねて、「はい」と「いいえ」から選んでもらったところ、「はい」が69.2%、「いいえ」が27.5%であった（無回答3.3%）。7割近くは年功序列の給与体系であった。

#### (7) 保育士経験を年功序列に考慮

先の質問で、給与体系が年功序列であると回答した353名の保育所長に、「別法人等で働いていた場合の保育士経験を年功序列に考慮していますか」と尋ねて、「はい」と「いいえ」から選んでもらったところ、「はい」が89.2%、「いいえ」が10.5%であった（無回答0.3%）。9割近くは考慮していた。

#### (8) 人事考課

「就業規則に人事考課を位置づけていますか」と尋ねて、「はい」と「いいえ」から選んでもらったところ、「はい」が38.6%、「いいえ」が54.9%であった（無回答6.5%）。位置づけてい

た保育所は4割を切っていた。

### (9) キャリアパスの考慮

「昇格や昇級にキャリアパスを考慮していますか」と尋ねて、「はい」と「いいえ」から選んでもらったところ、「はい」が51.6%、「いいえ」が41.4%であった（無回答7.1%）。過半数の保育所が考慮していた。

### (10) 処遇システム

「キャリアパスを考慮した保育所職員の処遇システムが必要だと思いますか」と尋ねて、「はい」と「いいえ」から選んでもらったところ、「はい」が76.5%、「いいえ」が13.5%であった（無回答9.8%、複数回答0.2%）。必要性を感じている保育所長は75%を超えていた。それぞれの回答の理由を書いてもらったところ、「はい」に対する理由では、「質の向上・資質向上」「やる気・意欲・モチベーション」「優秀な人材の確保・育成」などに言及した回答が多かった。「いいえ」に対する理由では、園が小規模であることに言及している回答が見られた。

### (11) 主任保育士

「主任保育士という役職をおいていますか」と尋ねて、「はい」と「いいえ」から選んでもらったところ、「はい」が97.3%、「いいえ」が2.5%であった（無回答0.2%）。主任になるまでの経験年数を尋ねたところ、平均は14.4年であった。分布を示したものが図1-3である。10年が最も多く、次いで20年、15年、5年の順であった。

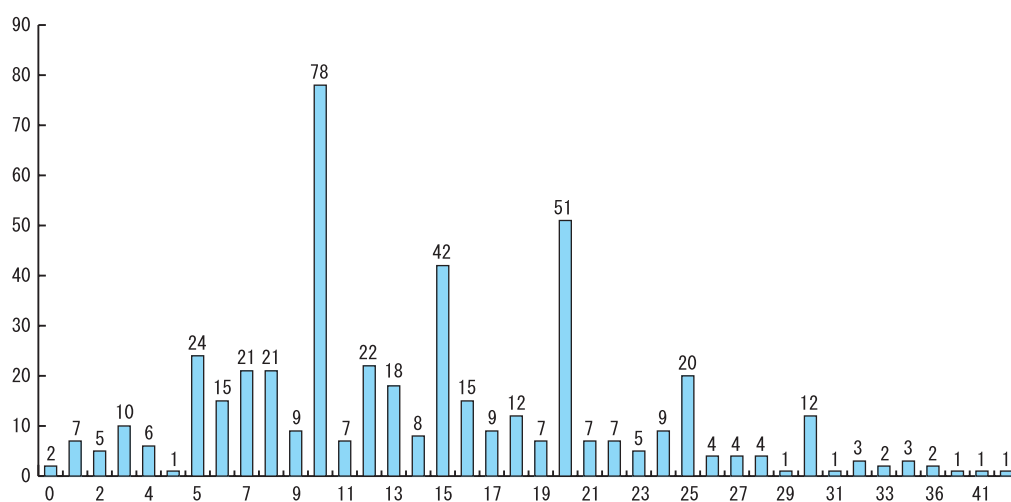


図1-3 主任になるまでの経験年数の分布 (人)

## 2. 回答した保育所長

### (1) 経験年数

「認可保育所長としての通算勤務年数は何年ですか」と尋ねた。平均は12.9か月であった。分布を示したものが図 I-4 である。園長経験5年以内の者の回答が多かった。

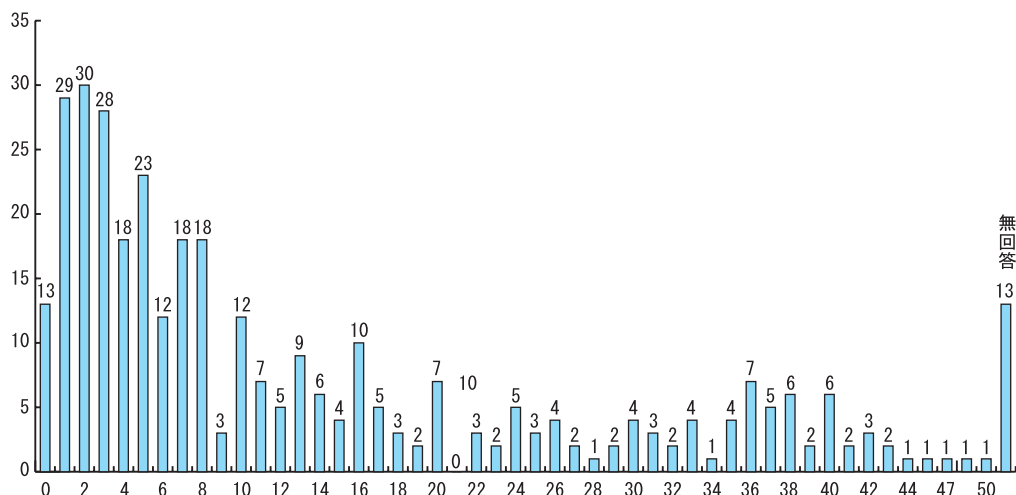


図 I-4 回答者の園長経験年数の分布 (人)

### (2) 所有する資格

所有する資格・免許のすべてに○をつけてもらった結果が図 I-5 である。保育士資格と幼稚園教員免許を持っている者が多かった。

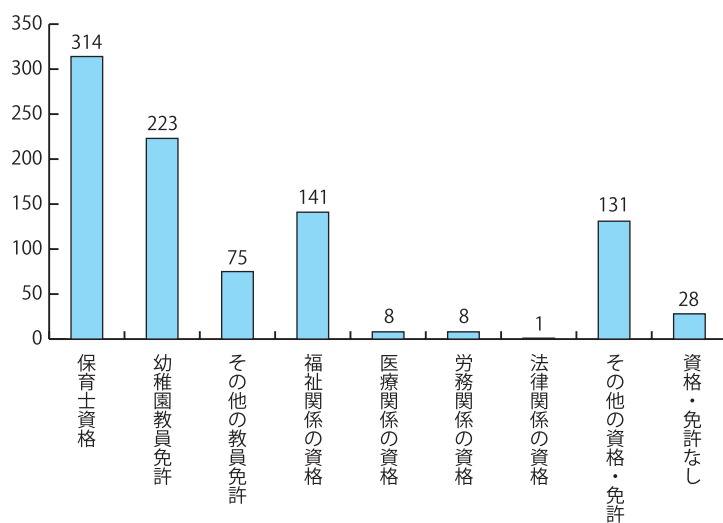


図 I-5 回答者の所有する資格・免許 (人)

### (3) キャリアパスの理解

「これまで「キャリアパス」についてご存知でしたか」と尋ねて、「はい」と「いいえ」から選んでもらったところ、「はい」が54.1%、「いいえ」が40.2%であった（無回答5.7%）。「はい」を選んだ者に対して、その理解の程度について3択を求めた結果が図 I - 6 である。自分なりに理解しているが66.7%と最も多く、他人に説明できるは10%にも満たなかった。保育所長に、職員に説明する力は、現段階ではないと言える。

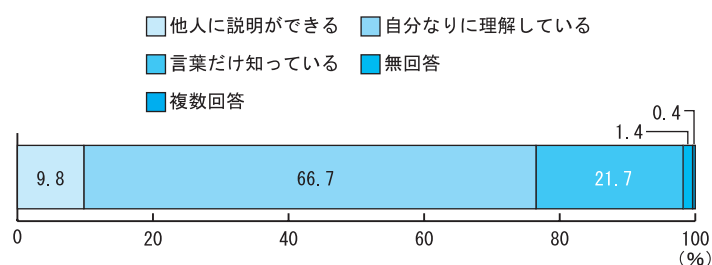


図 I - 6 キャリアパスの理解の程度 (%)

## 3. 業務遂行の実態と理想

### (1) 業務遂行の実態

「貴保育所において、次の各業務を実際に行っているのは、おおむね何年の経験をもつ保育士ですか」と尋ね、「1. 1年未満」「2. 1年以上3年未満」「3. 3年以上5年未満」「4. 5年以上7年未満」「5. 7年以上10年未満」「6. 10年以上15年未満」「7. 15年以上」「8. 該当無し（業務を行っていない場合等）」の8つの選択肢を提示した。回答の中には、選択肢を使わずに「全職員」や「主任」など、言葉でその範囲や役職を書いたもの（A）や、選択肢の番号を使って、「1～7」や「2～5」など、番号の範囲を複数指定したもの（B）があった。このうち、Bについては、番号の最も低い値を採用した。例えば、「1～7」であれば「1」、「2～5」であれば「2」とした。Aについては、「その他」として一括処理した。各割合を示したものが、表 I - 3 である。横に見て、最も大きな値のところをフォントを変えた。

「子どもの生命の保持に関すること」「基本的な生活習慣の支援に関すること」は1年未満が最も多かった。「保育室や保育所内の環境を整備すること」「指導計画を作成すること」は「1年以上3年未満」が多かった。「子どもの情緒の安定を図ること」「子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること」「遊具の安全管理を行うこと」は「3年以上5年未満」が多かった。

「3歳以上のクラス主任」「障害のある子どもの保育に関すること」は「7年以上10年未満」が多かった。「3歳未満児のクラス主任」が「10年以上15年未満」が多かった。

上記以外の業務は、「15年以上」の回答が最も多かった。

表 I-3 各業務を実際に行っている保育士のおおむねの勤務年数 (%)

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当無し	無回答	その他(全 職員等)
1 乳児クラスの主任	2.2	5.9	11.6	12.5	16.7	18.8	<b>25.9</b>	2.9	3.1	0.4
2 3歳未満児クラスの主任	2.5	8.6	16.7	13.7	17.1	<b>19.2</b>	18.4	0.8	2.5	0.4
3 3歳以上児クラスの主任	1.2	5.1	17.5	15.1	<b>19.6</b>	18.4	15.9	3.5	3.3	0.4
4 子どもの情緒の安定を図ること	11.8	13.1	<b>16.1</b>	14.5	12.2	11.6	11.2	1.8	5.1	2.7
5 子どもの生命の保持を図ること	<b>14.9</b>	14.1	13.7	12.2	11.4	8.8	<b>14.9</b>	1.6	5.3	3.1
6 (食事や排泄、着替えなど)子どもの基本的な生活習慣の支援をすること	<b>21.6</b>	21.2	16.7	8.4	8.8	7.3	7.3	1.0	5.3	2.7
7 子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること	14.3	18.6	<b>21.4</b>	12.0	12.4	5.3	6.9	1.0	5.5	2.7
8 (壁面や季節に応じた装飾、掃除など)保育室や保育所内の環境を整備すること	21.8	<b>26.5</b>	15.9	8.0	7.5	5.9	4.7	1.2	5.7	2.9
9 遊具の安全管理を行うこと	12.7	12.2	<b>18.4</b>	10.2	12.4	9.4	15.9	1.6	5.1	2.2
10 子どもの病気やケガへの対応を判断すること	2.4	7.3	13.1	8.8	13.7	15.7	<b>32.5</b>	1.2	4.1	1.2
11 行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと	0.6	1.8	4.5	7.3	11.6	17.8	<b>44.1</b>	7.3	4.3	0.8
12 指導計画を作成すること	11.6	<b>17.6</b>	15.3	11.0	11.8	10.2	14.9	1.0	4.5	2.2
13 指導計画の確認や助言を行うこと	1.0	1.6	8.0	9.6	16.9	18.2	<b>39.6</b>	0.6	3.7	0.8
14 おたより等の保護者向けの書類を作成すること	11.4	13.1	14.3	8.8	11.8	12.2	<b>20.6</b>	1.8	4.5	1.6
15 職員間の連絡調整等を行うこと	2.5	2.9	9.2	9.2	14.9	17.8	<b>38.6</b>	0.4	3.7	0.6
16 実習生の指導を行うこと	1.4	3.3	11.2	11.6	13.7	15.3	<b>37.6</b>	0.8	4.5	0.6
17 新人保育士の指導を行うこと	0.4	4.3	11.0	12.7	16.5	17.8	<b>32.4</b>	0.6	3.9	0.4
18 新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること	0.2	2.5	5.5	11.4	12.7	22.0	<b>41.2</b>	0.2	3.7	0.6
19 保護者からの相談への対応に関すること	1.6	3.9	9.0	10.6	12.7	18.0	<b>39.2</b>	0.4	3.7	0.8
20 保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること	0.6	2.0	3.1	6.7	10.0	17.8	<b>52.5</b>	2.4	3.7	1.2
21 障害のある子どもの保育に関すること	3.1	5.9	14.9	14.9	<b>16.9</b>	16.5	13.9	7.8	5.3	0.8
22 地域の保護者等に対する子育て支援	1.2	3.7	5.7	8.0	12.7	17.5	<b>35.1</b>	10.4	5.3	0.4
23 小学校との連携に関すること	1.0	2.4	6.9	11.0	12.9	19.4	<b>34.7</b>	6.9	4.1	0.8
24 研修会や学会などでの発表を行うこと	2.9	2.9	9.4	9.2	14.7	14.3	<b>21.2</b>	18.0	6.5	0.8
25 保育士の自己評価について確認や助言を行うこと	0.4	1.2	3.7	5.5	12.0	16.9	<b>51.4</b>	4.3	3.9	0.8

この表では、横に見て最も大きな値に注目した。しかしながら、例えば、「おたより等保護者向けの書類を作成すること」は「15年以上」が最も大きな値であるが、それまでの経験年数の者がこの業務を全く行っていないわけではない。「3年以上5年未満」は14.3%と、比較的大きな値である。また10%を超えている経験年数という視点で見ると、「1年未満」「1年以上3年未満」「7年以上10年未満」「10年以上15年未満」も該当した。そこで最も大きな値に注目するだけでは、どの程度の経験年数の保育士が各業務を実際に行っているのかという判断は困

難である。

表 I-4 は、各値を累積的に算出したものである。「1 年未満」の値は、表 I-3 と同じである。「Σ 1 年以上 3 年未満」は、表 I-3 の「1 年未満」の値と「1 年以上 3 年未満」の値を合計した値を示している。同様に、「Σ 3 年以上 5 年未満」は、「1 年未満」「1 年以上 3 年未満」「3 年以上 5 年未満」の値を合計した値である。50% を超えた値のところではフォントを変えた。

表 I-4 各業務を実際に行っている保育士の勤務年数に関する蓄積された割合 (%)

	1 年未満	Σ 1 年以上 3 年未満	Σ 3 年以上 5 年未満	Σ 5 年以上 7 年未満	Σ 7 年以上 10 年未満	Σ 10 年以上 15 年未満	Σ 15 年以上
1 乳児クラスの主任	2.2	8.0	19.6	32.2	48.8	67.6	93.5
2 3 歳未満児クラスの主任	2.5	11.2	27.8	41.6	58.6	77.8	96.3
3 3 歳以上児クラスの主任	1.2	6.3	23.7	38.8	58.4	76.9	92.7
4 子どもの情緒の安定を図ること	11.8	24.9	41.0	55.5	67.6	79.2	90.4
5 子どもの生命の保持を図ること	14.9	29.0	42.7	54.9	66.3	75.1	90.0
6 (食事や排泄、着替えなど)子どもの基本的な生活習慣の支援をすること	21.6	42.7	59.4	67.8	76.5	83.7	91.0
7 子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること	14.3	32.9	54.3	66.3	78.6	83.9	90.8
8 (壁面や季節に応じた装飾、掃除など)保育室や保育所内の環境を整備すること	21.8	48.2	64.1	72.2	79.6	85.5	90.2
9 遊具の安全管理を行うこと	12.7	24.9	43.3	53.5	65.9	75.3	91.2
10 子どもの病気やケガへの対応を判断すること	2.4	9.6	22.7	31.6	45.3	61.0	93.5
11 行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと	0.6	2.4	6.9	14.1	25.7	43.5	87.6
12 指導計画を作成すること	11.6	29.2	44.5	55.5	67.3	77.5	92.4
13 指導計画の確認や助言を行うこと	1.0	2.5	10.6	20.2	37.1	55.3	94.9
14 おたより等の保護者向けの書類を作成すること	11.4	24.5	38.8	47.6	59.4	71.6	92.2
15 職員間の連絡調整等を行うこと	2.5	5.5	14.7	23.9	38.8	56.7	95.3
16 実習生の指導を行うこと	1.4	4.7	15.9	27.5	41.2	56.5	94.1
17 新人保育士の指導を行うこと	0.4	4.7	15.7	28.4	44.9	62.7	95.1
18 新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること	0.2	2.7	8.2	19.6	32.4	54.3	95.5
19 保護者からの相談への対応に関すること	1.6	5.5	14.5	25.1	37.8	55.9	95.1
20 保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること	0.6	2.5	5.7	12.4	22.4	40.2	92.7
21 障害のある子どもの保育に関すること	3.1	9.0	23.9	38.8	55.7	72.2	86.1
22 地域の保護者等に対する子育て支援	1.2	4.9	10.6	18.6	31.4	48.8	83.9
23 小学校との連携に関すること	1.0	3.3	10.2	21.2	34.1	53.5	88.2
24 研修会や学会などでの発表を行うこと	2.9	5.9	15.3	24.5	39.2	53.5	74.7
25 保育士の自己評価について確認や助言を行うこと	1.6	1.6	5.3	10.8	22.7	39.6	91.0



「基本的な生活習慣を支援すること」「子どもが様々なことに興味を持つような活動を提供すること」「保育室や保育所内の環境を整備すること」の3つは、「Σ 3年以上5年未満」で50%を超えた。このことは、50%以上の保育所で、これらの業務は経験年数がおおむね5年未満の保育士が実際に行っていると判断されたことを示している。

同様に、「子どもの情緒の安定を図ること」「子どもの生命の保持を図ること」「遊具の安全管理を行うこと」「指導計画を作成すること」は、50%以上の保育所で、経験年数が7年未満の保育士が実際に行っていると判断された。「3歳未満児のクラス主任」「3歳以上児のクラス主任」「おたより等の保護者向けの書類を作成すること」「障害のある子どもの保育に関すること」は、50%以上の保育所で、経験年数が10年未満の保育士が実際に行っていると判断された。

「乳児保育の主担当」「子どもの病気やケガへの対応を判断すること」「指導計画の確認や助言を行うこと」「職員間の連絡調整等を行うこと」「新人実習生の指導を行うこと」「新人保育士の指導を行うこと」「新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること」「保護者からの相談への対応に関すること」「小学校との連携に関すること」「研修会や学会での発表を行うこと」は、50%以上の保育所で、経験年数が15年未満の保育士が実際に行っていると判断された。

「行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと」「保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること」「地域の保護者等に対する子育て支援」「保育士の自己評価について確認や助言を行うこと」は、50%以上の保育所で、経験年数が15年以上の保育士が実際に行っていると判断された。

## (2) 業務遂行の理想

「貴保育所において、次の各業務を、理想としては、おおむね何年の経験をもつ保育士に任せたいですか」として、先と同じ8つの選択肢を提示した。表 I-3 と同様に、選択肢の番号を使って、「1～7」や「2～5」など、番号の範囲を複数指定したものは、番号の最も低い値を採用した。表 I-5 は各選択肢が選ばれた割合を示したものであり、横に見て、最も大きな値のところでフォントを変えた。

「保育室や保育所内の環境を整備すること」は「1年以上3年未満」が最も大きな値であった。「子どもの基本的な生活習慣の支援をすること」「子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること」「遊具の安全管理を行うこと」「指導計画を作成すること」「おたより等の保護者向けの書類を作成すること」は「3年以上5年未満」が最も大きな値であった。

「3歳未満児のクラス主任」「3歳以上児のクラス主任」「子どもの情緒の安定を図ること」「障害のある子どもの保育に関すること」は「5年以上7年未満」が最も大きな値であった。「子どもの生命の保持を図ること」「子どもの病気やケガへの対応を判断すること」「研究会は学会などで発表を行うこと」は「7年以上10年未満」が最も大きな値であった。

表 I-5 各業務を理想として任せたい保育士のおおむねの勤務年数 (%)

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当無し	無回答	その他(全 職員等)
1 乳児クラスの主任	1.2	1.6	11.2	20.2	22.2	<b>22.9</b>	14.1	2.0	4.3	0.4
2 3歳未満児クラスの主任	0.8	4.5	14.9	<b>25.9</b>	23.1	18.2	7.5	0.4	4.3	0.4
3 3歳以上児クラスの主任	0.4	4.3	19.6	<b>29.0</b>	21.0	11.2	6.1	3.1	4.9	0.4
4 子どもの情緒の安定を図ること	9.0	10.4	15.5	<b>19.2</b>	17.1	11.4	9.0	0.8	5.9	1.8
5 子どもの生命の保持を図ること	11.6	11.6	14.7	15.1	<b>15.5</b>	11.8	11.2	1.0	5.9	1.8
6 (食事や排泄、着替えなど)子どもの基本的な生活習慣の支援をすること	18.0	18.2	<b>19.4</b>	13.1	12.7	6.7	3.9	0.6	5.3	2.0
7 子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること	14.7	18.4	<b>22.5</b>	15.9	13.5	3.9	2.9	0.6	5.5	2.0
8 (壁面や季節に応じた装飾、掃除など)保育室や保育所内の環境を整備すること	23.3	<b>25.5</b>	18.6	12.0	7.6	2.9	1.6	0.8	5.5	2.2
9 遊具の安全管理を行うこと	11.6	13.3	<b>22.0</b>	17.5	12.9	10.0	5.5	0.6	5.3	1.4
10 子どもの病気やケガへの対応を判断すること	4.1	6.5	14.1	17.8	<b>18.2</b>	16.3	16.3	1.0	4.7	1.0
11 行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと	0.6	1.0	6.5	12.4	15.9	25.3	<b>30.0</b>	3.3	4.7	0.4
12 指導計画を作成すること	8.4	16.1	<b>17.6</b>	12.4	14.7	14.7	8.8	0.4	5.1	1.8
13 指導計画の確認や助言を行うこと	0.8	3.3	7.8	15.5	18.6	24.9	<b>23.5</b>	0.6	4.9	0.4
14 おたより等の保護者向けの書類を作成すること	7.3	14.5	<b>15.5</b>	14.1	15.3	<b>15.5</b>	10.6	0.8	5.3	1.2
15 職員間の連絡調整等を行うこと	2.5	2.9	12.0	14.5	17.1	<b>24.7</b>	20.8	0.4	4.7	0.4
16 実習生の指導を行うこと	1.6	2.9	11.4	18.8	18.8	<b>21.8</b>	18.8	0.6	5.1	0.2
17 新人保育士の指導を行うこと	0.4	4.5	11.4	17.3	19.2	<b>21.8</b>	19.8	0.6	4.9	0.2
18 新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること	0.2	1.2	5.7	17.1	17.6	<b>26.1</b>	27.1	0.2	4.7	0.2
19 保護者からの相談への対応に関すること	1.0	2.0	7.6	15.5	19.6	19.4	<b>29.6</b>	0.4	4.5	0.4
20 保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること	1.0	0.8	4.7	10.6	15.3	23.7	<b>37.6</b>	1.2	4.7	0.4
21 障害のある子どもの保育に関すること	1.8	4.9	14.7	<b>21.2</b>	17.8	19.8	9.0	4.9	5.3	0.6
22 地域の保護者等に対する子育て支援	0.8	2.2	9.2	14.9	18.4	<b>22.5</b>	20.0	6.3	5.3	0.4
23 小学校との連携に関すること	0.8	1.8	9.8	17.3	19.2	20.0	<b>20.6</b>	4.9	5.3	0.4
24 研修会や学会などでの発表を行うこと	1.6	3.5	11.4	15.3	<b>21.0</b>	16.7	23.7	11.2	5.1	0.6
25 保育士の自己評価について確認や助言を行うこと	0.4	1.0	2.9	8.4	14.3	27.3	<b>37.6</b>	2.9	4.7	0.4

「乳児クラスの主任」「職員間の連絡調整等を行うこと」「実習生の指導を行うこと」「新人保育士の指導を行うこと」「新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること」「地域の保護者等に対する子育て支援」は「10年以上15年未満」が最も大きな値であった。残り6つの業務は「15年以上」が最も大きな値であった。

表 I-6 は、各業務を理想として任せたい保育士の勤務年数に関する累積された割合を示したものである。50%を超えた値のところではフォントを変えた。

表 I-6 各業務を理想として任せたい保育士の勤務年数に関する累積された割合 (%)

		1年未満	Σ1年以上 3年未満	Σ3年以上 5年未満	Σ5年以上 7年未満	Σ7年以上 10年未満	Σ10年以上 15年未満	Σ15年以上
1	乳児クラスの主担任	1.2	2.7	13.9	34.1	56.3	79.2	93.3
2	3歳未満児クラスの主担任	0.8	5.3	20.2	46.1	69.2	87.5	94.9
3	3歳以上児クラスの主担任	0.4	4.7	24.3	53.3	74.3	85.5	91.6
4	子どもの情緒の安定を図ること	9.0	19.4	34.9	54.1	71.2	82.5	91.6
5	子どもの生命の保持を図ること	11.6	23.1	37.8	52.9	68.4	80.2	91.4
6	(食事や排泄、着替えなど)子どもの基本的な生活習慣の支援をすること	18.0	36.3	55.7	68.8	81.6	88.2	92.2
7	子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること	14.7	33.1	55.7	71.6	85.1	89.0	92.0
8	(壁面や季節に応じた装飾、掃除など)保育室や保育所内の環境を整備すること	23.3	48.8	67.5	79.4	87.1	90.0	91.6
9	遊具の安全管理を行うこと	11.6	24.9	46.9	64.3	77.3	87.3	92.7
10	子どもの病気やケガへの対応を判断すること	4.1	10.6	24.7	42.5	60.8	77.1	93.3
11	行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと	0.6	1.6	8.0	20.4	36.3	61.6	91.6
12	指導計画を作成すること	8.4	24.5	42.2	54.5	69.2	83.9	92.7
13	指導計画の確認や助言を行うこと	0.8	4.1	12.0	27.5	46.1	71.0	94.5
14	おたより等の保護者向けの書類を作成すること	7.3	21.8	37.3	51.4	66.7	82.2	92.7
15	職員間の連絡調整等を行うこと	2.5	5.5	17.5	32.0	49.0	73.7	94.5
16	実習生の指導を行うこと	1.6	4.5	15.9	34.7	53.5	75.3	94.1
17	新人保育士の指導を行うこと	0.4	4.9	16.3	33.5	52.7	74.5	94.3
18	新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること	0.2	1.4	7.1	24.1	41.8	67.8	94.9
19	保護者からの相談への対応に関すること	1.0	2.9	10.6	26.1	45.7	65.1	94.7
20	保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること	1.0	1.8	6.5	17.1	32.4	56.1	93.7
21	障害のある子どもの保育に関すること	1.8	6.7	21.4	42.5	60.4	80.2	89.2
22	地域の保護者等に対する子育て支援	0.8	2.9	12.2	27.1	45.5	68.0	88.0
23	小学校との連携に関すること	0.8	2.5	12.4	29.6	48.8	68.8	89.4
24	研修会や学会などでの発表を行うこと	1.6	5.1	16.5	31.8	52.7	69.4	83.1
25	保育士の自己評価について確認や助言を行うこと	0.4	1.4	4.3	12.7	27.1	54.3	92.0

「子どもの基本的な生活習慣の支援をすること」「子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること」「保育室や保育所内の環境を整備すること」は、「Σ3年以上5年未満」で50%を超えた。50%以上の保育所で、これらの業務は、経験年数が5年未満の保育士に理想として任せたいと判断された。「3歳以上児クラスの主担任」「子どもの情緒の安定を図ること」「子どもの生命の保持を図ること」「遊具の安全管理を行うこと」「指導計画等の書類を作成すること」「おたより等の保護者向けの書類を作成すること」は「Σ5年以上7年未満」で50%

を超えた。50%以上の保育所で、これらの業務は、経験年数が7年未満の保育士に理想として任せたいと判断された。

「乳児クラスの主任」「3歳未満児クラスの主任」「子どもの病気やケガへの対応を判断すること」「実習生の指導を行うこと」「新人保育士の指導を行うこと」「障害のある子どもの保育に関すること」「研修会や学会などでの発表を行うこと」は、「Σ7年以上10年未満」で50%を超えた。50%以上の保育所で、これらの業務は、経験年数が10年未満の保育士に理想として任せたいと判断された。残りの9つの業務は、「Σ10年以上15年未満」で50%を超えた。50%以上の保育所で、これらの業務は、経験年数が15年未満の保育士に理想として任せたいと判断された。

### (3) 実際と理想の違い

表I-7は、表4と表6を比較したものである。数値はすべて再掲である。14の業務では、実際に行っている年齢と理想として任せたい年齢で50%を超えた年齢は同じであった。これに対して、11の業務では、理想として任せたい年齢の方が実際に行っている年齢よりも経験年数が若い方に50%を超えた年齢が偏っていた。その11の業務は、次の業務である。

- 「乳児クラスの主任」
- 「3歳以上児クラスの主任」
- 「子どもの病気やケガへの対応を判断すること」
- 「行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと」
- 「おたより等の保護者向けの書類を作成すること」
- 「実習生の指導を行うこと」
- 「新人保育士の指導を行うこと」
- 「保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること」
- 「地域の保護者等に対する子育て支援」
- 「研修会や学会などでの発表を行うこと」
- 「保育士の自己評価について確認や助言を行うこと」

これらの業務は、実際と理想に乖離がある業務である。保育所長は、より経験が少ない保育士に、これらの業務を任せたいと思っているが、そうならないのが現実である。

表I-7 実際[表I-4]と理想[表I-6]の比較(%)

			1年未満	Σ1年以上 3年未満	Σ3年以上 5年未満	Σ5年以上 7年未	Σ7年以上 10年未満	Σ10年以上 15年未満	Σ15年以上
1	乳児クラスの主任	実際	2.2	8.0	19.6	32.2	48.8	67.6	93.5
		理想	1.2	2.7	13.9	34.1	56.3	79.2	93.3
2	3歳未満児クラスの主任	実際	2.5	11.2	27.8	41.6	58.6	77.8	96.3
		理想	0.8	5.3	20.2	46.1	69.2	87.5	94.9
3	3歳以上児クラスの主任	実際	1.2	6.3	23.7	38.8	58.4	76.9	92.7
		理想	0.4	4.7	24.3	53.3	74.3	85.5	91.6
4	子どもの情緒の安定を図ること	実際	11.8	24.9	41.0	55.5	67.6	79.2	90.4
		理想	9.0	19.4	34.9	54.1	71.2	82.5	91.6
5	子どもの生命の保持を図ること	実際	14.9	29.0	42.7	54.9	66.3	75.1	90.0
		理想	11.6	23.1	37.8	52.9	68.4	80.2	91.4
6	(食事や排泄、着替えなど)子どもの基本的な生活習慣の支援をすること	実際	21.6	42.7	59.4	67.8	76.5	83.7	91.0
		理想	18.0	36.3	55.7	68.8	81.6	88.2	92.2
7	子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること	実際	14.3	32.9	54.3	66.3	78.6	83.9	90.8
		理想	14.7	33.1	55.7	71.6	85.1	89.0	92.0
8	(壁面や季節に応じた装飾、掃除など)保育室や保育所内の環境を整備すること	実際	21.8	48.2	64.1	72.2	79.6	85.5	90.2
		理想	23.3	48.8	67.5	79.4	87.1	90.0	91.6
9	遊具の安全管理を行うこと	実際	12.7	24.9	43.3	53.3	65.9	75.3	91.2
		理想	11.6	24.9	46.9	64.3	77.3	87.3	92.7
10	子どもの病気やケガへの対応を判断すること	実際	2.4	9.6	22.7	31.6	45.3	61.0	93.5
		理想	4.1	10.6	24.7	42.5	60.8	77.1	93.3
11	行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと	実際	0.6	2.4	6.9	14.1	25.7	43.5	87.6
		理想	0.6	1.6	8.0	20.4	36.3	61.6	91.6
12	指導計画を作成すること	実際	11.6	29.2	44.5	55.5	67.3	77.5	92.4
		理想	8.4	24.5	42.2	54.5	69.2	83.9	92.7
13	指導計画の確認や助言を行うこと	実際	1.0	2.5	10.6	20.2	37.1	55.3	94.9
		理想	0.8	4.1	12.0	27.5	46.1	71.0	94.5
14	おたより等の保護者向けの書類を作成すること	実際	11.4	24.5	38.8	47.6	59.4	71.6	92.2
		理想	7.3	21.8	37.3	51.4	66.7	82.2	92.7
15	職員間の連絡調整等を行うこと	実際	2.5	5.5	14.7	23.9	38.8	56.7	95.3
		理想	2.5	5.5	17.5	32.0	49.0	73.7	94.5
16	実習生の指導を行うこと	実際	1.4	4.7	15.9	27.5	41.2	56.5	94.1
		理想	1.6	4.5	15.9	34.7	53.5	75.3	94.1
17	新人保育士の指導を行うこと	実際	0.4	4.7	15.7	28.4	44.9	62.7	95.1
		理想	0.4	4.9	16.3	33.5	52.7	74.5	94.3
18	新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること	実際	0.2	2.7	8.2	19.6	32.4	54.3	95.5
		理想	0.2	1.4	7.1	24.1	41.8	67.8	94.9
19	保護者からの相談への対応に関すること	実際	1.6	5.5	14.5	25.1	37.8	55.9	95.1
		理想	1.0	2.9	10.6	26.1	45.7	65.1	94.7
20	保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること	実際	0.6	2.5	5.7	12.4	22.4	40.2	92.7
		理想	1.0	1.8	6.5	17.1	32.4	56.1	93.7
21	障害のある子どもの保育に関すること	実際	3.1	9.0	23.9	38.8	55.7	72.2	86.1
		理想	1.8	6.7	21.4	42.5	60.4	80.2	89.2
22	地域の保護者等に対する子育て支援	実際	1.2	4.9	10.6	18.6	31.4	48.8	83.9
		理想	0.8	2.9	12.2	27.1	45.5	68.0	88.0
23	小学校との連携に関すること	実際	1.0	3.3	10.2	21.2	34.1	53.5	88.2
		理想	0.8	2.5	12.4	29.6	48.8	68.8	89.4
24	研修会や学会などでの発表を行うこと	実際	2.9	5.9	15.3	24.5	39.2	53.5	74.7
		理想	1.6	5.1	16.5	31.8	52.7	69.4	83.1
25	保育士の自己評価について確認や助言を行うこと	実際	0.4	1.6	5.3	10.8	22.7	39.6	91.0
		理想	0.4	1.4	4.3	12.7	27.1	54.3	92.0

## 4. キャリアパスの構築に向けて

### (1) 保育所で必要な要素

「貴保育所で、保育士のキャリアパスを構築していくためには、次の各要素がどの程度必要になると思いますか」として、「必要ではない」から「必ず必要である」の5段階で評定を求めた。各選択肢が選ばれた割合を示したものが表 I-8 である。横に見て、最も大きな値のところではフォントを変えた。

すべての要素で「必要である」側に最も大きな値があった。「最低基準以上の職員配置」「給与に加算するための補助金」「研修を可能にする人的配置」「研修を可能にする補助金」「保育士確保の仕組み」は、「必ず必要である」が最も大きな値であった。「一般的な業務マニュアル」「行政や団体等が行うキャリアパスに対応した研修」「キャリアパスに対応した保育所運営費の改善」「運営費等の弾力的運用」「保育士だけでなく幼稚園教諭等、その他の職種のキャリアパス制度」「キャリアパスに対応した求人システム」は「必要である」、その他の要素は「どちらかと言えば必要である」が最も大きな値であった。

表 I-8 保育所で必要な要素として選ばれた割合 (%)

	必要ではない	どちらかと言えば必要ではない	どちらかと言えば必要である	必要である	必ず必要である	無回答	複数回答
1 一般的な業務マニュアル	0.4	1.8	15.1	<b>44.7</b>	34.9	3.1	0.0
2 最低基準以上の職員配置	0.0	0.8	8.8	37.5	<b>50.8</b>	2.2	0.0
3 保育士の上位資格	4.1	9.8	<b>38.2</b>	32.7	10.2	4.9	0.0
4 保育士に付随する認定資格（乳児保育、保育相談等）	4.3	12.2	<b>42.7</b>	30.2	6.9	3.3	0.4
5 一般的なキャリアパスモデル	2.5	6.9	<b>44.9</b>	32.0	9.6	4.1	0.0
6 給与に加算するための補助金	0.2	0.4	10.4	37.8	<b>49.0</b>	2.2	0.0
7 行政や団体等が行うキャリアパスに対応した研修	1.0	1.6	21.4	<b>52.2</b>	20.6	3.3	0.0
8 研修を可能にする人的配置	0.2	0.8	9.4	43.3	<b>43.9</b>	2.4	0.0
9 研修を可能にする補助金	0.2	0.6	10.4	38.8	<b>47.1</b>	2.9	0.0
10 キャリアパスに対応した保育所運営費の改善	0.6	0.4	11.4	<b>43.7</b>	40.2	3.7	0.0
11 運営費等の弾力的運用	0.2	1.8	13.9	<b>44.9</b>	35.7	3.1	0.4
12 保育士だけでなく、幼稚園教諭等、その他の職種のキャリアパス制度	2.4	3.9	36.3	<b>39.0</b>	13.7	4.5	0.2
13 保育士確保の仕組み	0.4	1.2	15.9	36.9	<b>42.9</b>	2.7	0.0
14 キャリアパスに対応した求人システム	3.5	5.7	29.2	<b>38.4</b>	19.4	3.7	0.0
15 その他	0.2	0.4	0.6	0.6	2.2	<b>96.1</b>	0.0

## (2) 国や自治体に求められる要素

「国や自治体が、保育士のキャリアパスを構築していくためには、次の各要素がどの程度必要になると思いますか」として、5段階で評定を求めた。各選択肢が選ばれた割合を示したものが表 I-9 である。横に見て、最も大きな値のところをフォントを変えた。いずれの要素も、「必ず必要である」、あるいは「必要である」という回答が最もであった。「必ず必要である」が最も大きな値であった要素は、次の7つであった。

- 「最低基準以上の職員配置」
- 「給与に加算するための補助金」
- 「研修を可能にする人的配置」
- 「研修を可能にする補助金」
- 「キャリアパスに対応した保育所運営費の改善」
- 「運営費等の弾力的運用」
- 「保育士確保の仕組み」

表 I-9 国や自治体に求められる要素として選ばれた割合 (%)

		必要ではない	どちらかと言えば必要ではない	どちらかと言えば必要である	必要である	必ず必要である	無回答	複数回答
1	一般的な業務マニュアル	0.8	1.4	15.3	<b>43.1</b>	34.5	4.9	0.0
2	最低基準以上の職員配置	0.0	0.6	5.3	29.8	<b>60.8</b>	3.5	0.0
3	保育士の上位資格	2.5	5.7	28.4	<b>37.1</b>	21.2	5.1	0.0
4	保育士に付随する認定資格（乳児保育、保育相談等）	2.2	7.5	29.0	<b>38.8</b>	17.1	5.5	0.0
5	一般的なキャリアパスモデル	2.0	4.3	27.8	<b>42.5</b>	17.6	5.5	0.2
6	給与に加算するための補助金	0.0	0.2	5.5	30.2	<b>60.2</b>	3.9	0.0
7	行政や団体等が行うキャリアパスに対応した研修	0.4	1.0	12.9	<b>43.5</b>	37.5	4.7	0.0
8	研修を可能にする人的配置	0.0	0.8	6.3	34.9	<b>53.5</b>	4.5	0.0
9	研修を可能にする補助金	0.0	0.4	5.3	30.0	<b>60.2</b>	4.1	0.0
10	キャリアパスに対応した保育所運営費の改善	0.2	0.2	7.1	33.3	<b>54.9</b>	4.3	0.0
11	運営費等の弾力的運用	0.2	0.6	10.6	35.5	<b>48.0</b>	4.9	0.2
12	保育士だけでなく、幼稚園教諭等、その他の職種のキャリアパス制度	2.0	2.7	26.7	<b>41.4</b>	21.4	5.7	0.2
13	保育士確保の仕組み	0.4	1.0	12.2	31.8	<b>50.2</b>	4.5	0.0
14	キャリアパスに対応した求人システム	2.2	3.9	20.4	<b>38.8</b>	29.6	5.1	0.0
15	その他	0.4	0.0	1.0	2.4	3.5	<b>92.7</b>	0.0

### (3) 保育所と国や自治体の比較

表 I-10 は、表 I-8 と表 I-9 を比較したものである。「一般的な業務マニュアル」を除き、すべての要素で「国や自治体」の方が、「必ず必要である」の値が大きくなっている（5段階評定で平均値を比較すると有意差がある）。「保育士の上位資格」「保育士に付随する認定資格（乳児保育、保育相談等）」「一般的なキャリアパスモデル」「キャリアパスに対応した保育所運営費の改善」「運営費等の弾力的運用」では顕著な差が見られた。

表 I-10 保育所 [表-8] と国や自治体 [表-9] の比較 (%)

		レベル	必要ではない	どちらかと言えば必要ではない	どちらかと言えば必要である	必要である	必ず必要である	無回答
1	一般的な業務マニュアル	保育所	0.4	1.8	15.1	<b>44.7</b>	34.9	3.1
		国・自治体	0.8	1.4	15.3	<b>43.1</b>	34.5	4.9
2	最低基準以上の職員配置	保育所	0.0	0.8	8.8	37.5	<b>50.8</b>	2.2
		国・自治体	0.0	0.6	5.3	29.8	<b>60.8</b>	3.5
3	保育士の上位資格	保育所	4.1	9.8	<b>38.2</b>	32.7	10.2	4.9
		国・自治体	2.5	5.7	28.4	<b>37.1</b>	21.2	5.1
4	保育士に付随する認定資格（乳児保育、保育相談等）	保育所	4.3	12.2	<b>42.7</b>	30.2	6.9	3.3
		国・自治体	2.2	7.5	29.0	<b>38.8</b>	17.1	5.5
5	一般的なキャリアパスモデル	保育所	2.5	6.9	<b>44.9</b>	32.0	9.6	4.1
		国・自治体	2.0	4.3	27.8	<b>42.5</b>	17.6	5.5
6	給与に加算するための補助金	保育所	0.2	0.4	10.4	37.8	<b>49.0</b>	2.2
		国・自治体	0.0	0.2	5.5	30.2	<b>60.2</b>	3.9
7	行政や団体等が行うキャリアパスに対応した研修	保育所	1.0	1.6	21.4	<b>52.2</b>	20.6	3.3
		国・自治体	0.4	1.0	12.9	<b>43.5</b>	37.5	4.7
8	研修を可能にする人的配置	保育所	0.2	0.8	9.4	43.3	<b>43.9</b>	2.4
		国・自治体	0.0	0.8	6.3	34.9	<b>53.5</b>	4.5
9	研修を可能にする補助金	保育所	0.2	0.6	10.4	38.8	<b>47.1</b>	2.9
		国・自治体	0.0	0.4	5.3	30.0	<b>60.2</b>	4.1
10	キャリアパスに対応した保育所運営費の改善	保育所	0.6	0.4	11.4	<b>43.7</b>	40.2	3.7
		国・自治体	0.2	0.2	7.1	33.3	<b>54.9</b>	4.3
11	運営費等の弾力的運用	保育所	0.2	1.8	13.9	<b>44.9</b>	35.7	3.1
		国・自治体	0.2	0.6	10.6	35.5	<b>48.0</b>	4.9
12	保育士だけでなく、幼稚園教諭等、その他の職種のキャリアパス制度	保育所	2.4	3.9	36.3	39.0	13.7	4.5
		国・自治体	2.0	2.7	26.7	41.4	21.4	5.7
13	保育士確保の仕組み	保育所	0.4	1.2	15.9	36.9	<b>42.9</b>	2.7
		国・自治体	0.4	1.0	12.2	31.8	<b>50.2</b>	4.5
14	キャリアパスに対応した求人システム	保育所	3.5	5.7	29.2	<b>38.4</b>	19.4	3.7
		国・自治体	2.2	3.9	20.4	<b>38.8</b>	29.6	5.1



## Ⅱ. 保育士編の分析

1,850票の調査票が回収された。

### 1. 回答した保育士

#### (1) 保育士資格の取得方法

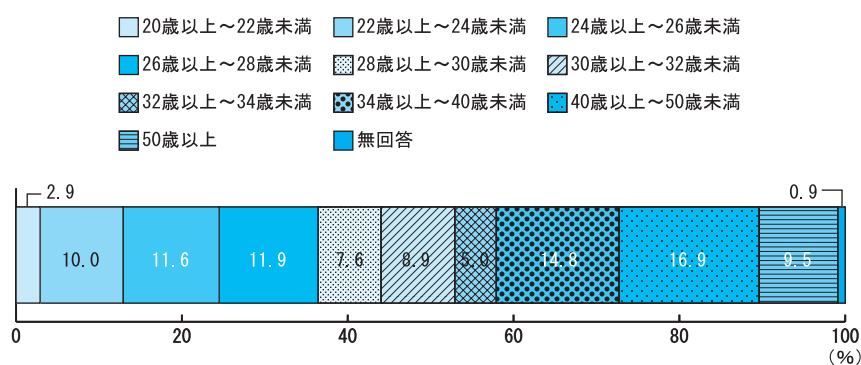
「保育士資格の取得方法について、いずれかに○をつけて下さい」として、「養成校」と「試験」の選択肢を提示した。その結果、「養成校」は93.3%、「試験」は5.2%であった（無回答1.3%、複数回答0.2%）。

#### (2) 保育士としての勤務年数

「認可保育所（公営・民営）における保育士（正規職員）としての通算勤務年数は何年何ヶ月ですか」と尋ねた。44名が無回答であった（0年0か月の記入も無回答として処理した）。最低値は1か月、最大値は40年で、平均は9年6.6ヵ月であった。

#### (3) 年齢

「あなたの年齢について、該当する番号を1つだけ選んで○をつけて下さい」として、「1 20歳以上～22歳未満」「2 22歳以上～24歳未満」「3 24歳以上～26歳未満」「4 26歳以上～28歳未満」「5 28歳以上～30歳未満」「6 30歳以上～32歳未満」「7 32歳以上～34歳未満」「8 34歳以上～40歳未満」「9 40歳以上～50歳未満」「10 50歳以上」の10の選択肢を示した。その結果が、[図Ⅱ-1](#)である。40歳以上～50歳未満の回答者が最も多かった。



図Ⅱ-1 回答者の年齢の分布

#### (4) 保育士以外の職務経験

「保育士以外の職務経験はありますか」として、「あり」「なし」選択肢を提示した。また、「あ

る場合はその年数もお書き下さい」として年数を尋ねた。その結果、「あり」は24.5%、「なし」は74.8%であった（無回答0.7%）。「あり」の者が答えた年数の最小値は1ヵ月、最大値は25年で、平均は4.6年であった。

#### (5) 他の認可保育所の経験

「現在の勤務先以外の認可保育所（公営・民営）において、保育士（正規職員）としての勤務経験はありますか、いずれかに○をつけて下さい。」として、「あり」「なし」選択肢を提示した。また、「ある場合はその年数もお書き下さい」として年数を尋ねた。その結果、「あり」は26.7%、「なし」は72.0%であった（複数回答0.1%、無回答1.2%）。「あり」の者が答えた年数の最小値は1ヵ月、最大値は32年で、平均は5.7年であった。

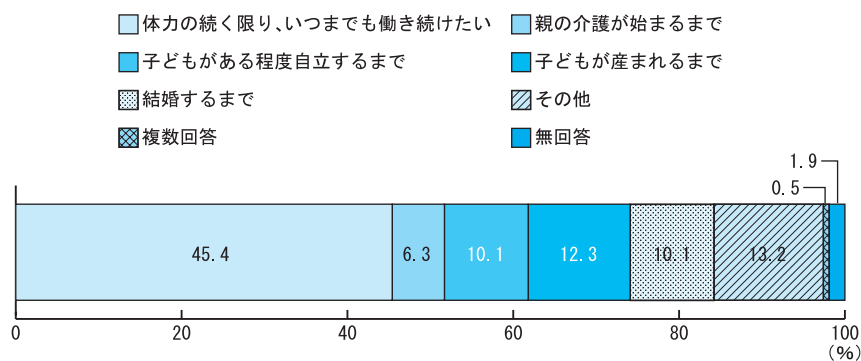
#### (6) 配偶者と子ども

「現在、配偶者の有無について、いずれかに○をつけて下さい」として「はい」「いいえ」の選択肢を提示した。その結果、「はい」は39.7%、「いいえ」は59.5%であった（無回答0.8%）。

「あなたにはお子さんがおられますか、いずれかに○をつけて下さい」として「はい」「いいえ」の選択肢を提示した。その結果、「はい」は36.1%、「いいえ」は63.6%であった（無回答0.4%）。

#### (7) 継続就労の希望

「将来的に保育士としていつまで働きたいですか、該当する番号を1つだけ選んで○をつけて下さい」として、「1 体力の続く限り、いつまでも働きたい」「2 親の介護が始まるまで」「3 子どもがある程度自立するまで」「4 子どもが産まれるまで」「5 結婚するまで」「6 その他」の選択肢を提示した。その結果が、[図Ⅱ-2](#)である。「体力の続く限りいつまでも働きたい」が最も多かった。



図Ⅱ-2 継続就労の希望の割合 (%)

## 2. 通算勤務年数7年未満（A票）と7年以上（B票）の保育士の比較

保育士用の質問紙は、A票とB票の2種類であった。A票は、認可保育所での保育士（正規職員）としての通算勤務年数が7年未満の方用で、B票は、同年数が7年以上の方用であったが、質問内容は全く同じであった。

「V. あなた自身のことについてお尋ねします」という設問の中で、「認可保育所（公営・民営）における保育士（正規保育士）としての通算勤務年数は何年何ヶ月ですか」と尋ねていた。そこでA票、B票と整合性を確認したところ、回収されたA票のうち2票は91か月（7年7か月）と103か月（8年7か月）と、7年未満ではなかった。そこでこれらはB票として扱った。また回収されたB票のうち4票は31か月（2年7か月）、67か月（5年7か月）、82か月（6年10か月）、79か月（6年7か月）と7年以上ではなかった。そこでこれらはA票として扱った。最終的に分析対象となったのは、A票が908票、B票が942票で、合計1,850票であった。

### （1）業務ができる程度

「あなたは次の各業務がどの程度できますか」として「1 できない」「2 教えてもらってできる」「3 自分自身の力でできる」「4 他の保育士を指導できる」「5 保育士の集団や組織、園全体をリードできる」の選択肢を提示し、該当する番号を1つだけ選んでもらった。表Ⅱ-1は、各選択肢が選ばれた割合を示したものである。横に見て、最も大きな値のフォントを変えた。

「乳児クラスの主任」「3歳未満児クラスの主任」「3歳以上児クラスの主任」「子どもの病気やケガへの対応を判断すること」「保護者からの相談への対応に関すること」「保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること」「保育士の自己評価について確認や助言を行うこと」では、通算勤務年が7年未満の保育士（A票の回答者）は「教えてもらってできる」が最も大きな値であったが、7年以上の保育士（B票の回答者）は「自分自身の力でできる」が最も大きな値であった。

「（食事や排泄、着替えなど）子どもの基本的な生活習慣の支援をすること」では、7年未満の保育士（A票の回答者）は「自分の力でできる」が最も大きな値であったが、7年以上の保育士（B票の回答者）は「他の保育士を指導できる」が最も大きな値であった。「指導計画の確認や助言を行うこと」では、7年未満の保育士（A票の回答者）は「教えてもらってできる」が最も大きな値であったが、7年以上の保育士（B票の回答者）は「他の保育士を指導できる」が最も大きな値であった。

経験年数が増えるにつれて、業務ができる程度が高くなることは、当然である。詳しく見ると、すべての業務で、「リードできる」、すなわち「5 保育士の集団や組織、園全体をリードできる」と、「他の保育士を指導」、すなわち「4 他の保育士を指導できる」の割合は、B票

回答者の方が多かった。

なお、2（経験年数）×5（選択肢）の $\chi^2$ 乗検定の結果は、すべて有意であった。

表Ⅱ－1 各業務ができる程度として選ばれた割合（％）

		できない	教えてもらってできる	自分の力でできる	他の保育士を指導	リードできる	複数回答	無回答	
1	乳児クラスの主任	A	18.8	48.0	25.7	6.1	1.0	0.0	0.4
		B	2.2	19.6	38.3	32.9	5.9	0.1	0.8
2	3歳未満児クラスの主任	A	11.3	41.2	39.4	6.9	0.9	0.0	0.2
		B	0.7	9.4	44.7	37.2	7.2	0.1	0.6
3	3歳以上児クラスの主任	A	14.4	41.4	36.8	6.5	0.8	0.0	0.1
		B	2.0	13.4	43.5	32.6	7.6	0.0	0.8
4	子どもの情緒の安定を図ること	A	0.6	19.3	70.2	9.3	0.6	0.1	0.1
		B	0.1	3.3	53.7	36.9	5.4	0.2	0.3
5	子どもの生命の保持を図ること	A	0.6	19.2	69.6	9.5	1.0	0.1	0.1
		B	0.1	4.2	50.3	37.4	7.4	0.2	0.3
6	(食事や排泄、着替えなど)子どもの基本的な生活習慣の支援をすること	A	0.0	7.3	71.5	20.4	0.7	0.0	0.2
		B	0.1	1.1	37.8	53.3	7.4	0.1	0.2
7	子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること	A	0.2	19.1	67.6	12.2	0.7	0.0	0.2
		B	0.1	3.0	50.4	39.4	6.8	0.1	0.2
8	(壁面や季節に応じた装飾、掃除など)保育室や保育所内の環境を整備すること	A	0.3	10.1	67.7	20.6	1.0	0.1	0.1
		B	0.1	2.1	46.0	42.0	9.3	0.1	0.3
9	遊具の安全管理を行うこと	A	0.6	22.1	62.1	14.0	1.0	0.0	0.2
		B	0.1	8.1	48.0	34.8	8.7	0.1	0.2
10	子どもの病気やケガへの対応を判断すること	A	1.9	55.0	34.1	7.9	0.7	0.3	0.1
		B	0.2	22.9	36.5	32.4	7.6	0.1	0.2
11	行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと	A	33.5	56.2	8.5	0.8	0.4	0.2	0.4
		B	14.3	54.4	17.7	8.8	4.2	0.0	0.5
12	指導計画を作成すること	A	0.4	18.0	68.7	11.7	0.9	0.2	0.1
		B	0.2	3.9	50.3	38.5	6.7	0.1	0.2
13	指導計画の確認や助言を行うこと	A	15.6	38.3	35.2	10.0	0.6	0.0	0.2
		B	2.8	12.5	38.2	39.3	6.8	0.1	0.3
14	おたより等の保護者向けの書類を作成すること	A	3.1	22.7	59.6	13.1	1.3	0.1	0.1
		B	0.4	11.7	44.2	35.8	7.6	0.1	0.2
15	職員間の連絡調整等を行うこと	A	8.0	30.2	50.6	9.3	1.5	0.0	0.4
		B	2.0	12.5	46.9	27.0	11.1	0.1	0.3
16	実習生の指導を行うこと	A	9.3	30.8	49.8	8.9	1.0	0.1	0.1
		B	0.6	7.2	51.6	32.8	7.2	0.1	0.4
17	新人保育士の指導を行うこと	A	13.7	35.5	40.6	9.1	0.8	0.0	0.3
		B	0.7	10.2	47.8	33.7	7.2	0.1	0.3
18	新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること	A	18.0	32.4	42.1	6.4	0.8	0.2	0.2
		B	1.3	9.8	54.9	26.5	6.8	0.3	0.4
19	保護者からの相談への対応に関すること	A	1.4	51.7	40.2	5.5	0.9	0.2	0.1
		B	0.1	17.5	47.7	27.9	5.8	0.6	0.3
20	保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること	A	11.3	66.5	17.6	3.3	0.8	0.3	0.1
		B	2.7	38.3	33.9	18.9	5.4	0.5	0.3
21	障害のある子どもの保育に関すること	A	11.0	68.9	17.3	2.1	0.2	0.2	0.2
		B	2.0	47.0	32.7	14.8	2.8	0.3	0.4
22	地域の保護者等に対する子育て支援	A	27.0	59.7	11.5	1.0	0.4	0.0	0.4
		B	8.3	48.9	26.3	11.3	4.2	0.2	0.7
23	小学校との連携に関すること	A	33.7	54.6	9.6	1.3	0.6	0.0	0.2
		B	8.0	51.6	26.2	9.1	4.2	0.2	0.6
24	研修会や学会などでの発表を行うこと	A	33.1	48.2	17.3	0.9	0.2	0.0	0.2
		B	17.2	42.9	27.2	8.3	3.6	0.1	0.7
25	保育士の自己評価について確認や助言を行うこと	A	29.1	41.6	26.3	2.0	0.4	0.1	0.4
		B	10.3	29.6	40.9	14.5	3.8	0.1	0.7

## (2) 自信を持ってできる経験年数

「次の各業務を自信を持ってできるようになるには、おおむね何年の経験が必要だと思いますか」として、「1年未満」「1年以上3年未満」「3年以上5年未満」「5年以上7年未満」「7年以上10年未満」「10年以上15年未満」「15年以上」「該当無し」の選択肢を用意した。「該当無し」は、勤務先の保育所において業務を行っていない項目につけてもらうことにした。各選択肢が選ばれた割合を示したものが表Ⅱ-2である。横に見て、最も大きい値のところでフォントを変えた。

表Ⅱ-2 各業務を自信を持ってできる経験年数として選ばれた割合 (%)

		1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当無し	無回答	複数回答	
1	乳児クラスの主任	A	0.8	12.4	<b>36.5</b>	23.0	13.9	8.0	2.2	2.8	0.4	0.0
		B	0.3	5.9	<b>35.5</b>	29.0	13.6	10.1	2.7	2.7	0.3	0.0
2	3歳未満児クラスの主任	A	0.7	16.0	<b>43.8</b>	20.2	10.7	5.5	1.5	1.3	0.3	0.0
		B	0.2	9.4	<b>43.5</b>	25.2	12.8	5.6	2.0	0.8	0.3	0.0
3	3歳以上児クラスの主任	A	1.5	11.8	<b>41.4</b>	24.6	10.1	6.2	1.8	2.3	0.3	0.0
		B	0.6	10.1	<b>41.2</b>	27.2	10.4	5.4	2.1	2.7	0.3	0.0
4	子どもの情緒の安定を図ること	A	5.5	31.8	<b>37.1</b>	25.2	5.3	2.8	1.3	0.7	0.3	0.0
		B	2.8	19.4	<b>39.4</b>	23.0	8.5	4.5	1.6	0.5	0.3	0.0
5	子どもの生命の保持を図ること	A	8.4	30.2	<b>34.8</b>	14.9	6.1	2.5	2.2	0.7	0.3	0.0
		B	5.3	20.9	<b>36.7</b>	22.1	8.7	4.0	1.7	0.3	0.2	0.0
6	(食事や排泄、着替えなど)子どもの基本的な生活習慣の支援をすること	A	15.5	<b>43.4</b>	25.9	9.8	3.0	0.9	0.9	0.2	0.4	0.0
		B	9.6	<b>37.0</b>	34.1	12.6	4.0	1.5	0.8	0.1	0.2	0.0
7	子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること	A	9.1	<b>38.1</b>	32.0	12.7	4.8	1.7	1.0	0.2	0.3	0.0
		B	6.1	29.9	<b>39.5</b>	16.1	5.0	1.7	1.2	0.3	0.2	0.0
8	(壁面や季節に応じた装飾、掃除など)保育室や保育所内の環境を整備すること	A	24.9	<b>44.8</b>	20.2	6.2	2.6	0.3	0.4	0.2	0.3	0.0
		B	17.5	<b>42.6</b>	28.0	8.0	1.8	1.1	0.7	0.1	0.2	0.0
9	遊具の安全管理を行うこと	A	18.3	<b>40.6</b>	24.1	9.5	4.7	1.2	0.6	0.6	0.4	0.0
		B	11.8	<b>33.8</b>	30.4	14.1	5.5	2.4	1.4	0.4	0.2	0.0
10	子どもの病気やケガへの対応を判断すること	A	3.0	23.2	<b>32.3</b>	19.2	11.5	6.5	3.2	0.9	0.3	0.0
		B	2.5	15.4	<b>32.8</b>	23.5	13.1	6.9	4.9	0.5	0.3	0.1
11	行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと	A	0.4	5.5	18.8	<b>21.0</b>	19.4	17.7	10.0	6.4	0.7	0.0
		B	0.0	3.2	12.2	<b>20.9</b>	18.7	20.4	15.6	7.6	1.4	0.0
12	指導計画を作成すること	A	11.6	<b>35.5</b>	27.9	14.6	5.9	3.1	0.8	0.3	0.3	0.0
		B	6.8	30.4	<b>33.2</b>	17.7	5.7	3.7	1.9	0.2	0.3	0.0
13	指導計画の確認や助言を行うこと	A	0.9	10.6	<b>27.8</b>	27.1	16.2	11.0	5.2	1.0	0.3	0.0
		B	0.2	4.8	23.7	<b>27.9</b>	20.1	14.5	7.9	0.6	0.3	0.0
14	おたより等の保護者向けの書類を作成すること	A	12.3	<b>34.6</b>	29.2	10.9	6.5	3.4	1.5	1.2	0.3	0.0
		B	7.7	<b>29.1</b>	28.3	17.7	7.7	5.6	2.9	0.6	0.2	0.0
15	職員間の連絡調整等を行うこと	A	5.8	18.8	<b>29.2</b>	18.3	13.2	8.4	4.0	1.5	0.8	0.0
		B	2.0	12.0	22.9	<b>25.6</b>	18.0	11.8	5.4	1.7	0.5	0.0
16	実習生の指導を行うこと	A	1.1	10.6	<b>36.2</b>	30.7	10.8	6.4	3.0	0.9	0.3	0.0
		B	0.5	7.6	<b>32.0</b>	30.9	16.5	8.7	2.8	0.8	0.2	0.0
17	新人保育士の指導を行うこと	A	0.6	8.3	28.2	<b>32.7</b>	17.0	7.9	3.9	1.1	0.4	0.0
		B	0.0	4.9	26.0	<b>33.3</b>	19.3	11.7	3.8	0.6	0.3	0.0
18	新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること	A	0.8	6.4	24.7	<b>27.5</b>	19.9	13.4	5.7	1.1	0.4	0.0
		B	0.0	3.2	16.2	<b>28.2</b>	25.4	17.9	8.0	0.7	0.3	0.0
19	保護者からの相談への対応に関する事	A	1.8	10.4	<b>29.1</b>	25.7	15.0	11.6	5.4	0.9	0.3	0.0
		B	0.6	5.5	19.7	<b>28.0</b>	21.5	15.8	7.5	1.0	0.2	0.0
20	保護者からの苦情やクレームへの対応に関する事	A	0.6	5.3	16.4	<b>25.8</b>	20.2	18.2	11.3	2.0	0.3	0.0
		B	0.4	2.3	10.4	22.0	<b>22.5</b>	24.1	15.5	2.5	0.2	0.0
21	障害のある子どもの保育に関する事	A	1.5	8.0	22.6	<b>29.2</b>	16.7	11.0	5.5	5.1	0.3	0.0
		B	0.7	5.8	21.2	<b>28.0</b>	18.4	14.0	5.5	5.7	0.5	0.0
22	地域の保護者等に対する子育て支援	A	0.3	5.5	17.8	<b>25.3</b>	18.4	16.2	9.7	6.3	0.4	0.0
		B	0.5	3.1	13.9	<b>23.5</b>	18.7	19.6	12.3	7.9	0.5	0.0
23	小学校との連携に関する事	A	0.2	4.0	18.9	<b>30.1</b>	20.4	14.1	6.9	5.1	0.3	0.0
		B	0.1	2.9	17.2	<b>25.7</b>	18.7	19.1	9.4	6.4	0.4	0.1
24	研修会や学会などでの発表を行うこと	A	1.8	5.5	17.0	<b>19.3</b>	15.5	<b>19.3</b>	15.3	6.1	0.3	0.0
		B	0.4	4.1	11.7	17.6	16.9	<b>20.9</b>	17.6	9.9	0.5	0.3
25	保育士の自己評価について確認や助言を行うこと	A	0.2	3.7	14.3	20.3	19.3	<b>20.8</b>	18.5	2.4	0.3	0.1
		B	0.1	1.6	9.3	16.2	17.7	23.4	<b>24.9</b>	5.8	0.7	0.1

「(食事や排泄、着替えなど)子どもの基本的な生活習慣の支援をすること」「(壁面や季節に応じた装飾、掃除など)保育室や保育所内の環境を整備すること」「遊具の安全管理を行うこと」「おたより等の保護者向けの書類を作成すること」では、経験年数にかかわらず、「1年以上3年未満」が最も大きい値であった。また、「乳児クラスの主任」「3歳未満児クラスの主任」「3歳以上児クラスの主任」「子どもの情緒の安定を図ること」「子どもの生命の保持を図ること」「子どもの病気やケガへの対応を判断すること」「実習生の指導を行うこと」では、経験年数にかかわらず、「3年以上5年未満」が最も大きい値であった。

「行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと」「新人保育士の指導を行うこと」「新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること」「障害のある子どもの保育に関すること」「地域の保護者等に対する子育て支援」「小学校との連携に関すること」では、経験年数にかかわらず、「5年以上7年未満」が最も大きい値であった。さらに「研修会や学会などでの発表を行うこと」では、経験年数にかかわらず、「10年以上」が最も大きい値であった。

これまでは、経験年数にかかわらず、最も大きい値が同じ年齢範囲である業務を列挙してきたが、以下では経験年数による差に注目する。

「子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること」と「指導計画を作成すること」では、7年未満の保育士(A票の回答者)は「1年以上3年未満」が最も大きな値であったが、7年以上の保育士(B票の回答者)は「3年以上5年未満」が最も大きな値であった。また、「指導計画の確認や助言を行うこと」「職員間の連絡調整等を行うこと」「保護者からの相談への対応に関すること」では、7年未満の保育士(A票の回答者)は「3年以上5年未満」が最も大きな値であったが、7年以上の保育士(B票の回答者)は「5年以上7年未満」が最も大きな値であった。

さらに、「保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること」では、7年未満の保育士(A票の回答者)は「5年以上7年未満」、7年以上の保育士(B票の回答者)は「7年以上10年未満」が最も大きな値であった。また、「保育士の自己評価について確認や助言を行うこと」では、7年未満の保育士(A票の回答者)は「10年以上15年未満」、7年以上の保育士(B票の回答者)は「15年以上」が最も大きな値であった。

これらの結果には、共通点がある。一貫して、7年未満の保育士(A票の回答者)の方が7年以上の保育士(B票の回答者)よりも、少ない経験年数で、自信を持ってできると答えていることである。このことについて、表Ⅱ-2の値をよく見てみると、次のことが明らかになった。すなわち、「1年未満」と「1年以上3年未満」を選んだ者の割合は、7年未満の保育士(A票の回答者)の方が7年以上の保育士(B票の回答者)よりも、一貫して、大きな値であった。これらのことは、7年未満の保育士(A票の回答者)の方が7年以上の保育士(B票の回答者)よりも、低い年齢で自信を持ってさまざまな業務ができると思っていることを示している。

次に、保育所長用と同様に、各値を累積的に算出した（表Ⅱ－3）。50%以上の値のところ  
でフォントを変えた。

表Ⅱ－3 各業務を自信を持ってできる保育士の勤務年数に関する累積された割合（%）

		1年未満	Σ 1年以上 3年未満	Σ 3年以上 5年未満	Σ 5年以上 7年未	Σ 7年以上 10年未満	Σ 10年以上 15年未満	Σ 15年以上	
1	乳児クラスの主任任	A	0.8	13.2	49.7	72.7	86.6	94.6	96.8
		B	0.3	6.3	41.7	70.7	84.3	94.4	97.0
2	3歳未満児クラスの主任任	A	0.7	16.6	60.5	80.6	91.3	96.8	98.3
		B	0.2	9.7	53.2	78.3	91.2	96.8	98.8
3	3歳以上児クラスの主任任	A	1.5	13.3	54.7	79.3	89.4	95.6	97.4
		B	0.6	10.7	51.9	79.1	89.5	94.9	97.0
4	子どもの情緒の安定を図ること	A	5.5	37.3	74.4	89.6	94.9	97.7	99.0
		B	2.8	22.2	61.6	84.6	93.1	97.6	99.2
5	子どもの生命の保持を図ること	A	8.4	38.5	73.3	88.2	94.3	96.8	99.0
		B	5.3	26.2	63.0	85.0	93.7	97.8	99.5
6	(食事や排泄、着替えなど)子どもの基本的な生活習慣の支援をすること	A	15.5	58.9	84.8	94.6	97.6	98.5	99.3
		B	9.6	46.6	80.7	93.3	97.3	98.8	99.7
7	子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること	A	9.1	47.2	79.3	92.0	96.8	98.5	99.4
		B	6.1	36.0	75.5	91.6	96.6	98.3	99.5
8	(壁面や季節に応じた装飾、掃除など)保育室や保育所内の環境を整備すること	A	24.9	69.7	89.9	96.0	98.7	99.0	99.4
		B	17.5	60.1	88.1	96.1	97.9	98.9	99.7
9	遊具の安全管理を行うこと	A	18.3	58.9	83.0	92.5	97.2	98.5	99.0
		B	11.8	45.5	75.9	90.0	95.5	98.0	99.4
10	子どもの病気やケガへの対応を判断すること	A	3.0	26.2	58.5	77.6	89.1	95.6	98.8
		B	2.5	17.9	50.7	74.2	87.3	94.2	99.0
11	行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと	A	0.4	5.9	24.8	45.8	65.2	82.9	93.0
		B	0.0	3.2	15.4	36.3	55.0	75.4	91.0
12	指導計画を作成すること	A	11.6	47.0	74.9	89.5	95.5	98.6	99.3
		B	6.8	37.2	70.4	88.1	93.8	97.6	99.5
13	指導計画の確認や助言を行うこと	A	0.9	11.5	39.2	66.3	82.5	93.5	98.7
		B	0.2	5.0	28.7	56.6	76.6	91.2	99.0
14	おたより等の保護者向けの書類を作成すること	A	12.3	46.9	76.1	87.0	93.5	96.9	98.5
		B	7.7	36.8	65.2	82.9	90.7	96.3	99.2
15	職員間の連絡調整等を行うこと	A	5.8	24.7	53.9	72.1	85.4	93.7	97.7
		B	2.0	14.0	36.9	62.5	80.6	92.4	97.8
16	実習生の指導を行うこと	A	1.1	11.7	47.9	78.6	89.4	95.8	98.8
		B	0.5	8.2	40.1	71.0	87.5	96.2	98.9
17	新人保育士の指導を行うこと	A	0.6	8.8	37.0	69.7	86.7	94.6	98.5
		B	0.0	4.9	30.9	64.2	83.5	95.2	99.0
18	新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること	A	0.8	7.2	31.8	59.4	79.3	92.7	98.5
		B	0.0	3.2	19.4	47.7	73.0	91.0	98.9
19	保護者からの相談への対応に関すること	A	1.8	12.1	41.2	66.9	81.8	93.4	98.8
		B	0.6	6.2	25.9	53.9	75.5	91.3	98.8
20	保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること	A	0.6	5.8	22.2	48.0	68.2	86.3	97.7
		B	0.4	2.8	13.2	35.1	57.6	81.7	97.2
21	障害のある子どもの保育に関すること	A	1.5	9.6	32.2	61.3	78.1	89.1	94.6
		B	0.7	6.6	27.8	55.8	74.2	88.2	93.7
22	地域の保護者等に対する子育て支援	A	0.3	5.8	23.7	49.0	67.4	83.6	93.3
		B	0.5	3.6	17.5	41.0	59.7	79.3	91.6
23	小学校との連携に関すること	A	0.2	4.2	23.1	53.2	73.6	87.7	94.6
		B	0.1	3.0	20.2	45.9	64.5	83.7	93.1
24	研修会や学会などでの発表を行うこと	A	1.8	7.3	24.2	43.5	59.0	78.3	93.6
		B	0.4	4.6	16.2	33.9	50.7	71.7	89.3
25	保育士の自己評価について確認や助言を行うこと	A	0.2	4.0	18.3	38.5	57.8	78.6	97.1
		B	0.1	1.7	11.0	27.3	45.0	68.4	93.3

経験年数にかかわらず、「(壁面や季節に応じた装飾、掃除など)保育室や保育所内の環境を整備すること」で50%を超えたのは、「Σ1年以上3年未満」であった。また、経験年数にかかわらず、「3歳未満児クラスの主担任」「3歳以上児クラスの主担任」「子どもの情緒の安定を図ること」「子どもの生命の保持を図ること」「子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること」「子どもの病気やケガへの対応を判断すること」「指導計画を作成すること」「おたより等の保護者向けの書類を作成すること」で50%を超えたのは、「Σ3年以上5年未満」であった。

同様に、「乳児クラスの主担任」「指導計画の確認や助言を行うこと」「実習生の指導を行うこと」「新人保育士の指導を行うこと」「保護者からの相談への対応に関すること」「障害のある子どもの保育に関すること」で50%を超えたのは「Σ5年以上7年未満」、行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと」「保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること」「地域の保護者等に対する子育て支援」「研修会や学会などでの発表を行うこと」で50%を超えたのは「Σ7年以上10年未満」であった。

経験年数による違いが見られたのは6つの業務であった。「(食事や排泄、着替えなど)子どもの基本的な生活習慣の支援をすること」と「遊具の安全管理を行うこと」では、7年未満の保育士(A票の回答者)は「Σ1年以上3年未満」、7年以上の保育士(B票の回答者)は「Σ3年以上5年未満」で50%を超えた。「職員間の連絡調整等を行うこと」では、7年未満の保育士(A票の回答者)は「Σ3年以上5年未満」、7年以上の保育士(B票の回答者)は「Σ5年以上7年未満」で50%を超えた。

また、「新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること」と「小学校との連携に関すること」では、7年未満の保育士(A票の回答者)は「Σ5年以上7年未満」、7年以上の保育士(B票の回答者)は「Σ7年以上10年未満」で50%を超えた。「保育士の自己評価について確認や助言を行うこと」では、7年未満の保育士(A票の回答者)は「Σ7年以上10年未満」、7年以上の保育士(B票の回答者)は「Σ10年以上15年未満」で50%を超えた。

このように、経験年数による顕著な違いが見られた業務では、一貫して、7年未満の保育士(A票の回答者)の方が、7年以上の保育士(B票の回答者)よりも、少ない経験年数で「自信を持ってできるようになる」と答えていた。

### 3. 研修

「次の各業務に対するスキルアップのための研修に関して、あなたの希望と経験等についてお尋ねします。」として、該当する研修の全てに○をつけてもらった。その結果が、表II-4である。50%を超えた値のところではフォントを変えた。



表Ⅱ－４ 研修の希望と経験の割合（％）

			希望	園内研修経験	園外研修経験	自己研鑽経験
1	乳児クラスの主任	A	58.3	14.6	23.6	18.0
		B	49.4	25.1	48.3	32.5
2	3歳未満児クラスの主任	A	54.0	13.7	22.5	19.2
		B	43.4	24.8	45.4	33.8
3	3歳以上児クラスの主任	A	55.8	14.6	22.1	20.3
		B	42.7	23.6	43.6	32.2
4	子どもの情緒の安定を図ること	A	53.9	19.4	34.1	14.6
		B	45.0	30.6	52.4	25.2
5	子どもの生命の保持を図ること	A	45.9	20.3	32.2	12.0
		B	40.8	32.5	51.0	21.5
6	(食事や排泄、着替えなど) 子どもの基本的な生活習慣の支援をすること	A	34.6	18.4	22.2	18.7
		B	26.9	28.0	36.9	28.1
7	子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること	A	60.0	21.6	42.7	22.0
		B	46.8	33.3	56.1	35.4
8	(壁面や季節に応じた装飾、掃除など) 保育室や保育所内の環境を整備すること	A	27.4	16.6	13.0	27.6
		B	21.9	24.3	23.6	38.3
9	遊具の安全管理を行うこと	A	25.0	19.9	10.7	4.4
		B	24.6	30.8	24.5	10.3
10	子どもの病気やケガへの対応を判断すること	A	61.5	30.2	35.0	13.7
		B	52.7	41.0	55.2	24.3
11	行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと	A	20.9	6.7	6.4	2.5
		B	26.5	10.6	23.4	6.4
12	指導計画を作成すること	A	33.8	20.9	13.2	27.5
		B	31.1	35.2	38.2	39.7
13	指導計画の確認や助言を行うこと	A	22.8	11.6	3.5	8.5
		B	26.9	21.3	18.0	18.7
14	おたより等の保護者向けの書類を作成すること	A	25.2	10.9	4.4	20.7
		B	20.8	17.6	10.9	31.8
15	職員間の連絡調整等を行うこと	A	19.7	13.5	6.7	2.4
		B	19.6	19.3	19.9	8.0
16	実習生の指導を行うこと	A	25.2	9.4	1.0	5.1
		B	23.4	16.3	6.8	10.8
17	新人保育士の指導を行うこと	A	29.2	8.1	4.6	4.1
		B	33.7	15.9	19.3	9.6
18	新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること	A	23.6	6.4	4.4	3.9
		B	28.5	12.5	19.3	9.8
19	保護者からの相談への対応に関すること	A	56.6	17.7	24.6	8.1
		B	47.9	23.5	45.3	17.3
20	保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること	A	57.4	19.4	25.0	7.3
		B	54.1	27.1	48.2	16.5
21	障害のある子どもの保育に関すること	A	68.2	17.0	48.9	16.6
		B	60.6	30.7	69.9	30.1
22	地域の保護者等に対する子育て支援	A	32.3	5.6	12.6	2.9
		B	32.8	10.9	32.6	8.3
23	小学校との連携に関すること	A	31.5	7.3	13.2	3.1
		B	34.3	11.4	34.5	8.7
24	研修会や学会などでの発表を行うこと	A	19.1	7.3	8.1	3.6
		B	20.1	14.2	19.3	8.5
25	保育士の自己評価について確認や助言を行うこと	A	20.0	11.2	5.1	3.0
		B	31.4	20.9	20.6	10.3

## (1) 希望

「希望」欄には、希望されるすべての研修について、経験の有無を問わず（さらに研修を受けたい場合も含む）、○をつけて下さい」とした。

経験年数にかかわらず、「子どもの病気やケガへの対応を判断すること」「保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること」および「障害のある子どもの保育に関すること」では、希望が50%を超えていた。これらの業務は、多くの保育士が研修を希望している。「子どもの生命の保持を図ること」も、経験年数にかかわらず、希望が40%を超えていた。反対に、「職員間の連絡調整等を行うこと」は、経験年数にかかわらず、20%以下であった。研修が意識されにくい業務といえる

経験年数による違いを見てみよう。「乳児クラスの主任」「3歳未満児クラスの主任」「3歳以上児クラスの主任」「子どもの情緒の安定を図ること」「子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること」「保護者からの相談への対応に関すること」は、いずれも7年未満の保育士（A票の回答者）だけが50%を超えていた。これらの業務には経験年数による顕著な違いが見られたが、数値を見ると、7年以上の保育士（B票の回答者）も研修希望が40%を超えているなど、希望が高い業務には違いない。

## (2) 経験

「経験等」欄には、過去に経験された研修等のすべてに○をつけて下さい。（なお、ここで園外研修は、公費による研修に限ります。私費による園外研修や、書籍の購入等については、自己研鑽に○をつけて下さい。）とした。

園内研修の経験を見ると、50%を超えた業務は、どちらの経験年数でもなかった。園内で様々な業務に対する研修システムが確立されていないことがうかがえる。

園外研修では、次の5つの業務で50%を超えていた。すなわち、「子どもの情緒の安定を図ること」「子どもの生命の保持を図ること」「子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること」「子どもの病気やケガへの対応を判断すること」「障害のある子どもの保育に関すること」で50%を超えていた。しかし50%を超えていたのは、7年以上の保育士（B票の回答者）だけであった。また、その園外研修が、必ずしも園内研修には結びついていないことも、この表には示されている。

自己研鑽の経験で、50%を超える業務はなかった。自己研鑽も、園外研修や園内研修の経験が結びついていないことが示唆される。

## (4) 仕事への「やりがい」

「あなたは次のようなときに、仕事への「やりがい」をどの程度感じますか？該当する番号

を1つだけ選んで○をつけて下さい」として、「まったく感じない」から「非常に感じる」の6段階の評定尺度を設けた。さらに、「経験したことがない」場合は、「-」に○をつけて下さい」として、経験の有無も尋ねた。その結果が表Ⅱ-5である。横に見て、最も大きな値のフォントを変えた。

「自分の仕事で子どもが喜んだとき」「子どもの成長を感じる事ができたとき」「保護者から感謝されたとき」「他の職員との協働で目標が達成できたとき」は、勤務年数にかかわらず、「非常に感じる」という回答が最も大きい値であった。また、「給料が上がったとき」「役職があがったとき」は、勤務年数にかかわらず、「感じる」という回答が最も大きい値であった。

「上司に自分の仕事が認められたとき」と「自分に任せられた業務を全うできたとき」では、7年未満の保育士（A票の回答者）は「感じる」、7年以上の保育士（B票の回答者）は「非常に感じる」の回答が最も大きい値であった。

表Ⅱ-5 「やりがい」を感じる程度（％）

			まったく感じない	感じない	あまり感じない	まあまあ感じる	感じる	非常に感じる	経験したことがない	無回答	複数回答
1	給料が上がったとき	A	0.4	0.6	3.5	16.3	<b>39.3</b>	32.9	5.6	1.3	0.0
		B	0.2	1.5	6.5	15.7	<b>39.0</b>	34.9	1.1	1.2	0.0
2	役職があがったとき	A	0.7	3.0	6.5	16.2	<b>23.7</b>	12.9	35.2	1.8	0.1
		B	1.4	3.1	13.1	17.2	<b>26.0</b>	12.3	25.5	1.4	0.1
3	上司に自分の仕事が認められたとき	A	0.2	0.7	7.8	33.3	<b>55.4</b>	0.9	1.7	0.0	0.1
		B	0.1	0.2	1.4	7.4	36.2	<b>52.2</b>	0.7	1.7	0.0
4	自分の仕事で子どもが喜んだとき	A	0.0	0.0	0.0	2.6	19.2	<b>77.1</b>	0.0	1.1	0.0
		B	0.0	0.0	0.2	1.9	20.6	<b>76.0</b>	0.0	1.1	0.2
5	子どもの成長を感じる事ができたとき	A	0.0	0.1	0.0	1.4	17.3	<b>80.2</b>	0.0	1.0	0.0
		B	0.0	0.1	0.0	1.7	18.3	<b>79.0</b>	0.0	1.0	0.0
6	保護者から感謝されたとき	A	0.0	0.1	0.2	4.1	26.5	<b>67.2</b>	0.4	1.2	0.2
		B	0.0	0.1	0.2	4.7	27.1	<b>66.9</b>	0.0	1.1	0.0
7	自分に任せられた業務を全うできたとき	A	0.1	0.2	1.1	12.7	<b>43.2</b>	40.3	0.8	1.7	0.0
		B	0.0	0.1	1.0	9.9	41.6	<b>46.3</b>	0.0	1.1	0.1
8	責任の重い仕事や役割を任せられたとき	A	0.4	0.9	9.7	27.5	<b>34.5</b>	18.3	7.0	1.5	0.1
		B	0.7	2.1	10.5	22.3	<b>38.9</b>	21.5	2.7	1.3	0.0
9	新しい仕事や任務を任せられたとき	A	0.2	0.8	11.0	30.9	<b>35.6</b>	17.5	2.5	1.4	0.0
		B	0.5	1.4	11.1	27.5	<b>38.9</b>	17.5	1.7	1.4	0.0
10	他の職員との協働で目標が達成できたとき	A	0.1	0.0	0.8	12.8	39.1	<b>45.6</b>	0.6	1.1	0.0
		B	0.0	0.1	0.8	8.6	36.6	<b>52.3</b>	0.5	1.0	0.0

### ③考察：キャリアパスモデル

表Ⅰ-3の選択肢である1～7を間隔尺度と考えると平均値を算出し、平均値の小さい順に並べたものが表Ⅲ-1である。この表に基づいて想定したキャリアパスモデルが図Ⅲ-1である。表Ⅰ-3は、各業務を実際に行っている保育士のおおむねの勤務年数に基づくものなので、これに基づくキャリアパスを考えることは、現実に即していると考えられる。

表Ⅲ－１ 間隔尺度として算出した平均値

環境整備	2.88
基本的生活習慣支援	3.13
興味関心を持つ活動の提供	3.36
生命の保持	3.86
情緒の安定	3.90
指導計画作成	3.91
遊具の安全管理	3.98
保護者向け書類作成	4.25
障がい児保育	4.64
3歳未満児クラス主担任	4.72
3歳以上児クラス主担任	4.79
乳児クラス主担任	5.09
研修会・学会での発表	5.11
病気やケガへの対応	5.16
新人保育士 指導	5.35
実習生 指導	5.44
職員間 連絡調整	5.51
保護者 相談対応	5.52
小学校との連携	5.60
地域向け 子育て支援	5.62
指導計画確認・助言	5.67
新人以外の保育士 指導	5.77
関連各所 連絡調整	5.94
保護者 苦情・クレーム対応	6.10
自己評価 確認・助言	6.12

	環境整備	基本的生活習慣支援	興味関心を持つ活動の提供	生命の保持	情緒の安定	指導計画作成	遊具の安全管理	保護者向け書類作成	障がい児保育	3歳未満児クラス主担任	3歳以上児クラス主担任	乳児クラス主担任	研修会・学会での発表	病気やケガへの対応	新人保育士 指導	実習生 指導	職員間 連絡調整	保護者 相談対応	小学校との連携	地域向け 子育て支援	指導計画確認・助言	新人以外の保育士 指導	関連各所 連絡調整	保護者 苦情・クレーム対応	自己評価 確認・助言	
平均値	2.83	3.13	3.36	3.86	3.90	3.91	3.98	4.25	4.64	4.72	4.79	5.09	5.11	5.16	5.35	5.44	5.51	5.52	5.60	5.62	5.67	5.77	5.94	6.10	6.12	
1	1年未満																									
2	1年以上3年未満																									
3	3年以上5年未満																									
4	5年以上7年未満																									
5	7年以上10年未満																									
6	10年以上15年未満																									
7	15年以上																									
	教えてもらってできる																									
	自分自身の力できる																									
	他の保育士を指導できる																									
	保育士の集団や組織、園全体をリードできる																									

図Ⅲ－１ キャリアパスモデル案

表Ⅰ－５は、各業務を理想として任せたい保育士のおおむねの勤務年数であった。この表に基づいても、同様のキャリアパスを検討できる。表Ⅲ－１と同様に平均値を算出し、表Ⅲ－１と比較したものが表Ⅲ－２である。順位が３以上離れている業務は、「遊具の安全管理」と「保護者相談」の２つだけであった。これら２つも平均値でみると、実際と理想のどちらも、前者は３以上４以下、後者は５以上６以下と変わらない。そのため、これを基準にキャリアパスモデルを組んだとしても、図Ⅲ－１の第１行にある業務を並べる順番が若干変わるくらいで大きな変更はない。なお、平均値の切れ目については、当初理想的であったとしても、時が経てば、実際にその業務を実施している者の経験年数が上がるという点で、若干ズレがあるのは当然であろう。

表Ⅲ－２ 保育所長が判断する業務に対する難易度の順

実際			理想		
順位	業務	平均	順位	業務	平均
1	環境整備	2.88	1	環境整備	2.67
2	基本的生活習慣支援	3.13	2	興味関心を持つ活動の提供	3.20
3	興味関心を持つ活動の提供	3.36	3	基本的生活習慣支援	3.22
4	生命の保持	3.86	4	遊具の安全管理	3.63
5	情緒の安定	3.90	5	指導計画作成	3.95
6	指導計画作成	3.91	6	生命の保持	4.00
7	遊具の安全管理	3.98	7	情緒の安定	4.04
8	保護者向け書類作成	4.25	8	保護者向け書類作成	4.13
9	障がい児保育	4.64	9	3歳以上児クラス主担任	4.35
10	3歳未満児クラス主担任	4.72	10	3歳未満児クラス主担任	4.59
11	3歳以上児クラス主担任	4.79	11	障がい児保育	4.61
12	乳児クラス主担任	5.09	12	病気やケガへの対応	4.64
13	研修会・学会での発表	5.11	13	研修会・学会での発表	4.87
14	病気やケガへの対応	5.16	14	乳児クラス主担任	4.99
15	新人保育士 指導	5.35	15	実習生 指導	5.03
16	実習生 指導	5.44	16	新人保育士 指導	5.07
17	職員間 連絡調整	5.51	17	職員間 連絡調整	5.09
18	保護者 相談対応	5.52	18	小学校との連携	5.18
19	小学校との連携	5.60	19	地域向け 子育て支援	5.22
20	地域向け 子育て支援	5.62	20	指導計画確認・助言	5.29
21	指導計画確認・助言	5.67	21	保護者 相談対応	5.40
22	新人以外の保育士 指導	5.77	22	新人以外の保育士 指導	5.50
23	関連各所 連絡調整	5.94	23	関連各所 連絡調整	5.60
24	保護者 苦情・クレーム対応	6.10	24	保護者 苦情・クレーム対応	5.78
25	自己評価 確認・助言	6.12	25	自己評価 確認・助言	5.91

保育士編でも「次の各業務を自信を持ってできるようになるには、おおむね何年の経験が必要だと思いますか」として、全く同じ選択肢で調査していた。そこで、同様に平均値を算出し、難易度の順に並べてみた。その結果が表Ⅲ－３である。全業務の平均値の高い順に、保育所長判断の実際、保育所長判断の理想、7年以上の経験を持つ保育士の判断（B）、7年未満の経験を持つ保育士の判断（A）とした。

保育所長判断の理想と7年以上の保育士の判断で順位で3段階以上離れているのは、6つの業務であった。このうち「障害児保育」「研修会・学会での発表」の2つは、保育所長の理

想の方が順位が高かった。「職員間 連絡調整」「指導計画確認・助言」「保護者 相談対応」「新人以外の保育士指導」は、7年以上の経験を持つ保育士の判断の方が順位が高かった。

7年以上と7年未満の保育士の判断で、順位で3段階以上離れているのは、「職員間 連絡調整」だけであった。

しかしながら、平均値の範囲で見ると、これらの乖離はそれほど大きなものではなかった。そこで、保育士の自信に配慮する意味で、図III-1のキャリアパスモデルを修正するのであれば、修正点は1つだけである。すなわち、障害児保育の位置を少し右に動かすことが適当かもしれない。

表III-3 業務の難易度に関する評価

保育所長		保育士（自信を持ってできるようになる経験年数）					
実際に行っている		理想として任せたい		B（7年以上）		A（7年未満）	
環境整備	2.88	環境整備	2.67	環境整備	2.40	環境整備	2.19
基本的生活習慣支援	3.13	興味関心を持つ活動の提供	3.20	基本的生活習慣支援	2.72	遊具の安全管理	2.47
興味関心を持つ活動の提供	3.36	基本的生活習慣支援	3.22	遊具の安全管理	2.81	基本的生活習慣支援	2.47
生命の保持	3.86	遊具の安全管理	3.63	興味関心を持つ活動の提供	2.94	興味関心を持つ活動の提供	2.75
情緒の安定	3.90	指導計画作成	3.95	指導計画作成	3.04	指導計画作成	2.80
指導計画作成	3.91	生命の保持	4.00	保護者向け書類作成	3.17	保護者向け書類作成	2.81
遊具の安全管理	3.98	情緒の安定	4.04	生命の保持	3.27	情緒の安定	2.96
保護者向け書類作成	4.25	保護者向け書類作成	4.13	情緒の安定	3.35	生命の保持	2.96
障がい児保育	4.64	3歳以上児クラス主担任	4.35	3歳以上児クラス主担任	3.63	病気やケガへの対応	3.46
3歳未満児クラス主担任	4.72	3歳未満児クラス主担任	4.59	3歳未満児クラス主担任	3.67	3歳未満児クラス主担任	3.48
3歳以上児クラス主担任	4.79	障がい児保育	4.61	病気やケガへの対応	3.70	職員間 連絡調整	3.56
乳児クラス主担任	5.09	病気やケガへの対応	4.64	乳児クラス主担任	3.93	3歳以上児クラス主担任	3.57
研修会・学会での発表	5.11	研修会・学会での発表	4.87	実習生 指導	3.93	実習生 指導	3.71
病気やケガへの対応	5.16	乳児クラス主担任	4.99	職員間 連絡調整	4.05	乳児クラス主担任	3.72
新人保育士 指導	5.35	実習生 指導	5.03	新人保育士 指導	4.19	新人保育士 指導	3.98
実習生 指導	5.44	新人保育士 指導	5.07	障がい児保育	4.30	保護者 相談対応	3.99
職員間 連絡調整	5.51	職員間 連絡調整	5.09	指導計画確認・助言	4.39	指導計画確認・助言	4.02
保護者 相談対応	5.52	小学校との連携	5.18	保護者 相談対応	4.44	障がい児保育	4.13
小学校との連携	5.60	地域向け 子育て支援	5.22	新人以外の保育士指導	4.63	新人以外の保育士指導	4.25
地域向け 子育て支援	5.62	指導計画確認・助言	5.29	小学校との連携	4.67	小学校との連携	4.44
指導計画確認・助言	5.67	保護者 相談対応	5.40	地域向け 子育て支援	4.80	地域向け 子育て支援	4.54
新人以外の保育士指導	5.77	新人以外の保育士指導	5.50	関連各所 連絡調整	4.96	関連各所 連絡調整	4.58
関連各所 連絡調整	5.94	関連各所 連絡調整	5.60	研修会・学会での発表	5.01	保護者 苦情・クレーム対応	4.63
保護者 苦情・クレーム対応	6.10	保護者 苦情・クレーム対応	5.78	保護者 苦情・クレーム対応	5.04	研修会・学会での発表	4.71
自己評価 確認・助言	6.12	自己評価 確認・助言	5.91	自己評価 確認・助言	5.35	自己評価 確認・助言	4.97
平均	4.86	平均	4.64	平均	3.94	平均	3.65



# 第4章

## 調査結果の考察及び課題





## 1. 仕事への「やりがい」について

田中浩二

今日の保育における社会的課題の一つに待機児童が取り上げられるようになって久しい。その背景としては、共働き世帯の増加や女性の社会進出が代表的な要因として考えられ、このような保育需要に対応すべく、保育の現場では新設園の開設や定員の増加など保育の量的拡大によって待機児童の解消を図っている。その一方で、保育士の不足が露呈しており、平成22年に厚生労働省委託調査研究として公表された「平成21年度保育士の需給状況等に関する調査研究報告書」においては、離職率等を考慮して推計される平成29年度の保育士数は38.6万人に対して、平成29年末に必要とされる保育士数は約46.0万人と推計され、約7.4万人の不足が予測されている。これら報告等を受けて、平成25年10月、厚生労働省は「保育を支える保育士の確保に向けた総合的取組」を取りまとめ、国として保育士の人材確保に向けて総合的に取り組む方向を示した。

保育士不足の解消や保育士の人材確保に対する取組みとしては、いくつかの方向性が検討される。第1には、大学や短期大学等の保育士養成校を卒業する新人保育士の確保である。平成26年4月時点で、全国622の保育士養成校があり、定員規模で換算すると約5万6000人の保育士資格取得者および幼稚園教諭免許取得者が養成されている。一方で、具体的な数字は明らかではないが、保育士を養成する大学や短期大学等を卒業した後に、保育所や幼稚園等に就職をしない卒業生も相当数いることが推測されている。資格を取得するがその事が就職に結びつかない要因は定かではないが、保育士養成校に所属する学生が希望を持って働くことができる魅力ある現場づくりを展開していくことが必要であろう。

第2には、特には出産や育児で保育の現場を離れてしまった保育士の確保・掘り起こしである。資格を持っているが保育士として就労していない保育士、いわゆる潜在保育士は60万人超とも言われ、潜在保育士の復帰支援を行うことで、これらのマンパワーを有効に活用することも重要な方策と考えられる。

第3には、現在働いている保育士が働き続けられる職場環境・労働環境を整えることである。厚生労働省は、「待機児童解消加速化プラン」を着実なものにしていくための計画として、平成27年1月「保育士確保プラン」を策定し、先の保育士の人材育成や再就職支援も含み、離職防止のための研修支援や就業継続を図るための各種助成の活用促進を図った就業継続支援や、働く職場の環境改善、保育士の処遇改善など、さまざまな側面から働き続けやすい職場環境・労働環境を作っていこうとする取組みが進められ、今後の成果が期待される場所である。

人材育成や再就職の支援、離職防止のための職場環境・労働環境の整備が政策を中心に図ら

れようとする一方で、仕事に対する「動機」や「やりがい」といった内的側面にも目を向ける必要がある。特に、保育や介護、看護などの対人業務においてはその傾向が強く、本調査研究結果（表1）からも見て取れる。

表1 仕事への「やりがい」を感じる程度（再掲）

項目	経験年数	まったく感じない	感じない	あまり感じない	まあまあ感じる	感じる	非常に感じる	経験したことがない
1 給料が上がったとき	A	0.4	0.6	3.5	16.3	<b>39.3</b>	32.9	5.6
	B	0.2	1.5	6.5	15.7	<b>39.0</b>	34.9	1.1
2 役職があがったとき	A	0.7	3.0	6.5	16.2	23.7	12.9	<b>35.2</b>
	B	1.4	3.1	13.1	17.2	<b>26.0</b>	12.3	25.5
3 上司に自分の仕事が認められたとき	A	0.2	0.7	7.8	33.3	<b>55.4</b>	0.9	1.7
	B	0.1	0.2	1.4	7.4	36.2	<b>52.2</b>	0.7
4 自分の仕事で子どもが喜んだとき	A	0.0	0.0	0.0	2.6	19.2	<b>77.1</b>	0.0
	B	0.0	0.0	0.2	1.9	20.6	<b>76.0</b>	0.0
5 子どもの成長を感じることができたとき	A	0.0	0.1	0.0	1.4	17.3	<b>80.2</b>	0.0
	B	0.0	0.1	0.0	1.7	18.3	<b>79.0</b>	0.0
6 保護者から感謝されたとき	A	0.0	0.1	0.0	4.1	26.5	<b>67.2</b>	0.4
	B	0.0	0.1	0.0	4.7	27.1	<b>66.9</b>	0.0
7 自分に任せられた業務を全うできたとき	A	0.1	0.2	1.1	12.7	<b>43.2</b>	40.3	0.8
	B	0.0	0.1	1.0	9.9	41.6	<b>46.3</b>	0.0
8 責任の重い仕事や役割を任せられたとき	A	0.4	0.9	9.7	27.5	<b>34.5</b>	18.3	7.0
	B	0.7	2.1	10.5	22.3	<b>38.9</b>	21.5	2.7
9 新しい仕事や任務を任せられたとき	A	0.2	0.8	11.0	30.9	<b>35.6</b>	17.5	2.5
	B	0.5	1.4	11.1	27.5	<b>38.9</b>	17.5	1.7
10 他の職員との協働で目標が達成できたとき	A	0.1	0.0	0.8	12.8	39.1	<b>45.6</b>	0.6
	B	0.0	0.1	0.8	8.6	36.6	<b>52.3</b>	0.5

注1：表中の数字は各項目の各経験年数における回答の割合である。

注2：選択肢の「無回答」は掲載していないため、各項目の合計は100%にならない。

注3：経験年数Aは経験年数7年未満、経験年数Bは経験年数7年以上を意味する。

注4：各項目の各経験年数で最も高い値を示した欄のフォントを変えた。

表1にも記載されているように、「4：自分の仕事で子どもが喜んだとき」や「5：子どもの成長を感じることができたとき」、「6：保護者から感謝されたとき」の3項目において「非常に感じる」の回答の割合が高い。これらの項目はいずれも自分自身の業務に対する職場からの評価などではなく、仕事の対象となる保護者や子どもの肯定的な反応や変化となっている。また、この結果は経験年数による違いも見られないことから、いわゆる保育士の仕事の「やりがい」に結びつく大きな要素であると考えられる。

一方で、経験年数の違いが現れた項目は、「役職があがったとき」および「上司に自分の仕事が認められたとき」、「自分に任せられた業務を全うできたとき」の3項目であり、相違の内容については、「役職があがったとき」は経験年数7年未満の回答者で「経験したことがない」が多く、「上司に自分の仕事が認められたとき」と「自分に任せられた業務を全うできたとき」では経験年数7年以上の方が「非常に感じる」の割合が高くなった。これらの項目は、先の保護者や子どもからの肯定的な反応とは異なり、いわゆる自身の仕事に対する組織的な評価に関連するものである。

これらのことから保育士が「やりがい」を感じる内容については、保育士が本質的に感じる「やりがい」があると同時に経験年数に依存する側面もあることが明らかになった。保育士の就業の継続や本調査研究の趣旨である保育士のキャリアパスの構築を考えたとき、保育士が共通して持つ「やりがい」を感じる機会を多く持つことができるような配慮とともに、経験に応じて感じる「やりがい」を意図的に強化していくことも一考であると考えられる。

## 2. 研修について

千葉武夫

保育所保育指針に「保育所は、質の高い保育を展開するため、絶えず、一人一人の職員についての資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るよう努めなければならない」と明記され、保育の質の向上のために、保育所が組織としての職員の教育・研修をすることが求められている。ここでは保育園の所長と保育士に対して実施した調査結果をもとに、「キャリアパス」や今後の研修のあり方について、次の7つの面から検討する。

### ①保育士の「キャリアパス」について、理解を深める研修が必要である。

所長に対して「これまで『キャリアパス』に対してご存知でしたか」と尋ねたところ54.1%の人が知っていると回答した。さらに、その理解の程度について尋ねたところ「自分なりに理解している」が66.7%、「他人に説明できる」が9.8%であった。保育の分野における「キャリアパス」の言葉や内容そのものの理解が深まっていないことがわかった。このことから、「キャリアパスとは何か」「研修はなぜ必要か」等といった研修がまず必要であり、研修や「キャリアパス」に対するの周知が求められる。

### ②研修をする時間を確保するためのモデル等を示すこと。

所長に対して「保育士がキャリアパスを構築していくためには、どの要素が必要になるか」との設問をしたところ、「最低基準以上の職員配置」「給与に加算するための補助金」「研修を可能にするための補助金」「研修を可能にする人員配置」「保育士確保の仕組み」が、「必ず必要である」との回答が多くあった。さらに「国や自治体が保育士のキャリアパスを構築するために求められる要素」の設問に対しては、上記の「キャリアパスに対応した保育所運営費の改善」「運営費などの弾力的運用」の回答も多かった。このことから「キャリアパス」の構築のために人員配置とお金の面での配慮が必要であることが示されていた。補助金の問題は、制度改革等で検討されるとして、研修の考え方に関しては現行の制度においても対応可能な面もある。これらの周知も求められる。また、効果的に研修を実施している園の事例を紹介することも有効である。

### ③保育士の「やりがい」を意識し、保育園の運営にあたること

保育士に対して「いつまで働きたいですか」と就労の希望について尋ねた調査では、「体力の続く限りいつまでも働き続けたい」が45.4%と多く、以下順に「子どもが産まれるまで」

12.3%、「結婚するまで」と「子どもがある程度自立するまで」が10.1%であった。多くの保育士が「体力が続く限り働きたい」と考えているが、現実的には肉体的にも精神的にも重労働であることから、この職を続けることが難しい面も表われている。また、この仕事にかかわる保育士は自分の子どもの子育てを楽しみたいという意識や子育てには経済的な負担が多いと感じていることがわかる。

仕事への「やりがい」については、「子どもの成長を感じることができた」「自分の仕事で子どもが喜んだ」「保護者から感謝されたとき」「上司に自分の仕事が認められたとき」が「非常に感じる」と回答したものが多かった。保育士は、自分の仕事を子どもや保護者、職場の上司に認められた時に生きがいを感じている。専門職としての意識が、非常に高いことがわかった。

保育士の平均勤務年数が約9年であり、保育士が長期にわたって生きがいをもって働くためには「やりがい」に配慮した園運営が求められる。

#### **④保育士が必要としている研修が園内研修で十分に実施されていない現状があり、職場内の研修等の内容を工夫すること。**

研修の希望については、経験年数に関わらず「子どもの病気やケガへの対応を判断すること」「保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること」「障害のある子どもの保育に関すること」が50%を超えていた。園外研修の経験としては、「子どもの情緒の安定を図ること」「子どもの生命の保持を図ること」「子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること」「子どもの病気やケガへの対応を判断すること」「障害のある子どもの保育に関すること」で7年以上の保育士が50%を超えていた。しかし、園内研修の最高値は「子どもの病気やケガへの対応を判断すること」7年以上の保育士が41%であり、研修との関係性が保たれているとは言えない。自己研鑽についても、40%を超えてしている項目はなく、園外研修や園内研修の経験が結びついていないことがわかった。

#### **⑤自治体や各団体が実施する研修内容が、保育士が求めている内容と合致しているとはいえないので、新人研修、主任研修等の研修体系の構築の際に根拠をもったものになるようにすること。**

表Ⅲ—1、表Ⅲ—2、表Ⅲ—3で提示された「キャリアパスのモデル（案）」は、全国の所長510人、保育士1,850人に対する意見を総括し作成したものである。現在、各自治体や保育団体や保育所等で行っている研修については、保育士の勤務年数に添った内容や新たな保育ニーズに合わせて研修計画や研修体系を作成している。しかし、実際に現場の保育士が必要としている研修ニーズを把握して研修計画や研修体系を作成しているわけではない。保育士のニーズと保育士の生きがいに即した研修体系が作成されることが、保育の質の向上につながると思

われる。今回示した「キャリアパスのモデル（案）」は、一つの方向性を示すものになるであろう。今後の課題としては、各項目の内容について整理する必要があるだろう。経験年数の短い者と長い者は同じ研修を受けたとして感じることは違うであろうし、経験年数の高い者はより内容の深い研修内容が求められるであろう。このことから、項目ごとに、その研修内容について検討する必要がある。

#### **⑥研修の内容や方法について、保育士が研修参加後の自己評価を行い振り返るなど、研修内容を身につけ実感がわくように工夫すること。**

「研修を受ける」という言葉をよく聞く。しかし、それは受け身の表現となっている。研修は自分のためにするものである。自ら「研修をする」というように保育士の研修に対する意識改革がもとめられる。また、研修の方法についても講義形態で一方的に聞く形態が多い。研修の分野にもよるが、保育士が研修に参画し、新たに知見を創り出すスタイルの研修も必要ではないだろうか。そして、研修を受けた後、単に報告したり、そのまま保育に活用したりするだけでなく、園の状況にあわせて自分なりに工夫をして実践し、反省・評価をするなど、その後も向上していくことが可能な園の体制を構築することが必要である。

#### **⑦園での研修計画を明確化し、個人の研修記録を作成すること。**

保育所保育指針には、「保育実践や研修などを通じて保育の専門性などを高めるとともに、保育実践や保育の内容に関する職員の共通理解を図り、協働性を高めていくこと」「常に自己研鑽に努め、喜びや意欲を持って保育に当たること」とある。このためには、どのような人材を育成したいのかを明らかにし、組織として研修の目標を立て、目標達成に向けた計画を策定しなければならない。また、個々の保育士に対する教育・研修について計画を策定し、記録することも重要なことである。

### 3. 保育現場から—広島県福山市富士保育園から—

高橋英治

保育士の専門性ということが言われて久しい。

取り巻く社会情勢が大きく変化し、女性の自己実現や社会進出が進んできたことや少子化による子どもたちの環境整備のため保育所の役割が大切になってきたのは、1994年のエンゼルプランが大きな起点ではないかと考える。

保育所へのニーズが多様化する中で、保育の専門性・質の向上ということが重要になり、保育士の資格問題やキャリアパスという議論もされてきた。

この度、「保育士のキャリアパスに関する調査研究」に関わってみて、現場の実感や課題、当方の若干の事例も踏まえて考察してみたい。

#### 【保育士の仕事】

改めて、保育士の仕事というものについて整理してみた。

- ①子どもに基本的な生活習慣を身につけさせる（幼児期に身につけることが重要とされる、食事・睡眠・排泄・清潔・衣類の着脱の5つ。）
- ②子どもの身の回りの世話（子どもの健康状態や行動を常にチェックしながら、子どもが求めているものを適切に満たしていく。子どもの気持ちを理解する姿勢が大切。）
- ③集団生活を通じ社会性を養わせる（遊びを通して社会性を教えたり、地域とのふれあいを通して社会性を養っていく。）
- ④遊びを通して心身の発達を促す（子どもが心身共に健やかに成長する遊びの計画を立て、働きかけていく。）
- ⑤保護者へのアドバイス・サポート（連絡帳などを通じて一日の報告をしたり、質問や相談へのアドバイスを行う。）
- ⑥地域との連携（園庭開放や体験保育など、地域と連携しての保育業務。イベントを行う。）

#### 【課題】

このような業務内容を確認したうえで、さらに詳細な業務を専門的、かつ技術的な観点から洗い出し、分析していくことが前提になるのではなかろうか。

さらに、業務を分析する際に、職種によるタイムスタディーも大変重要になると思う。保育所においては調理員については時間軸を追って分析することはある程度可能である。(別紙1：2003年に実施した当保育園における調理員のタイムスタディ参照)



しかし、保育士にあつては様々な動きが求められており、調理員のように業務を図ることが非常に難しい課題がある。

また、保育士は、加算による主任保育士の位置付けはあるものの、基本的には一職種であり、雇用形態が常勤か非常勤かの違いしかなく、経験年数や子育て経験等による極めて属人的要素が強いことが多い。

当方では、同じ業務をしているにもかかわらず、雇用形態の違いにより給与が異なる（月給か日給か）ことを是正するため、また、公立保育所の法人移管を受け、複数施設を運営することになったため、平成19年度より、職能資格等級制度を策定し、自己評価をベースとした人事考課を実施し、常勤と非常勤の業務の役割を明確にし、更に、常勤職員を段階的に分けてキャリアパスできるよう模索している。（別紙2：職能等級制度表参照。）

こういったことは、保育所の規模に関係なく、職員数の少ない保育所であっても、国のレベルとして見える形で体系化することが望ましい。

他方、看護の世界は、看護基礎教育カリキュラムが平成8年に改正されて数年が経過し、新人看護職員の臨床実践能力の低下が著しく、早急な対応が不可欠となり、看護基礎教育の充実に関する検討会報告書において、看護基礎教育卒業時に看護学生が習得しておく必要がある技術（Ⅰ：単独で実施できる。Ⅱ：看護師・教員の指導のもとで実施できる。Ⅲ：学内演習で実施できる。Ⅳ：知識としてわかる。）と到達度が明確にされた。

今回の「保育士のキャリアパスに関する調査研究」におけるアンケート結果について、25項目の問いに対し、項目による到達目標年次が見えてきた。

その一つ一つの項目への達成度を確認する指標を、研修体系の在り方とともに検討しなければならないのではなかろうか。

### **【保育の質の向上と処遇改善にむけて】**

キャリアパスとは、一般的に、①仕事を通じてその人の経験が増していくこと、②自己啓発によってその人のスキル（能力）が増すこと、③資格を取ることによってその人の活動範囲が広がること、である。

今回の調査研究のデータを参考に、保育士の業務を洗い出し、分析し、達成度を体系化し、それに基づく研修体系を国レベルで構築することが、保育士のキャリアパスを構築し、ひいては保育士の処遇改善への糸口になることを期待したい。

別紙1

富士保育園調理員タイムスタディ(2003年8月29日(金))

(メニュー ※完全給食)エビフライ、ポテトサラダ、ミニトマト、冷凍みかん (午前おやつ)牛乳、メロン (午後おやつ)ミルク、じゃこトースト

	A(フルタイム)	B(フルタイム)	C(フルタイム)	D(9時~13時)		A(フルタイム)	B(フルタイム)	C(フルタイム)	
8:00					14:00	↓	↓	↓	
8:05		手洗、身支度	手洗、身支度		14:05	書類	おやつ仕上	片付	
8:10		米おかゆ洗米	機械作動準備		14:10	展示ボード記入	洗物、片付	↓	
8:15		野菜切り圧かける	お茶沸かす		14:15		食器数え用意	反省報告書記入	
8:20	手洗、身支度		フライヤー油入れ		14:20		コンベクション洗い	↓	
8:25	↓ 洗い	↓	調味料計量		14:25		書類(オリジナル献立)	給食予定献立表作成	
8:30	↓ 野菜下処理	コップ皿準備	↓ レモン絞り		14:30		おやつ準備		
8:35	発注確認	おやつ作り	↓ 人参切る		14:35		(パンを切って盛付)		
8:40	食材受入・お茶冷す	(後期のおやつ)			14:40			↓	
8:45					14:45	↓		おやつ準備	
8:50	食材受入	メロン切り盛付	じゃがいも切る	手洗、身支度	14:50	おやつ準備			
8:55				玉ねぎみじん切り	14:55				
9:00				ハム	15:00	↓	↓	片付	
9:05			きゅうり切る	えび下処理	15:05	おやつ在庫チェック	書類パソコン	↓	
9:10		牛乳お茶準備			15:10	月末締書類	(離乳食のもの)	おやつ当番	
9:15	除去食下ごしらえ	離乳食(初・中期)作る			15:15			盛付	
9:20		(汁、おもゆ、煮付)	トマト熱湯準備	衣の準備	15:20			片付	
9:25	↓	↓	フライヤーセット		15:25	予習(月曜日離乳食)			
9:30	揚げ物 除去食(完了期)		じゃがいも潰し	エビフライ揚げ	15:30				
9:35		後期食作る	↓		15:35	洗物、片付			
9:40		(汁、甘煮、パーク)	きゅうり切る		15:40				
9:45			塩もみ		15:45				
9:50		果物、おかゆ盛付	熱湯消毒		15:50				
9:55		完了期作る	しぼる		15:55				
10:00	米計量・洗い	洗淨、片付	↓ 玉ねぎしぼる		16:00	トイレ掃除			
10:05	除去食仕上げ	厚の用意	みかん洗う		16:05				
10:10		(コップ茶碗等)	切る		16:10	↓ 洗濯物			
10:15					16:15	↓		書類コピー	
10:20		盛付	↓ サラダ調味		16:20	片付			
10:25	除去食確認(仕上げ)				16:25	・流し台		片付・3未食器	
10:30	↓				16:30	・拭き		洗浄機	
10:35	盛付 3未切る			3未配膳	16:35	・掃除機		拭き掃除	
10:40	3未配膳	↓	片付		16:40	・ごみ箱		ゴミ集め	
10:45		ごはんつぐ	拭き		16:45			ゴミ捨て	
10:50	除去食配膳	お茶用意			16:50			モップかけ	
10:55	↓	片付、洗淨			16:55			窓拭き	
11:00	洗物片付		棚のタオル替え	フライヤー片付	17:00				
11:05			棚の掃除	洗物	17:05		片付		
11:10			↓	コンロ周り片付	17:10		離乳食献立作成		
11:15	展示食撮影	↓	展示食盛付		17:15	↓			
11:20	明日の打合せ	おやつ準備(延長)	↓ 翌日打合せ		17:20	戸締り確認			
11:25	幼児配膳	↓			17:25				
11:30		0、1歳児食事見学	3歳配膳		17:30		電気、戸締り確認	↓	
11:35			↓ 伝票整理		17:35				
11:40			↓ 伝票整理	配膳	17:40				
11:45	ミルク計算・計量		4歳配膳	片付	17:45				
11:50	↓		↓	洗物	17:50				
11:55	フライヤー片付		グリストラップ掃除		17:55				
12:00		片付、洗物			18:00				
12:05		食事	↓ タオル干す						
12:10			↓						
12:15			フライヤー掃除						
12:20									
12:25		片付、洗物	↓ 食事						
12:30		(食器、バット洗う)							
12:35		お茶作る							
12:40	↓ 食材受入	洗物、ミルク作り	↓						
12:45	冷蔵庫在庫整理	午後おやつ作り	食器洗い	食事					
12:50									
12:55	↓								
13:00	食事	↓ ミルク作り							
13:05	↓								
13:10	ランチルーム掃除	洗物							
13:15									
13:20			↓						
13:25		↓	おやつ作り						
13:30		片付							
13:35	おやつ作り	除去のおやつ作り							
13:40	↓								
13:45		片付							
13:50		後期おやつ作り							
13:55									

※ 参考資料 離乳食...			
	初期食 1人		
	中期食 2人		
	後期食 5人		
	完了期食 3人		
アレルギー	卵	牛乳	その他
0、1歳児	A ×(つなぎ菓子○)	沸騰牛乳	
	B ×(つなぎ菓子○)	沸騰牛乳	
	C ×(つなぎ菓子○)	○	
	D ×(つなぎ菓子○)	×(つなぎ○)	乳製品×
	E ×(つなぎ菓子○)	○	小麦△
	F ×(つなぎ菓子○)	○	
	G ○	×	脱脂粉乳×
2歳児	H ×(つなぎ菓子○)	○	エビ×
	I ×	○	除去パン
	J 生卵×(マヨネーズ)	○(1回50ml)	
3歳児	K 生卵×(マヨネーズ)	○	
	L 生卵×(マヨネーズ)	○	
	M 生卵×(マヨネーズ)	○	
	N 生卵×(マヨネーズ)	沸騰牛乳	
	O		牛肉 ゼラチン×
4歳児	P		牛肉 ゼラチン×
	Q ×(つなぎ菓子○)	○	大豆△油△エビ△
	R 生卵×(マヨネーズ)	○	
	計18人		

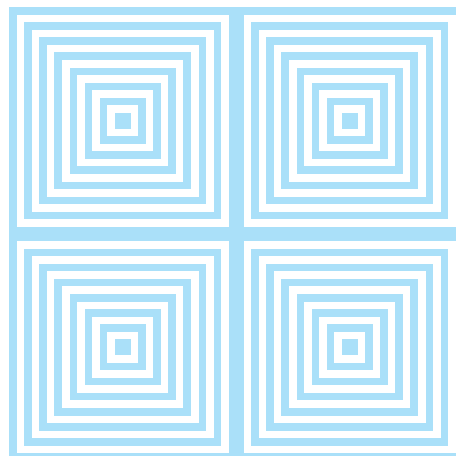
別紙2 富士保育園 人事考課

職能資格等級制度表

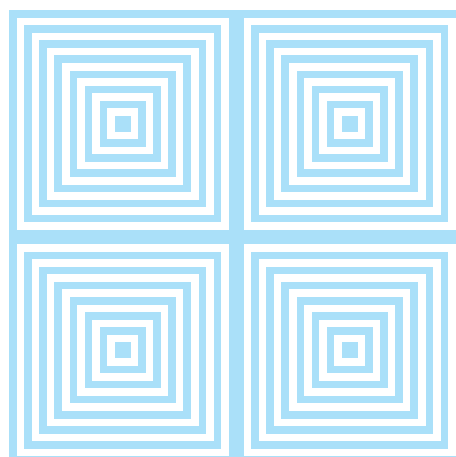
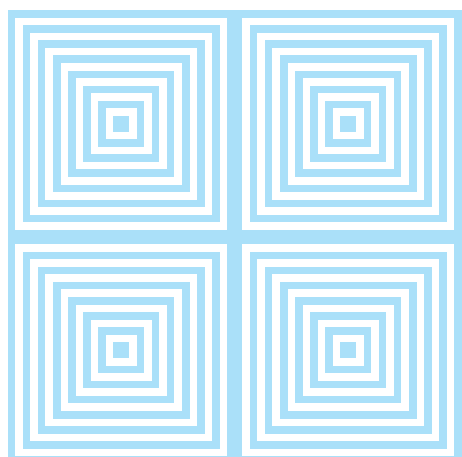
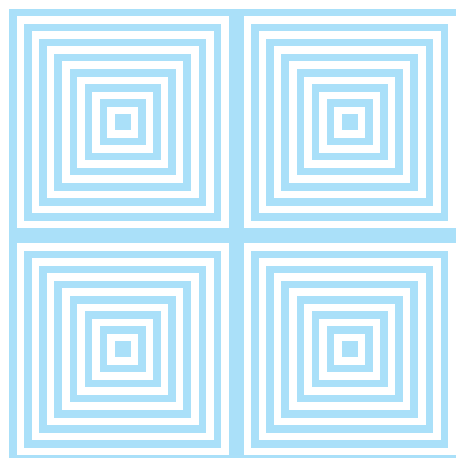
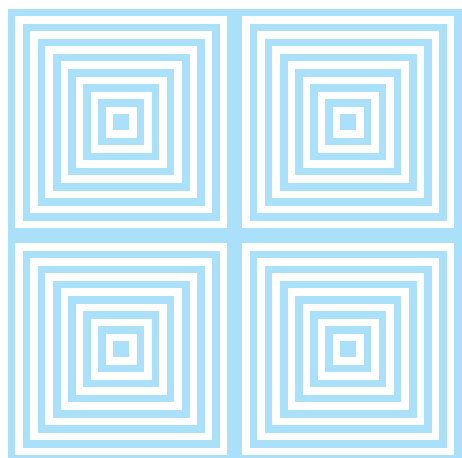
職掌	等級	職能基準		賃金制度	人材育成制度		人事考課制度	職員管理制度		
		基本業務	能力像(職員像)		OFF-JT(研修)	OJT		職位	最低滞留年数	昇給・昇格要件 人事考課評価者
管理職	6級	経営管理	能力像(職員像) ①戦略的な経営計画の企画・立案・推進ができる。 ②人事・労務管理ができる。 ③危機管理ができる。	職能給 6級	所長 経営者	0JT 委員会(発表)	昇給・昇格考課 (賞与考課)	園長 副園長		
	5級	監督業務	①指導・監督力がある。 ②事業計画策定への提言能力がある。 ③職場の維持管理・人間関係まで含めた総合的な労務管理において、適切な判断・対応がとれる。 ④上級者不在時の災害発生時に指揮をとれる。 ⑤プロジェクト管理能力がある。	5級	マネージャー 主任	園内研(実践) 委員会(発表) 3分レポ ロープレ 目標管理	能力40 実績50 情意10 (実績評価)	主任 副主任	論文 面接 人事考課 1次評価・副園長 2次評価・園長	
	4級	計画指導業務	①実務に関する高度な知識及び高度な経験をもち、複雑な判断を要する業務を遂行できる。 ②比較的难度の高い課題について、グループをまとめ問題解決にあたることができる。 ③下級者の指導を責任者として行う段階。	4級	中堅 主任 保育特別講座		能力40 実績40 情意20 (実績評価)	リダー チーフリダー	2年	論文 面接 人事考課 1次評価・主任・副主任 2次評価・園長・副園長
一般職	3級	判断業務	①実務に関する比較的高度な知識及び比較的高度な経験をもとに、応用的判断を要する業務を遂行できる。 ②問題解決技法を身に付け、業務の改善や問題解決を実践できる。 ③下級者に、自己の経験を生かし指導できる。	3級	子育て支援		能力30 実績30 情意40 (実績評価)	中級	1年	人事考課 1次評価・リーダー 2次評価・主任・副主任
	2級	定型業務	①社会人・組織人・社会福祉職員として、自己を確立する。 ②通常の業務に精通し、日常の定型業務を独立して遂行できる。 ③下級者に、自己の経験を生かしアドバイスできる。	2級	障害児 乳児			初級	1年	
	1級	基本補助業務	①社会人・組織人・社会福祉職員としての基本的スタンスを確立する。 ②実務に関する基礎的知識・技術を習得し、一般的な判断を要する基本的または補助的業務を遂行できる。 ③対人援助技術の基本を身につける。	1級	若手 保育補助 新人				初級	2年

★OFF-JT…水鼓・救急

# 第5章



## ヒアリング調査について





## 第5章 ヒアリング調査について

溝口 元

### 1. はじめに

保育士のキャリアパスに関するヒアリング調査を調査票調査の補完として、民間の認可保育所で長年にわたり勤続した方を対象に人生における保育現場の意味、長期勤続が達成できた秘訣などキャリア形成、キャリアパスを検討する際に参考になり得る情報を得るため実施した。

ヒアリング対象者は、日本保育協会が認可保育所を会員とする全国団体であることから、民間の認可保育所の中で日本保育協会の会員施設から紹介・推薦を受けた経験豊かかつ調査の趣旨をご理解頂け、協力を惜しまれない保育士（経験者）から日本保育協会が選定し、許諾が得られた方に対して行った。

その際、ヒアリングの対象者を次の3つのカテゴリーに分け選定させて頂いた。

1. 長期にわたって保育業界で勤務を続けられた方。目安は、保母（保育士）として、およそ20歳で着任されていると考え、40年間勤続された60歳前後の方ということになる。いわば人生の大半を就労としては保育の世界に捧げて来られた方である。国からの叙勲をキャリアパスの最終段階の一つと考えれば、叙勲経験者も調査対象候補者に含まれる。その際、職階的には主任保育士でも、叙勲の前後に園長に就任していても構わない。長期にわたり認可保育所の保育士を続けたことがポイントとなる。40年間保育一筋の勤続者がイメージである。
2. 1に準ずる、30年間程度の勤続経験がある保育士。現役中であることが望ましい。30年程度の保育現場経験者となると年齢的には50歳代が目安である。結婚・子育てなど人生のイベント等のため一定期間保育の世界から遠ざかっていた方で復職された方でも構わない。保育士としての功績が評価された厚生労働大臣表彰、日本保育協会の永年勤続保育者表彰なども調査対象として考えられる。
2. もう一人。現職保育士の方で20年の経験がある方。この方には保育の現場におられて、思いつくままお話し頂ければと思う。

以上、キャリアパスに関する調査として、調査票調査と同時に保育士へのヒアリング調査を3名の方に行う。この調査の最終的な目標は、現在、保育所に就職しても10年以内の比較的早

期に辞めてしまう方が少なくないことから、離職の防止や就労の継続に繋がるようなことをお聞きすることができればと考えた。看護や介護においてはこうした分析がすでになされているが、同じようなこともあれば、異なる事情があるかもしれない。

こうしてまず、首都圏の3保育所に勤務する3人の保育士の方にヒアリングを行った。ヒアリング（面接）を社会調査法として採用した場合、その方法や結果の分析については、いくつかの手法がある。面接調査法の教科書に記述されているように、その種類として、構造的・指示的面接法、半構造化面接、非構造化面接等々がある。また、上述のような基準で選んだとして、それぞれ個性豊かな方のはずであり、それぞれの長所を引き出すような調査を実施する必要がある。

そのためには、1. 関連するドキュメントやエビデンスを用意し、それに関連した質問に回答して頂く手法（いわば「オーラルヒストリー」を意識したもの）。これには幸い、3人の方も所属する園の「年史」があり、そこには多種多様の写真や資料が掲載されており、記憶の復元や正確さの一助となったように感じられた。2. 長期勤続ができた体験を自由に話してもらい、個性的特徴的な保育士人生を浮き彫りにできればとも考えた。また、かりに保育士になっていなかったらどのような人生を送っていただろうかを想像してもらうことも行う方法（いわば「ナラティブアプローチ」を念頭においたもの）である。

今回の調査はヒアリング調査も大きな意味を持つと思っている。より直接的に長期勤続者本人に保育士人生を語って頂くからである。そこでは、成功物語、困難事例、対処の難しい問題の克服などを聞き出すことができるかもしれない。そこには現在および将来にわたり保育士の方々が望んでいるアドバイスやヒント、長期勤続の成功へのポイントにつながるものが含まれている可能性があるだろう。

もっとも成功者本人が論理的に自身の体験を成功裡に再構成して語ってしまうかもしれない。それを回避するためには保育史の大きな出来事に対して節目、節目にどのような対応をしていたのかを聴きだすことが必要になってくるかもしれない。

いずれにせよ、調査票による調査を量的調査とすれば、インタビューは質的調査である。また、インタビューによって得られた結果の分析にも、種々の方法がある。比較的多く用いられている「グランデッド・セオリー」を意識してよいかもしれない。目標が保育士のキャリアパスなので、ある種の理論構築を目指す仕方と共通性がありうる。文字データをコード化しその分類、分析を通じてなにかのモデル構築をすることも考えられる。この手法はいくつかの批判を受けているが有効性も無視できないと感じている。

こうした研究方法は種々知られており、効果的に活用することにより保育士のキャリアパスの図柄の一部を描き出せるかもしれないが、今回はわずか3人が回答の対象である。そこで、研究方法論で話題になる手法に準拠するよりも、保育士としてのスタートから今日に至るまで

出来事や経験を時系列的にお聞きすることに軸足を置いた。これにより、今後の同種の調査が行われる場合の手法の工夫を含めた貴重な情報を得ることもできたと思っている。

なお、調査に関するアポイントメントやICレコーダーによる録音、その文字化等は社会福祉法人日本保育協会の職員により行われた。また、ここに記したインタビューは回答者の許諾を得たもののみであり、質問の本質とは異なる回答は省略、簡略化している。実施に当たっては、個人情報の保護、および、福祉・心理学系学会の研究倫理綱領を遵守して行った。

## 2. 勤続20年台の保育士に対するインタビュー

訪問先：社会福祉法人聖翼会みつばさ愛育園

訪問日時：平成26年10月21日（火）15：00～17：00

出席者：廣田智子先生（勤続25年）、上村芳夫園長、溝口 元（立正大学大学院教授）、日本保育協会（國重次長、山口課長）

保育園のプロフィール：所在地：埼玉県狭山市 認可 昭和44年4月1日、定員 30名

職員数 8名 敷地面積 264㎡ 建物面積 143.58㎡

建物構造 木造平屋

・現在 定員 90名、職員数 28名

敷地面積1369.96㎡ 建物面積 733.92㎡

建物構造 鉄筋コンクリート

社会福祉法人聖翼会には設立の順に「みつばさ愛育園」（昭和34年10月設立）、「狭山台みつばさ保育園」（昭和51年4月設立）、「堀兼みつばさ保育園」（平成16年4月設立）の3ヶ園がある

現在のみつばさ愛育園の保育事業：開園時間 月曜日～金曜日 7:00～19:00

土曜日7:00～18:00

延長保育 月曜日～金曜日 18:00～19:00

乳児保育 産休明けより実施。一時預かり事業、子育て支援センター事業

### ・保育士としてスタートするまで

溝口：ご自身の子どものころは

廣田：幼稚園に通いました。当時の記憶はあまりなく、幼稚園の先生に憧れていたわけでもありませんが、赤ちゃんは好きでした。近所でもよく見かけました。

溝口：保育の世界に入りたいという関心を持たれたのはいつごろからでしたか

廣田：高校生の時期に進路を決める際、何か資格を取ることを両親から勧められました。その



中でも自分に合ったものとして、幼児教育や栄養士を考えましたが、最終的に保育士を選びました。同時に幼稚園教諭の免許も取得しました。

溝口：保育士と幼稚園教諭の免許の両方を2年で取るのはかなり大変でしたか

廣田：単位は一つも落とせませんでした。特に難しい勉強はなかったと思います。でも、実習は大変でした。

溝口：その実習はどのようなようでしたか

廣田：当時は都内に住んでいたため、都内の保育園で実習させていただきました。担当して頂いた先生方から、「ぜひ保育士になってほしい」と言われました。その後、川越の通所の知的障害児の施設（5歳児まで）でも実習をしました。自閉症の子どもがいましたが、そんなに大変ではなかったように思っています。幼稚園でも実習しましたが、幼稚園よりは保育所に勤めたいと思いました。

溝口：卒業してすぐに保育所に就職されたのですか

廣田：そのとおりです。この法人（社会福祉法人聖翼会）に入り、当初の配属は「狭山台みつばさ保育園」でした。卒業した学校では、先日亡くなった園長（上村恵子先生）が教えられていたので、その関係や（保育園の）近隣に住んでいたために学校から紹介を受けて園に出向いたら、すぐに採用が決まってしまいました。

溝口：当時はどこから通われたのですか

廣田：学生時代からすべて自宅から通いました。

溝口：保育以外の社会体験や保育士の仕事を中断されたことはありますか

廣田：ほとんどありません。勤務を続けることが大変だと思ったことはなかったし、なかったため辞めたり勤務先を変えようということもありませんでした。何も（不満等が）なければ、同じ業界で続けることになるのだろうと思っています。

溝口：保育士の養成校の同期生の方でどの程度保育の業界に行かれ、また、現在も活躍されていますか

廣田：私が就職時期は多かったと思います。半分以上はいたのではないのでしょうか。現在でも、というと自分の廻りには、そんなにいませんが1～2人程度はいます。

溝口：この園を卒園した方で保育士になられた方はいらっしゃいますか

廣田：「狭山台みつばさ（保育園）」に9人、ここ「みつばさ（愛育園）」に1人います。実習の際に卒園した園に来ることがあります。実習をするとそのまま就職してくれますね。

#### ・保育士のキャリアパスとライフコース

溝口：ご自身の経験から、保育士を大体何年くらいやれば保育全般ができるようになると思いますか

廣田：子どもの人数や職員の人数に変動があり、入った時は職員の人数が少なくて大変でした。何もわからぬまま働いていました。今と違ってすぐにクラス担任を任されていました。自分自身だと3年目に4歳児を担当し、4年目に5歳児を卒園させました。その時点では結構任せて頂いていました

溝口：それでは、大体5年目くらいで一人前ということでしょうか

廣田：自分の時代はそうでした。職員の層が厚い時期は、自分のように頑張らなくても済むので、年や職員の経験の年数にもよります。

溝口：業務の負担感について、慣れてくればうまくこなせるもの、こつやノウハウなどはありますか

廣田：要領などは（器用・不器用など）個人差があります。経験年数によって縮まるのかはわかりませんが、自分の場合は何かが苦手だと思ったことはありません。

溝口：担任についてはいかがですか

廣田：0～5歳児まで一通り経験あります。かわいいのは小さい子ども、大きい子どもたちはいろいろとやることがあるので大変ですが、充実感が味わえます。いろいろ経験したうえで保育園をわかっていくといいと思います。

溝口：どの程度の経験を積み、経験豊かな保育士さんとみなしているのでしょうか

上村：年長児を経験した者をもって、ベテラン保育士とみています。5歳児は行事がたくさんあり、こなすのが大変です。キリスト教保育なので、特にクリスマス行事は盛大に行っています。キャロリング、教会訪問、などです。

溝口：行事の一部等を外部の業者に任せるようなことはできますか

廣田：それはありません。写真撮影も業者を使わず、すべて保育士が撮っています。

溝口：さて、保育現場を離れる理由として多いのは、結婚や妊娠、出産が考えられますが、それ以外に何かあるとお思いですか

廣田：やはりこれらの3つが多いと思います。でも、一段落したら再開する方も多いです。子どもができたなら続けられなくなり、一旦中断しますが、また、再開できるようになったら復帰しようとする人もいらっしゃいますね。

溝口：退職された場合、子育て支援等の制度が充実していなかったから、辞めざるを得なかったのではないかと考えられますか

廣田：最近の子育て支援の制度バックアップが充実してきていますが、それがあつたとしても子どもが小さいうちは、一緒にいてあげたいと思う人が多かったと思います。廻りが協力を申し出ても、本人の意思なので…

溝口：保育士が離職するきっかけとしては、結婚、妊娠、出産等があり、かりに充実した子育て支援の制度があつたとしても、自分の子どもと一緒にいたいと考えている人は、仕事を辞めていくということですね

廣田：それでも、「みつばさ（愛育園）」も「狭山台みつばさ（保育園）」も育休を取って子どもと一緒に過ごし、ある時期から職場に戻ってくる方もいます。

溝口：自分の子育て体験が保育現場に戻った時にプラスに活かされると思いますか

廣田：人それぞれだと思います。

溝口：看護の世界では、離職防止のため、メンター制度があります。自分よりやや上の年齢の先輩がいて、気楽に相談できるような存在がいますか

廣田：（クラスを）複数で担任することが多いです。年齢の組み合わせはいろいろあります。年齢が離れている場合もそうでない場合もあります。みんなで活動・行動することはあり、そんなに孤立することはないと思っています。

溝口：看護や介護の場合、自分が最善であると考えたとおりのことをやろうと思ってもやらせてもらえずに、やる気がなくなるケースが多い、との報告がありますが

廣田：先輩の先生は新人の先生に、「わからないことがあつたら聞きなさい」とは言っていますが、新人の方からすれば、何を聞いたらいいのかわからない状態です。「業務のやり方は決まっているので、ここはこういう風にやりなさい。」という風に指導できている。これは一部はマニュアルがあるものの、体で覚えるような感じでやっています。クラス

の運営については、例えば保護者あての手紙等もの（成果物）で残し、一年間どのように過ごしたのか、次の年に担任する先生が、一年の流れを把握できるようにしています。行事が多いので、その要領についてまとめたもの（昔から残っているものは手書きになっている）があります。

溝口：看護の世界では、「元からいる職員が新人職員を信頼していない」と看護系の雑誌に書かれていることがあります。保育の現場では、中堅やベテランが新人を見守り育てていく雰囲気はどうでしょうか

廣田：実習生がここで実習してここで就職してくれるように、優しく接することを心がけています。でも、職員も多いので、考え方が全員同じというわけにいかないという難しい面もあります。

溝口：保護者の変化についてお感じになることは

廣田：いろいろな風が変わってきています。子どもを保育士に見てもらって当たり前と考えているのでは、と感じます。その中で、子どもとの時間を大切に過ごしてほしいことをもっと伝えていきたいです。

溝口：親の雇用形態について、フルタイムばかりですか

廣田：そんなに多くないがパートの方もいます。子どもによっては、一人親でなくても朝から夜まで、月～土まで（保育園で過ごす）子どももいます。親の働く状況も大変なようです。子どもと過ごすことができるのは、夜か仕事が休みの時に限られるようです。

溝口：（仕事に関して）目標を立ててそれに向かって進むという感じでしたか

廣田：そんなに深く考えないでやってきました。

溝口：それが逆に長く続いた理由になったのでしょうか。

廣田：若いときはやりがいを感じると嬉しかったし、一通りクラスを経験すると、自分なりのやり方で働いていくというのを見つけて、やりがいを感じていました。自宅から通っていたので、家族の協力があってこれまで続けることができたと思います。

溝口：自分で身につけたものを後輩に伝えていきますか

廣田：園でのやり方があるので、（それが）各保育士に受け継がれていきます。

溝口：現場で子どもとかかわっていたいですか

廣田：「狭山台（みつばさ保育園）」では、クラス担任を離れていましたが、それはそれでいい経験でした。そして、改めて子どもはかわいいと思いました。ここ「みつばさ（愛育園）」にきて、新たな気持ちで頑張ることができました。もともと保育士として入ったので、現場でない仕事は考えられません。

### ・キャリアアップと継続勤務

溝口：上級保育士、認定保育士など、スキルが上がったことで、区別することについてどう思いますか。また、講習や試験（筆記や実技など）を実施することで手当をつけることについてはいかがですか

廣田：人それぞれかと思います。同じ仕事をやってもできる、できないがあります。そのことに対して、何も差がないのを不満に思う人もいれば思わない人もいます。自分の場合、仕事に対して、認めてもらえなかったと思ったことはなく、自分で可能な範囲で働いてきました。

溝口：看護の世界では、ナイチンゲール賞という国際的な賞があり、それが一つの目標になっている面がありますが、もし、保育の世界でもこういった表彰があるとしたら、どう思われますか

廣田：難しいのではないのでしょうか。確かに、他の人が（ある保育士のある仕事について）見ている、できる、できないと判断することはできるかもしれませんが。

溝口：看護の世界においては、疾患別、末期ガン等専門の看護師がいる。保育士も自閉症や障がい児など、専門の保育士に分けるのはどう思いますか

廣田：小さい子どもの場合、分けるのは難しいのではないのでしょうか。グレーゾーンに入るような「気になる子」が多いですから。むしろ、経験の他に、適性というのがあるのかもしれない。

溝口：管理職についてどう思われますか

廣田：つまらないです。実家が保育園の方は別として、保育士で最初から園長を目指す方はいないのではないのでしょうか。

溝口：保育士は天職だと思いますか

廣田：そうかもしれません。自分も器用に何でもこなせる方だと思っています。適応性がある

方だと思います。

溝口：今、保育士でなかったら、今頃どのような仕事に就いていたでしょうか

廣田：普通の会社に勤めていたかもしれません。

### ・保育所の方針・理念と研修

溝口：保育士として多様な考え方があった方が活性化するのか、あるいは一枚岩のような方が  
良いのでしょうか

廣田：上に立つ園長の考え方が基本になると思います。園の理念や方向性を（明確に）打ち出すのが一番です。職員各々の考えがあってもいいと思いますが、（組織が）バラバラでは困るので、決めるべきものは用意してもらった方がいいのではないのでしょうか。

溝口：養成校の卒業生も、就職の際に、園の方針に共鳴して勤めたいと思うようになるのでしょうか

廣田：養成校を出たばかりではわからないと思います。最初から自分の（理想とする）理念を持って入ってくる人は少ないのではないのでしょうか。

溝口：短大・大学では建学の精神や創始者の理念や方針がありますが、保育では保育士として働いているうちに、園の理念や方針と合致してくるもののでしょうか

廣田：ここでは、キリスト教保育を取り入れています。そんなにむずかしいことは言いません。「神と人ともに愛される子どもになる」ということと、保育目標が「明るく楽しく元気よく」なので、保育士もそうあるべきと思います。

### ・保育士の離職について

溝口：保育士の離職の理由として給与の（少ないことの）問題がメディアでしばしば取り上げられています。実際にはそうでもないという見方もできそうです。自分の働きに対しての報酬はどう思いますか。今の養成校で学んでいる学生たちは、保育所での実習で保育士の働きぶりやおおよその給与水準も知っています。給与が他の産業と比べて低いから辞めるのではなくて、他にも理由があるのではないかと思えるのですが

廣田：個人各々の考え次第だと思います。給与額を知ったうえで、就職を決めて働いているので、「お金」が問題ではありません。むしろ、働いているうちに給与面での不満が出てくるのではないかと思います。自分の思いばかりを言い出せばきりがいい面もあります。昨今では、なかなか保育の現場に人が集まらないので、自分の園（「みつばさ愛育園」）

で考えているのは、職員が気持ち良く働けるよう「気遣い」をしているかということ  
です。働いていて楽しいのが一番です。

溝口：離職の原因の一つに自信が無くなったというのがあるのですが、ご自身の経験では

廣田：そんなことはあまりありませんでした。割とのびのびと仕事をさせてもらいました。1  
～3年目では、わからないことが多かったのですが、やりたいようにやらせてもらえま  
した。自分が入った時から、「狭山台（みつばさ保育園）」では複数担任制だったため、  
1人でやらなければならない、ということもありませんでした。そういった面でも自分  
でできることが増えていきました。4年目に無事に5歳児を卒園させて自信が付きまし  
た。

溝口：離職の調査で「職場の人間関係」を挙げる方がいますが、どうお考えですか

廣田：どこもいっしょかと思えます。女性だけの職場でありますし（当該法人には男性保育士  
がいない）。

上村：人間関係の話ですが、記念の式には、退職した職員を呼ぶと来てくれます。園と不仲に  
なって辞めたことはないので、辞めても保育園に来てくれることがあります。

溝口：（自分の適性が保育士に）向かないから辞める方はいますか

廣田：「楽しくない」と言って辞める人がいます。子どもと過ごしていて（子どもが自分の言  
うことを聞かないのが）楽しくない、と考えるのでしょうか。自分が思った通りに働けな  
いのが辛かったのでは。保育士をしていて楽しくないから辞めるという人は、向いてい  
ないのだと思います。「こうあるべきである」あるいは「こうしたい」とはつきりもっ  
ているより、漠然とした思いの方が、長く続けることができるでしょう。いわゆる適応  
力があれば、人間関係など合わない人がいても、気にせずにそんなに悩むことはないの  
かもしれません。

溝口：後輩保育士から受けた相談の中で、離職についてどのような理由が思い当たりますか

廣田：やはり、人間関係もあると思います。また、辞める人が多ければ、新規に採用する人も  
多くなります。そうなると同じことが繰り返され、悪循環となってしまいます。一度に  
5～6人採用という事態になると、新卒だけでは間に合わないのので、経験者の採用とな  
ります。この場合、入ってくる人は事情があって働かなくてはならないのですが、この  
仕事（保育）しかできない。そうすると、採用当初から給与面の不満を持ったまま働く  
ことになる。自分が新卒で働き始めた時とは事情が異なるようです。

溝口：規模が大きければ大きいほど辞めていく人が増えていくのでしょうか

廣田：そういうわけでもありません。狭山台の方は、経験ある先生たちは若い先生にきちんと教えています。

國重：それで平均勤続年数全国で7年と言われているなかで、ここの園の保育士の在職期間が結構長いのでは

上村：最近の傾向として辞める理由は、給料ではなく、別法人の保育園も経験したい、他の職を体験したいなどがあげられます。若ければ、外国に行ったり、いろいろな経験をするのは良いことだと思います。辞めて別の保育園を体験して、また、こちらに戻って再就職するケースもあります。その場合、新規採用とせずに辞めるまでの経験年数も含めて待遇しています。

溝口：振り返ったら、長く保育をやっていたということでしょうか

廣田：何かあったら、辞めていたかもしれないし、働いていかなければならない状態なので…ある程度働いて10年過ぎると、いまさら他の職場で働いても、とってしまう。やりたいたいことがあれば別ですし、実際辞めたいと思ったこともありました。それでも、企業に勤める仕事よりも楽しいと思っています。

溝口：それはどのようなことですか

廣田：日々同じことが無い。変化に富んでいるということです。日々同じことをやっているようで、違う。子どもが成長しているのを見ることができます。子どものことを自分のことのように感じる人もいます。ある程度働いていると、見極めができるようになります(仕事という感じになる)。自分で働きやすいように働くことができるようになるのです。

溝口：長時間ありがとうございました

廣田：ありがとうございました。

### 3. 勤続30年台の保育士に対するインタビュー

訪 問 先：社会福祉法人湘南杉の子福祉会五反田保育園

訪問日時：平成26年11月11日（火）15:00～17:00

出席者：矢澤めぐみ先生（勤続31年）、伊澤昭治園長、溝口 元（立正大学大学院教授）、日本保育協会（國重次長、山口課長）

保育園のプロフィール：所在地：神奈川県藤沢市 保育園のプロフィール：許可開設、認可当



時 昭和55年4月1日、定員120名 職員23名（嘱託医を含む）敷地面積1,320㎡ 建物面積735.12㎡ 鉄筋コンクリート陸屋根二階建。

平成11年4月 定員を150名に増員、ホールを増築（敷地165㎡ 建物面積191.49㎡）鉄骨ALC一部二階 職員32名

平成16年4月 分園開設（賃借型）定員40名 建物面積452.5㎡ 敷地面積363㎡ 職員10名 鉄骨外壁サイディング一部二階建

平成23年4月 分園の拡張と定員を97名に増員 建物面積783.2㎡ 敷地面積528㎡ 職員22名

平成27年1月現在 本園 定員150名 敷地面積1,488㎡ 建物面積 926.61㎡ 職員37名 分園定員97名 敷地面積528㎡ 建物面積 783.2㎡ 職員25名

現在の保育事業：開園時間 平日 8:30～17:00、土曜日8:30～14:00

特別保育 平日 7:00～8:30、17:00～18:00、土曜日7:30～8:30、14:00～17:00

延長保育 平日のみ 18:00～19:00

乳児保育、障がい児保育、育児相談、体験保育

#### ・保育士としてスタートするまで

溝口：保育士を目指したのはいつ頃ですか

矢澤：小さい頃漠然と、幼稚園や保育園の先生になれたらいい、と思っていました。高校生の時、放送をやっていたのでアナウンサー志望でした。担任の先生に相談したら、「むずかしいのでは。」と言われ、自分が（以前）保育士になりたかった（ことを思い出し）、信頼していた先輩が都内の養成校に進学していたので、自分もそこに行ってみようと思いました。

溝口：実習先はどこでしたか

矢澤：公立の保育園でした。幼稚園（の実習）は長後で行いました。（両方実習して）幼稚園より保育園で就職したいと思いました。

溝口：その理由は何ですか

矢澤：赤ちゃんが見たかった。また、実習をしてみて一日子どもと過ごすことができるのが幼稚園よりも保育所の方が魅力でした。

溝口：現在の職場へ至る過程は

矢澤：いくつか受けてみたが、なかなかうまく行かず、卒業ギリギリの3月まで決まりませんでした。たまたま、この五反田で保育士が1名辞めるために募集しているという情報を、知己を得ていた保育園の園長を通して知り、五反田に応募することとなりました。

溝口：養成校時代の同級生で保育園に就職した方は何名くらいいらっしゃいますか

矢澤：当時仲の良かった同級生は皆、保育園に就職しました。あの頃は、就職口が無く、みんな頑張って保育園の就職口を探していたと思います。

溝口：この保育所に勤め始めてそのまま現在まで勤務してこられたのですか

矢澤：そのとおりです。

溝口：長い間勤務されているようであれば、保育した子どもが成長して親になり、その子どもがまた入園してくるケースはあるのでしょうか

矢澤：あります。二世帯で子どもを見るケースはあるのです。更に、卒園した子どもが職員になるケースもあります。自分のいたところが良いと思って来てくれるので、純粹にうれしいです。頑張ってきた甲斐があったと思います。

#### ・保育士のキャリアパスとライフコース

溝口：保育士の業務を1人でこなせるようになったのは、勤務して何年くらいでしたか

矢澤：難しい質問ですね。どれくらいでしたでしょうか。でも、ある程度自信がついてきたのは、10年くらいたってでしょうか、それまでは試行錯誤でした。

溝口：(保育士として) 自信を持てるようになったのが10年ということは、30歳を過ぎてからということでしょうか

矢澤：20代前半は、幼児(3歳以上)の担任が多かったです。6~7年経ちベテランの域になって、乳児を担当した経験が無いのはまずいと思い、乳児担任の希望を出しました。乳児を経験してどこのクラスでも一通りできるようになったのが、10年程度ではないかと思います。

溝口：保育士の方が勤務を始めて辞めるまでの平均年数が約7年というデータがあります。今のお話で考えると、保育士として自信を持って一通りできるようになる前に辞めてしまうということになるのですが

矢澤：結婚で辞める人も多かったです。ちょうど27~8歳の頃になります。また、「自分はこの

まま保育士としてやっていくことでいいのか?」「自分はこの仕事に向いているのか?」「もっと他に向いている仕事があるのではないか」と思って辞めていく方もいたし、自分もそう思ったことがありました。そこを乗り越えないと難しいのではないのでしょうか。

溝口：実際に転職された方も別のところで仕事をされているのですか

矢澤：挫折のあった人も、別のステップに進んでいます。それでも、自分と同じ年代の人たちは、結婚で辞める人が多かったように思いますね。

溝口：ということは、保育の仕事は一生続けていくようなものではないというように考えている人がいるということですね

矢澤：そう思います。年齢的に27歳、28歳～30歳代前半は、中途半端な年頃のような気がします。今は人がいないので、若いうちから主任（保育士）になったりしますが、それまでは自分より上がいて、下からも入ってくる、中途半端な状態。自分にはいったい何ができるんだろうか?という感覚でした。

私の場合、夫が福祉関係の職場で給料も多くはないので、共働きをせざるを得ませんでした。そうすると、転職した場合、また一からやらざるを得なくなってしまうので、(このまま)ここで頑張ろうということになりました。

溝口：ご自身は、保育士の仕事は結婚までの腰掛け的なものではなく、一生続けるものと考えていらっしゃいますか

矢澤：そう思います。就職して間もない頃に、高校時代からお付き合いしていた人と別れることになってしまいました。保育園に出勤した時に、子どもたちが「めぐみ先生、おはよう!」と駆け寄って抱き付いてくれました。この時に、「こんなにつらいのに、自分を求めてくれる子たちが、こんなにいるんだ」と思いました。この瞬間が忘れられません。

保育士の仕事を一生続けていきたいと思ったのは、この時です。保育士になってすぐにこういう経験があったので、長く続けているのではないかと考えています。

溝口：ところで、行事は年に何回くらい行うのですか。企画は職員で話し合うのですか

矢澤：大きなものは、発表会、運動会。あとは毎月の誕生会。季節ごとの行事が夏まつり、やきいも、お店屋さんごっこ、プール開きなどです。行事ごとの担当を年の始めに決めています。担当職員が中心に行います。

溝口：行事を担当して成果があると、保育士としてプロになったというような意識が出てくる

のでしょうか

矢澤：あくまでも、これは自分自身が思っていることです。(行事が) 嫌いだ、という人もいます。やりたくない、という人も中にはいるので、なんとも言えない。自分自身は企画が好きです。自分が親しくしている職員は、企画好きなメンバーが多いです。

溝口：行事に関して保護者の協力はありますか

矢澤：時々その場で片付けをお願いすることはありますが、特にお手伝いはお願いしていません。

溝口：一人親などの事情を抱えた家庭はどうでしょうか

矢澤：年々増えています。(「五反田本園」)に関しては) 最近は少し落ち着いてきましたが、一時はクラスの半分位が一人親家庭の子でした。分園の運動会で保護者リレーを行うのですが、そのクラスは誰に依頼したらいいのか、毎年同じような方にしか参加してもらうことができない状態です。

溝口：子どもたちはどのように感じているのですか

矢澤：保育園に入ってくる時にはすでに一人親になっていることもあり、あまり感じていないことが多いです。あっけらかんとしています。ただ、在園中で離婚してしまうと、不安定になることもあります。

溝口：私のゼミの卒業生でも、結婚後共働きを続け、(勤務) 時間にズレもあることから、子どもがいない人も少なくない。でも、近隣に親がいればどうにかなっている感じですが

矢澤：親の助けは大きいです。私も1人目の子どもが1歳の時に母が亡くなり、2人目の子どもが1歳の時に父が亡くなりました。そういう意味では、自分の家族に頼れませんでした。夫の両親が歩いてすぐ近くの所にいたので、本当に助かりました。ある程度サポートしてくれる人がいないと、(保育士として長く続けるのは) 難しいと思います。

溝口：実家から離れて、見知らぬ所で保育士としてやっていくのは相当難しいですか

矢澤：(結婚) 相手の職業にもよりますが、夫が時間の融通がきき、休みも調整もできるので、自分が早番・遅番勤務の際、子どもを(保育園に) 送り迎えしてくれました。夫やそれ以外の人をサポートがなかったら、(保育士として) やっていくのは難しかったのではないのでしょうか。

溝口：後輩の保育士の方で、親元から離れて一人で働いている方はいらっしゃいますか

矢澤：結婚していない人はいますが、結婚して子どもがいて仕事をしているのは、やはり（夫や親などの）サポートを受けられる人がほとんどです。

溝口：やはり親族の理解とサポートが必要ですか

矢澤：もしくは勤務体制を変更してもらう。遅番・早番はやらない等（という方法もあるでしょう）

溝口：つまり、自分の働ける時間帯・曜日に働くケース。そのような人は、この園にいらっしゃいますか

矢澤：分園にはいませんが、本園にはいます。

溝口：潜在保育士の中には、子育てが終わり子どもが好きなので、希望の時間帯や曜日があえば、もう一度（保育士として）現場で働きたい人がいるということですか

矢澤：他の保育園の関係者と話しをしましたが、（保育士を）募集しても、希望時間帯が9:00～16:00や9:00～14:00の人が多いです。その時間帯だけでは（採用は）無理ですが、どうしても制約を受けざるを得ないので、子どもがある程度大きくなったら、（それ以外の時間帯も）やってくれてもいいのではないかと、思うことがあります。

溝口：ブランクの期間が長い場合、現役で働いていた時と（復帰した時で）保護者対応、食育やアレルギー対応等が大きく違い、すぐに辞めてしまう人もいます

矢澤：たしかに、育児休業を1年取って現場に戻ると、変わったことがたくさんあって、慣れるまでに時間がかかってしまいました。ですから5～6年も現場を離れていたら、様子がかかり違うはずですよ。

養成校時代の同級生で4～5年ほど幼稚園の先生をやっていましたが、結婚して仕事を辞めて15年程現場を離れた後、五反田にパート勤務で入ってきて、その後、新規開設の保育園に正規の職員として働いている人もいます。本当にこの仕事がやりたくなってくると、パートだけでは（物足りなくなると）もっとやりたい、という気持ちが出てくる人もいるのではないのでしょうか。

#### ・キャリアアップと継続勤務

溝口：4年制大学卒で保育士資格と幼稚園教諭免許の両方を取る人もいますが、2年制（で卒業した人）と4年制（で卒業した人）との違いを感じることはありますか

矢澤：学校で何を学んできたかよりも、その人の持っている性格、受け止め方、勘の方が現場では活かされます。だから、短大卒の方が、より動ける、しっかり観察できていたりする場合があります。どちらで勉強してきたかということはあまり関係ないのでは。

溝口：良い指摘だと思います。今の2年制養成課程は大変な詰め込み（教育）で未消化・消化不良の状態になっています。もう少しゆっくり自分の生き方も考えながら学ぶべきではないかと感じています

矢澤：最近あまり短大出の人が多くなく、専門学校に3年通った人が増えています。（最近の保育士に対する指導方法について）全体的に、「私がやっていることを見て覚えよ」の方法はまず無理。手取り足取り事細かに指導していかなければ動けない。「先輩のいいところだけ見て、悪いところはまねしなくていい」というような指導は、何年か前から通用しなくなってきました。私が10年目くらいの頃は、「私がやっているのを見て覚えなさい」というやり方が当然でした。

溝口：今、養成校で保育士・幼免の両方を取っても保育の現場に行くのが全体の半分程度というのをどのように感じますか

矢澤：せっかく養成校に進んだのに、なぜ（保育士に）ならないのか、という思いはありますね。

溝口：実習が以前より濃密になって来ています。保育士の業務が（学生に）わかるようになっています。楽しい面よりも大変な面を見てしまいがちなような気がしますが

矢澤：嫌な面を見ることは多々あると思います。自分の場合もそうでした。先生たちの何気ない会話を、日誌を書きながら聞いて驚いたことがありました。人間関係などいろいろな面を見ることができてしまう。女性の職場なので、全くないとは言い切れません。

溝口：後輩も何かを学ぼうとして、先輩のやっていることを虎視眈々と見て、「こうやって覚えるのか」と（気付いていく）…

矢澤：そうやって覚えていった人は、今も続いています。ある時からそういったやり方が通じないことが多くなってきた。ここ4、5年は、（今の保育士に対しては）1から10まで全部伝えていかないとわからないのだということに気付いた。同じことを何回も言わないと理解できない。そういった点では、（若い保育士を）育てるのが難しくなっています。

素直に受け入れて自分のものにしていく人は伸びています。言われても跳ね返ってこない人は停滞している。新人育ては難しいです。

溝口：看護師には専門看護師や認定看護師、社会福祉士には認定社会福祉士や上級社会福祉士などの制度ができています。保育士にも、上級保育士のようなランク分けするような発想についてはどう思われますか

矢澤：何をもって上級とするのが難しいのではないのでしょうか。看護師に関してはある程度の技術や専門性の知識が必要だと思いますが、保育に関しては何ができれば上級なのか、項目的に何が上がってくるのか。勤の良い人は、他人と対面しただけで、「この人はこのように感じているのか」、「この人はこのようなことに悩んでいるのか」とわかります。気配りのできる人は仕事もスムーズに進み、保護者との対応も上手くできます。そういったことを良しとするのか、あるいは単におむつ替えを手際良くできるのを良しとするのか…

溝口：例えば、給与をここまで保障しよう、できなければこの辺までというような考え方ができればいいと思います。（現在は、）勤続10年の人も新人も（給与に）あまり変わらないとすれば、モチベーションなどメンタルな面、各自の精神力で何とか勤務を継続しているのが実態ではないのでしょうか

矢澤：そのとおり、各自の精神力が勤務継続するためには、大きいと思います。

溝口：せっかく保育士として就職しても7年以内に辞めてしまうことが大きな社会問題で、何とかしたい。その一つの方策として10年間保育所に継続勤務して頂ければ、保育士不足が解消する可能性はかなり高くなります。地域差はありますが、あと3年頑張ってもらいたい。7年を乗り越える少し前が大変で、30歳前が困難な時期ですね

矢澤：そうなってくると、結婚が大きなネックになってきますね。

溝口：さきほど保育士としての生活が30年、最初の節目が10年とお答え顶きましたが、その次はいつ頃でしょうか。節目は10年ごとですか

矢澤：分園に移って11年目になりますが、そこで大きく変わりました。たまたま（分園が）できたことによって異動してきました。新規立ち上げに関わりたいという気持ちもあり、分園への異動を希望しました。

溝口：子どもと一生関わっていきたいですか

矢澤：（現場を離れたら）淋しいと思います。自分の子どもが結婚して孫ができたりすれば違うかもしれませんが、先の話でしょう。定年まであと10年少々で残りの保育士人生も短いので、この先どうしようかと考えると、自宅近くの保育園で遅番を対応するような選

択肢もあるのかと思います。新規に保育園を立ち上げるのも楽しい気がします。

溝口：ステップアップして、園長になる気はありませんか

矢澤：園長になる気は全くありません。現役のままがいいと思います。園長は現場とは違う仕事がたくさんあります。現在、主任保育士ですが、全体が見えるようになり、一人一人に細かい目標立てをして育てていくためにはもっと力を付ける必要があると思っています。

溝口：資金的な手当があるとしたら、園長になって、自分のポリシーで園をやってみたいと思いますか

矢澤：園長の仕事はできないと思います。自分が年老いてから、自宅で子どもを預かる家庭内（保育）をやることができたらいいと思っています。

溝口：給与よりも働きやすさ（を優先している）ということが素晴らしいと感じますが

矢澤：子育てしていると、それなしではありえません。働きやすさのありがたみを知ったことにもよります。

溝口：新鮮な話しに聞こえたのは、職員数に配慮されていて、働きやすいということが一つのポイントになっていることと思いました

矢澤：そうですが、多ければ多いでまた問題があります。ある業務について、「誰かがやってくれるだろう」と思いこみがちです。その点は自分たちで戒めていく他ないでしょう。

溝口：望ましい保育園の規模は、どの程度をイメージするのでしょうか。規模も勤務を長く続けられる大きな要因です。大きすぎても小さすぎても問題が起こってきます。

矢澤：本園と分園しかわかりませんが、分園（97名）と同程度の規模が望ましいのではないのでしょうか。

溝口：後輩保育士やご自身は、これが目標で頑張っているというのがありますか

矢澤：後輩についてはわかりません。自分については、「この人を目標に」という人はいなかったです。

溝口：「この人を目標に」という人がいた方が良いのか、いない方が良いのでしょうか

矢澤：自分が、「この先輩はすごい」、「この先輩のようにになりたい」というような先輩に出会



えれば良いと思いますが。よくわかりません。

溝口：保育士不足のために、資格の基準を緩和しようという動きがあります。「准保育士」や、資格を取りやすくするなど。あるいは、子育て経験のある女性であればだれでも保育ができるだろうという暴言とも思えるような発言もあります。保育の専門性についてどのようなことをイメージしますか

矢澤：むずかしいですね。保育の学校を出たからといって、「保育士として、プロとしてやっている」という顔をしていいのかな、というようなところもあります。どこが専門性なのか、どこがプロなのか、と言われると、確かに子育てしてきた方の方が技術があるのかもしれない。学校で学んだことがどれだけ保育士として活かして行けるのか。逆に保育士になってから、研修を受けたり、自分で経験したことの方が、専門職としての力を付けていったと思います。

溝口：園長先生のなかには、職員の掌握や保護者への対応で自信がないという方がいらっしゃいますが、どう思いますか

矢澤：園長先生が自分のやり方でないと不可である、というような強引すぎるようでは困りますが、ある程度、道を開いて指示してくれないと保育士はついていけないでしょう。

#### ・保育所の方針・理念と研修

溝口：保育園のモットーや具体的な目標はあった方がいいと思いますか

矢澤：あった方がいいと思います。もともと「思いやりのある元気な子」が園の目標でしたが、それだけでなく、園の理念を作った方がいいということで、昨年、研修を受けながら、理念づくりをしました。

溝口：30年前はなかったのですか

矢澤：保育園ではなく、法人の理念はありましたが、保育の現場における理念と同一のものはありませんでした。そこで、保育園としての理念が必要だろうということになり、園長および数名のメンバーで協議して、理念づくりをしてみんなに提示して理解してもらい、昨年度に掲げました。

溝口：設立母体を考えると、宗教のようなバックグラウンドがあった方がよいと思いますか

矢澤：わかりません。あった方が作りやすいであろうし、「五反田（保育園）」の場合はなかったもので、純粋に「五反田（保育園）」をどういう風にしていきたいのか、というところ

から話を始めました。

溝口：仏教系よりキリスト教系の大学の方が（宗教的な行事を）多く取り入れられている感じがしますが

矢澤：宗教的な方向があった方が同じ方向を向きやすい気がしますが、無いところは無いなりに自由にやれば、自分たちの保育園を作る楽しみがあります。

溝口：この園では、職場研修やOJTの機会は保障されていますか

矢澤：研修には割と（多く）出してもらいました。比較的近くの女子短大で毎年開いているセミナーで、（園としてもできるだけ）研修に出したいと考えているようです。研修に参加するよう言われて、困惑したこともありましたが、保育士として年々勤務していくうちに、必要であることがわかってきました。

溝口：研修に行って良かったですか

矢澤：そう思います。改めて子どもの発達について知ることができました。若い人たちにとっては、学校で勉強したことをそのまま活かせるかということよりも、実際に（子どもを）見て勉強していった方が、より自分の専門性に繋がっていくのではないかという気がします。

#### ・保育士の離職について

溝口：保育の仕事が続けられないケースとして、給与（の低さ）について取り上げられていますが

矢澤：それは、びっくりするくらいです。

溝口：働いている割には・・・見合う給与をもらっている感じがしないということですか

矢澤：（「五反田（保育園）」を）卒園し、その後、「五反田（保育園）」に就職した職員が、結婚を機に別の県に転居することになりました。本人はここを離れるのがすごく嫌だと言って、自分に「先生はどうして続けていられるのか？」と聞かれたことがあります。その時「ここは他の園に比べて給与は安い、でもその分、職員を多く雇っているので、仕方がない。だから、働きやすい職場を取るか、すごくきつくても賃金の高い方を取るか、どちらにするかという選択もある」と答えました。

溝口：民営保育所に勤務するという事についてお尋ねします

矢澤：公立（の事情）は全然わかりません。給与面は倍くらい違うのではないのでしょうか。園長が男性保育士を採用する際にかなり迷っていた時期があり、自分にどう思うか相談されたことがあります。好きだけではやっていけないので、生活の保障がないと（むずかしいだろう）。たとえば結婚しても、共働きをしてくれる人であればやっていけないだろうと思います。

溝口：良い職場ということは、人間関係が良好だったということですか。よく人間関係でつまずいて辞められる方もいらっしゃるという話がありますが

矢澤：「五反田（保育園）」でも色々あると思います。どうしても休みが多くなったり、（保育園に預けている子どもが）急に熱を出して帰らなければならなくなってしまうことがあります。そんな時に悪く思わないで、園長、副園長、他の職員が配置をやり繰りして、休んだり、早く帰れるように配慮してくれました。そのことがすごくありがたかったし、仕事を続けられた一番の理由でした。もし、嫌な顔をされたら、続けられなかったでしょう。

溝口：保育士を辞める大きな理由として、賃金、人間関係、休みたい時に休めないなどがある。特に子どもが熱を出した時に休もうとして嫌な顔されると…

矢澤：自分たちも（預かっている子どもに熱があると親を）呼び出す方の立場になってしまう。親には直接言えないが、（親がすぐに迎えに来ない場合）「こんなに熱があるのになぜすぐに来てくれないのか?!」と思ってしまう。自分の時は、保育園ですぐに帰れるように配慮してくれました。自分も後輩が同じような状況であれば、できるだけやり繰りを早めにして、早く帰すようにしたいと思っています。

溝口：長時間ありがとうございました

矢澤：ありがとうございました。

#### 4. 勤続40年台の保育士に対するインタビュー

訪問先：社会福祉法人なでしこ会なでしこ保育園

訪問日時：平成26年11月13日（木）15:00～17:00

出席者：門倉文子先生、溝口 元（立正大学大学院教授）、日本保育協会（國重次長、藤井係長）

保育園のプロフィール：所在地：埼玉県熊谷市 認可 昭和40年1月時点 定員60名・職員数10名 木造2階建て敷地 面積752.83㎡・延べ床面積222.10㎡・屋外遊技場527.41㎡

現在：定員150名・職員数40名・敷地面積2328.46㎡・述床面積1499.65㎡・屋外遊技場661.56㎡・RC造2階建てと木造2階建ての2棟

〔なでしこ保育園〕許可開設、昭和39年4月開設昭和40年1月認可

〔第二なでしこ保育園〕昭和54年4月開設・定員150名と

〔第三なでしこ保育園〕平成10年4月開設・定員60名

法人全体の職員数：89名（うち平成26年度の育休取得者3名）

保育事業：開園時間 平日 7:00～19:00（第三なでしこ保育園のみ20:00まで）

土曜日 7:00～16:00

特別保育：延長保育事業・一時預り事業・地域子育て支援事業

※子育て支援センターは、なでしこ保育園パーシモン、第三なでしこ保育園すずかけの二つ

※NPO法人なでしこ保育研究所を平成25年12月設立

### ・保育士としてスタートするまで

溝口：保育士を目指したのはいつ頃でしたか。また、動機は何でしたか

門倉：父親が私に保育士をさせたかったことです。3人姉妹の長女で、みんなが嫁に行かれると困る、一人ぐらい家にいてもらうためには、うちで何か始めた方がいいのではないかと、ということで、保育園でも始めようかという考えでした。

溝口：父親への反発はありませんでしたか

門倉：家でブラブラしているよりは良いかと思いました。特に大きな希望もなく、（周りのみんなが）進学・就職と言って騒いでいたので「このままでは、つまらない」と感じ、当時の保母養成校に進むことになりました。

溝口：父親はなぜ保育園を開いたのですか

門倉：私の祖父がのんきな人で、仲間内の保証人になったりしていたのですが、土地を取られてしまいました。（父には）どこかで見返してやりたいという気持ちがあったようです

溝口：地元の方ですか

門倉：そのとおり。自分もそこで生まれました。

溝口：当時の養成校の一学年は何人くらいでしたか

門倉：30人くらい。しかも学費がタダでした。父はそこに一番魅力を感じていたようでした。

溝口：学費がタダということは卒業後に、保育士になって仕事をしなければならないという条件がついていたのですか

門倉：そのような義務はありませんでした。当時、公立の保育所がたくさんできてきた時代でしたので、公立保育所から誘いがありました。

溝口：それでは当時養成校を卒業された方はかなりの割合で公立保育所に就職されたということですか

門倉：そのとおりです。ただし、60歳まで続けた人はわずかでした。

溝口：20歳で養成校を卒業されて（ご自身の保育士としての）節目はいつ頃でしたか

門倉：父は、私が卒業する頃には保育園を始めようとしていました。まず卒業後、養成校にいた1年下の後輩の父親が住職の方で、「保育園を始めるから保母として来てほしい」とのことでそれを受けました。そして、そこで約1年半手伝いました。その直後に実家も保育園を開園しました。

溝口：当時の養成校における（保育）実習はどのようなものでしたか

門倉：農繁期の季節保育所でした。公立保育所で寝泊まりしながら約1か月間、近くの寺で季節保育所をやっていたので、そこで、近所の方々と一緒に保育をしながら実習をしていました。

溝口：（卒業された）養成校の設立はいつ頃でしたか

門倉：養成校名は「埼玉県立保母専門学院」と言い、昭和26年開校でした。私は10回生でした。

溝口：（設立されて）10年経てば、カリキュラムもしっかりしていたことでしょうか

門倉：そうです。（旧）厚生省の基準もありました。

溝口：30名全員が保育の世界に入った

門倉：だいたいそうでした。

溝口：保育園のスタートが東京オリンピックの年（1964年）と一緒のようですが、保育士以外の他の職種は経験されましたか

門倉：時期は、そうでした。最初は寺の保育所を手伝ったので、働いたのはすべて民間の保育所だけです。他の職種は経験していません。そして、私が22歳の時に父が園舎を建てま

した。「2年後に退職する」と父が銀行に言ったら、200万円を貸してくれ、退職金で返済しました。

溝口：昭和39年からだと、建て替えまで25年間使用したことになりますね。最初、定員は何人でしたか

門倉：60名でした。最初の年はまだ認可になっていませんでしたが、年度当初は38名入所しました。その後、増えていって昭和40年1月に認可が下り、3月には60名を超えていました。子どもたちに追いかけられてきた感じでした。

溝口：ここの保育園で育った子どもが保育士として戻ってくることはありますか

門倉：かなりいます。その一人は保育士として勤務しましたが、今年の3月に退職して結婚し、現在は東京で保育士として勤務しています。

溝口：長く続いている方は、自宅から通っていることが多い。家族のバックアップがある。職住接近、家族の理解が必要ということでしょうか

門倉：中堅どころにも非常に助けられています。(彼女たちは)一度結婚を機に退職し、その後また戻ってきた人たちです。ありがたいのは、園の方針をわかっているのも、一から教えなくても済むことです。

溝口：例えば、結婚や妊娠で一定期間(職場を)遠ざかってまた戻ってくる場合、育児休業等のバックアップはどのようにされているのですか

門倉：(そういうバックアップを利用して)2人子どもを産んだ人がいます。3人産んだ人もいます。制度としては育休は3年としていますが、保育士自身が「1年でないと職場復帰した時に困る」と言っています。そこで、職員の話し合いの中で、通常の育児休業は1年間としています。

溝口：潜在保育士の方で、職場復帰する時にブランクがあると、ついていけない時があるといわれます。自分の働きやすい時間帯や曜日にパートタイムの形で働いている方はいらっしゃいますか

門倉：パートは2~3人います。退職してからそのように早番で働いている人、ある人は、10年勤務してから退職し、子どもが大きくなったので15年経って戻ってきたケースもありました。

## ・保育士のキャリアパスとライフコース

溝口：0～5歳児まで一通り担当してこなせるようになるのに何年くらいかかりますか

門倉：人それぞれですが、自分自身は10年やって一人前かと思います。10年やれば、とっさの場合にどうしたらいいのか、決断力が付きます。決断力を付けさせていないと教育不足になります。あるいは本人の気持ち不足になる。どんなことをしても自分がリーダーとして責任を持って仕事をして行けるようにしてほしいと思っています。

溝口：最初のステップがその10年と言われていますが、自分の保育理論ができたように思えるのは何年くらいのキャリアが必要でしょうか

門倉：みんなに、「こうだよ」と言えるのは15年くらいでしょうか。

溝口：10年となると30歳になり、人生の節目（結婚）ともダブってしまいますね

門倉：（確かに）そこで辞めていく人もいます。また、ある人は結婚しても仕事を続けたいので、転居先のある病院付属の保育室で勤務しています。精神的に余裕のない人は大体7～8年で辞めていきます。

今回こういう人がいました。わが園の卒園生で、（その後保育士として）まる10年勤めた人ですが、子どもにケガをさせてしまいました。その保育士が用意して持っていたおもちゃの箱に子どもがぶつかり、犬歯に当たってグラグラ状態となってしまいました。すぐに看護師に見せ、母親に連絡しました。その後、食事に注意すべきだったのですが、みんなと同じ食事を摂ったところ、犬歯を飲み込んでしまったのです。「母親も仕方のないことだ」と言ってくれました。それから、保育内容に一層注意を払うようになり、本人は非常に成長したと思います。でも、「あの時は辛かった。子どもも元気でいてくれるし、このまま子どもたちと一緒にいたいと思うのですが、10年経ったし、自分の気持ちにけじめをつけたい。ここで辞めたいです」とのことでした。とてももったいないと思いました。

溝口：（卒業した同期の方の）節目（結婚等で辞める時期）というのはいつ頃でしたか。ピークの時期はあるのでしょうか

門倉：公立（保育所）の建設が始まっていましたが、公立に入れたのは3分の1くらいだったと思います。民間はまだありませんでした。（勤務先で）多かったのは大宮日赤病院の保育室（勤務している職員や看護師の子どもたちを預かる施設）で、5～6名就職していきました。地方から来ていた人は地元に戻りました。

溝口：最近、メンターと言って、やや年上の保育士が新米を教育するというのがあります。具体的に考えられるケースとして25～6歳位の人が20歳位の人を教育することですが、どう思われますか

門倉：それは難しいのではないのでしょうか。歳が離れていれば、教育される方も聴く耳を持つものです。

溝口：主任となると、責任はどのように変わってくるのですか

門倉：「主任はこうあるべき」というような、はっきりとした規約はありません。どのような基準で次期主任を選ぶのかといえば、年功序列でやっています。

溝口：それが一番無難でしょうね。そうすると、保育士の方も「何年後には自分も主任になるだろう」ということをイメージできる訳ですね。

門倉：特に意識してはいません。偶然の成り行きばかりです。やはり勉強している人にはかなわない。

溝口：保育士にとって妊娠から出産までの体験は必要でしょうか

門倉：絶対に必要なものです。ある主任（保育士）は未婚なのですが、子どもの扱いがどうしても厳しくなっています。一番年配の保育士も子どもに厳しかったのですが、自分で子どもを産んで育てると変わりました。親の立場もわかり、子どものこともわかる。大体そういうケースが多かったです。

溝口：そうすると、（保育士として）しばらく働いた後に「寿退職」となり、自分で（出産・育児を）経験した後に戻ってくるというのは、キャリアパスに関して一つのモデルになるということでしょうか

門倉：例えば15年経って戻ってきた人は、子育ても上手く行っています。保育というのは自分で身に付くものです。戻ってくる人を再度受け入れ、放っておいても、15年も経っているのに全く問題ない。（こちらで）何も言わなくても、若い人を育ててくれる部分があります。学んでから子育てをしているので、子どもに対する理解もあります。

溝口：准保育士などの議論が上がっています。子育て経験のある女性なら保育は誰でもできるのではないかと、言う人がいますが、どう思いますか

門倉：きちんとした形で保育をした人でないと身に付かない部分があると思います。（子どもの）命を守るという責任感です。親に対してどう接していくか。この子どものためにど



うしていくかという苦労することによって、人間的に成長します。(例えば、親に子どものことを話す際に) 子どもの不利になることは伝えず子どもの成長の様子を伝えること。(お母さんに)「～ができた。～もできた。～するといいね」と言う風に話します。そのあたりのノウハウを身につけるのは、実際に自分の子どもを育てた人は違うと思う。そういう意味で子育てし、保育士として苦労した人は、良いキャリアを持てるでしょう。

溝口：単に子育てをしただけの経験だけでいいというものではない訳ですね

門倉：保育とは何ぞや、(子どもや親への) どんな関わりが良いのかについて苦労したところが、人間性として一番プラスになる部分です。

溝口：勤務している保育士はほとんどが既婚者ですか

門倉：そうです。また、(保育士の仕事を) 続ける人、続けたい人は、(親族の) 協力者が必要です。

溝口：ご自身の妊娠・出産の際はどのようにされていたのですか

門倉：まだ時代的に育休は取れず、産休だけ取りました。

溝口：男性保育士は何人いますか

門倉：3人です。一番長い人は16年で子育て中。他に4年目、わが園の卒園生です。もう一人は昨年の新卒です。

### ・キャリアアップと継続勤務

溝口：看護師には専門看護師や認定看護師などの制度があります。保育士にもそのようなランク分けする発想についてはどう思いますか

門倉：よくわかりませんが、そういったものがあると励みになると思います。いくら優秀で頑張っても、(賃金を上げる) 形で評価できない。ただ、むずかしいですね。

溝口：企業には出世・職階というものがあります。大学の教員でも、助教、講師、准教授、教授などがあり、教育・研究の実力が反映されます。つまりある職階になれば、次の目標がでてきます。保育士の場合、主任、副園長、園長だけで、自分の位置がどの辺りなのか、自覚や他者に説明するのが難しいように感じますが

門倉：そういうものが公立と違い、私立はあいまいです。私たちも経験していないので、よくわかりません。

溝口：こうした職階制度はあった方が良いですか

門倉：あった方が、張り合いが出てくるでしょう。保育士の専門性について、こちらのNPOの研究所の課題として、希望者に委員になってもらい、7～8回の研修会を開いたことがあります。

溝口：ある保育所では、（保育士のランクを）8段階に分けて、「～ができれば～級」というようにしています。これを見れば、「自分はここまでできるので、～級だ。」と自ら言えるわけですが

門倉：ランクについては、わが園にも何段階かあります。

### ・保育所の方針・理念と研修

溝口：どのようなことをモットーとしていますか

門倉：「和」です。本当に連携がないと、（子どもの）命は守れない。50年間で卒園生が約三千名いますが、わが園の中で命を落とした子はいません。ケガで不自由になった子どももいません。

溝口：研修について、園内・園外でどのように使い分けていますか。中心にやっているのはどちらですか。園内研修の記録は残っているのですか

門倉：園内研修は以前から長い間やっています。以前は宿泊研修をやっていましたが子育て中が増え事情が変わってきたので、現在は7月頃、12月、3月の土曜日を1日使って年3回3園集まって行っています。土曜日は通常業務がないので、やりやすい。ただし、保育をする必要があるため、パート職員で対応しています。企画は園長と主任が行い、実践の報告も行います。園内研修の記録も残っています。外部講師も呼びますが、テーマを決めて自分たちで話し合っ解決することが最近は多いです。

なかなか解決できないのが、超過勤務です。昨年まで手当を月4回、毎週火曜日17:00～19:30の2時間半の枠でつけていましたが、今年からは、月2回の2時間としました。このため、どのようにしたら、早く終わることができるのか、みんなで検討したのですが、いつも変わりません。

溝口：外部研修は

門倉：届いた案内はすべて主任に連絡が行くようにして、誰が行くかを決めています。なるべく年2回、3回、費用は園の負担で行けるようにしています。また、NPO（なでしこ保育研究所）で研修に取り組んでいます。園でできないものもあるので、若い人たちに

はそちらにも参加するようにしています。外部研修は、行った人がどこまで身につけてこられるのかが見えない。「～は～ですよ」と教えてもらうより、テーマを決めて～について（自ら）考え、自分なりの考えを発言し、書く。だから、内部研修の方が身に着くのではないのでしょうか。

溝口：保育のマニュアルがありますが、どうして必要になったのですか

門倉：子どもの数が少なかった頃は、（5時に保育が終わった後に）お茶を飲みながら話し合っ解決すればよかった。しかし、第二園ができて職員が増えた時、（保育園での出来事について）「知らなかった」とか「聞いていない」という声が上がりました。そこで、連絡会の場を設ける等工夫をしたのですが、保育をいかにして伝えていくかという部分で苦勞して、こういったものを作りはじめたのが平成元年でした。平成15年に保育編・職務編の2種類のマニュアルができた。その後1冊に統合され、更に保育編（0～2歳）、保育編（3～5歳）、職務編の3部構成となりました。

溝口：保育士の中核部分はこのマニュアルに

門倉：新しい職員にはこのマニュアルを渡します。まず、担当の箇所をよく読む。そして保育に入ってよくわからないことはこれに書いていく。先輩がいるところは、先輩に確認しながら、このマニュアルに近い保育をするということが、原則です。第二園ができるまでは、一年にあまり（大量に職員が）入ってこなかったこともあり、主任と一緒に付いていました。途中でそれができなくなった。だからこれは最小限度必要なものです。

溝口：はじめから、自分で考えてやるのは無理でしょうか

門倉：そうです。（子どもの）命を守るという、最低限必要なものは教育しなければ、（保育を）させることはできません。

溝口：（マニュアルが）分厚くなってくると、（こんなに読まなければならないのか？という義務感）が出てきませんか

門倉：確かにそうです。そのため、年齢別にしました。

溝口：これは職場内研修のようなものでしょうか

門倉：「マニュアルにはこう書いてあるが、こうではないのか？」というように、マニュアルを直していきます。直したものを次の10年後に整理していくのです。

溝口：(マニュアルを) 計画的に直していくのは素晴らしいことですね

門倉：自分がいたから(できた。)次は娘が後を継ぎます。

溝口：保育士の職能団体への参加はありますか

門倉：誰かが必ず出るようにしています。地元の保育士会へは必ず出席しています。

### ・保育士の離職について

溝口：たとえば、養成校時代の同級生の方で、保育の現場から離れた方は

門倉：大半が離れたと思います。私たちの年代では、公立に入った人も子どもを出産したら辞めるというのが普通でした。職種に限らずそういう時代だったと思います。現在保育士65名のうち、一旦退職後に戻ってきて勤務している人が12名います。

溝口：辞める理由として結婚は別として、給与が理由というのはありましたか

門倉：私の所の3園ともに、収入に対する人件費の割合が83%を超えており、会計士から注意を受けています。創立50年になり、職員と相談して今年初めて昇給停止の措置を行いました。また、来年は昇給しますが、ボーナスは3.9ヶ月にすることにしました。誰一人、そのことを気にして辞める人はいませんでした。もしかしたら、これからは辞める人ができるかもしれません。

溝口：マスメディアによれば、保育士を辞める理由として給与の問題が挙げられていますが、実際に聞いてみると、給与額については実習の時からある程度わかっています。「子どもが好きだから」という理由で仕事に来ている訳で、離職に関して給与はいわれているほど影響はない感じがします。また、アンケートで結構でてくるのですが、一旦離職された方が復職した場合、給与についてはこだわらないようです。

門倉：私もそう思っています。誰一人口に出す人もいないし、外部から言われることもありません。夫がリストラされた保育士から「(門倉)先生、おかげで助かりました」と言われたことがあります。

溝口：離職の原因については、女性の職場に多いのが人間関係というのがありますが

門倉：自分でいうのもおかしいことですが、こんなところで、こんなに(長く)続けていただくのが、ありがたいことです。3園全体で職員が90人近くいて、3園全体で行動していますが、嬉しいことに派閥というものはありません。中堅の保育士たちがよく働いてくれています。一旦退職してその後、戻ってきた人や、子育てが終わって正規ないし準正

規で働いている人。ともかく子どもが好きで若手を育ててくれています。

溝口：辞める理由は何でしょう

門倉：いままで入ると途中で辞めることはほとんどありませんでしたが、ここ2～3年の傾向として、入って7～8年で辞めています。去年辞めた人は結婚して転居したケースでした。

「あと1年やって年長（クラスの担任）が終われば、自分でも納得できる仕事になって、子育てが終わった時にまたやってみようと思えるようになるんだよ。」と言っていますが…。

溝口：最近では、養成校で保育士資格を取っても、半分は保育士にならないことについて、どう思われますか。養成校で卒業生の8割が保育現場に行けば、数の上では保育士が不足することは無いのですが

門倉：魅力のない仕事なのではないでしょうか。こんなに足りないことがあるのかと思います。

溝口：保育士職に魅力がない、というのは（具体的に）どういうことですか

門倉：若い人は、子どもと関わることの本当の面白さがわからないから、（職業の選択を）給与や労働条件で考えているのではないのでしょうか。自分も子どもが好きで始めたわけではありませんでした。本当にこの仕事をやっていて良かった、と思えるようになったのは、40周年頃ではないでしょうか。それまでは、本当にきつかった。その40年は非常に重荷があった。（当時は）まだ夫がいて相談に乗ってくれたし、支えてくれましたが。

溝口：長時間ありがとうございました

門倉：ありがとうございました。

## 5. おわりに

本稿は、日本保育協会が選定した20年以上、保育所に継続的に保育士として勤務されている3名の方に対するインタビュー調査の結果をまとめたものである。こうした保育の世界で活躍された保育士の方に共通していることを検討していくことで、保育士の「キャリアパス」を浮き彫りにする素材の一つになることを期待しながら調査研究を進めた。

その際、

- ・保育士としてスタートするまで

- ・保育士のキャリアパスとライフコース
- ・キャリアアップと継続勤務
- ・保育所の方針・理念と研修
- ・保育士の離職について

の5項目を設けて整理した。インタビューを行いながら気づいたのは、特殊な事項や特異な体験はほとんど感じられなかったことである。むしろ、極めて平凡、ありきたりときえ思えることが保育士として勤務を継続されてきた背景にあった。たとえば、保育士を目指した動機については、強いあこがれであるとか使命感などは見られず、親族からの勧めであるとか、なんとなくであるとか、仕事として受け入れた、とかである。

加えて、今日と異なることは養成校で学ぶ学生時代の意識である。保育の世界で40年になる方が通学していた頃の養成校は、卒業後ほぼ全員が保育の世界に入っていたという。しかし、時間とともにその割合が低下し、現在では半数以下の所もまったく珍しくない。そこでの教育課程は、学理を基盤とした実践的な現場実習や援助技術を含めたカリキュラムや教育効果等の研究成果が逐次反映され、改訂がなされているにも関わらずである。

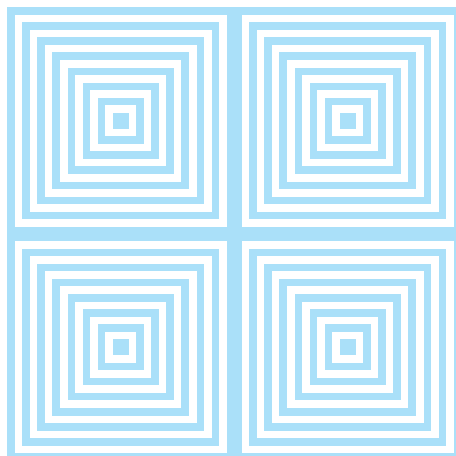
それは、繰り返し語られるように保育に求められる専門性の向上や多様化した保育ニーズへの的確な対応が顕著になっていることが背景にあると指摘できる。とくに、1990年代以降では、乳幼児保育や時間外・延長保育、気になる子、障がいがある子などへのきめ細かな保育が望まれるようになった。また、21世紀に入ってから、保育所保育士に地域の子育て支援に関するソーシャルワーカーとしての働きや保護者に対しては、保育に関する適切な指導や助言が求められるようになった。さらに、保護者や近隣住民からの過度とも感じられる要望や苦情等も増大している。

こうしたいわば社会的問題から、養成校に学ぶ学生は、保育士として意欲的に立ち向かっていくというよりも対応に苦慮することが目に見え、萎縮ないしは躊躇してしまうことがしばしばである。加えて、保育所の書き物をはじめハードな勤務体制、複雑な人間関係、報われているとは思えない給与水準等である。このように、現在の保育士を取り巻く状況は極めて厳しいのである。

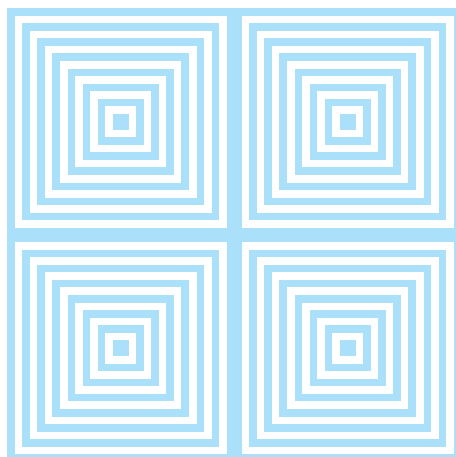
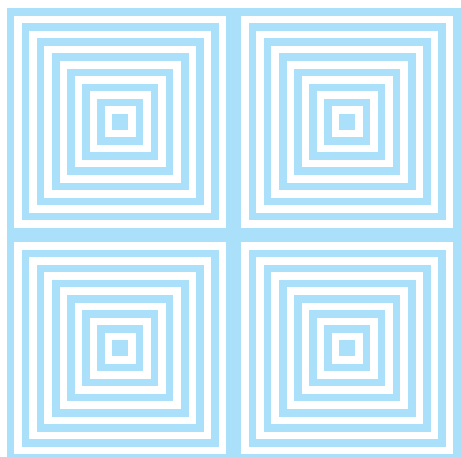
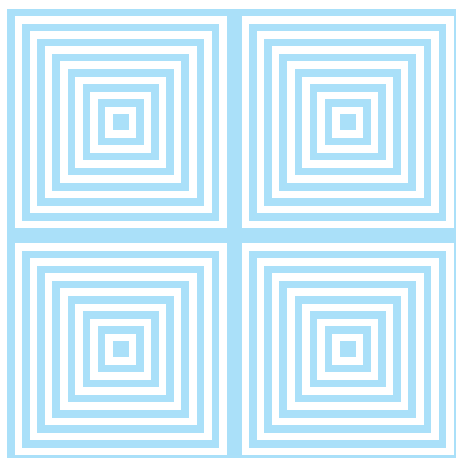
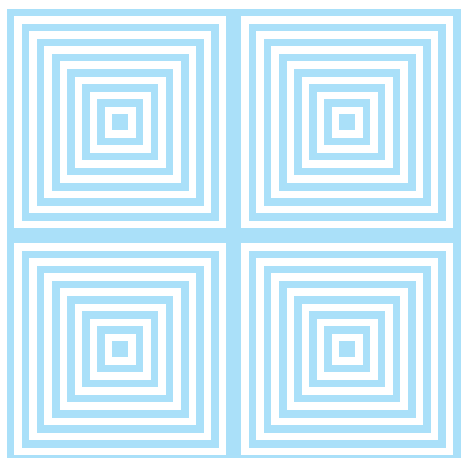
それでは、20年以上勤務が継続したベテラン保育士の方々はどのように乗り越えてきたのだろうか。3名のインタビュー調査の回答者に共通したことは、家族・親族からのサポートであった。これだけで普遍化するのはいささか乱暴ではあるが、養成校在学時から家族・親族とのコミュニケーションが密であることや深い理解と支援を得ていたことが大きな要因である。具体的には、家族・親族との同居・近居とそこからの通学・通勤ということである。また、保育所の理念や園長の見識も重要な要素と感じられた。

今回は、インタビュー結果に対するデータ分析を控え、ほぼ回答の復元にとどめた。今後は、回答者の数を増やし、さらなる本格的な分析を行ない、「キャリアパス」の図柄を構築することができればと思っている。

# 第6章



# 総合考察







### 1. 本研究で得られた主な結果

保育士資格取得者は年々増加しているが、ここ数年前から保育所における保育士の需要に対して、供給不足が続いている。私立保育所での保育士が離職する平均勤務年数は約7年といわれているが、保育士の勤務年数が延びると保育士不足の解消にも寄与することになるとともに保育の質も向上すると考えられる。今後、保育士の確保が困難になっている中で、この離職する年数を延ばすためには、保育士にとって保育所が魅力あり、長期間勤務できる職場となるためには、その業務にあった報酬や地位が保障されることと、保育士自身の保育の質の向上のためのキャリア形成、働きやすい職場環境の整備などが必要ではないかと考えられる。

このような背景を受け、本年度の調査研究では私立保育所でのキャリアパスのあり方をアンケートとヒアリングという2つの方法で調査した。

本研究で得られた主な結果は次の通りである。

(1) 所長にキャリアパスを考慮した保育所職員の処遇システムが必要かという質問に対して、76.5%以上の所長が必要であると回答した。その理由を聞いたところ、「質の向上のため」「やる気。モチベーションを高めるため」「優秀な人材の確保・育成」などがあげられた。

(2) 所長が保育士のキャリアパスを構築するためには必要であると答えたのは、「最低基準以上の職員配置」「キャリアパスに対応した運営費の改善」「給与に加算するための補助金」「行政や団体等が行うキャリアパスに対応した研修」「研修を可能にする人的配置」「運営費等の弾力的運用」等であった。

(3) 保育士の就労希望を調査したところ、一番多いのは「体力の続く限りいつまでも続けたい」が45.4%であった。

(4) 保育士が仕事へのやりがいを感じるのは「子どもが喜んだとき」「子どもの成長を感じることができた時」「保護者から感謝された時」「他の職員との協働で目標が完成した時」「給料が上がったとき」「役職が上がった時」であった。

(5) 勤務年数が長い保育士3名にヒアリングをしたところ、長く勤めることには、主に①家族・親族のサポートの有無、②保育所の理念や所長の見識という2つの要因が大きく関係することが明らかになった。

(6) 業務の難易度について、アンケート調査で、所長には「貴保育所において、次の各業務を実際に行っているのは、おおむね何年の経験をもつ保育士ですか」と「貴保育所において、次の各業務を、理想としては、おおむね何年の経験をもつ保育士に任せたいですか」という2

つの設問で尋ねた。また保育士には「あなたは次の各業務がどの程度できますか」と「次の各業務を自信を持ってできるようになるには、おおむね何年の経験が必要だと思いますか」の2つの尋ね方をした。その結果、園長と保育者が考える業務の難易度について、順番はそれほど変わらなかった。そこで、これらの結果を統合して、作成したキャリアパスモデルが表6-1である。

(7) 表6-1の第1行にある業務に対する研修の希望と実績を尋ねたところ、多くの希望がありながら、実際に研修を受けた者は少ないことが明らかになった。

## 2. 本研究の意義

本研究には次の4つの意義がある。すなわち、(1) 保育士確保の柱を束ねる錠（かすがい）、(2) 保育所長が職員の処遇システムを検討する際の資料、(3) 保育士が仕事へのやりがいを感じるための目標を構築するための基盤、(4) 保育士の研修体系を構築するための新しい出発点という4つの意義である。以下ではそれぞれについて詳述する。

### (1) 保育士確保の柱を束ねる錠（かすがい）

平成25年10月、厚生労働省雇用均等・児童家庭局及び職業安定局は、「保育を支える保育士の確保に向けた総合的取組」を公表した。これには次の5つの柱が立てられていた。すなわち、①人材育成、②就業継続、③再就職、④働く職場の環境改善、⑤人材確保を支える取組の5つの柱である。そして、これらの5つの柱は、それぞれ独立に立てられていた。

本研究で作ったキャリアパスモデルは、これらの柱をつなぎ、束ねる役割を担うことができる。

人材育成について、養成段階でキャリアパスモデルを公開すれば、教員や学生がこれを意識することができる。例えば、教員が教授する際にキャリアパスモデルを参照すれば、各授業内容がキャリアパスのどこにつながるかを伝えることが可能になる。学生も日頃からキャリアパスを意識すれば、養成施設の卒業生は、将来設計を建てた上で就職できることになる。

就業継続について、現職の保育士が、このモデルを見られれば、小さな目標を積み重ねてキャリアアップを考えることができる。手が届く目標があれば、離職を防げる可能性が高まる。もちろん、これは以下に述べる研修体系とも関係するが、意欲的な就労を支えるのに資することは間違いない。

再就職について、キャリアパスモデルが自治体、保育所、潜在保育士の間で共通理解されると、キャリアパスのどこまで達成してから離職したのか、再就職はどこからスタートできるかが明確になる。また、潜在保育士の再就職前の保育実技研修等にも役立つ。さらに、

表6-1 本研究で作成したキャリアモデル

	平均値	自己評価	確認・助言
環境整備	2.83	3.13	6.12
基本的な生活習慣支援	3.36	3.90	6.10
興味関心を持つ活動の提供	3.98	5.51	5.94
生命の保持	4.25	5.44	5.77
情緒の安定	4.64	5.35	5.67
指導計画作成	4.72	5.22	5.62
遊具の安全管理	4.79	5.52	5.60
保護者向け書類作成	5.09	5.51	5.52
障がい児保育	5.09	5.51	5.52
3歳未満児クラス担任	5.09	5.51	5.52
3歳以上児クラス担任	5.09	5.51	5.52
乳児クラス担任	5.09	5.51	5.52
研修会・学会での発表	5.11	5.51	5.52
病気やケガへの対応	5.16	5.51	5.52
新人保育士指導	5.35	5.51	5.52
実習生指導	5.44	5.51	5.52
職員間連絡調整	5.51	5.51	5.52
保護者相談対応	5.52	5.51	5.52
小学校との連携	5.60	5.51	5.52
地域向け子育て支援	5.62	5.51	5.52
指導計画確認・助言	5.67	5.51	5.52
新人以外の保育士指導	5.77	5.51	5.52
関連各所連絡調整	5.94	5.51	5.52
保護者苦情・クレーム対応	6.10	5.51	5.52
自己評価	6.12	5.51	5.52
1 1年未満			
2 1年以上3年未満			
3 3年以上5年未満			
4 5年以上7年未満			
5 7年以上10年未満			
6 10年以上15年未満			
7 15年以上			
教えてもらったでできる			
自分自身の力でできる			
他の保育士を指導できる			
保育士の集団や組織、園全体をリードできる			

マッチングの視点でも、保育所が求める人材を探しやすくなるという利点がある。

職場の環境改善について、年功序列のみの処遇では、質の向上は図れない。年齢が高くなれば、例えば、子どもと一緒に活発に走り回り続けることは、必ず困難になるからである。本研究で提案するキャリアパスは、勤務年数を踏まえて構築したモデルなので、これを踏まえば、責任ある仕事を年配の保育士に任せることを検討できる。また、経験者が仕事を若い保育士に伝えていくことも容易になる。

人材確保を支えるしくみについて、キャリアパスモデルは、「都道府県子ども・子育て支援事業支援計画」の策定にあたり、どの業務を遂行する保育士が必要なのかを検討する資料となる。また都道府県を越えて、人材を確保するしくみの構築にも、本モデルは貢献する。どのような資質を持つ保育士が必要なかが明確になるからである。

このように5つの柱の全てに本研究で提案するキャリアパスモデルは役立てることが可能である。

## (2) 保育所長が職員の処遇システムを検討する際の資料

保育所長がキャリアパスを考慮した保育所職員の処遇システムが必要と答えた理由は、「質の向上のため」「やる気。モチベーションを高めるため」「優秀な人材の確保・育成」であった。「保育所の保育の質を高める職員」「やる気。モチベーションが高い職員」「優秀な職員」の処遇をより高めるのをやぶさかに思う保育所長はいない。以下では、それぞれの理由に、本研究で提案するモデルがどのように役立つかを述べる。

「質の向上」について、本研究で提案するキャリアパスモデルは、次のように貢献できる。例えば、表6-1のほぼ中央にある「乳児保育の主担任」ができる保育士がいるとしよう。彼または彼女は、おそらくこれより左側の業務がおおむねできるであろう。なぜなら、本研究のキャリアパスモデルは、業務の難易度を保育所長と保育士の様々な視点から捉えて構築したモデルだからである。そこで、保育士に彼または彼女に、左側の業務について、他の保育士と協働させることが可能となる。協働は、保育士を育てる。育たないと協働が困難だからである（例えば、清水ら、2011、演習形式による「協働」の教授方法に関する一考察—保育所における保育士の「保育にかかわる協働」の分析から—保育士養成研究、28、21-30）。業務のやり方を見せ、指導する機会にもなる。このように業務の協働を支え、全体として保育の質の向上に資する基礎資料に、本研究のキャリアパスモデルは活用できる。

「やる気、モチベーションを高める」ことについて、保育士に小さな目標を意識させるのに、本研究のキャリアパスモデルは役立つ。例えば、乳児クラスの主担任には、10年以上15年未満程度の経験年数が標準である可能性があることを、本研究は示唆した。0歳から5歳まで6つの年齢クラスがあり、それぞれの担任を1年ずつ順に経験すると想定すると、0歳児の担任の

3回目くらいで主担任になることが想定される。2回担任を経験すると、次は主担任になる可能性があると考えられる。とすると、2回目の担任の年には、次に自分が主担任になっても大丈夫なように学びながら、業務を遂行する必要性を感じるであろう。この感じ方こそが、「やる気、モチベーション」につながる。このように、数年後の責任ある立場を想定させるのに、キャリアパスモデルは活用できる。

「優秀な職員」について、多くの保育所長が悩むのは、客観的に見て「優秀」とはどういうことかである。いつ、何が、どの程度できれば優秀か。本研究で提案するキャリアパスモデルは、このうち、「いつ」と「何が」に対する標準的な値を提供する。具体的には、表6-1の青色で示した値が標準と考えられる。例えば、「指導計画作成」の業務に関する平均は3.91であった。「3」が3年以上5年未満、「4」が5年以上7年未満と考えると、3.91は「3」の経験年数、すなわち5年未満では困難であることが示唆される。この示唆に基づけば、5年目で指導計画がうまく立案できる保育士は優秀と言えよう。なお、表6-1は、「どの程度」に関しても、「自分でできる」「他の保育士を指導できる」など、ステップの指標を提案している。

このように本研究で提案するキャリアパスモデルは、保育所長が職員の処遇システムを検討する際に役立つ資料の1つになる。保育所長へのモデルの周知と上記のような活用の仕方の情報提供が求められる。もちろん様々な理由で、実際には処遇を高めにくい可能性はあろう。この点については、本キャリアパスモデルが普及し、自治体や国として、保育の質が向上する目処が立った時点で、自治体や国が考えるべきことである。その際の保育所長の希望は、本研究でも明らかになっている。

### **(3) 保育士が仕事へのやりがいを感じるための目標を構築するための基盤**

保育士が仕事へのやりがいを感じると答えた評定平均値、「子どもが喜んだとき」「子どもの成長を感じることができたとき」「保護者から感謝されたとき」「他の職員との協働で目標が完成したとき」「給料が上がったとき」「役職が上がったとき」の順に高かった。このうち、「子どもが喜んだとき」「子どもの成長を感じることができたとき」「保護者から感謝されたとき」「他の職員との協働で目標が完成したとき」の4つは、保育の質の向上と関係する。「(2) 保育所長が職員の処遇システムを検討する際の資料」で述べたように、質の向上に、キャリアパスモデルは深く関わっている。

「給料が上がったとき」と「役職が上がったとき」は、キャリアパスがキャリアアップにつながったときに実現されることである。保育士が、自ら立てた目標に近づくよう努力し、その目標が達成されることこそ、公私ともにキャリアアップとなる。努力が自己満足で終わらず、お金として報いられ、かつ周囲からも認められることが、仕事のやりがいであろう。キャリアパスモデルは、その道標となる。

#### **(4) 保育士の研修体系を構築するための新しい出発点**

保育士の研修体系については、これまでに様々な提案がなされてきた。例えば、日本保育協会（2007、2011）は、保育士の業務を分析して、「1. 専門職としての基盤」「2. 専門的価値・専門的役割」「3. 保育実践に必要な専門的知識・技術」「4. 組織性」の4つの柱からなる研修体系を公表した。また、高知県教育委員会は、「幼保研修」として、毎年、研修体系を見直し、当該年度の研修を計画している（[http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310308/files/2014032100025/2014032100025\\_www\\_pref\\_kochi\\_lg\\_jp\\_uploaded\\_life\\_102749\\_388599\\_misc.pdf](http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310308/files/2014032100025/2014032100025_www_pref_kochi_lg_jp_uploaded_life_102749_388599_misc.pdf)）。

しかしながら、これらはキャリアパスモデルと直結するものではなかった。というのは、研修体系からキャリアパスモデルを構築したり、「保育者のライフステージに応じた基本研修」とするなど具体的なキャリアパスモデルとは離れた形で研修が組まれていたからである。これに対して、本研究が提案するキャリアパスモデルに基づく研修は、キャリアパスに直結する。すなわち、キャリアアップのための研修体系なのである。現段階では、どのような研修が必要かについての具体的な提案はできないが、新しい出発点を提供する大きな資料と言えよう。

### **3. 本研究の応用・発展**

本研究は、次の2つの方向に発展させることができる。すなわち、(1) 様々な職種のキャリアパスモデルや研修システムを構築する際の方法論の検討、(2) 証拠に基づく就業システムの構築、という2つの方向である。以下では、それぞれについて詳述する。

#### **(1) 様々な職種のキャリアパスモデルや研修システムを構築する際の方法論の検討**

本研究ではキャリアパスモデルを作成するにあたり、保育所長と、通算勤務年数7年未満及び7年以上の保育士に調査を実施した。所長には「貴保育所において、次の各業務を実際に行っているのは、おおむね何年の経験をもつ保育士ですか」と「貴保育所において、次の各業務を、理想としては、おおむね何年の経験をもつ保育士に任せたいですか」という2つの設問で尋ねた。保育士には「あなたは次の各業務がどの程度できますか」と「次の各業務を自信を持ってできるようになるには、おおむね何年の経験が必要だと思いますか」の2つの尋ね方をした。このように様々な視点を踏まえてモデルを構築したことが本研究の特徴である。

この様々な視点を踏まえるという方法は、他の様々な職種におけるキャリアパスモデルや、保育士を含めた多くの職種の研修システムの構築に発展させることができる。すなわち、現状、期待、勤務経験が少ない者と多い者の経験及び実績または予想という多くの視点を取り入れたキャリアパスモデルや研修システムの構築の1例として、本研究は位置づける

ことができる。

もちろんこの方法が、唯一の完全な方法とは言えない。しかし質問紙調査で得られた結果から構築できることと、他の方法と比較が可能なのは確かである。今後、様々な職種での研究が期待される。

## **(2) 証拠に基づく就業システムの構築**

多くの保育所では、勤務年数に基づく就業システムが稼働している。すなわち勤務1年目の職員に任せる業務、勤務3年以内の職員に任せる業務、同5年以内の職員に任せる業務などというように、勤務年数と職務内容にはおおむね相関がある。しかしながらこの就業システムには、2つの問題がある。

1つめは保育士の個人差に対応していないことである。おおむね3年で身につけることが期待される知識や技術を、2年で身につける保育士もいるし、5年かかる保育士もいる。また、ある職務は得意だが、別のある職務は苦手という職員もいる。勤務年数だけに頼ると、このような個人差には対応できない。

もう1つは、全く新しい業務には対応できないことである。子ども・子育て新制度が動き出し、国ではなく市町村が幼児期の教育・保育に対するニーズを把握し、計画を立て、事業を実施することになった。ニーズによっては、現在行われている業務とは異なる、全く新しい業務が生まれるかも知れない。勤務年数だけに基づく就業システムでは、このような業務には対応できない。

本研究では、保育所長から見た現状と期待、勤務経験が少ない保育士と多い保育士の経験及び実績または予想でキャリアパスモデルを構築した。この手法を1つの園内で実施することにより、キャリアパスの共通理解が可能になる。すなわち、所長が認識している現状と期待の違いを保育士が知り、また保育士の実績と現段階での限界を保育所長が知ることになる。このようにキャリアパスに対する共通理解の下で、保育所長と保育士が就業システムを構築するきっかけを本研究は与えるであろう。

## **4. 本研究の限界と今後の課題**

本研究には4つの限界がある。1つ目は、調査対象を私立保育所に限定したことである。公立保育所でもキャリアパスを構築することが必要なのは言うまでもない。

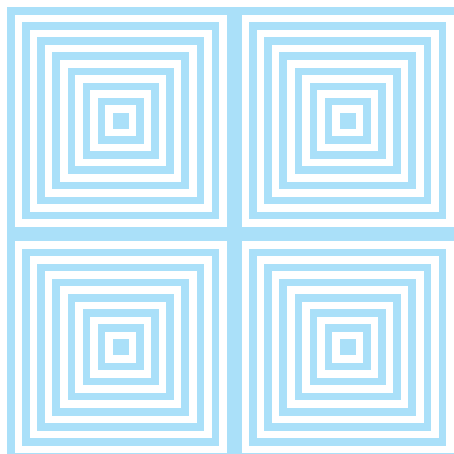
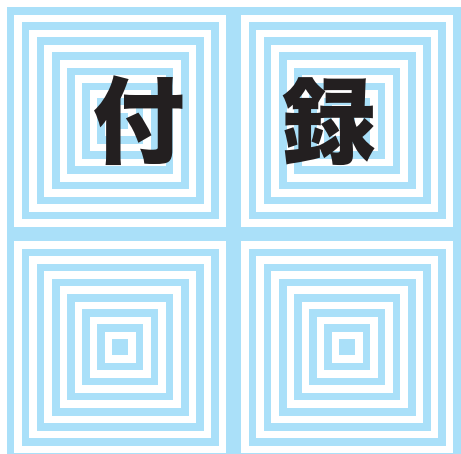
2つ目は、勤務年数が7年未満と7年以上の2つのグループしか調査しなかったことである。本研究では、「1. 1年未満」「2. 1年以上3年未満」「3. 3年以上5年未満」「4. 5年以上7年未満」「5. 7年以上10年未満」「6. 10年以上15年未満」「7. 15年以上」の7つの勤務年数を想定している。それぞれに対応する実態を調査する必要がある。



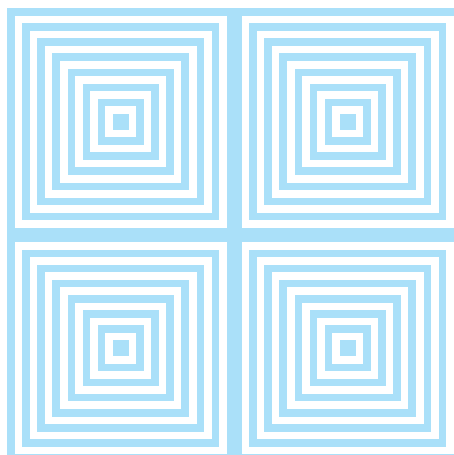
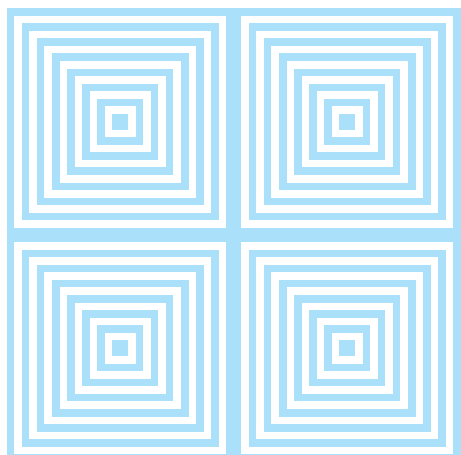
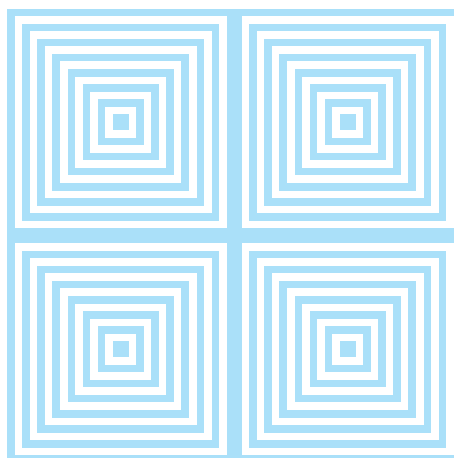
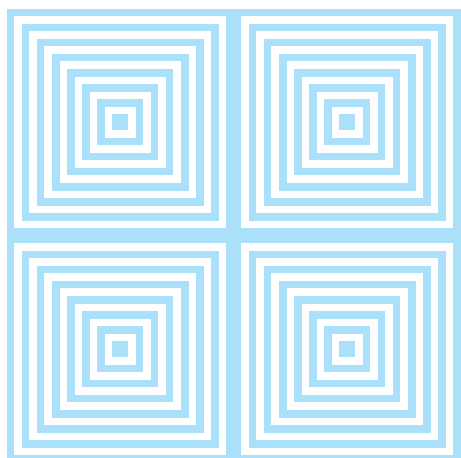
3つ目は、ヒアリングを勤務年数が20年以上の3名の保育士を対象にしか行わなかったことである。長く勤めることには、主に①家族・親族のサポートの有無、②保育所の理念や所長の見識という2つの要因が大きく関係することが明らかになったが、これらの要因は、勤務年数によって変わるかも知れない。

4つ目は、本研究では、アンケート調査とヒアリング調査の2つを用いたが、実際の業務の観察は行っていないことである。例えば、ある業務ができると答えた保育士が、実際にその業務を適切に遂行できているかどうかはわからない。

もちろん、キャリアパスモデルの構築とその試行実施には、これらの限界が差し障るとは言えない。ただし、このモデルを精錬するには、これらの限界を超えるべく、新しいデータを取り、研究を深める必要がある。



**平成26年度**  
**保育士のキャリアパスに関する調査票**  
保育所長用・保育士用（勤続7年未満、7年以上は内容同じなのでひとつ）の2つ





調査票 保育所長用

平成 26 年度 保育士のキャリアパスに関する調査票 社会福祉法人 日本保育協会

**保育所長用**

この調査票は、保育所長ご本人がご記入下さい。

調査時点は、平成 26 年 10 月 1 日（水）現在とします。（締切日：平成 26 年 11 月 19 日必着）

※ここで言う「キャリアパス」とは、「保育士として求められる仕事を責任をもってするために、保育士としての経験等を積み重ねていくこと、それに伴い知識・技術・専門性等が向上していくこと」とします。

I. 貴保育所のことについてお尋ねします。

1. 貴保育所の所在地をご記入下さい  
都道府県名（ ） 市区郡名（ ） 町村名（ ）
2. 同一法人内にある保育所の数はいくつですか \_\_\_\_\_ヶ所
3. 貴保育所の児童定員数は何人ですか（認定こども園の場合は保育所部分のみ、分園は除きます）  
\_\_\_\_\_人
4. 貴保育所のクラス別在籍児童数について、次の表を埋めて下さい（認定こども園の場合は保育所部分のみ、分園は除きます）

クラス	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5歳以上児	計
人 数	人	人	人	人	人	人	人

5. 職員数について、次の表を埋めて下さい

	保 育 所 長	保 育 士			調 理 員		事 務 員		(看護師等) その他	計
		正 規 *		非 正 規 *	正 規	非 正 規	正 規	非 正 規		
		勤務年数 7年以上 *	勤務年数 7年未満 *							
人数	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

（\*：詳細は、調査票に同封しました「保育士のキャリアパスに関する調査へのご協力のお願について」の 4. をご参照下さい。）

6. 職員の中に保育士として他の認可保育所（公営・民営）での勤務を経験した方がおられますか、いずれかの数字に○をつけて下さい。1 の場合は（ ）内に人数をお書き下さい  
1 いる（ ）人      2 いない
7. 給与体系は年功序列ですか、いずれかに○をつけて下さい  
1 はい      2 いいえ
8. 別法人等で働いていた場合の保育士経験を年功序列に考慮していますか、いずれかに○をつけて下さい  
1 はい      2 いいえ
9. 就業規則に人事考課を位置づけていますか、いずれかに○をつけて下さい  
1 はい      2 いいえ
10. 保育士の昇格や昇給にあたってキャリアパスを考慮していますか、いずれかに○をつけて下さい  
1 はい      2 いいえ
11. キャリアパスを考慮した保育所職員の処遇システムが必要だと思いますか、いずれかに○をつけて下さい  
また、いずれの場合もその理由を（ ）内にお書き下さい  
1 はい      2 いいえ  
( )
12. 貴保育所では「主任保育士」という役職を置いていますか、いずれかに○をつけて下さい  
1 はい      2 いいえ
13. 前の設問で 1 を選んだ方にお尋ねします、その主任保育士は、保育士としての勤務経験が何年目の時に、今の役職に配置されましたか：（ ）年目程度

II. あなた自身のことについてお尋ねします。

1. 認可保育所長としての通算勤務年数は何年ですか \_\_\_\_\_ 年
2. あなたはどのような資格・免許を持っていますか。持っているものすべての数字に○をつけて下さい
  - 1 保育士資格    2 幼稚園教員免許    3 その他の教員免許    4 福祉関係の資格    5 医療関係の資格
  - 6 労務関係の資格    7 法律関係の資格    8 その他の資格・免許    9 資格・免許なし
3. これまで「キャリアパス」についてご存知でしたか、いずれかに○をつけて下さい
  - 1 はい                            2 いいえ
4. 前の設問で1を選んだ方はその理解の程度について、該当する番号を1つだけ選んで○をつけて下さい
  - 1 他人に説明ができる    2 自分なりに理解している    3 言葉だけ知っている

III. 貴保育所において、次の各業務を実際に行っているのは、おおむね何年の経験をもつ保育士ですか。

該当する番号を1つだけ選んでお書き下さい。貴法人以外に他の認可保育所（公営・民営）における保育士（正規職員）としての勤務経験がある場合は、その年数も考慮して下さい。

- 1 1年未満    2 1年以上3年未満    3 3年以上5年未満    4 5年以上7年未満    5 7年以上10年未満
- 6 10年以上15年未満    7 15年以上    8 該当なし（業務を行っていない場合等）

	業 務	実際に行っている保育士の経験年数
1	乳児クラスの主任	
2	3歳未満児クラスの主任	
3	3歳以上児クラスの主任	
4	子どもの情緒の安定を図ること	
5	子どもの生命の保持を図ること	
6	（食事や排泄、着替えなど）子どもの基本的生活習慣の支援をすること	
7	子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること	
8	（壁面や季節に応じた装飾、掃除など）保育室や保育所内の環境を整備すること	
9	遊具の安全管理を行うこと	
10	子どもの病気やケガへの対応を判断すること	
11	行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと	
12	指導計画を作成すること	
13	指導計画の確認や助言を行うこと	
14	おたより等の保護者向けの書類を作成すること	
15	職員間の連絡調整等を行うこと	
16	実習生の指導を行うこと	
17	新人保育士の指導を行うこと	
18	新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること	
19	保護者からの相談への対応に関すること	
20	保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること	
21	障害のある子どもの保育に関すること	
22	地域の保護者等に対する子育て支援	
23	小学校との連携に関すること	
24	研修会や学会などでの発表を行うこと	
25	保育士の自己評価について確認や助言を行うこと	

IV. 貴保育所において、次の各業務を、理想としては、おおむね何年の経験をもつ保育士に任せたいですか。  
 該当する番号を1つだけ選んでお書き下さい。(前の設問Ⅲ.において、「8」(該当なし)と回答された項目は、この設問においても「8」(該当なし)と回答をお願いします。)

1 1年未満 2 1年以上3年未満 3 3年以上5年未満 4 5年以上7年未満 5 7年以上  
 10年未満 6 10年以上15年未満 7 15年以上 8 該当なし(業務を行っていない場合等)

	業 務	理想として 任せたい 保育士の 経験年数
1	乳児クラスの主担任	
2	3歳未満児クラスの主担任	
3	3歳以上児クラスの主担任	
4	子どもの情緒の安定を図ること	
5	子どもの生命の保持を図ること	
6	(食事や排泄、着替えなど)子どもの基本的生活習慣の支援をすること	
7	子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること	
8	(壁面や季節に応じた装飾、掃除など)保育室や保育所内の環境を整備すること	
9	遊具の安全管理を行うこと	
10	子どもの病気やケガへの対応を判断すること	
11	行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと	
12	指導計画を作成すること	
13	指導計画の確認や助言を行うこと	
14	おたより等の保護者向けの書類を作成すること	
15	職員間の連絡調整等を行うこと	
16	実習生の指導を行うこと	
17	新人保育士の指導を行うこと	
18	新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること	
19	保護者からの相談への対応に関すること	
20	保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること	
21	障害のある子どもの保育に関すること	
22	地域の保護者等に対する子育て支援	
23	小学校との連携に関すること	
24	研修会や学会などでの発表を行うこと	
25	保育士の自己評価について確認や助言を行うこと	

V. 貴保育所で、保育士のキャリアパスを構築していくためには、次の各要素がどの程度必要になると思いますか。該当する番号を1つだけ選んで○をつけて下さい。

	要素	必ず必要である	必要である	必要である どちらかといえば	必要ではない どちらかといえば	必要ではない
1	一般的な業務マニュアル	5	4	3	2	1
2	最低基準以上の職員配置	5	4	3	2	1
3	保育士の上位資格	5	4	3	2	1
4	保育士に付随する認定資格（乳児保育、保育相談等）	5	4	3	2	1
5	一般的なキャリアパスモデル	5	4	3	2	1
6	給与に加算するための補助金	5	4	3	2	1
7	行政や団体等が行うキャリアパスに対応した研修	5	4	3	2	1
8	研修を可能にする人的配置	5	4	3	2	1
9	研修を可能にする補助金	5	4	3	2	1
10	キャリアパスに対応した保育所運営費の改善	5	4	3	2	1
11	運営費等の弾力的運用	5	4	3	2	1
12	保育士だけでなく、幼稚園教諭等、その他の職種のキャリアパス制度	5	4	3	2	1
13	保育士確保のしくみ	5	4	3	2	1
14	キャリアパスに対応した求人システム	5	4	3	2	1
15	その他（ ）	5	4	3	2	1

VI. 国や自治体が、保育士のキャリアパスを構築していくためには、次の各要素がどの程度必要になると思いますか。該当する番号を1つだけ選んで○をつけて下さい。

	要素	必ず必要である	必要である	必要である どちらかといえば	必要ではない どちらかといえば	必要ではない
1	一般的な業務マニュアル	5	4	3	2	1
2	最低基準以上の職員配置	5	4	3	2	1
3	保育士の上位資格	5	4	3	2	1
4	保育士に付随する認定資格（乳児保育、保育相談等）	5	4	3	2	1
5	一般的なキャリアパスモデル	5	4	3	2	1
6	給与に加算するための補助金	5	4	3	2	1
7	行政や団体等が行うキャリアパスに対応した研修	5	4	3	2	1
8	研修を可能にする人的配置	5	4	3	2	1
9	研修を可能にする補助金	5	4	3	2	1
10	キャリアパスに対応した保育所運営費の改善	5	4	3	2	1
11	運営費等の弾力的運用	5	4	3	2	1
12	保育士だけでなく、幼稚園教諭等、その他の職種のキャリアパス制度	5	4	3	2	1
13	保育士確保のしくみ	5	4	3	2	1
14	キャリアパスに対応した求人システム	5	4	3	2	1
15	その他（ ）	5	4	3	2	1

ご協力いただき、ありがとうございました。

平成26年度 保育士のキャリアパスに関する調査票 社会福祉法人 日本保育協会

**保育士用(認可保育所での保育士(正規職員)としての通算勤務年数が7年未満の方)**

※ 貴法人の保育所以外に他の認可保育所(公営・民営)において保育士(正規職員)として勤務されたことがある場合は、その勤務年数も通算勤務年数に加えて下さい。

- ・調査時点は、平成26年10月1日(水)現在とします。(締切日:平成26年11月19日必着)
- ・ここで言う「キャリアパス」とは、「保育士として求められる仕事を責任をもってするために、保育士としての経験等を積み重ねていくこと、それに伴い知識・技術・専門性等が向上していくこと」とします。

I. あなたは次の各業務がどの程度できますか。該当する番号を1つだけ選んでお書き下さい。

- 1 できない      2 教えてもらってできる      3 自分自身の力でできる  
4 他の保育士を指導できる      5 保育士の集団や組織、園全体をリードできる

	業 務	あなたが できる程度
1	乳児クラスの主担任	
2	3歳未満児クラスの主担任	
3	3歳以上児クラスの主担任	
4	子どもの情緒の安定を図ること	
5	子どもの生命の保持を図ること	
6	(食事や排泄、着替えなど)子どもの基本的生活習慣の支援をすること	
7	子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること	
8	(壁面や季節に応じた装飾、掃除など)保育室や保育所内の環境を整備すること	
9	遊具の安全管理を行うこと	
10	子どもの病気やケガへの対応を判断すること	
11	行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと	
12	指導計画を作成すること	
13	指導計画の確認や助言を行うこと	
14	おたより等の保護者向けの書類を作成すること	
15	職員間の連絡調整等を行うこと	
16	実習生の指導を行うこと	
17	新人保育士の指導を行うこと	
18	新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること	
19	保護者からの相談への対応に関すること	
20	保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること	
21	障害のある子どもの保育に関すること	
22	地域の保護者等に対する子育て支援	
23	小学校との連携に関すること	
24	研修会や学会などでの発表を行うこと	
25	保育士の自己評価について確認や助言を行うこと	



II. 次の各業務を自信をもってできるようになるには、おおむね何年の経験が必要だと思いますか。  
 該当する番号を1つだけ選んでお書き下さい。(勤務先の保育所において、業務を行っていない項目については、「8」(該当なし)とお書きください。)

- 1 1年未満    2 1年以上3年未満    3 3年以上5年未満    4 5年以上7年未満    5 7年以上10年未満  
 6 10年以上15年未満    7 15年以上    8 該当なし

	業 務	自信をもって できるようになる 年数
1	乳児クラスの主担任	
2	3歳未満児クラスの主担任	
3	3歳以上児クラスの主担任	
4	子どもの情緒の安定を図ること	
5	子どもの生命の保持を図ること	
6	(食事や排泄、着替えなど) 子どもの基本的生活習慣の支援をすること	
7	子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること	
8	(壁面や季節に応じた装飾、掃除など) 保育室や保育所内の環境を整備すること	
9	遊具の安全管理を行うこと	
10	子どもの病気やケガへの対応を判断すること	
11	行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと	
12	指導計画を作成すること	
13	指導計画の確認や助言を行うこと	
14	おたより等の保護者向けの書類を作成すること	
15	職員間の連絡調整等を行うこと	
16	実習生の指導を行うこと	
17	新人保育士の指導を行うこと	
18	新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること	
19	保護者からの相談への対応に関すること	
20	保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること	
21	障害のある子どもの保育に関すること	
22	地域の保護者等に対する子育て支援	
23	小学校との連携に関すること	
24	研究会や学会などでの発表を行うこと	
25	保育士の自己評価について確認や助言を行うこと	

Ⅲ. 次の各業務に対するスキルアップのための研修に関して、あなたの希望と経験等についてお尋ねします。  
「希望」欄には、希望されるすべての研修について、経験の有無を問わず（さらに研修を受けたい場合も含む）、○をつけて下さい。「経験等」欄には、過去に経験された研修等のすべてに○をつけて下さい。（なお、ここでの園外研修は、公費による研修に限ります。私費による園外研修や、書籍の購入等については、自己研鑽に○をつけて下さい。）

	業 務	希望	経験等		
			園内 研修	園外 研修	自己 研鑽
1	乳児クラスの主担任				
2	3歳未満児クラスの主担任				
3	3歳以上児クラスの主担任				
4	子どもの情緒の安定を図ること				
5	子どもの生命の保持を図ること				
6	（食事や排泄、着替えなど）子どもの基本的生活習慣の支援をすること				
7	子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること				
8	（壁面や季節に応じた装飾、掃除など）保育室や保育所内の環境を整備すること				
9	遊具の安全管理を行うこと				
10	子どもの病気やケガへの対応を判断すること				
11	行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと				
12	指導計画を作成すること				
13	指導計画の確認や助言を行うこと				
14	おたより等の保護者向けの書類を作成すること				
15	職員間の連絡調整等を行うこと				
16	実習生の指導を行うこと				
17	新人保育士の指導を行うこと				
18	新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること				
19	保護者からの相談への対応に関すること				
20	保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること				
21	障害のある子どもの保育に関すること				
22	地域の保護者等に対する子育て支援				
23	小学校との連携に関すること				
24	研究会や学会などでの発表を行うこと				
25	保育士の自己評価について確認や助言を行うこと				

IV. あなたは次のようなときに、仕事への「やりがい」をどの程度感じますか？該当する番号を1つだけ選んで○をつけて下さい。「経験したことがない」場合は、「-」に○をつけて下さい。

	仕事への「やりがい」項目	まったく感じない	感じない	あまり感じない	まあまあ感じる	感じる	非常に感じる	経験したことがない
1	給料が上がったとき	1	2	3	4	5	6	-
2	役職が上がったとき	1	2	3	4	5	6	-
3	上司に自分の仕事が認められたとき	1	2	3	4	5	6	-
4	自分の仕事で子どもが喜んだとき	1	2	3	4	5	6	-
5	子どもの成長を感じる事ができたとき	1	2	3	4	5	6	-
6	保護者から感謝されたとき	1	2	3	4	5	6	-
7	自分に任せられた業務を全うできたとき	1	2	3	4	5	6	-
8	責任の重い仕事や役割を任せられたとき	1	2	3	4	5	6	-
9	新しい仕事や役割を任せられたとき	1	2	3	4	5	6	-
10	他の職員との協働で目標が達成できたとき	1	2	3	4	5	6	-

V. あなた自身のことについてお尋ねします。

- 保育士資格の取得方法について、いずれかに○をつけて下さい  
1 養成校      2 試験
- 認可保育所（公営・民営）における保育士（正規職員）としての通算勤務年数は何年何ヶ月ですか  
\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月
- あなたの年齢について、該当する番号を1つだけ選んで○をつけて下さい  
1 20歳以上～22歳未満    2 22歳以上～24歳未満    3 24歳以上～26歳未満    4 26歳以上～28歳未満  
5 28歳以上～30歳未満    6 30歳以上～32歳未満    7 32歳以上～34歳未満  
8 34歳以上～40歳未満    9 40歳以上～50歳未満    10 50歳以上
- 保育士以外の職務経験はありますか、ある場合はその年数もお書き下さい  
1 あり（      ）年      2 なし
- 現在の勤務先以外の認可保育所（公営・民営）において、保育士（正規職員）としての勤務経験はありますか、いずれかに○をつけて下さい。ある場合はその年数もお書き下さい  
1 あり（      ）年      2 なし
- 現在、配偶者の有無について、いずれかに○をつけて下さい  
1 はい      2 いいえ
- あなたにはお子さんがおられますか、いずれかに○をつけて下さい  
1 はい      2 いいえ
- 将来的に保育士としていつまで働き続けたいですか、該当する番号を1つだけ選んで○をつけて下さい  
1 体力の続く限り、いつまでも働き続けたい    2 親の介護が始まるまで    3 子どもがある程度自立するまで  
4 子どもが産まれるまで    5 結婚するまで  
6 その他（      ）

ご協力、ありがとうございました。

## 整理、分析基準

調査票の集計にあたっては、次の基準によって整理、分析した。

### ア 地域区分別

地域特性を考察するために、全国を7区分に分類している。

- ①北海道・東北地区 ②関東地区 ③北信越地区 ④東海地区 ⑤近畿地区  
⑥中国・四国地区 ⑦九州地区

#### 地域区分 都道府県名

地域区分	都道府県名
北海道・東北地区	北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島
関東地区	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・東京・山梨
北信越地区	新潟・富山・石川・福井・長野
東海地区	岐阜・静岡・愛知・三重
近畿地区	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山
中国・四国地区	鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知
九州地区	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

### ウ 所在地区別

都市階級による特性を考察するために、全国を6区分に分類している。

- ①都区部・指定都市（指定都市：人口50万人以上の市）

東京23区、札幌、仙台、さいたま、千葉、川崎、横浜、相模原、新潟、静岡、浜松、名古屋、京都、大阪、堺、神戸、岡山、広島、北九州、福岡、熊本

- ②中核市（人口30万人以上の市）

旭川、函館、青森、盛岡、秋田、郡山、いわき、宇都宮、前橋、高崎、川越、船橋、柏、横須賀、富山、金沢、長野、岐阜、豊田、豊橋、岡崎、大津、豊中、高槻、枚方、東大阪、姫路、尼崎、西宮、奈良、和歌山、倉敷、福山、下関、高松、松山、高知、久留米、長崎、大分、宮崎、鹿児島、那覇

- ③中都市（人口15万人以上30万人未満の市）

- ④小都市A（人口5万人以上15万人未満の市）

- ⑤小都市B（人口5万人未満の市）

- ⑥町・村

### エ 定員規模別

定員規模により6区分に分類している。

- ①45人以下 ②46～60人 ③61～90人 ④91～120人 ⑤121人～150人 ⑥151人以上

順番	シート名		調査票名	縦軸 フィールド名	横軸 フィールド名
1	表NO.1	地域区分別	表No.1 地域区分別 I-1 所在地区分	地域区分	I-1
2	表NO.2	地域区分別	表No.2 地域区分別 I-2 同一法人が経営する認可保育所数	地域区分	I-2
3	表NO.3	所在地区分別	表No.3 所在地区分別 I-2 同一法人が経営する認可保育所数	所在地区分	I-2
4	表NO.4	地域区分別	表No.4 地域区分別 I-3 保育所の児童定員	地域区分	I-3
5	表NO.5	所在地区分別	表No.5 所在地区分別 I-3 保育所の児童定員	所在地区分	I-3
6	表NO.6	地域区分別	表No.6 地域区分別 I-4 入所児童数	地域区分	I-4
7	表NO.7	所在地区分別	表No.7 所在地区分別 I-4 入所児童数	所在地区分	I-4
8	表NO.8	地域区分別	表No.8 地域区分別 I-5 職員数	地域区分	I-5
9	表NO.9	所在地区分別	表No.9 所在地区分別 I-5 職員数	所在地区分	I-5
10	表NO.10	地域区分別	表No.10 地域区分別 I-6 他の認可保育所において保育士としての勤務を経験した職員の有無	地域区分	I-6
11	表NO.11	所在地区分別	表No.11 所在地区分別 I-6 他の認可保育所において保育士としての勤務を経験した職員の有無	所在地区分	I-6
12	表NO.12	地域区分別	表No.12 地域区分別 I-6-1 (I-6で「はい」と回答した方のみ)他の認可保育所で保育士として勤務した方の人数	地域区分	I-6-1
13	表NO.13	所在地区分別	表No.13 所在地区分別 I-6-1 (I-6で「はい」と回答した方のみ)他の認可保育所で保育士として勤務した方の人数	所在地区分	I-6-1
14	表NO.14	地域区分別	表No.14 地域区分別 I-7 給与体系は年功序列か	地域区分	I-7
15	表NO.15	所在地区分別	表No.15 所在地区分別 I-7 給与体系は年功序列か	所在地区分	I-7
16	表NO.16	地域区分別	表No.16 地域区分別 I-8 別法人等で働いていた場合の保育士経験を年功序列に考慮しているか	地域区分	I-8
17	表NO.17	所在地区分別	表No.17 所在地区分別 I-8 別法人等で働いていた場合の保育士経験を年功序列に考慮しているか	所在地区分	I-8
18	表NO.18	地域区分別	表No.18 地域区分別 I-9 就業規則に人事考課を位置づけているか	地域区分	I-9
19	表NO.19	所在地区分別	表No.19 所在地区分別 I-9 就業規則に人事考課を位置づけているか	所在地区分	I-9
20	表NO.20	地域区分別	表No.20 地域区分別 I-10 保育士の昇格や昇給にあたってキャリアパスを考慮しているか	地域区分	I-10
21	表NO.21	所在地区分別	表No.21 所在地区分別 I-10 保育士の昇格や昇給にあたってキャリアパスを考慮しているか	所在地区分	I-10
22	表NO.22	地域区分別	表No.22 地域区分別 I-11 キャリアパスを考慮した保育所職員の処遇システムを必要と思うか	地域区分	I-11
23	表NO.23	所在地区分別	表No.23 所在地区分別 I-11 キャリアパスを考慮した保育所職員の処遇システムを必要と思うか	所在地区分	I-11
24	表NO.24	地域区分別	表No.24 地域区分別 I-11-1 キャリアパスを考慮した保育所職員の処遇システムを必要と思う理由	地域区分	I-11-1
25	表NO.25	所在地区分別	表No.25 所在地区分別 I-11-1 キャリアパスを考慮した保育所職員の処遇システムを必要と思う理由	所在地区分	I-11-1
26	表NO.26	地域区分別	表No.26 地域区分別 I-11-2 キャリアパスを考慮した保育所職員の処遇システムを必要と思う理由	地域区分	I-11-2
27	表NO.27	所在地区分別	表No.27 所在地区分別 I-11-2 キャリアパスを考慮した保育所職員の処遇システムを必要と思う理由	所在地区分	I-11-2
28	表NO.28	地域区分別	表No.28 地域区分別 I-12 保育所では「主任保育士」という役職を置いているか	地域区分	I-12
29	表NO.29	所在地区分別	表No.29 所在地区分別 I-12 保育所では「主任保育士」という役職を置いているか	所在地区分	I-12
30	表NO.30	地域区分別	表No.30 地域区分別 I-13 (I-12で「はい」と答えた方のみ)その主任保育士は、勤務経験何年目の時に配置されたか	地域区分	I-13
31	表NO.31	所在地区分別	表No.31 所在地区分別 I-13 (I-12で「はい」と答えた方のみ)その主任保育士は、勤務経験何年目の時に配置されたか	所在地区分	I-13
32	表NO.32	地域区分別	表No.32 地域区分別 II-1 認可保育所長としての通算勤務年数	地域区分	II-1
33	表NO.33	所在地区分別	表No.33 所在地区分別 II-1 認可保育所長としての通算勤務年数	所在地区分	II-1
34	表NO.34	地域区分別	表No.34 地域区分別 II-2 持っている資格・免許について	地域区分	II-2
35	表NO.35	所在地区分別	表No.35 所在地区分別 II-2 持っている資格・免許について	所在地区分	II-2
36	表NO.36	地域区分別	表No.36 地域区分別 II-3 これまで「キャリアパス」について知っていたか	地域区分	II-3
37	表NO.37	所在地区分別	表No.37 所在地区分別 II-3 これまで「キャリアパス」について知っていたか	所在地区分	II-3
38	表NO.38	地域区分別	表No.38 地域区分別 II-4 (設問II-3で「はい」を選んだ方のみ)キャリアパスの理解度について	地域区分	II-4
39	表NO.39	所在地区分別	表No.39 所在地区分別 II-4 (設問II-3で「はい」を選んだ方のみ)キャリアパスの理解度について	所在地区分	II-4
40	表NO.40	地域区分別	表No.40 地域区分別 III-1 各業務について実際に持っている保育士の経験年数<乳児クラスの主任>	地域区分	III-1

順番	シート名	縦軸 フィールド名	横軸 フィールド名	構軸 フィールド名
41	表NO.41	所在地区分別	表No.41 所在地区分別 III-1 各業務について実際にしている保育士の経験年数<乳児クラスの主任任>	III-1 所在地区分
42	表NO.42	地域区分別	表No.42 地域区分別 III-2 各業務について実際にしている保育士の経験年数<3歳未満児クラスの主任任>	III-2 地域区分
43	表NO.43	所在地区分別	表No.43 所在地区分別 III-2 各業務について実際にしている保育士の経験年数<3歳未満児クラスの主任任>	III-2 所在地区分
44	表NO.44	地域区分別	表No.44 地域区分別 III-3 各業務について実際にしている保育士の経験年数<3歳以上児クラスの主任任>	III-3 地域区分
45	表NO.45	所在地区分別	表No.45 所在地区分別 III-3 各業務について実際にしている保育士の経験年数<3歳以上児クラスの主任任>	III-3 所在地区分
46	表NO.46	地域区分別	表No.46 地域区分別 III-4 各業務について実際にしている保育士の経験年数<子どもの情緒の安定を図ること>	III-4 地域区分
47	表NO.47	所在地区分別	表No.47 所在地区分別 III-4 各業務について実際にしている保育士の経験年数<子どもの情緒の安定を図ること>	III-4 所在地区分
48	表NO.48	地域区分別	表No.48 地域区分別 III-5 各業務について実際にしている保育士の経験年数<子どもの生命の保持を図ること>	III-5 地域区分
49	表NO.49	所在地区分別	表No.49 所在地区分別 III-5 各業務について実際にしている保育士の経験年数<子どもの生命の保持を図ること>	III-5 所在地区分
50	表NO.50	地域区分別	表No.50 地域区分別 III-6 各業務について実際にしている保育士の経験年数<子どもの基本的な生活習慣の支援をすること>	III-6 地域区分
51	表NO.51	所在地区分別	表No.51 所在地区分別 III-6 各業務について実際にしている保育士の経験年数<子どもの基本的な生活習慣の支援をすること>	III-6 所在地区分
52	表NO.52	地域区分別	表No.52 地域区分別 III-7 各業務について実際にしている保育士の経験年数<子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること>	III-7 地域区分
53	表NO.53	所在地区分別	表No.53 所在地区分別 III-7 各業務について実際にしている保育士の経験年数<子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること>	III-7 所在地区分
54	表NO.54	地域区分別	表No.54 地域区分別 III-8 各業務について実際にしている保育士の経験年数<保育室や保育所内の環境を整備すること>	III-8 地域区分
55	表NO.55	所在地区分別	表No.55 所在地区分別 III-8 各業務について実際にしている保育士の経験年数<保育室や保育所内の環境を整備すること>	III-8 所在地区分
56	表NO.56	地域区分別	表No.56 地域区分別 III-9 各業務について実際にしている保育士の経験年数<遊具の安全管理を行うこと>	III-9 地域区分
57	表NO.57	所在地区分別	表No.57 所在地区分別 III-9 各業務について実際にしている保育士の経験年数<遊具の安全管理を行うこと>	III-9 所在地区分
58	表NO.58	地域区分別	表No.58 地域区分別 III-10 各業務について実際にしている保育士の経験年数<子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること>	III-10 地域区分
59	表NO.59	所在地区分別	表No.59 所在地区分別 III-10 各業務について実際にしている保育士の経験年数<子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること>	III-10 所在地区分
60	表NO.60	地域区分別	表No.60 地域区分別 III-11 各業務について実際にしている保育士の経験年数<行政や地域の関係各所との連絡調整等を行うこと>	III-11 地域区分
61	表NO.61	所在地区分別	表No.61 所在地区分別 III-11 各業務について実際にしている保育士の経験年数<行政や地域の関係各所との連絡調整等を行うこと>	III-11 所在地区分
62	表NO.62	地域区分別	表No.62 地域区分別 III-12 各業務について実際にしている保育士の経験年数<指導計画を作成すること>	III-12 地域区分
63	表NO.63	所在地区分別	表No.63 所在地区分別 III-12 各業務について実際にしている保育士の経験年数<指導計画を作成すること>	III-12 所在地区分
64	表NO.64	地域区分別	表No.64 地域区分別 III-13 各業務について実際にしている保育士の経験年数<指導計画の確認や助言を行うこと>	III-13 地域区分
65	表NO.65	所在地区分別	表No.65 所在地区分別 III-13 各業務について実際にしている保育士の経験年数<指導計画の確認や助言を行うこと>	III-13 所在地区分
66	表NO.66	地域区分別	表No.66 地域区分別 III-14 各業務について実際にしている保育士の経験年数<おたより等の保護者向けの書類を作成すること>	III-14 地域区分
67	表NO.67	所在地区分別	表No.67 所在地区分別 III-14 各業務について実際にしている保育士の経験年数<おたより等の保護者向けの書類を作成すること>	III-14 所在地区分
68	表NO.68	地域区分別	表No.68 地域区分別 III-15 各業務について実際にしている保育士の経験年数<職員間の連絡調整等を行うこと>	III-15 地域区分
69	表NO.69	所在地区分別	表No.69 所在地区分別 III-15 各業務について実際にしている保育士の経験年数<職員間の連絡調整等を行うこと>	III-15 所在地区分
70	表NO.70	地域区分別	表No.70 地域区分別 III-16 各業務について実際にしている保育士の経験年数<実習生の指導を行うこと>	III-16 地域区分
71	表NO.71	所在地区分別	表No.71 所在地区分別 III-16 各業務について実際にしている保育士の経験年数<実習生の指導を行うこと>	III-16 所在地区分
72	表NO.72	地域区分別	表No.72 地域区分別 III-17 各業務について実際にしている保育士の経験年数<新人保育士の指導を行うこと>	III-17 地域区分
73	表NO.73	所在地区分別	表No.73 所在地区分別 III-17 各業務について実際にしている保育士の経験年数<新人保育士の指導を行うこと>	III-17 所在地区分
74	表NO.74	地域区分別	表No.74 地域区分別 III-18 各業務について実際にしている保育士の経験年数<新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること>	III-18 地域区分
75	表NO.75	所在地区分別	表No.75 所在地区分別 III-18 各業務について実際にしている保育士の経験年数<新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること>	III-18 所在地区分
76	表NO.76	地域区分別	表No.76 地域区分別 III-19 各業務について実際にしている保育士の経験年数<保護者からの相談への対応に関すること>	III-19 地域区分
77	表NO.77	所在地区分別	表No.77 所在地区分別 III-19 各業務について実際にしている保育士の経験年数<保護者からの相談への対応に関すること>	III-19 所在地区分
78	表NO.78	地域区分別	表No.78 地域区分別 III-20 各業務について実際にしている保育士の経験年数<保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること>	III-20 地域区分
79	表NO.79	所在地区分別	表No.79 所在地区分別 III-20 各業務について実際にしている保育士の経験年数<保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること>	III-20 所在地区分
80	表NO.80	地域区分別	表No.80 地域区分別 III-21 各業務について実際にしている保育士の経験年数<障書のある子どもの保育に関すること>	III-21 地域区分
81	表NO.81	所在地区分別	表No.81 所在地区分別 III-21 各業務について実際にしている保育士の経験年数<障書のある子どもの保育に関すること>	III-21 所在地区分
82	表NO.82	地域区分別	表No.82 地域区分別 III-22 各業務について実際にしている保育士の経験年数<地域の保護者等に対する子育て支援>	III-22 地域区分
83	表NO.83	所在地区分別	表No.83 所在地区分別 III-22 各業務について実際にしている保育士の経験年数<地域の保護者等に対する子育て支援>	III-22 所在地区分
84	表NO.84	地域区分別	表No.84 地域区分別 III-23 各業務について実際にしている保育士の経験年数<小学校との連携に関すること>	III-23 地域区分
85	表NO.85	所在地区分別	表No.85 所在地区分別 III-23 各業務について実際にしている保育士の経験年数<小学校との連携に関すること>	III-23 所在地区分

順番	シート名	縦軸 フィールド名	横軸 フィールド名
86	表NO.86	地域区分別	地域区分 III-24
87	表NO.87	所在地区分別	所在地区分 III-24
88	表NO.88	地域区分別	地域区分 III-25
89	表NO.89	所在地区分別	所在地区分 III-25
90	表NO.90	地域区分別	地域区分 IV-1
91	表NO.91	所在地区分別	所在地区分 IV-1
92	表NO.92	地域区分別	地域区分 IV-2
93	表NO.93	所在地区分別	所在地区分 IV-2
94	表NO.94	地域区分別	地域区分 IV-3
95	表NO.95	所在地区分別	所在地区分 IV-3
96	表NO.96	地域区分別	地域区分 IV-4
97	表NO.97	所在地区分別	所在地区分 IV-4
98	表NO.98	地域区分別	地域区分 IV-5
99	表NO.99	所在地区分別	所在地区分 IV-5
100	表NO.100	地域区分別	地域区分 IV-6
101	表NO.101	所在地区分別	所在地区分 IV-6
102	表NO.102	地域区分別	地域区分 IV-7
103	表NO.103	所在地区分別	所在地区分 IV-7
104	表NO.104	地域区分別	地域区分 IV-8
105	表NO.105	所在地区分別	所在地区分 IV-8
106	表NO.106	地域区分別	地域区分 IV-9
107	表NO.107	所在地区分別	所在地区分 IV-9
108	表NO.108	地域区分別	地域区分 IV-10
109	表NO.109	所在地区分別	所在地区分 IV-10
110	表NO.110	地域区分別	地域区分 IV-11
111	表NO.111	所在地区分別	所在地区分 IV-11
112	表NO.112	地域区分別	地域区分 IV-12
113	表NO.113	所在地区分別	所在地区分 IV-12
114	表NO.114	地域区分別	地域区分 IV-13
115	表NO.115	所在地区分別	所在地区分 IV-13
116	表NO.116	地域区分別	地域区分 IV-14
117	表NO.117	所在地区分別	所在地区分 IV-14
118	表NO.118	地域区分別	地域区分 IV-15
119	表NO.119	所在地区分別	所在地区分 IV-15
120	表NO.120	地域区分別	地域区分 IV-16
121	表NO.121	所在地区分別	所在地区分 IV-16
122	表NO.122	地域区分別	地域区分 IV-17
123	表NO.123	所在地区分別	所在地区分 IV-17
124	表NO.124	地域区分別	地域区分 IV-18
125	表NO.125	所在地区分別	所在地区分 IV-18
126	表NO.126	地域区分別	地域区分 IV-19
127	表NO.127	所在地区分別	所在地区分 IV-19
128	表NO.128	地域区分別	地域区分 IV-20
129	表NO.129	所在地区分別	所在地区分 IV-20
130	表NO.130	地域区分別	地域区分 IV-21

順番	シート名	縦軸 フィールド名	横軸 フィールド名	構軸 フィールド名
131	表NO.131	所在地区分	所在地区分	フィールド名 IV-21
132	表NO.132	地域区分	地域区分	IV-22
133	表NO.133	所在地区分	所在地区分	IV-22
134	表NO.134	地域区分	地域区分	IV-23
135	表NO.135	所在地区分	所在地区分	IV-23
136	表NO.136	地域区分	地域区分	IV-24
137	表NO.137	所在地区分	所在地区分	IV-24
138	表NO.138	地域区分	地域区分	IV-25
139	表NO.139	所在地区分	所在地区分	IV-25
140	表NO.140	地域区分	地域区分	V-1
141	表NO.141	所在地区分	所在地区分	V-1
142	表NO.142	地域区分	地域区分	V-2
143	表NO.143	所在地区分	所在地区分	V-2
144	表NO.144	地域区分	地域区分	V-3
145	表NO.145	所在地区分	所在地区分	V-3
146	表NO.146	地域区分	地域区分	V-4
147	表NO.147	所在地区分	所在地区分	V-4
148	表NO.148	地域区分	地域区分	V-5
149	表NO.149	所在地区分	所在地区分	V-5
150	表NO.150	地域区分	地域区分	V-6
151	表NO.151	所在地区分	所在地区分	V-6
152	表NO.152	地域区分	地域区分	V-7
153	表NO.153	所在地区分	所在地区分	V-7
154	表NO.154	地域区分	地域区分	V-8
155	表NO.155	所在地区分	所在地区分	V-8
156	表NO.156	地域区分	地域区分	V-9
157	表NO.157	所在地区分	所在地区分	V-9
158	表NO.158	地域区分	地域区分	V-10
159	表NO.159	所在地区分	所在地区分	V-10
160	表NO.160	地域区分	地域区分	V-11
161	表NO.161	所在地区分	所在地区分	V-11
162	表NO.162	地域区分	地域区分	V-12
163	表NO.163	所在地区分	所在地区分	V-12
164	表NO.164	地域区分	地域区分	V-13
165	表NO.165	所在地区分	所在地区分	V-13
166	表NO.166	地域区分	地域区分	V-14
167	表NO.167	所在地区分	所在地区分	V-14
168	表NO.168	地域区分	地域区分	V-15
169	表NO.169	所在地区分	所在地区分	V-15
170	表NO.170	地域区分	地域区分	VI-1
171	表NO.171	所在地区分	所在地区分	VI-1
172	表NO.172	地域区分	地域区分	VI-2
173	表NO.173	所在地区分	所在地区分	VI-2
174	表NO.174	地域区分	地域区分	VI-3
175	表NO.175	所在地区分	所在地区分	VI-3



順番	シート名		事業名	コード名	機構	機構
176	表NO.176	地域区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltlt保育士に付随する認定資格(乳児保育・保育相談)>>	VI-4	地域区分	VI-4
177	表NO.177	所在地区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltlt保育士に付随する認定資格(乳児保育・保育相談)>>	VI-4	所在地区分	VI-4
178	表NO.178	地域区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltlt一般的なキャリアパスモデル>>	VI-5	地域区分	VI-5
179	表NO.179	所在地区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltlt一般的なキャリアパスモデル>>	VI-5	所在地区分	VI-5
180	表NO.180	地域区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltlt給与に加算するための補助金>>	VI-6	地域区分	VI-6
181	表NO.181	所在地区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltlt給与に加算するための補助金>>	VI-6	所在地区分	VI-6
182	表NO.182	地域区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltlt行政や団体が行うキャリアパスに対応した研修>>	VI-7	地域区分	VI-7
183	表NO.183	所在地区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltlt行政や団体が行うキャリアパスに対応した研修>>	VI-7	所在地区分	VI-7
184	表NO.184	地域区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltlt研修を可能にする人的配置>>	VI-8	地域区分	VI-8
185	表NO.185	所在地区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltlt研修を可能にする人的配置>>	VI-8	所在地区分	VI-8
186	表NO.186	地域区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltlt研修を可能にする補助金>>	VI-9	地域区分	VI-9
187	表NO.187	所在地区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltlt研修を可能にする補助金>>	VI-9	所在地区分	VI-9
188	表NO.188	地域区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltltキャリアパスに対応した保育所運営費の改善>>	VI-10	地域区分	VI-10
189	表NO.189	所在地区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltltキャリアパスに対応した保育所運営費の改善>>	VI-10	所在地区分	VI-10
190	表NO.190	地域区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltlt運営費等の弾力的運用>>	VI-11	地域区分	VI-11
191	表NO.191	所在地区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltlt運営費等の弾力的運用>>	VI-11	所在地区分	VI-11
192	表NO.192	地域区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltlt保育士だけでなく幼稚園教諭、その他のキャリアパス制度>>	VI-12	地域区分	VI-12
193	表NO.193	所在地区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltlt保育士だけでなく幼稚園教諭、その他のキャリアパス制度>>	VI-12	所在地区分	VI-12
194	表NO.194	地域区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltlt保育士確保のしくみ>>	VI-13	地域区分	VI-13
195	表NO.195	所在地区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltlt保育士確保のしくみ>>	VI-13	所在地区分	VI-13
196	表NO.196	地域区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltltキャリアパスに対応した求人システム>>	VI-14	地域区分	VI-14
197	表NO.197	所在地区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltltキャリアパスに対応した求人システム>>	VI-14	所在地区分	VI-14
198	表NO.198	地域区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltltその他>>	VI-15	地域区分	VI-15
199	表NO.199	所在地区分別	国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について&ltltその他>>	VI-15	所在地区分	VI-15

表NO.1 地域区分別 I-1 所在地区分

		総計		都区部・指定都市		中核市		中都市		小都市A		小都市B		町・村	
全国	計	510	100.0%	115	22.5%	58	11.4%	86	16.9%	149	29.2%	58	11.4%	44	8.6%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	11	15.3%	6	8.3%	12	16.7%	23	31.9%	11	15.3%	9	12.5%
関東地区	計	124	100.0%	42	33.9%	9	7.3%	34	27.4%	28	22.6%	5	4.0%	6	4.8%
東海地区	計	47	100.0%	13	27.7%	1	2.1%	9	19.1%	15	31.9%	5	10.6%	4	8.5%
北信越地区	計	39	100.0%	4	10.3%	9	23.1%	6	15.4%	13	33.3%	5	12.8%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	24	34.8%	11	15.9%	9	13.0%	17	24.6%	6	8.7%	2	2.9%
中国・四国地区	計	51	100.0%	5	9.8%	8	15.7%	8	15.7%	14	27.5%	9	17.6%	7	13.7%
九州地区	計	108	100.0%	16	14.8%	14	13.0%	8	7.4%	39	36.1%	17	15.7%	14	13.0%

表NO.2 地域区分別 I-2 同一法人が経営する認可保育所数

		総計	0ヶ所	1ヶ所	2ヶ所	3ヶ所	4ヶ所	5ヶ所	6ヶ所	7ヶ所	8ヶ所	9ヶ所	10～14ヶ所	15～19ヶ所	20ヶ所以上	無回答															
全国	計	510	100.0%	4	0.8%	233	45.7%	97	19.0%	51	10.0%	31	6.1%	20	3.9%	13	2.5%	6	1.2%	4	0.8%	4	0.8%	7	1.4%	0	0.0%	11	2.2%	29	5.7%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	1	1.4%	29	36.1%	9	12.5%	10	13.9%	6	8.3%	5	6.9%	0	0.0%	2	2.8%	0	0.0%	3	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	5.6%
関東地区	計	124	100.0%	0	0.0%	42	33.9%	28	22.6%	17	13.7%	7	5.6%	8	6.5%	4	3.2%	1	0.8%	1	0.8%	2	1.6%	1	0.8%	0	0.0%	6	4.8%	7	5.6%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	27	57.4%	7	14.9%	3	6.4%	1	2.1%	3	6.4%	0	0.0%	3	6.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.3%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	17	43.6%	12	30.8%	4	10.3%	1	2.6%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	10.3%		
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	29	42.0%	14	20.3%	7	10.1%	8	11.6%	1	1.4%	3	4.3%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	4.3%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	2	3.9%	25	49.0%	7	13.7%	5	9.8%	2	3.9%	1	2.0%	1	2.0%	2	3.9%	0	0.0%	1	2.0%	1	2.0%	0	0.0%	1	2.0%	3	5.9%
九州地区	計	108	100.0%	1	0.9%	67	62.0%	20	18.5%	5	4.6%	6	5.6%	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	1	0.9%	0	0.0%	1	0.9%	5	4.6%

表NO.3 所在地区別 I-2 同一法人が経営する認可保育所数

		総計	0ヶ所	1ヶ所	2ヶ所	3ヶ所	4ヶ所	5ヶ所	6ヶ所	7ヶ所	8ヶ所	9ヶ所	10～14ヶ所	15～19ヶ所	20ヶ所以上	無回答															
総計	計	510	100.0%	4	0.8%	233	45.7%	97	19.0%	51	10.0%	31	6.1%	20	3.9%	13	2.5%	6	1.2%	4	0.8%	4	0.8%	7	1.4%	0	0.0%	11	2.2%	29	5.7%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	0	0.0%	48	41.7%	16	13.9%	12	10.4%	9	7.8%	6	5.2%	4	3.5%	2	1.7%	0	0.0%	3	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	6	5.2%	9	7.8%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	25	43.1%	13	22.4%	12	20.7%	4	6.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.4%	2	3.4%
中都市	計	86	100.0%	1	1.2%	34	39.5%	26	30.2%	8	9.3%	5	5.8%	1	1.2%	4	4.7%	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%	2	2.3%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	1	0.7%	75	50.3%	25	16.8%	7	4.7%	11	7.4%	9	6.0%	4	2.7%	2	1.3%	1	0.7%	1	0.7%	4	2.7%	0	0.0%	1	0.7%	8	5.4%
小都市B	計	58	100.0%	2	3.4%	31	53.4%	7	12.1%	5	8.6%	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%	2	3.4%	2	3.4%	0	0.0%	2	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	6	10.3%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	20	45.5%	10	22.7%	7	15.9%	2	4.5%	3	6.8%	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%

表NO.4 地域区分別 I-3 保育所の児童定員

		総計		45人以下		46~60人		61~90人		91~120人		121~150人		151人以上		無回答	
全国	計	510	100.0%	54	10.6%	88	17.3%	162	31.8%	109	21.4%	54	10.6%	35	6.9%	8	1.6%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	6	8.3%	17	23.6%	35	48.6%	9	12.5%	2	2.8%	2	2.8%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	14	11.3%	21	16.9%	35	28.2%	36	29.0%	12	9.7%	4	3.2%	2	1.6%
東海地区	計	47	100.0%	3	6.4%	7	14.9%	12	25.5%	14	29.8%	4	8.5%	6	12.8%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	5	12.8%	5	12.8%	12	30.8%	7	17.9%	5	12.8%	5	12.8%	0	0.0%
近畿地区	計	69	100.0%	5	7.2%	8	11.6%	22	31.9%	9	13.0%	18	26.1%	7	10.1%	0	0.0%
中国・四国地区	計	51	100.0%	10	19.6%	10	19.6%	15	29.4%	10	19.6%	1	2.0%	3	5.9%	2	3.9%
九州地区	計	108	100.0%	11	10.2%	20	18.5%	31	28.7%	24	22.2%	12	11.1%	8	7.4%	2	1.9%

表NO.5 所在地区別 I-3 保育所の児童定員

		総計		45人以下		46~60人		61~90人		91~120人		121~150人		151人以上		無回答	
総計	計	510	100.0%	54	10.6%	88	17.3%	162	31.8%	109	21.4%	54	10.6%	35	6.9%	8	1.6%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	11	9.6%	20	17.4%	29	25.2%	22	19.1%	20	17.4%	10	8.7%	3	2.6%
中核市	計	58	100.0%	7	12.1%	5	8.6%	21	36.2%	11	19.0%	8	13.8%	5	8.6%	1	1.7%
中都市	計	86	100.0%	9	10.5%	17	19.8%	30	34.9%	17	19.8%	7	8.1%	4	4.7%	2	2.3%
小都市A	計	149	100.0%	13	8.7%	20	13.4%	48	32.2%	38	25.5%	15	10.1%	13	8.7%	2	1.3%
小都市B	計	58	100.0%	10	17.2%	13	22.4%	22	37.9%	10	17.2%	1	1.7%	2	3.4%	0	0.0%
町・村	計	44	100.0%	4	9.1%	13	29.5%	12	27.3%	11	25.0%	3	6.8%	1	2.3%	0	0.0%

表NO.6 地域区分別 I-4 入所児童数

		総計		0歳児クラス		1歳児クラス		2歳児クラス		3歳児クラス		4歳児クラス		5歳以上児クラス		回答数	
全国	計	51,882	100.0%	4,830	9.3%	8,005	15.4%	9,250	17.8%	10,048	19.4%	9,973	19.2%	9,776	18.8%		510
北海道・東北地区	計	6,484	100.0%	689	10.6%	998	15.4%	1,174	18.1%	1,183	18.2%	1,197	18.5%	1,243	19.2%		72
関東地区	計	11,662	100.0%	1,048	9.0%	1,833	15.7%	2,132	18.3%	2,270	19.5%	2,204	18.9%	2,175	18.7%		124
東海地区	計	5,501	100.0%	383	7.0%	741	13.5%	871	15.8%	1,177	21.4%	1,140	20.7%	1,189	21.6%		47
北信越地区	計	4,128	100.0%	299	7.2%	635	15.4%	724	17.5%	838	20.3%	814	19.7%	818	19.8%		39
近畿地区	計	8,154	100.0%	696	8.5%	1,210	14.8%	1,446	17.7%	1,583	19.4%	1,617	19.8%	1,602	19.6%		69
中国・四国地区	計	4,410	100.0%	414	9.4%	695	15.8%	815	18.5%	834	18.9%	849	19.3%	803	18.2%		51
九州地区	計	11,543	100.0%	1,301	11.3%	1,893	16.4%	2,088	18.1%	2,163	18.7%	2,152	18.6%	1,946	16.9%		108

表NO.7 所在地区別 I-4 入所児童数

		総計		0歳児クラス		1歳児クラス		2歳児クラス		3歳児クラス		4歳児クラス		5歳以上児クラス		回答数	
総計	計	51,882	100.0%	4,830	9.3%	8,005	15.4%	9,250	17.8%	10,048	19.4%	9,973	19.2%	9,776	18.8%		510
都区部・指定都市	計	11,844	100.0%	1,105	9.3%	1,895	16.0%	2,142	18.1%	2,247	19.0%	2,231	18.8%	2,224	18.8%		115
中核市	計	6,169	100.0%	576	9.3%	947	15.4%	1,059	17.2%	1,238	20.1%	1,185	19.2%	1,164	18.9%		58
中都市	計	8,825	100.0%	858	9.7%	1,425	16.1%	1,589	18.0%	1,676	19.0%	1,656	18.8%	1,621	18.4%		86
小都市A	計	16,362	100.0%	1,534	9.4%	2,530	15.5%	2,893	17.7%	3,171	19.4%	3,149	19.2%	3,085	18.9%		149
小都市B	計	4,711	100.0%	399	8.5%	657	13.9%	828	17.6%	945	20.1%	972	20.6%	910	19.3%		58
町・村	計	3,971	100.0%	358	9.0%	551	13.9%	739	18.6%	771	19.4%	780	19.6%	772	19.4%		44

表NO.8 地域区分別 I-5 職員数

		総計		保育所長		正規保育士 (勤務年数7年以上)		正規保育士 (勤務年数7年未満)		非正規保育士		正規調理員		非正規調理員		正規事務員		非正規事務員		その他 (看護師等)		回答数
全国	計	12,959	100.0%	506	3.9%	2,826	21.8%	2,990	23.1%	3,778	29.2%	812	6.3%	784	6.0%	237	1.8%	190	1.5%	837	6.5%	510
北海道・東北地区	計	1,670	100.0%	72	4.3%	429	25.7%	295	17.7%	493	29.5%	86	5.1%	105	6.3%	30	1.8%	29	1.7%	131	7.8%	72
関東地区	計	3,407	100.0%	123	3.6%	692	20.3%	970	28.5%	835	24.5%	256	7.5%	183	5.4%	72	2.1%	53	1.6%	223	6.5%	124
東海地区	計	1,238	100.0%	46	3.7%	249	20.1%	348	28.1%	366	29.6%	80	6.5%	63	5.1%	20	1.6%	16	1.3%	50	4.0%	47
北信越地区	計	953	100.0%	39	4.1%	245	25.7%	213	22.4%	238	25.0%	59	6.2%	50.5	5.3%	15	1.6%	12.5	1.3%	81	8.5%	39
近畿地区	計	1,973	100.0%	69	3.5%	416	21.1%	479	24.3%	601	30.5%	117	5.9%	88	4.5%	34	1.7%	16	0.8%	153	7.8%	69
中国・四国地区	計	1,053	100.0%	49	4.7%	226	21.5%	263	25.0%	297	28.2%	65	6.2%	80	7.6%	15	1.4%	16	1.5%	42	4.0%	51
九州地区	計	2,665	100.0%	108	4.1%	569	21.4%	422	15.8%	948	35.6%	149	5.6%	214	8.0%	51	1.9%	47	1.8%	157	5.9%	108

表NO.9 所在地区別 I-5 職員数

		総計		保育所長		正規保育士 (勤務年数7年以上)		正規保育士 (勤務年数7年未満)		非正規保育士		正規調理員		非正規調理員		正規事務員		非正規事務員		その他 (看護師等)		回答数
総計	計	12,959	100.0%	506	3.9%	2,826	21.8%	2,990	23.1%	3,778	29.2%	812	6.3%	784	6.0%	237	1.8%	190	1.5%	837	6.5%	510
都区部・指定都市	計	3,240	100.0%	115	3.5%	712	22.0%	858	26.5%	838	25.9%	222	6.9%	189	5.8%	62	1.9%	50	1.5%	194	6.0%	115
中核市	計	1,505	100.0%	57	3.8%	282	18.7%	347	23.1%	511	34.0%	80	5.3%	89.5	5.9%	29	1.9%	19.5	1.3%	90	6.0%	58
中都市	計	2,274	100.0%	86	3.8%	470	20.7%	584	25.7%	611	26.9%	143	6.3%	140	6.2%	42	1.8%	39	1.7%	158	7.0%	86
小都市A	計	3,832	100.0%	148	3.9%	858	22.4%	806	21.0%	1,190	31.1%	244	6.4%	243	6.3%	72	1.9%	54	1.4%	217	5.7%	149
小都市B	計	1,104	100.0%	57	5.2%	305	27.6%	205	18.6%	285	25.8%	65	5.9%	63	5.7%	16	1.4%	11	1.0%	97	8.8%	58
町・村	計	1,004	100.0%	43	4.3%	199	19.8%	190	18.9%	343	34.2%	58	5.8%	59	5.9%	16	1.6%	16	1.6%	80	8.0%	44

表NO.10 地域区分別 I-6 他の認可保育所において保育士としての勤務を経験した職員の有無

		総計		いる		いない		無回答	
全国	計	510	100.0%	473	92.7%	27	5.3%	10	2.0%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	68	94.4%	3	4.2%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	116	93.5%	5	4.0%	3	2.4%
東海地区	計	47	100.0%	39	83.0%	7	14.9%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	38	97.4%	0	0.0%	1	2.6%
近畿地区	計	69	100.0%	61	88.4%	5	7.2%	3	4.3%
中国・四国地区	計	51	100.0%	47	92.2%	4	7.8%	0	0.0%
九州地区	計	108	100.0%	104	96.3%	3	2.8%	1	0.9%

表NO.11 所在地区別 I-6 他の認可保育所において保育士としての勤務を経験した職員の有無

		総計		いる		いない		無回答	
総計	計	510	100.0%	473	92.7%	27	5.3%	10	2.0%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	105	91.3%	6	5.2%	4	3.5%
中核市	計	58	100.0%	55	94.8%	3	5.2%	0	0.0%
中都市	計	86	100.0%	81	94.2%	4	4.7%	1	1.2%
小都市A	計	149	100.0%	140	94.0%	5	3.4%	4	2.7%
小都市B	計	58	100.0%	55	94.8%	3	5.2%	0	0.0%
町・村	計	44	100.0%	37	84.1%	6	13.6%	1	2.3%

表NO.12 地域区分別 I-6-1 (I-6で「いる」と回答した方のみ) 他の認可保育所で保育士として勤務した方の人数

		総計		1~3人		4~6人		7~9人		10~12人		13~16人		17~19人		20人以上		無回答	
全国	計	473	100.0%	117	24.7%	117	24.7%	83	17.5%	52	11.0%	30	6.3%	9	1.9%	11	2.3%	54	11.4%
北海道・東北地区	計	68	100.0%	16	23.5%	14	20.6%	15	22.1%	6	8.8%	5	7.4%	2	2.9%	2	2.9%	8	11.8%
関東地区	計	116	100.0%	34	29.3%	26	22.4%	20	17.2%	14	12.1%	8	6.9%	1	0.9%	0	0.0%	13	11.2%
東海地区	計	39	100.0%	10	25.6%	12	30.8%	6	15.4%	4	10.3%	1	2.6%	1	2.6%	0	0.0%	5	12.8%
北信越地区	計	38	100.0%	10	26.3%	13	34.2%	5	13.2%	4	10.5%	3	7.9%	1	2.6%	1	2.6%	1	2.6%
近畿地区	計	61	100.0%	11	18.0%	16	26.2%	12	19.7%	7	11.5%	4	6.6%	0	0.0%	1	1.6%	10	16.4%
中国・四国地区	計	47	100.0%	15	31.9%	14	29.8%	6	12.8%	4	8.5%	3	6.4%	1	2.1%	0	0.0%	4	8.5%
九州地区	計	104	100.0%	21	20.2%	22	21.2%	19	18.3%	13	12.5%	6	5.8%	3	2.9%	7	6.7%	13	12.5%

表NO.13 所在地区別 I-6-1 (I-6で「いる」と回答した方のみ) 他の認可保育所で保育士として勤務した方の人数

		総計		1~3人		4~6人		7~9人		10~12人		13~16人		17~19人		20人以上		無回答	
総計	計	473	100.0%	117	24.7%	117	24.7%	83	17.5%	52	11.0%	30	6.3%	9	1.9%	11	2.3%	54	11.4%
都区部・指定都市	計	105	100.0%	24	22.9%	28	26.7%	15	14.3%	10	9.5%	5	4.8%	3	2.9%	4	3.8%	16	15.2%
中核市	計	55	100.0%	11	20.0%	16	29.1%	9	16.4%	9	16.4%	2	3.6%	2	3.6%	2	3.6%	4	7.3%
中都市	計	81	100.0%	22	27.2%	21	25.9%	14	17.3%	10	12.3%	4	4.9%	1	1.2%	0	0.0%	9	11.1%
小都市A	計	140	100.0%	33	23.6%	30	21.4%	28	20.0%	13	9.3%	14	10.0%	1	0.7%	3	2.1%	18	12.9%
小都市B	計	55	100.0%	15	27.3%	15	27.3%	11	20.0%	3	5.5%	4	7.3%	1	1.8%	1	1.8%	5	9.1%
町・村	計	37	100.0%	12	32.4%	7	18.9%	6	16.2%	7	18.9%	1	2.7%	1	2.7%	1	2.7%	2	5.4%

表NO.14 地域区分別 I-7 給与体系は年功序列か

		総計		はい		いいえ		無回答	
全国	計	510	100.0%	353	69.2%	140	27.5%	17	3.3%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	48	66.7%	22	30.6%	2	2.8%
関東地区	計	124	100.0%	76	61.3%	41	33.1%	7	5.6%
東海地区	計	47	100.0%	39	83.0%	8	17.0%	0	0.0%
北信越地区	計	39	100.0%	29	74.4%	9	23.1%	1	2.6%
近畿地区	計	69	100.0%	47	68.1%	17	24.6%	5	7.2%
中国・四国地区	計	51	100.0%	32	62.7%	19	37.3%	0	0.0%
九州地区	計	108	100.0%	82	75.9%	24	22.2%	2	1.9%

表NO.15 所在地区別 I-7 給与体系は年功序列か

		総計		はい		いいえ		無回答	
総計	計	510	100.0%	353	69.2%	140	27.5%	17	3.3%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	80	69.6%	32	27.8%	3	2.6%
中核市	計	58	100.0%	38	65.5%	20	34.5%	0	0.0%
中都市	計	86	100.0%	61	70.9%	21	24.4%	4	4.7%
小都市A	計	149	100.0%	101	67.8%	42	28.2%	6	4.0%
小都市B	計	58	100.0%	42	72.4%	14	24.1%	2	3.4%
町・村	計	44	100.0%	31	70.5%	11	25.0%	2	4.5%

表NO.16 地域区分別 I-8 別法人等で働いていた場合の保育士経験を年功序列に考慮しているか

		総計		はい		いいえ		無回答	
全国	計	510	100.0%	405	79.4%	90	17.6%	15	2.9%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	47	65.3%	23	31.9%	2	2.8%
関東地区	計	124	100.0%	102	82.3%	19	15.3%	3	2.4%
東海地区	計	47	100.0%	37	78.7%	10	21.3%	0	0.0%
北信越地区	計	39	100.0%	34	87.2%	4	10.3%	1	2.6%
近畿地区	計	69	100.0%	54	78.3%	11	15.9%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	39	76.5%	11	21.6%	1	2.0%
九州地区	計	108	100.0%	92	85.2%	12	11.1%	4	3.7%

表NO.17 所在地区別 I-8 別法人等で働いていた場合の保育士経験を年功序列に考慮しているか

		総計		はい		いいえ		無回答	
総計	計	510	100.0%	405	79.4%	90	17.6%	15	2.9%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	103	89.6%	12	10.4%	0	0.0%
中核市	計	58	100.0%	46	79.3%	11	19.0%	1	1.7%
中都市	計	86	100.0%	71	82.6%	14	16.3%	1	1.2%
小都市A	計	149	100.0%	106	71.1%	35	23.5%	8	5.4%
小都市B	計	58	100.0%	46	79.3%	10	17.2%	2	3.4%
町・村	計	44	100.0%	33	75.0%	8	18.2%	3	6.8%

表NO.18 地域区分別 I-9 就業規則に人事考課を位置づけているか

		総計		はい		いいえ		無回答	
全国	計	510	100.0%	197	38.6%	280	54.9%	33	6.5%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	24	33.3%	42	58.3%	6	8.3%
関東地区	計	124	100.0%	58	46.8%	62	50.0%	4	3.2%
東海地区	計	47	100.0%	13	27.7%	28	59.6%	6	12.8%
北信越地区	計	39	100.0%	20	51.3%	17	43.6%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	31	44.9%	34	49.3%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	21	41.2%	26	51.0%	4	7.8%
九州地区	計	108	100.0%	30	27.8%	71	65.7%	7	6.5%

表NO.19 所在地区別 I-9 就業規則に人事考課を位置づけているか

		総計		はい		いいえ		無回答	
総計	計	510	100.0%	197	38.6%	280	54.9%	33	6.5%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	49	42.6%	60	52.2%	6	5.2%
中核市	計	58	100.0%	21	36.2%	32	55.2%	5	8.6%
中都市	計	86	100.0%	37	43.0%	46	53.5%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	56	37.6%	84	56.4%	9	6.0%
小都市B	計	58	100.0%	19	32.8%	32	55.2%	7	12.1%
町・村	計	44	100.0%	15	34.1%	26	59.1%	3	6.8%

表NO.20 地域区分別 I-10 保育士の昇格や昇給にあたってキャリアパスを考慮しているか

		総計		はい		いいえ		無回答	
全国	計	510	100.0%	263	51.6%	211	41.4%	36	7.1%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	40	55.6%	28	38.9%	4	5.6%
関東地区	計	124	100.0%	64	51.6%	47	37.9%	13	10.5%
東海地区	計	47	100.0%	16	34.0%	30	63.8%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	22	56.4%	14	35.9%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	43	62.3%	23	33.3%	3	4.3%
中国・四国地区	計	51	100.0%	28	54.9%	20	39.2%	3	5.9%
九州地区	計	108	100.0%	50	46.3%	49	45.4%	9	8.3%

表NO.21 所在地区別 I-10 保育士の昇格や昇給にあたってキャリアパスを考慮しているか

		総計		はい		いいえ		無回答	
総計	計	510	100.0%	263	51.6%	211	41.4%	36	7.1%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	63	54.8%	45	39.1%	7	6.1%
中核市	計	58	100.0%	32	55.2%	23	39.7%	3	5.2%
中都市	計	86	100.0%	39	45.3%	40	46.5%	7	8.1%
小都市A	計	149	100.0%	78	52.3%	57	38.3%	14	9.4%
小都市B	計	58	100.0%	32	55.2%	23	39.7%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	19	43.2%	23	52.3%	2	4.5%

表NO.22 地域区分別 I-11 キャリアパスを考慮した保育所職員の処遇システムが必要と思うか

		総計		はい		いいえ		無効		無回答	
全国	計	510	100.0%	390	76.5%	69	13.5%	1	0.2%	50	9.8%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	58	80.6%	8	11.1%	1	1.4%	5	6.9%
関東地区	計	124	100.0%	95	76.6%	16	12.9%	0	0.0%	13	10.5%
東海地区	計	47	100.0%	34	72.3%	8	17.0%	0	0.0%	5	10.6%
北信越地区	計	39	100.0%	32	82.1%	3	7.7%	0	0.0%	4	10.3%
近畿地区	計	69	100.0%	55	79.7%	7	10.1%	0	0.0%	7	10.1%
中国・四国地区	計	51	100.0%	35	68.6%	12	23.5%	0	0.0%	4	7.8%
九州地区	計	108	100.0%	81	75.0%	15	13.9%	0	0.0%	12	11.1%

表NO.23 所在地区別 I-11 キャリアパスを考慮した保育所職員の処遇システムが必要と思うか

		総計		はい		いいえ		無効		無回答	
総計	計	510	100.0%	390	76.5%	69	13.5%	1	0.2%	50	9.8%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	96	83.5%	11	9.6%	0	0.0%	8	7.0%
中核市	計	58	100.0%	41	70.7%	9	15.5%	1	1.7%	7	12.1%
中都市	計	86	100.0%	61	70.9%	15	17.4%	0	0.0%	10	11.6%
小都市A	計	149	100.0%	119	79.9%	17	11.4%	0	0.0%	13	8.7%
小都市B	計	58	100.0%	42	72.4%	12	20.7%	0	0.0%	4	6.9%
町・村	計	44	100.0%	31	70.5%	5	11.4%	0	0.0%	8	18.2%

表NO.24 地域区分別 I-11-1 キャリアパスを考慮した保育所職員の処遇システムが必要と思う理由

		総計		記述あり		記述なし	
全国	計	390	100.0%	256	65.6%	134	34.4%
北海道・東北地区	計	58	100.0%	34	58.6%	24	41.4%
関東地区	計	95	100.0%	63	66.3%	32	33.7%
東海地区	計	34	100.0%	25	73.5%	9	26.5%
北信越地区	計	32	100.0%	25	78.1%	7	21.9%
近畿地区	計	55	100.0%	32	58.2%	23	41.8%
中国・四国地区	計	35	100.0%	24	68.6%	11	31.4%
九州地区	計	81	100.0%	53	65.4%	28	34.6%

表NO.25 所在地区別 I-11-1 キャリアパスを考慮した保育所職員の処遇システムが必要と思う理由

		総計		記述あり		記述なし	
総計	計	390	100.0%	256	65.6%	134	34.4%
都区部・指定都市	計	96	100.0%	63	65.6%	33	34.4%
中核市	計	41	100.0%	25	61.0%	16	39.0%
中都市	計	61	100.0%	33	54.1%	28	45.9%
小都市A	計	119	100.0%	78	65.5%	41	34.5%
小都市B	計	42	100.0%	34	81.0%	8	19.0%
町・村	計	31	100.0%	23	74.2%	8	25.8%

表NO.26 地域区分別 I-11-2 キャリアパスを考慮した保育所職員の処遇システムが必要と思わない理由

		総計		記述あり		記述なし	
全国	計	69	100.0%	43	62.3%	26	37.7%
北海道・東北地区	計	8	100.0%	7	87.5%	1	12.5%
関東地区	計	16	100.0%	11	68.8%	5	31.3%
東海地区	計	8	100.0%	4	50.0%	4	50.0%
北信越地区	計	3	100.0%	2	66.7%	1	33.3%
近畿地区	計	7	100.0%	2	28.6%	5	71.4%
中国・四国地区	計	12	100.0%	8	66.7%	4	33.3%
九州地区	計	15	100.0%	9	60.0%	6	40.0%

表NO.27 所在地区別 I-11-2 キャリアパスを考慮した保育所職員の処遇システムが必要と思わない理由

		総計		記述あり		記述なし	
総計	計	69	100.0%	43	62.3%	26	37.7%
都区部・指定都市	計	11	100.0%	7	63.6%	4	36.4%
中核市	計	9	100.0%	5	55.6%	4	44.4%
中都市	計	15	100.0%	11	73.3%	4	26.7%
小都市A	計	17	100.0%	8	47.1%	9	52.9%
小都市B	計	12	100.0%	8	66.7%	4	33.3%
町・村	計	5	100.0%	4	80.0%	1	20.0%



表NO.28 地域区分別 I-12 保育所では「主任保育士」という役職を置いているか

		総計		はい		いいえ		無回答	
全国	計	510	100.0%	496	97.3%	13	2.5%	1	0.2%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	70	97.2%	2	2.8%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	119	96.0%	5	4.0%	0	0.0%
東海地区	計	47	100.0%	46	97.9%	1	2.1%	0	0.0%
北信越地区	計	39	100.0%	37	94.9%	2	5.1%	0	0.0%
近畿地区	計	69	100.0%	66	95.7%	2	2.9%	1	1.4%
中国・四国地区	計	51	100.0%	50	98.0%	1	2.0%	0	0.0%
九州地区	計	108	100.0%	108	100.0%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.29 所在地区別 I-12 保育所では「主任保育士」という役職を置いているか

		総計		はい		いいえ		無回答	
総計	計	510	100.0%	496	97.3%	13	2.5%	1	0.2%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	110	95.7%	5	4.3%	0	0.0%
中核市	計	58	100.0%	56	96.6%	2	3.4%	0	0.0%
中都市	計	86	100.0%	85	98.8%	1	1.2%	0	0.0%
小都市A	計	149	100.0%	146	98.0%	2	1.3%	1	0.7%
小都市B	計	58	100.0%	56	96.6%	2	3.4%	0	0.0%
町・村	計	44	100.0%	43	97.7%	1	2.3%	0	0.0%

表NO.30 地域区分別 I-13 (I-12で「はい」と答えた方のみ) その主任保育士は、勤務経験何年目の時に配置されたか

		総計	1~3年目	4~6年目	7~9年目	10~12年目	13~15年目	16~18年目	19~21年目	22年以上	無効	無回答											
全国	計	496	100.0%	22	4.4%	46	9.3%	50	10.1%	107	21.6%	68	13.7%	36	7.3%	65	13.1%	80	16.1%	5	1.0%	17	3.4%
北海道・東北地区	計	70	100.0%	2	2.9%	3	4.3%	4	5.7%	10	14.3%	13	18.6%	9	12.9%	8	11.4%	17	24.3%	0	0.0%	4	5.7%
関東地区	計	119	100.0%	5	4.2%	16	13.4%	16	13.4%	27	22.7%	18	15.1%	5	4.2%	12	10.1%	15	12.6%	1	0.8%	4	3.4%
東海地区	計	46	100.0%	4	8.7%	4	8.7%	6	13.0%	8	17.4%	3	6.5%	4	8.7%	6	13.0%	10	21.7%	0	0.0%	1	2.2%
北信越地区	計	37	100.0%	0	0.0%	3	8.1%	0	0.0%	5	13.5%	8	21.6%	3	8.1%	6	16.2%	7	18.9%	2	5.4%	3	8.1%
近畿地区	計	66	100.0%	2	3.0%	6	9.1%	5	7.6%	17	25.8%	9	13.6%	5	7.6%	12	18.2%	9	13.6%	1	1.5%	0	0.0%
中国・四国地区	計	50	100.0%	5	10.0%	2	4.0%	9	18.0%	12	24.0%	4	8.0%	6	12.0%	6	12.0%	3	6.0%	1	2.0%	2	4.0%
九州地区	計	108	100.0%	4	3.7%	12	11.1%	10	9.3%	28	25.9%	13	12.0%	4	3.7%	15	13.9%	19	17.6%	0	0.0%	3	2.8%

表NO.31 所在地区別 I-13 (I-12で「はい」と答えた方のみ) その主任保育士は、勤務経験何年目の時に配置されたか

		総計	1~3年目	4~6年目	7~9年目	10~12年目	13~15年目	16~18年目	19~21年目	22年以上	無効	無回答											
総計	計	496	100.0%	22	4.4%	46	9.3%	50	10.1%	107	21.6%	68	13.7%	36	7.3%	65	13.1%	80	16.1%	5	1.0%	17	3.4%
都区部・指定都市	計	110	100.0%	5	4.5%	11	10.0%	14	12.7%	27	24.5%	15	13.6%	7	6.4%	11	10.0%	18	16.4%	0	0.0%	2	1.8%
中核市	計	56	100.0%	3	5.4%	7	12.5%	4	7.1%	15	26.8%	8	14.3%	4	7.1%	7	12.5%	5	8.9%	1	1.8%	2	3.6%
中都市	計	85	100.0%	3	3.5%	6	7.1%	11	12.9%	17	20.0%	8	9.4%	11	12.9%	13	15.3%	11	12.9%	2	2.4%	3	3.5%
小都市A	計	146	100.0%	9	6.2%	14	9.6%	11	7.5%	32	21.9%	21	14.4%	8	5.5%	19	13.0%	25	17.1%	0	0.0%	7	4.8%
小都市B	計	56	100.0%	1	1.8%	4	7.1%	5	8.9%	9	16.1%	11	19.6%	5	8.9%	7	12.5%	11	19.6%	1	1.8%	2	3.6%
町・村	計	43	100.0%	1	2.3%	4	9.3%	5	11.6%	7	16.3%	5	11.6%	1	2.3%	8	18.6%	10	23.3%	1	2.3%	1	2.3%

表NO.32 地域区分別 II-1 認可保育所長としての通算勤務年数

		総計	3年未満	3年以上 ～6年末満	6年以上 ～9年末満	9年以上 ～12年末満	12年以上 ～15年末満	15年以上 ～18年末満	18年以上 ～21年末満	21年以上 ～24年末満	24年以上 ～27年末満	27年以上 ～30年末満	30年以上	無回答													
全国	計	510	100.0%	115	22.5%	105	20.6%	71	13.9%	37	7.3%	24	4.7%	20	3.9%	16	3.1%	7	1.4%	16	3.1%	7	1.4%	75	14.7%	17	3.3%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	21	29.2%	18	25.0%	12	16.7%	5	6.9%	3	4.2%	3	4.2%	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	3	4.2%	3	4.2%	3	4.2%
関東地区	計	124	100.0%	34	27.4%	25	20.2%	18	14.5%	9	7.3%	4	3.2%	4	3.2%	5	4.0%	2	1.6%	7	5.6%	0	0.0%	12	9.7%	4	3.2%
東海地区	計	47	100.0%	14	29.8%	6	12.8%	3	6.4%	3	6.4%	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	12	25.5%	2	4.3%
北信越地区	計	39	100.0%	8	20.5%	5	12.8%	11	28.2%	3	7.7%	5	12.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	2	5.1%	3	7.7%	1	2.6%
近畿地区	計	69	100.0%	12	17.4%	18	26.1%	8	11.6%	5	7.2%	2	2.9%	3	4.3%	2	2.9%	3	4.3%	2	2.9%	2	2.9%	10	14.5%	2	2.9%
中国・四国地区	計	51	100.0%	8	15.7%	11	21.6%	8	15.7%	5	9.8%	2	3.9%	2	3.9%	3	5.9%	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	10	19.6%	1	2.0%
九州地区	計	108	100.0%	18	16.7%	22	20.4%	11	10.2%	7	6.5%	5	4.6%	5	4.6%	4	3.7%	2	1.9%	5	4.6%	0	0.0%	25	23.1%	4	3.7%

表NO.33 所在地区別 II-1 認可保育所長としての通算勤務年数

		総計	3年未満	3年以上 ～6年末満	6年以上 ～9年末満	9年以上 ～12年末満	12年以上 ～15年末満	15年以上 ～18年末満	18年以上 ～21年末満	21年以上 ～24年末満	24年以上 ～27年末満	27年以上 ～30年末満	30年以上	無回答													
総計	計	510	100.0%	115	22.5%	105	20.6%	71	13.9%	37	7.3%	24	4.7%	20	3.9%	16	3.1%	7	1.4%	16	3.1%	7	1.4%	75	14.7%	17	3.3%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	31	27.0%	23	20.0%	11	9.6%	12	10.4%	3	2.6%	7	6.1%	4	3.5%	4	3.5%	5	4.3%	2	1.7%	9	7.8%	4	3.5%
中核市	計	58	100.0%	17	29.3%	9	15.5%	10	17.2%	3	5.2%	3	5.2%	1	1.7%	1	1.7%	1	1.7%	2	3.4%	1	1.7%	7	12.1%	3	5.2%
中都市	計	86	100.0%	20	23.3%	12	14.0%	12	14.0%	2	2.3%	5	5.8%	4	4.7%	0	0.0%	3	3.5%	2	2.3%	17	19.8%	4	4.7%		
小都市A	計	149	100.0%	26	17.4%	42	28.2%	23	15.4%	8	5.4%	9	6.0%	3	2.0%	3	2.0%	1	0.7%	3	2.0%	0	0.0%	25	16.8%	6	4.0%
小都市B	計	58	100.0%	13	22.4%	10	17.2%	9	15.5%	4	6.9%	3	5.2%	2	3.4%	3	5.2%	1	1.7%	0	0.0%	1	1.7%	12	20.7%	0	0.0%
町・村	計	44	100.0%	8	18.2%	9	20.5%	6	13.6%	5	11.4%	4	9.1%	2	4.5%	1	2.3%	0	0.0%	3	6.8%	1	2.3%	5	11.4%	0	0.0%

表NO.34 地域区分別 II-2 持っている資格・免許について（複数回答）

		総計	保育士資格	幼稚園教員免許	その他の 教員免許	福祉関係の資格	医療関係の資格	労務関係の資格	法律関係の資格	その他の 資格・免許	資格・免許なし										
全国	計	510	100.0%	314	61.6%	223	43.7%	75	14.7%	141	27.6%	8	1.6%	8	1.6%	1	0.2%	131	25.7%	28	5.5%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	46	63.9%	31	43.1%	10	13.9%	20	27.8%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%	16	22.2%	2	2.8%
関東地区	計	124	100.0%	82	66.1%	57	46.0%	16	12.9%	37	29.8%	4	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	35	28.2%	3	2.4%
東海地区	計	47	100.0%	28	59.6%	24	51.1%	4	8.5%	6	12.8%	0	0.0%	1	2.1%	0	0.0%	11	23.4%	5	10.6%
北信越地区	計	39	100.0%	24	61.5%	12	30.8%	8	20.5%	10	25.6%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	14	35.9%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	40	58.0%	32	46.4%	13	18.8%	22	31.9%	0	0.0%	3	4.3%	0	0.0%	15	21.7%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	33	64.7%	23	45.1%	6	11.8%	9	17.6%	1	2.0%	2	3.9%	0	0.0%	13	25.5%	5	9.8%
九州地区	計	108	100.0%	61	56.5%	44	40.7%	18	16.7%	37	34.3%	2	1.9%	1	0.9%	1	0.9%	27	25.0%	7	6.5%

表NO.35 所在地区別 II-2 持っている資格・免許について（複数回答）

		総計	保育士資格	幼稚園教員免許	その他の 教員免許	福祉関係の資格	医療関係の資格	労務関係の資格	法律関係の資格	その他の 資格・免許	資格・免許なし										
総計	計	510	100.0%	314	61.6%	223	43.7%	75	14.7%	141	27.6%	8	1.6%	8	1.6%	1	0.2%	131	25.7%	28	5.5%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	73	63.5%	58	50.4%	15	13.0%	37	32.2%	1	0.9%	4	3.5%	0	0.0%	26	22.6%	6	5.2%
中核市	計	58	100.0%	36	62.1%	25	43.1%	11	19.0%	15	25.9%	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%	15	25.9%	4	6.9%
中都市	計	86	100.0%	47	54.7%	25	29.1%	14	16.3%	26	30.2%	2	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	22	25.6%	4	4.7%
小都市A	計	149	100.0%	95	63.8%	65	43.6%	16	10.7%	39	26.2%	5	3.4%	3	2.0%	1	0.7%	40	26.8%	6	4.0%
小都市B	計	58	100.0%	38	65.5%	29	50.0%	12	20.7%	8	13.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	15	25.9%	5	8.6%
町・村	計	44	100.0%	25	56.8%	21	47.7%	7	15.9%	16	36.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	13	29.5%	3	6.8%

表NO.36 地域区分別 II-3 これまで「キャリアパス」について知っていたか

		総計		はい		いいえ		無回答	
全国	計	510	100.0%	276	54.1%	205	40.2%	29	5.7%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	39	54.2%	29	40.3%	4	5.6%
関東地区	計	124	100.0%	62	50.0%	56	45.2%	6	4.8%
東海地区	計	47	100.0%	26	55.3%	19	40.4%	2	4.3%
北信越地区	計	39	100.0%	20	51.3%	17	43.6%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	42	60.9%	24	34.8%	3	4.3%
中国・四国地区	計	51	100.0%	22	43.1%	25	49.0%	4	7.8%
九州地区	計	108	100.0%	65	60.2%	35	32.4%	8	7.4%

表NO.37 所在地区別 II-3 これまで「キャリアパス」について知っていたか

		総計		はい		いいえ		無回答	
総計	計	510	100.0%	276	54.1%	205	40.2%	29	5.7%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	61	53.0%	48	41.7%	6	5.2%
中核市	計	58	100.0%	26	44.8%	28	48.3%	4	6.9%
中都市	計	86	100.0%	45	52.3%	34	39.5%	7	8.1%
小都市A	計	149	100.0%	85	57.0%	56	37.6%	8	5.4%
小都市B	計	58	100.0%	34	58.6%	21	36.2%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	25	56.8%	18	40.9%	1	2.3%

表NO.38 地域区分別 II-4 (設問II-3で「はい」を選んだ方のみ) キャリアパスの理解度について

		総計		他人に説明ができる		自分なりに理解している		言葉だけ知っている		無効		無回答	
全国	計	276	100.0%	27	9.8%	184	66.7%	60	21.7%	1	0.4%	4	1.4%
北海道・東北地区	計	39	100.0%	3	7.7%	25	64.1%	11	28.2%	0	0.0%	0	0.0%
関東地区	計	62	100.0%	9	14.5%	44	71.0%	9	14.5%	0	0.0%	0	0.0%
東海地区	計	26	100.0%	1	3.8%	19	73.1%	6	23.1%	0	0.0%	0	0.0%
北信越地区	計	20	100.0%	0	0.0%	17	85.0%	2	10.0%	1	5.0%	0	0.0%
近畿地区	計	42	100.0%	2	4.8%	26	61.9%	13	31.0%	0	0.0%	1	2.4%
中国・四国地区	計	22	100.0%	3	13.6%	14	63.6%	5	22.7%	0	0.0%	0	0.0%
九州地区	計	65	100.0%	9	13.8%	39	60.0%	14	21.5%	0	0.0%	3	4.6%

表NO.39 所在地区別 II-4 (設問II-3で「はい」を選んだ方のみ) キャリアパスの理解度について

		総計		他人に説明ができる		自分なりに理解している		言葉だけ知っている		無効		無回答	
総計	計	276	100.0%	27	9.8%	184	66.7%	60	21.7%	1	0.4%	4	1.4%
都区部・指定都市	計	61	100.0%	10	16.4%	35	57.4%	15	24.6%	0	0.0%	1	1.6%
中核市	計	26	100.0%	1	3.8%	21	80.8%	3	11.5%	1	3.8%	0	0.0%
中都市	計	45	100.0%	1	2.2%	31	68.9%	12	26.7%	0	0.0%	1	2.2%
小都市A	計	85	100.0%	8	9.4%	55	64.7%	21	24.7%	0	0.0%	1	1.2%
小都市B	計	34	100.0%	2	5.9%	26	76.5%	5	14.7%	0	0.0%	1	2.9%
町・村	計	25	100.0%	5	20.0%	16	64.0%	4	16.0%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.40 地域区分別 Ⅲ-1 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈乳児クラスの主任〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	11	2.2%	30	5.9%	59	11.6%	64	12.5%	85	16.7%	96	18.8%	132	25.9%	15	2.9%	2	0.4%	16	3.1%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	1	1.4%	2	2.8%	8	11.1%	10	13.9%	13	18.1%	16	22.2%	18	25.0%	1	1.4%	1	1.4%	2	2.8%
関東地区	計	124	100.0%	3	2.4%	9	7.3%	18	14.5%	19	15.3%	16	12.9%	26	21.0%	22	17.7%	6	4.8%	0	0.0%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	1	2.1%	6	12.8%	6	12.8%	4	8.5%	8	17.0%	9	19.1%	9	19.1%	3	6.4%	0	0.0%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	2	5.1%	2	5.1%	3	7.7%	4	10.3%	8	20.5%	4	10.3%	14	35.9%	1	2.6%	0	0.0%	1	2.6%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	5	7.2%	9	13.0%	9	13.0%	12	17.4%	15	21.7%	14	20.3%	0	0.0%	1	1.4%	3	4.3%
中国・四国地区	計	51	100.0%	2	3.9%	3	5.9%	5	9.8%	6	11.8%	9	17.6%	8	15.7%	14	27.5%	3	5.9%	0	0.0%	1	2.0%
九州地区	計	108	100.0%	1	0.9%	3	2.8%	10	9.3%	12	11.1%	19	17.6%	18	16.7%	41	38.0%	1	0.9%	0	0.0%	3	2.8%

表NO.41 所在地区別 Ⅲ-1 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈乳児クラスの主任〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	11	2.2%	30	5.9%	59	11.6%	64	12.5%	85	16.7%	96	18.8%	132	25.9%	15	2.9%	2	0.4%	16	3.1%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	2	1.7%	9	7.8%	14	12.2%	20	17.4%	21	18.3%	21	18.3%	25	21.7%	5	4.3%	0	0.0%	2	1.7%
中核市	計	58	100.0%	3	5.2%	2	3.4%	6	10.3%	6	10.3%	12	20.7%	11	19.0%	12	20.7%	1	1.7%	0	0.0%	5	8.6%
中都市	計	86	100.0%	1	1.2%	9	10.5%	15	17.4%	10	11.6%	10	11.6%	13	15.1%	23	26.7%	2	2.3%	0	0.0%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	1	0.7%	5	3.4%	14	9.4%	13	8.7%	30	20.1%	38	25.5%	38	25.5%	4	2.7%	1	0.7%	5	3.4%
小都市B	計	58	100.0%	2	3.4%	4	6.9%	3	5.2%	6	10.3%	7	12.1%	7	12.1%	25	43.1%	2	3.4%	1	1.7%	1	1.7%
町・村	計	44	100.0%	2	4.5%	5	11.4%	7	15.9%	9	20.5%	5	11.4%	6	13.6%	9	20.5%	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.42 地域区分別 Ⅲ-2 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈3歳未満児クラスの主任〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	13	2.5%	44	8.6%	84	16.5%	70	13.7%	88	17.3%	98	19.2%	94	18.4%	4	0.8%	2	0.4%	13	2.5%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	2	2.8%	2	2.8%	10	13.9%	10	13.9%	12	16.7%	16	22.2%	19	26.4%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	2	1.6%	16	12.9%	21	16.9%	23	18.5%	19	15.3%	22	17.7%	16	12.9%	2	1.6%	0	0.0%	3	2.4%
東海地区	計	47	100.0%	2	4.3%	6	12.8%	9	19.1%	5	10.6%	9	19.1%	9	19.1%	5	10.6%	1	2.1%	0	0.0%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	3	7.7%	4	10.3%	3	7.7%	1	2.6%	6	15.4%	14	35.9%	6	15.4%	1	2.6%	0	0.0%	1	2.6%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	2	2.9%	15	21.7%	12	17.4%	10	14.5%	14	20.3%	11	15.9%	0	0.0%	1	1.4%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	1	2.0%	7	13.7%	6	11.8%	5	9.8%	12	23.5%	9	17.6%	10	19.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%
九州地区	計	108	100.0%	3	2.8%	7	6.5%	20	18.5%	14	13.0%	20	18.5%	14	13.0%	27	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.8%

表NO.43 所在地区別 Ⅲ-2 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈3歳未満児クラスの主任〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	13	2.5%	44	8.6%	84	16.5%	70	13.7%	88	17.3%	98	19.2%	94	18.4%	4	0.8%	2	0.4%	13	2.5%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	2	1.7%	7	6.1%	19	16.5%	21	18.3%	25	21.7%	27	23.5%	12	10.4%	1	0.9%	0	0.0%	1	0.9%
中核市	計	58	100.0%	4	6.9%	1	1.7%	11	19.0%	12	20.7%	6	10.3%	12	20.7%	8	13.8%	0	0.0%	0	0.0%	4	6.9%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	12	14.0%	20	23.3%	6	7.0%	16	18.6%	17	19.8%	13	15.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.3%
小都市A	計	149	100.0%	3	2.0%	11	7.4%	23	15.4%	16	10.7%	22	14.8%	32	21.5%	35	23.5%	1	0.7%	1	0.7%	5	3.4%
小都市B	計	58	100.0%	2	3.4%	7	12.1%	3	5.2%	4	6.9%	12	20.7%	8	13.8%	20	34.5%	2	3.4%	1	1.7%	1	1.7%
町・村	計	44	100.0%	2	4.5%	6	13.6%	8	18.2%	11	25.0%	7	15.9%	4	9.1%	6	13.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.44 地域区分別 Ⅲ-3 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈3歳以上児クラスの主任任〉

		総計	1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答				
全国	計	510	100.0%	6	1.2%	26	5.1%	90	17.6%	76	14.9%	100	19.6%	94	18.4%	81	15.9%	18	3.5%	2	0.4%	17	3.3%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	1	1.4%	5	6.9%	4	5.6%	8	11.1%	20	27.8%	17	23.6%	13	18.1%	2	2.8%	1	1.4%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	1	0.8%	9	7.3%	24	19.4%	18	14.5%	27	21.8%	19	15.3%	16	12.9%	7	5.6%	0	0.0%	3	2.4%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	2	4.3%	16	34.0%	7	14.9%	8	17.0%	6	12.8%	6	12.8%	1	2.1%	0	0.0%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	12	30.8%	3	7.7%	7	17.9%	9	23.1%	4	10.3%	2	5.1%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	2	2.9%	11	15.9%	16	23.2%	8	11.6%	14	20.3%	9	13.0%	3	4.3%	1	1.4%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	1	2.0%	2	3.9%	7	13.7%	9	17.6%	11	21.6%	8	15.7%	9	17.6%	2	3.9%	0	0.0%	2	3.9%
九州地区	計	108	100.0%	2	1.9%	6	5.6%	16	14.8%	15	13.9%	19	17.6%	21	19.4%	24	22.2%	1	0.9%	0	0.0%	4	3.7%

表NO.45 所在地区別 Ⅲ-3 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈3歳以上児クラスの主任任〉

		総計	1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答				
総計	計	510	100.0%	6	1.2%	26	5.1%	90	17.6%	76	14.9%	100	19.6%	94	18.4%	81	15.9%	18	3.5%	2	0.4%	17	3.3%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	2	1.7%	4	3.5%	13	11.3%	24	20.9%	29	25.2%	22	19.1%	14	12.2%	6	5.2%	0	0.0%	1	0.9%
中核市	計	58	100.0%	1	1.7%	3	5.2%	16	27.6%	11	19.0%	6	10.3%	11	19.0%	6	10.3%	1	1.7%	0	0.0%	3	5.2%
中都市	計	86	100.0%	1	1.2%	4	4.7%	22	25.6%	12	14.0%	14	16.3%	13	15.1%	12	14.0%	6	7.0%	0	0.0%	2	2.3%
小都市A	計	149	100.0%	2	1.3%	5	3.4%	23	15.4%	19	12.8%	30	20.1%	30	20.1%	28	18.8%	2	1.3%	1	0.7%	9	6.0%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	5	8.6%	6	10.3%	3	5.2%	14	24.1%	14	24.1%	11	19.0%	2	3.4%	1	1.7%	2	3.4%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	5	11.4%	10	22.7%	7	15.9%	7	15.9%	4	9.1%	10	22.7%	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.46 地域区分別 Ⅲ-4 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈子どもの情緒の安定を図ること〉

		総計	1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答				
全国	計	510	100.0%	59	11.6%	67	13.1%	82	16.1%	74	14.5%	61	12.0%	59	11.6%	57	11.2%	9	1.8%	17	3.3%	25	4.9%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	8	11.1%	8	11.1%	10	13.9%	16	22.2%	6	8.3%	9	12.5%	8	11.1%	3	4.2%	3	4.2%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	17	13.7%	17	13.7%	23	18.5%	19	15.3%	13	10.5%	14	11.3%	10	8.1%	4	3.2%	3	2.4%	4	3.2%
東海地区	計	47	100.0%	6	12.8%	5	10.6%	13	27.7%	8	17.0%	2	4.3%	4	8.5%	2	4.3%	0	0.0%	2	4.3%	5	10.6%
北信越地区	計	39	100.0%	3	7.7%	6	15.4%	8	20.5%	3	7.7%	4	10.3%	7	17.9%	6	15.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	6	8.7%	9	13.0%	13	18.8%	7	10.1%	12	17.4%	7	10.1%	5	7.2%	2	2.9%	4	5.8%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	6	11.8%	6	11.8%	4	7.8%	9	17.6%	6	11.8%	5	9.8%	8	15.7%	0	0.0%	3	5.9%	4	7.8%
九州地区	計	108	100.0%	13	12.0%	16	14.8%	11	10.2%	12	11.1%	18	16.7%	13	12.0%	18	16.7%	0	0.0%	2	1.9%	5	4.6%

表NO.47 所在地区別 Ⅲ-4 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈子どもの情緒の安定を図ること〉

		総計	1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答				
総計	計	510	100.0%	59	11.6%	67	13.1%	82	16.1%	74	14.5%	61	12.0%	59	11.6%	57	11.2%	9	1.8%	17	3.3%	25	4.9%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	14	12.2%	19	16.5%	23	20.0%	15	13.0%	15	13.0%	16	13.9%	5	4.3%	2	1.7%	3	2.6%	3	2.6%
中核市	計	58	100.0%	11	19.0%	5	8.6%	8	13.8%	10	17.2%	7	12.1%	3	5.2%	0	0.0%	1	1.7%	6	10.3%	6	10.3%
中都市	計	86	100.0%	11	12.8%	13	15.1%	16	18.6%	12	14.0%	7	8.1%	11	12.8%	10	11.6%	0	0.0%	1	1.2%	5	5.8%
小都市A	計	149	100.0%	15	10.1%	13	8.7%	19	12.8%	22	14.8%	21	14.1%	14	9.4%	23	15.4%	6	4.0%	9	6.0%	7	4.7%
小都市B	計	58	100.0%	4	6.9%	9	15.5%	8	13.8%	5	8.6%	8	13.8%	8	13.8%	10	17.2%	1	1.7%	2	3.4%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	4	9.1%	8	18.2%	8	18.2%	10	22.7%	3	6.8%	3	6.8%	6	13.6%	0	0.0%	1	2.3%	1	2.3%

表NO.48 地域区分別 Ⅲ-5 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈子どもの生命の保持を図ること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	75	14.7%	72	14.1%	70	13.7%	62	12.2%	57	11.2%	45	8.8%	76	14.9%	8	1.6%	19	3.7%	26	5.1%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	10	13.9%	10	13.9%	10	13.9%	9	12.5%	5	6.9%	12	16.7%	2	2.8%	3	4.2%	1	1.4%		
関東地区	計	124	100.0%	24	19.4%	18	14.5%	17	13.7%	12	9.7%	11	8.9%	13	10.5%	4	3.2%	4	3.2%	4	3.2%		
東海地区	計	47	100.0%	7	14.9%	6	12.8%	10	21.3%	8	17.0%	3	6.4%	4	8.5%	2	4.3%	0	0.0%	2	4.3%	5	10.6%
北信越地区	計	39	100.0%	4	10.3%	7	17.9%	4	10.3%	4	10.3%	3	7.7%	7	17.9%	8	20.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	9	13.0%	9	13.0%	11	15.9%	9	13.0%	6	8.7%	6	8.7%	9	13.0%	1	1.4%	4	5.8%	5	7.2%
中国・四国地区	計	51	100.0%	6	11.8%	7	13.7%	6	11.8%	5	9.8%	6	11.8%	3	5.9%	9	17.6%	1	2.0%	4	7.8%	4	7.8%
九州地区	計	108	100.0%	15	13.9%	15	13.9%	12	11.1%	9	8.3%	18	16.7%	9	8.3%	23	21.3%	0	0.0%	2	1.9%	5	4.6%

表NO.49 所在地区別 Ⅲ-5 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈子どもの生命の保持を図ること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	75	14.7%	72	14.1%	70	13.7%	62	12.2%	57	11.2%	45	8.8%	76	14.9%	8	1.6%	19	3.7%	26	5.1%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	19	16.5%	23	20.0%	18	15.7%	14	12.2%	11	9.6%	16	13.9%	7	6.1%	1	0.9%	3	2.6%	3	2.6%
中核市	計	58	100.0%	15	25.9%	5	8.6%	5	8.6%	7	12.1%	9	15.5%	4	6.9%	5	8.6%	0	0.0%	2	3.4%	6	10.3%
中都市	計	86	100.0%	13	15.1%	11	12.8%	15	17.4%	14	16.3%	7	8.1%	8	9.3%	11	12.8%	1	1.2%	1	1.2%	5	5.8%
小都市A	計	149	100.0%	18	12.1%	14	9.4%	17	11.4%	17	11.4%	18	12.1%	10	6.7%	32	21.5%	5	3.4%	10	6.7%	8	5.4%
小都市B	計	58	100.0%	5	8.6%	10	17.2%	6	10.3%	5	8.6%	8	13.8%	6	10.3%	12	20.7%	1	1.7%	2	3.4%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	5	11.4%	9	20.5%	9	20.5%	5	11.4%	4	9.1%	1	2.3%	9	20.5%	0	0.0%	1	2.3%	1	2.3%

表NO.50 地域区分別 Ⅲ-6 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈子どもの基本的な生活習慣の支援をすること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	107	21.0%	109	21.4%	85	16.7%	43	8.4%	43	8.4%	37	7.3%	37	7.3%	5	1.0%	17	3.3%	27	5.3%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	12	16.7%	18	25.0%	9	12.5%	8	11.1%	9	12.5%	8	11.1%	3	4.2%	1	1.4%	3	4.2%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	30	24.2%	26	21.0%	26	21.0%	7	5.6%	10	8.1%	9	7.3%	6	4.8%	3	2.4%	2	1.6%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	12	25.5%	6	12.8%	11	23.4%	4	8.5%	2	4.3%	3	6.4%	2	4.3%	0	0.0%	2	4.3%	5	10.6%
北信越地区	計	39	100.0%	9	23.1%	6	15.4%	5	12.8%	6	15.4%	4	10.3%	5	12.8%	2	5.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	13	18.8%	18	26.1%	12	17.4%	6	8.7%	3	4.3%	4	5.8%	3	4.3%	1	1.4%	4	5.8%	5	7.2%
中国・四国地区	計	51	100.0%	12	23.5%	9	17.6%	7	13.7%	2	3.9%	5	9.8%	1	2.0%	7	13.7%	0	0.0%	4	7.8%	4	7.8%
九州地区	計	108	100.0%	19	17.6%	26	24.1%	15	13.9%	10	9.3%	10	9.3%	7	6.5%	14	13.0%	0	0.0%	2	1.9%	5	4.6%

表NO.51 所在地区別 Ⅲ-6 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈子どもの基本的な生活習慣の支援をすること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	107	21.0%	109	21.4%	85	16.7%	43	8.4%	43	8.4%	37	7.3%	37	7.3%	5	1.0%	17	3.3%	27	5.3%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	25	21.7%	32	27.8%	23	20.0%	9	7.8%	9	7.8%	8	7.0%	3	2.6%	1	0.9%	2	1.7%	3	2.6%
中核市	計	58	100.0%	19	32.8%	6	10.3%	8	13.8%	5	8.6%	5	8.6%	5	8.6%	3	5.2%	0	0.0%	1	1.7%	6	10.3%
中都市	計	86	100.0%	23	26.7%	18	20.9%	18	20.9%	5	5.8%	4	4.7%	6	7.0%	5	5.8%	0	0.0%	1	1.2%	6	7.0%
小都市A	計	149	100.0%	26	17.4%	24	16.1%	25	16.8%	11	7.4%	14	9.4%	13	8.7%	15	10.1%	3	2.0%	10	6.7%	8	5.4%
小都市B	計	58	100.0%	7	12.1%	18	31.0%	4	6.9%	6	10.3%	6	10.3%	2	3.4%	9	15.5%	1	1.7%	2	3.4%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	7	15.9%	11	25.0%	7	15.9%	7	15.9%	9	11.4%	3	6.8%	2	4.5%	0	0.0%	1	2.3%	1	2.3%

表NO.52 地域区分別 Ⅲ-7 各業務について実際に行っている保育士の経験年数（子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答			
全国	計	510	100.0%	71	13.9%	96	18.8%	109	21.4%	61	12.0%	62	12.2%	27	5.3%	35	6.9%	5	1.0%	17	3.3%	27	5.3%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	10	13.9%	16	22.2%	9	12.5%	10	13.9%	11	15.3%	6	8.3%	5	6.9%	1	1.4%	3	4.2%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	21	16.9%	23	18.5%	33	26.6%	10	8.1%	15	12.1%	6	4.8%	6	4.8%	3	2.4%	2	1.6%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	7	14.9%	9	19.1%	10	21.3%	7	14.9%	3	6.4%	1	2.1%	3	6.4%	0	0.0%	2	4.3%	5	10.6%
北信越地区	計	39	100.0%	4	10.3%	6	15.4%	8	20.5%	5	12.8%	6	15.4%	4	10.3%	4	10.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	8	11.6%	10	14.5%	19	27.5%	12	17.4%	5	7.2%	4	5.8%	1	1.4%	1	1.4%	4	5.8%	5	7.2%
中国・四国地区	計	51	100.0%	7	13.7%	9	17.6%	11	21.6%	4	7.8%	5	9.8%	2	3.9%	5	9.8%	0	0.0%	4	7.8%	4	7.8%
九州地区	計	108	100.0%	14	13.0%	23	21.3%	19	17.6%	13	12.0%	17	15.7%	4	3.7%	11	10.2%	0	0.0%	2	1.9%	5	4.6%

表NO.53 所在地区別 Ⅲ-7 各業務について実際に行っている保育士の経験年数（子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答			
総計	計	510	100.0%	71	13.9%	96	18.8%	109	21.4%	61	12.0%	62	12.2%	27	5.3%	35	6.9%	5	1.0%	17	3.3%	27	5.3%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	19	16.5%	23	20.0%	31	27.0%	17	14.8%	12	10.4%	4	3.5%	3	2.6%	1	0.9%	2	1.7%	3	2.6%
中核市	計	58	100.0%	11	19.0%	4	6.9%	18	31.0%	6	10.3%	6	10.3%	3	5.2%	1	1.7%	0	0.0%	1	1.7%	6	10.3%
中都市	計	86	100.0%	14	16.3%	20	23.3%	14	16.3%	9	10.5%	12	14.0%	5	5.8%	5	5.8%	0	0.0%	1	1.2%	6	7.0%
小都市A	計	149	100.0%	17	11.4%	21	14.1%	31	20.8%	19	12.8%	19	12.8%	6	4.0%	14	9.4%	3	2.0%	10	6.7%	9	6.0%
小都市B	計	58	100.0%	4	6.9%	18	31.0%	9	15.5%	4	6.9%	8	13.8%	2	3.4%	7	12.1%	1	1.7%	2	3.4%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	6	13.6%	10	22.7%	6	13.6%	6	13.6%	5	11.4%	5	11.4%	5	11.4%	0	0.0%	1	2.3%	0	0.0%

表NO.54 地域区分別 Ⅲ-8 各業務について実際に行っている保育士の経験年数（保育室や保育所内の環境を整備すること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答			
全国	計	510	100.0%	110	21.6%	135	26.5%	81	15.9%	41	8.0%	37	7.3%	30	5.9%	24	4.7%	6	1.2%	18	3.5%	28	5.5%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	14	19.4%	20	27.8%	9	12.5%	8	11.1%	4	5.6%	9	12.5%	2	2.8%	1	1.4%	3	4.2%	2	2.8%
関東地区	計	124	100.0%	32	25.8%	38	30.6%	20	16.1%	5	4.0%	8	6.5%	6	4.8%	3	2.4%	4	3.2%	3	2.4%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	14	29.8%	6	12.8%	7	14.9%	7	14.9%	2	4.3%	1	2.1%	3	6.4%	0	0.0%	2	4.3%	5	10.6%
北信越地区	計	39	100.0%	7	17.9%	11	28.2%	4	10.3%	3	7.7%	4	10.3%	4	10.3%	4	10.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	11	15.9%	22	31.9%	14	20.3%	6	8.7%	5	7.2%	1	1.4%	0	0.0%	1	1.4%	4	5.8%	5	7.2%
中国・四国地区	計	51	100.0%	11	21.6%	9	17.6%	7	13.7%	5	9.8%	3	5.9%	3	5.9%	5	9.8%	0	0.0%	4	7.8%	4	7.8%
九州地区	計	108	100.0%	21	19.4%	29	26.9%	20	18.5%	7	6.5%	11	10.2%	6	5.6%	7	6.5%	0	0.0%	2	1.9%	5	4.6%

表NO.55 所在地区別 Ⅲ-8 各業務について実際に行っている保育士の経験年数（保育室や保育所内の環境を整備すること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答			
全国	計	510	100.0%	110	21.6%	135	26.5%	81	15.9%	41	8.0%	37	7.3%	30	5.9%	24	4.7%	6	1.2%	18	3.5%	28	5.5%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	14	19.4%	20	27.8%	9	12.5%	8	11.1%	4	5.6%	9	12.5%	2	2.8%	1	1.4%	3	4.2%	2	2.8%
関東地区	計	124	100.0%	32	25.8%	38	30.6%	20	16.1%	5	4.0%	8	6.5%	6	4.8%	3	2.4%	4	3.2%	3	2.4%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	14	29.8%	6	12.8%	7	14.9%	7	14.9%	2	4.3%	1	2.1%	3	6.4%	0	0.0%	2	4.3%	5	10.6%
北信越地区	計	39	100.0%	7	17.9%	11	28.2%	4	10.3%	3	7.7%	4	10.3%	4	10.3%	4	10.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	11	15.9%	22	31.9%	14	20.3%	6	8.7%	5	7.2%	1	1.4%	0	0.0%	1	1.4%	4	5.8%	5	7.2%
中国・四国地区	計	51	100.0%	11	21.6%	9	17.6%	7	13.7%	5	9.8%	3	5.9%	3	5.9%	5	9.8%	0	0.0%	4	7.8%	4	7.8%
九州地区	計	108	100.0%	21	19.4%	29	26.9%	20	18.5%	7	6.5%	11	10.2%	6	5.6%	7	6.5%	0	0.0%	2	1.9%	5	4.6%

表NO.56 地域区分別 Ⅲ-9 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈遊具の安全管理を行うこと〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無効		無回答	
全国	計	510	100.0%	65	12.7%	62	12.2%	94	18.4%	52	10.2%	62	12.2%	49	9.6%	81	15.9%	8	1.6%	12	2.4%	25	4.9%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	7	9.7%	12	16.7%	10	13.9%	10	13.9%	8	11.1%	7	9.7%	13	18.1%	1	1.4%	2	2.8%	2	2.8%
関東地区	計	124	100.0%	25	20.2%	20	16.1%	21	16.9%	8	6.5%	14	11.3%	13	10.5%	3	2.4%	3	2.4%	3	2.4%	4	3.2%
東海地区	計	47	100.0%	7	14.9%	4	8.5%	9	19.1%	6	12.8%	4	8.5%	1	2.1%	9	19.1%	2	4.3%	2	4.3%	3	6.4%
北信越地区	計	39	100.0%	3	7.7%	6	15.4%	6	15.4%	2	5.1%	6	15.4%	7	17.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	6	8.7%	5	7.2%	18	26.1%	9	13.0%	9	13.0%	5	7.2%	9	13.0%	1	1.4%	2	2.9%	5	7.2%
中国・四国地区	計	51	100.0%	5	9.8%	5	9.8%	8	15.7%	7	13.7%	4	7.8%	7	13.7%	9	17.6%	1	2.0%	1	2.0%	4	7.8%
九州地区	計	108	100.0%	12	11.1%	10	9.3%	22	20.4%	10	9.3%	17	15.7%	9	8.3%	21	19.4%	0	0.0%	2	1.9%	5	4.6%

表NO.57 所在地区別 Ⅲ-9 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈遊具の安全管理を行うこと〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無効		無回答	
総計	計	510	100.0%	65	12.7%	62	12.2%	94	18.4%	52	10.2%	62	12.2%	49	9.6%	81	15.9%	8	1.6%	12	2.4%	25	4.9%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	20	17.4%	16	13.9%	26	22.6%	14	12.2%	12	10.4%	14	12.2%	8	7.0%	1	0.9%	1	0.9%	3	2.6%
中核市	計	58	100.0%	11	19.0%	4	6.9%	10	17.2%	7	12.1%	7	12.1%	6	10.3%	0	0.0%	1	1.7%	5	8.6%	5	8.6%
中都市	計	86	100.0%	11	12.8%	16	18.6%	13	15.1%	6	7.0%	12	14.0%	6	7.0%	15	17.4%	2	2.3%	0	0.0%	5	5.8%
小都市A	計	149	100.0%	16	10.7%	15	10.1%	25	16.8%	12	8.1%	21	14.1%	13	8.7%	27	18.1%	4	2.7%	8	5.4%	8	5.4%
小都市B	計	58	100.0%	4	6.9%	5	8.6%	10	17.2%	7	12.1%	5	8.6%	6	10.3%	15	25.9%	1	1.7%	2	3.4%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	3	6.8%	6	13.6%	10	22.7%	6	13.6%	5	11.4%	3	6.8%	10	22.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%

表NO.58 地域区分別 Ⅲ-10 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈子どもの病気やケガへの対応を判断すること〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無効		無回答	
全国	計	510	100.0%	13	2.5%	37	7.3%	67	13.1%	45	8.8%	70	13.7%	80	15.7%	166	32.5%	6	1.2%	6	1.2%	20	3.9%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	2	2.8%	5	6.9%	6	8.3%	5	6.9%	12	16.7%	12	16.7%	27	37.5%	1	1.4%	1	1.4%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	6	4.8%	7	5.6%	21	16.9%	15	12.1%	18	14.5%	17	13.7%	34	27.4%	1	0.8%	2	1.6%	3	2.4%
東海地区	計	47	100.0%	1	2.1%	3	6.4%	10	21.3%	6	12.8%	5	10.6%	4	8.5%	15	31.9%	2	4.3%	0	0.0%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	3	7.7%	5	12.8%	2	5.1%	4	10.3%	7	17.9%	16	41.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	5	7.2%	7	10.1%	3	4.3%	11	15.9%	16	23.2%	22	31.9%	0	0.0%	1	1.4%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	2	3.9%	3	5.9%	6	11.8%	3	5.9%	7	13.7%	6	11.8%	18	35.3%	1	2.0%	1	2.0%	4	7.8%
九州地区	計	108	100.0%	2	1.9%	11	10.2%	12	11.1%	11	10.2%	13	12.0%	18	16.7%	34	31.5%	1	0.9%	1	0.9%	5	4.6%

表NO.59 所在地区別 Ⅲ-10 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈子どもの病気やケガへの対応を判断すること〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無効		無回答	
総計	計	510	100.0%	13	2.5%	37	7.3%	67	13.1%	45	8.8%	70	13.7%	80	15.7%	166	32.5%	6	1.2%	6	1.2%	20	3.9%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	3	2.6%	8	7.0%	20	17.4%	20	17.4%	12	10.4%	19	16.5%	30	26.1%	0	0.0%	2	1.7%	1	0.9%
中核市	計	58	100.0%	2	3.4%	2	3.4%	5	8.6%	8	13.8%	9	15.5%	11	19.0%	16	27.6%	0	0.0%	0	0.0%	5	8.6%
中都市	計	86	100.0%	4	4.7%	6	7.0%	14	16.3%	3	3.5%	15	17.4%	10	11.6%	28	32.6%	2	2.3%	0	0.0%	4	4.7%
小都市A	計	149	100.0%	2	1.3%	17	11.4%	12	8.1%	11	7.4%	20	13.4%	23	15.4%	53	35.6%	2	1.3%	2	1.3%	7	4.7%
小都市B	計	58	100.0%	1	1.7%	2	3.4%	7	12.1%	1	1.7%	3	5.2%	12	20.7%	24	41.4%	2	3.4%	2	3.4%	2	3.4%
町・村	計	44	100.0%	1	2.3%	2	4.5%	9	20.5%	2	4.5%	9	20.5%	5	11.4%	15	34.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%



表NO.60 地域区分別 Ⅲ-11 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈行政や地域の関係各所との連絡調整等を行うこと〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	4	0.8%	9	1.8%	23	4.5%	37	7.3%	59	11.6%	91	17.8%	225	44.1%	37	7.3%	4	0.8%	21	4.1%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	1	1.4%	2	2.8%	8	11.1%	7	9.7%	14	19.4%	35	48.6%	3	4.2%	1	1.4%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	2	1.6%	1	0.8%	10	8.1%	12	9.7%	13	10.5%	26	21.0%	46	37.1%	10	8.1%	1	0.8%	3	2.4%
東海地区	計	47	100.0%	1	2.1%	0	0.0%	2	4.3%	3	6.4%	2	4.3%	11	23.4%	18	38.3%	9	19.1%	0	0.0%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	1	2.6%	6	15.4%	5	12.8%	24	61.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	0	0.0%	3	4.3%	3	4.3%	11	15.9%	10	14.5%	28	40.6%	7	10.1%	1	1.4%	5	7.2%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	3	5.9%	2	3.9%	2	3.9%	4	7.8%	6	11.8%	25	49.0%	5	9.8%	1	2.0%	3	5.9%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	3	2.8%	4	3.7%	8	7.4%	16	14.8%	19	17.6%	49	45.4%	3	2.8%	0	0.0%	6	5.6%

表NO.61 所在地区別 Ⅲ-11 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈行政や地域の関係各所との連絡調整等を行うこと〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	4	0.8%	9	1.8%	23	4.5%	37	7.3%	59	11.6%	91	17.8%	225	44.1%	37	7.3%	4	0.8%	21	4.1%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	1	0.9%	2	1.7%	9	7.8%	13	11.3%	15	13.0%	30	26.1%	40	34.8%	7	6.1%	1	0.9%	1	0.9%
中核市	計	58	100.0%	1	1.7%	1	1.7%	1	1.7%	3	5.2%	9	15.5%	13	22.4%	19	32.8%	2	3.4%	1	1.7%	6	10.3%
中都市	計	86	100.0%	1	1.2%	1	1.2%	6	7.0%	5	5.8%	10	11.6%	13	15.1%	39	45.3%	8	9.3%	0	0.0%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	1	0.7%	4	2.7%	9	6.0%	16	10.7%	25	16.8%	72	48.3%	12	8.1%	2	1.3%	8	5.4%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	3	5.2%	0	0.0%	3	5.2%	2	3.4%	7	12.1%	34	58.6%	7	12.1%	0	0.0%	2	3.4%
町・村	計	44	100.0%	1	2.3%	1	2.3%	7	15.9%	2	4.5%	7	15.9%	3	6.8%	21	47.7%	1	2.3%	0	0.0%	2	4.5%

表NO.62 地域区分別 Ⅲ-12 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈指導計画を作成すること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	57	11.2%	90	17.6%	78	15.3%	56	11.0%	60	11.8%	52	10.2%	76	14.9%	5	1.0%	13	2.5%	23	4.5%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	6	8.3%	10	13.9%	8	11.1%	11	15.3%	7	9.7%	11	15.3%	15	20.8%	0	0.0%	3	4.2%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	16	12.9%	23	18.5%	24	19.4%	13	10.5%	18	14.5%	10	8.1%	10	8.1%	4	3.2%	1	0.8%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	7	14.9%	13	27.7%	5	10.6%	3	6.4%	5	10.6%	2	4.3%	7	14.9%	1	2.1%	1	2.1%	3	6.4%
北信越地区	計	39	100.0%	4	10.3%	4	10.3%	6	15.4%	1	2.6%	1	2.6%	11	28.2%	10	25.6%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	7	10.1%	13	18.8%	10	14.5%	11	15.9%	7	10.1%	7	10.1%	6	8.7%	0	0.0%	3	4.3%	5	7.2%
中国・四国地区	計	51	100.0%	7	13.7%	6	11.8%	9	17.6%	4	7.8%	8	15.7%	1	2.0%	10	19.6%	0	0.0%	4	7.8%	2	3.9%
九州地区	計	108	100.0%	10	9.3%	21	19.4%	16	14.8%	13	12.0%	14	13.0%	10	9.3%	18	16.7%	0	0.0%	1	0.9%	5	4.6%

表NO.63 所在地区別 Ⅲ-12 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈指導計画を作成すること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	57	11.2%	90	17.6%	78	15.3%	56	11.0%	60	11.8%	52	10.2%	76	14.9%	5	1.0%	13	2.5%	23	4.5%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	15	13.0%	20	17.4%	23	20.0%	16	13.9%	11	9.6%	14	12.2%	9	7.8%	2	1.7%	2	1.7%	3	2.6%
中核市	計	58	100.0%	6	10.3%	7	12.1%	9	15.5%	9	15.5%	8	13.8%	7	12.1%	6	10.3%	1	1.7%	0	0.0%	5	8.6%
中都市	計	86	100.0%	11	12.8%	14	16.3%	16	18.6%	10	11.6%	10	11.6%	7	8.1%	13	15.1%	0	0.0%	1	1.2%	4	4.7%
小都市A	計	149	100.0%	13	8.7%	28	18.8%	22	14.8%	14	9.4%	15	10.1%	11	7.4%	31	20.8%	1	0.7%	7	4.7%	7	4.7%
小都市B	計	58	100.0%	8	13.8%	14	24.1%	1	1.7%	3	5.2%	10	17.2%	7	12.1%	9	15.5%	1	1.7%	2	3.4%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	4	9.1%	7	15.9%	7	15.9%	4	9.1%	6	13.6%	6	13.6%	8	18.2%	0	0.0%	1	2.3%	1	2.3%

表NO.64 地域区分別 Ⅲ-13 各業務について実際に行っている保育士の経験年数（指導計画の確認や助言を行うこと）

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	5	1.0%	8	1.6%	41	8.0%	49	9.6%	86	16.9%	93	18.2%	202	39.6%	3	0.6%	4	0.8%	19	3.7%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	6.9%	8	11.1%	12	16.7%	12	16.7%	33	45.8%	0	0.0%	2	2.8%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	1	0.8%	3	2.4%	18	14.5%	14	11.3%	22	17.7%	24	19.4%	37	29.8%	1	0.8%	1	0.8%	3	2.4%
東海地区	計	47	100.0%	1	2.1%	1	2.1%	3	6.4%	5	10.6%	9	19.1%	5	10.6%	20	42.6%	2	4.3%	0	0.0%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	1	2.6%	1	2.6%	2	5.1%	4	10.3%	10	25.6%	19	48.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	0	0.0%	5	7.2%	4	5.8%	15	21.7%	13	18.8%	25	36.2%	0	0.0%	1	1.4%	5	7.2%
中国・四国地区	計	51	100.0%	1	2.0%	3	5.9%	0	0.0%	4	7.8%	7	13.7%	9	17.6%	24	47.1%	0	0.0%	0	0.0%	3	5.9%
九州地区	計	108	100.0%	1	0.9%	0	0.0%	9	8.3%	12	11.1%	17	15.7%	20	18.5%	44	40.7%	0	0.0%	0	0.0%	5	4.6%

表NO.65 所在地区別 Ⅲ-13 各業務について実際に行っている保育士の経験年数（指導計画の確認や助言を行うこと）

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	5	1.0%	8	1.6%	41	8.0%	49	9.6%	86	16.9%	93	18.2%	202	39.6%	3	0.6%	4	0.8%	19	3.7%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	2	1.7%	3	2.6%	13	11.3%	12	10.4%	21	18.3%	26	22.6%	36	31.3%	1	0.9%	0	0.0%	1	0.9%
中核市	計	58	100.0%	2	3.4%	0	0.0%	2	3.4%	10	17.2%	12	20.7%	7	12.1%	19	32.8%	0	0.0%	1	1.7%	5	8.6%
中都市	計	86	100.0%	1	1.2%	1	1.2%	9	10.5%	10	11.6%	16	18.6%	14	16.3%	31	36.0%	1	1.2%	0	0.0%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	1	0.7%	11	7.4%	12	8.1%	23	15.4%	31	20.8%	61	40.9%	0	0.0%	2	1.3%	8	5.4%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	3	5.2%	1	1.7%	2	3.4%	8	13.8%	9	15.5%	32	55.2%	0	0.0%	1	1.7%	2	3.4%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	11.4%	3	6.8%	6	13.6%	6	13.6%	23	52.3%	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.66 地域区分別 Ⅲ-14 各業務について実際に行っている保育士の経験年数（おたより等の保護者向けの書類を作成すること）

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	57	11.2%	67	13.1%	73	14.3%	45	8.8%	60	11.8%	62	12.2%	105	20.6%	9	1.8%	9	1.8%	23	4.5%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	6	8.3%	8	11.1%	10	13.9%	7	9.7%	7	9.7%	12	16.7%	18	25.0%	0	0.0%	3	4.2%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	18	14.5%	16	12.9%	23	18.5%	10	8.1%	13	10.5%	15	12.1%	19	15.3%	4	3.2%	1	0.8%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	6	12.8%	9	19.1%	7	14.9%	6	12.8%	3	6.4%	2	4.3%	8	17.0%	3	6.4%	1	2.1%	2	4.3%
北信越地区	計	39	100.0%	1	2.6%	5	12.8%	5	12.8%	1	2.6%	3	7.7%	12	30.8%	10	25.6%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	9	13.0%	6	8.7%	10	14.5%	7	10.1%	9	13.0%	7	10.1%	14	20.3%	0	0.0%	2	2.9%	5	7.2%
中国・四国地区	計	51	100.0%	5	9.8%	6	11.8%	7	13.7%	6	11.8%	4	7.8%	1	2.0%	15	29.4%	2	3.9%	2	3.9%	3	5.9%
九州地区	計	108	100.0%	12	11.1%	17	15.7%	11	10.2%	8	7.4%	21	19.4%	13	12.0%	21	19.4%	0	0.0%	0	0.0%	5	4.6%

表NO.67 所在地区別 Ⅲ-14 各業務について実際に行っている保育士の経験年数（おたより等の保護者向けの書類を作成すること）

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	57	11.2%	67	13.1%	73	14.3%	45	8.8%	60	11.8%	62	12.2%	105	20.6%	9	1.8%	9	1.8%	23	4.5%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	16	13.9%	19	16.5%	18	15.7%	12	10.4%	12	10.4%	14	12.2%	19	16.5%	1	0.9%	1	0.9%	3	2.6%
中核市	計	58	100.0%	8	13.8%	7	12.1%	9	15.5%	5	8.6%	11	19.0%	6	10.3%	6	10.3%	1	1.7%	0	0.0%	5	8.6%
中都市	計	86	100.0%	12	14.0%	10	11.6%	20	23.3%	2	2.3%	7	8.1%	12	14.0%	15	17.4%	3	3.5%	0	0.0%	5	5.8%
小都市A	計	149	100.0%	13	8.7%	20	13.4%	18	12.1%	13	8.7%	13	8.7%	20	13.4%	36	24.2%	3	2.0%	6	4.0%	7	4.7%
小都市B	計	58	100.0%	5	8.6%	6	10.3%	4	6.9%	5	8.6%	9	15.5%	5	8.6%	20	34.5%	1	1.7%	1	1.7%	2	3.4%
町・村	計	44	100.0%	3	6.8%	5	11.4%	4	9.1%	8	18.2%	8	18.2%	5	11.4%	9	20.5%	0	0.0%	1	2.3%	1	2.3%

表NO.68 地域区分別 Ⅲ-15 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈職員間の連絡調整等を行うこと〉

		総計	1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答				
全国	計	510	100.0%	12	2.4%	15	2.9%	47	9.2%	47	9.2%	76	14.9%	91	17.8%	197	38.6%	2	0.4%	4	0.8%	19	3.7%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	4	5.6%	6	8.3%	6	8.3%	6	8.3%	13	18.1%	36	50.0%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	2	1.6%	3	2.4%	14	11.3%	15	12.1%	28	22.6%	21	16.9%	35	28.2%	2	1.6%	1	0.8%	3	2.4%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	2	4.3%	6	12.8%	5	10.6%	9	19.1%	6	12.8%	18	38.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	1	2.6%	1	2.6%	1	2.6%	4	10.3%	6	15.4%	12	30.8%	12	30.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	3	4.3%	1	1.4%	8	11.6%	4	5.8%	7	10.1%	16	23.2%	25	36.2%	0	0.0%	1	1.4%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	3	5.9%	2	3.9%	2	3.9%	7	13.7%	4	7.8%	5	9.8%	24	47.1%	0	0.0%	0	0.0%	4	7.8%
九州地区	計	108	100.0%	3	2.8%	2	1.9%	10	9.3%	6	5.6%	16	14.8%	18	16.7%	47	43.5%	0	0.0%	1	0.9%	5	4.6%

表NO.69 所在地区別 Ⅲ-15 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈職員間の連絡調整等を行うこと〉

		総計	1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答				
総計	計	510	100.0%	12	2.4%	15	2.9%	47	9.2%	47	9.2%	76	14.9%	91	17.8%	197	38.6%	2	0.4%	4	0.8%	19	3.7%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	5	4.3%	4	3.5%	16	13.9%	8	7.0%	15	13.0%	29	25.2%	35	30.4%	2	1.7%	0	0.0%	1	0.9%
中核市	計	58	100.0%	3	5.2%	0	0.0%	5	8.6%	9	15.5%	8	13.8%	12	20.7%	15	25.9%	0	0.0%	0	0.0%	6	10.3%
中都市	計	86	100.0%	2	2.3%	4	4.7%	8	9.3%	10	11.6%	15	17.4%	16	18.6%	28	32.6%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	1	0.7%	5	3.4%	11	7.4%	11	7.4%	22	14.8%	23	15.4%	66	44.3%	0	0.0%	3	2.0%	7	4.7%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	1	1.7%	3	5.2%	5	8.6%	7	12.1%	7	12.1%	32	55.2%	0	0.0%	1	1.7%	2	3.4%
町・村	計	44	100.0%	1	2.3%	1	2.3%	4	9.1%	4	9.1%	9	20.5%	4	9.1%	21	47.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.70 地域区分別 Ⅲ-16 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈実習生の指導を行うこと〉

		総計	1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答				
全国	計	510	100.0%	7	1.4%	17	3.3%	58	11.4%	58	11.4%	70	13.7%	78	15.3%	192	37.6%	4	0.8%	3	0.6%	23	4.5%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	1	1.4%	1	1.4%	6	8.3%	7	9.7%	7	9.7%	11	15.3%	37	51.4%	1	1.4%	1	1.4%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	4	3.2%	8	6.5%	18	14.5%	15	12.1%	22	17.7%	18	14.5%	33	26.6%	2	1.6%	0	0.0%	4	3.2%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	2	4.3%	9	19.1%	6	12.8%	8	17.0%	4	8.5%	17	36.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	2	5.1%	2	5.1%	4	10.3%	4	10.3%	8	20.5%	17	43.6%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	10	14.5%	8	11.6%	13	18.8%	15	21.7%	17	24.6%	0	0.0%	1	1.4%	5	7.2%
中国・四国地区	計	51	100.0%	1	2.0%	2	3.9%	2	3.9%	7	13.7%	5	9.8%	6	11.8%	22	43.1%	0	0.0%	0	0.0%	6	11.8%
九州地区	計	108	100.0%	1	0.9%	2	1.9%	11	10.2%	11	10.2%	11	10.2%	16	14.8%	49	45.4%	1	0.9%	1	0.9%	5	4.6%

表NO.71 所在地区別 Ⅲ-16 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈実習生の指導を行うこと〉

		総計	1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答				
総計	計	510	100.0%	7	1.4%	17	3.3%	58	11.4%	58	11.4%	70	13.7%	78	15.3%	192	37.6%	4	0.8%	3	0.6%	23	4.5%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	2	1.7%	5	4.3%	18	15.7%	16	13.9%	17	14.8%	22	19.1%	31	27.0%	1	0.9%	0	0.0%	3	2.6%
中核市	計	58	100.0%	3	5.2%	0	0.0%	8	13.8%	8	13.8%	9	15.5%	11	19.0%	12	20.7%	1	1.7%	0	0.0%	6	10.3%
中都市	計	86	100.0%	1	1.2%	4	4.7%	14	16.3%	9	10.5%	14	16.3%	15	17.4%	24	27.9%	1	1.2%	0	0.0%	4	4.7%
小都市A	計	149	100.0%	1	0.7%	3	2.0%	10	6.7%	16	10.7%	19	12.8%	18	12.1%	72	48.3%	1	0.7%	1	0.7%	8	5.4%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	2	3.4%	1	1.7%	6	10.3%	6	10.3%	9	15.5%	30	51.7%	0	0.0%	2	3.4%	2	3.4%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	3	6.8%	7	15.9%	3	6.8%	9	20.5%	3	6.8%	23	52.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.72 地域区分別 Ⅲ-17 各業務について実際に行っている保育士の経験年数（新人保育士の指導を行うこと）

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	2	4.3%	22	4.3%	56	11.0%	65	12.7%	84	16.5%	91	17.8%	165	32.4%	3	0.6%	2	0.4%	20	3.9%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	1	1.4%	1	1.4%	8	11.1%	7	9.7%	11	15.3%	12	16.7%	32	44.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	1	0.8%	6	4.8%	19	15.3%	20	16.1%	25	20.2%	27	21.8%	2	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	4	3.2%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	3	6.4%	9	19.1%	5	10.6%	7	14.9%	4	8.5%	17	36.2%	1	2.1%	0	0.0%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	2	5.1%	5	12.8%	2	5.1%	4	10.3%	13	33.3%	11	28.2%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	5	7.2%	6	8.7%	8	11.6%	19	27.5%	12	17.4%	14	20.3%	0	0.0%	1	1.4%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	3	5.9%	3	5.9%	3	5.9%	8	15.7%	5	9.8%	23	45.1%	0	0.0%	0	0.0%	4	7.8%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	2	1.9%	6	5.6%	15	13.9%	18	16.7%	20	18.5%	41	38.0%	0	0.0%	1	0.9%	5	4.6%

表NO.73 所在地区別 Ⅲ-17 各業務について実際に行っている保育士の経験年数（新人保育士の指導を行うこと）

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	2	0.4%	22	4.3%	56	11.0%	65	12.7%	84	16.5%	91	17.8%	165	32.4%	3	0.6%	2	0.4%	20	3.9%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	0	0.0%	8	7.0%	20	17.4%	16	13.9%	16	13.9%	30	26.1%	22	19.1%	1	0.9%	0	0.0%	2	1.7%
中核市	計	58	100.0%	1	1.7%	3	5.2%	7	12.1%	9	15.5%	13	22.4%	10	17.2%	9	15.5%	0	0.0%	0	0.0%	6	10.3%
中都市	計	86	100.0%	1	1.2%	2	2.3%	13	15.1%	12	14.0%	14	16.3%	17	19.8%	22	25.6%	1	1.2%	0	0.0%	4	4.7%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	4	2.7%	10	6.7%	15	10.1%	26	17.4%	27	18.1%	59	39.6%	1	0.7%	1	0.7%	6	4.0%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	3	5.2%	2	3.4%	5	8.6%	9	15.5%	5	8.6%	31	53.4%	0	0.0%	1	1.7%	2	3.4%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	2	4.5%	4	9.1%	8	18.2%	6	13.6%	2	4.5%	22	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.74 地域区分別 Ⅲ-18 各業務について実際に行っている保育士の経験年数（新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること）

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	1	0.2%	13	2.5%	28	5.5%	58	11.4%	65	12.7%	112	22.0%	210	41.2%	1	0.2%	3	0.6%	19	3.7%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	1	1.4%	5	6.9%	7	9.7%	7	9.7%	14	19.4%	37	51.4%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	0	0.0%	4	3.2%	8	6.5%	21	16.9%	19	15.3%	28	22.6%	39	31.5%	1	0.8%	0	0.0%	4	3.2%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	1	2.1%	2	4.3%	5	10.6%	8	17.0%	11	23.4%	19	40.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	1	2.6%	2	5.1%	1	2.6%	4	10.3%	11	28.2%	18	46.2%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	2	2.9%	3	4.3%	8	11.6%	7	10.1%	20	29.0%	23	33.3%	0	0.0%	1	1.4%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	3	5.9%	3	5.9%	5	9.8%	5	9.8%	10	19.6%	22	43.1%	0	0.0%	0	0.0%	3	5.9%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	1	0.9%	5	4.6%	11	10.2%	15	13.9%	18	16.7%	52	48.1%	0	0.0%	1	0.9%	5	4.6%

表NO.75 所在地区別 Ⅲ-18 各業務について実際に行っている保育士の経験年数（新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること）

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	1	0.2%	13	2.5%	28	5.5%	58	11.4%	65	12.7%	112	22.0%	210	41.2%	1	0.2%	3	0.6%	19	3.7%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	1	0.9%	4	3.5%	10	8.7%	21	18.3%	16	13.9%	23	20.0%	38	33.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.7%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	2	3.4%	2	3.4%	11	19.0%	7	12.1%	13	22.4%	18	31.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	8.6%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	5.8%	10	11.6%	11	12.8%	22	25.6%	34	39.5%	1	1.2%	0	0.0%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	5	3.4%	6	4.0%	7	4.7%	20	13.4%	35	23.5%	68	45.6%	0	0.0%	1	0.7%	7	4.7%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	1	1.7%	1	1.7%	3	5.2%	7	12.1%	12	20.7%	30	51.7%	0	0.0%	2	3.4%	2	3.4%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	1	2.3%	4	9.1%	6	13.6%	4	9.1%	7	15.9%	22	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.76 地域区分別 Ⅲ-19 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈保護者からの相談への対応に関すること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	8	1.6%	20	3.9%	46	9.0%	54	10.6%	65	12.7%	92	18.0%	200	39.2%	2	0.4%	4	0.8%	19	3.7%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	3	4.2%	6	8.3%	3	4.2%	10	13.9%	13	18.1%	35	48.6%	0	0.0%	1	1.4%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	3	2.4%	4	3.2%	14	11.3%	21	16.9%	19	15.3%	26	21.0%	32	25.8%	2	1.6%	0	0.0%	3	2.4%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	4	8.5%	4	8.5%	9	19.1%	4	8.5%	5	10.6%	19	40.4%	0	0.0%	1	2.1%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	2	5.1%	4	10.3%	1	2.6%	2	5.1%	8	20.5%	20	51.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	2	2.9%	6	8.7%	9	13.0%	8	11.6%	15	21.7%	23	33.3%	0	0.0%	1	1.4%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	2	3.9%	4	7.8%	5	9.8%	2	3.9%	4	7.8%	4	7.8%	27	52.9%	0	0.0%	0	0.0%	3	5.9%
九州地区	計	108	100.0%	2	1.9%	1	0.9%	7	6.5%	9	8.3%	18	16.7%	21	19.4%	44	40.7%	0	0.0%	1	0.9%	5	4.6%

表NO.77 所在地区別 Ⅲ-19 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈保護者からの相談への対応に関すること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	8	1.6%	20	3.9%	46	9.0%	54	10.6%	65	12.7%	92	18.0%	200	39.2%	2	0.4%	4	0.8%	19	3.7%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	4	3.5%	6	5.2%	13	11.3%	20	17.4%	13	11.3%	22	19.1%	35	30.4%	0	0.0%	1	0.9%	1	0.9%
中核市	計	58	100.0%	4	6.9%	1	1.7%	7	12.1%	5	8.6%	8	13.8%	11	19.0%	17	29.3%	0	0.0%	0	0.0%	5	8.6%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	4	4.7%	9	10.5%	9	10.5%	10	11.6%	19	22.1%	31	36.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	4.7%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	6	4.0%	7	4.7%	12	8.1%	19	12.8%	27	18.1%	70	47.0%	1	0.7%	1	0.7%	6	4.0%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	2	3.4%	3	5.2%	3	5.2%	10	17.2%	7	12.1%	28	48.3%	1	1.7%	2	3.4%	2	3.4%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	1	2.3%	7	15.9%	5	11.4%	5	11.4%	6	13.6%	19	43.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%

表NO.78 地域区分別 Ⅲ-20 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	4	0.8%	10	2.0%	16	3.1%	34	6.7%	51	10.0%	91	17.8%	267	52.4%	12	2.4%	6	1.2%	19	3.7%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	2	2.8%	2	2.8%	2	2.8%	2	2.8%	14	19.4%	48	66.7%	1	1.4%	1	1.4%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	1	0.8%	0	0.0%	5	4.0%	16	12.9%	20	16.1%	27	21.8%	48	38.7%	2	1.6%	2	1.6%	3	2.4%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	1	2.1%	1	2.1%	3	6.4%	2	4.3%	10	21.3%	24	51.1%	4	8.5%	1	2.1%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	1	2.6%	1	2.6%	2	5.1%	2	5.1%	8	20.5%	23	59.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	1	1.4%	4	5.8%	4	5.8%	7	10.1%	13	18.8%	33	47.8%	1	1.4%	1	1.4%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	1	2.0%	4	7.8%	1	2.0%	2	3.9%	2	3.9%	5	9.8%	29	56.9%	3	5.9%	0	0.0%	4	7.8%
九州地区	計	108	100.0%	1	0.9%	1	0.9%	2	1.9%	5	4.6%	16	14.8%	14	13.0%	62	57.4%	1	0.9%	1	0.9%	5	4.6%

表NO.79 所在地区別 Ⅲ-20 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	4	0.8%	10	2.0%	16	3.1%	34	6.7%	51	10.0%	91	17.8%	267	52.4%	12	2.4%	6	1.2%	19	3.7%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	2	1.7%	4	3.5%	6	5.2%	8	7.0%	13	11.3%	27	23.5%	50	43.5%	2	1.7%	2	1.7%	1	0.9%
中核市	計	58	100.0%	1	1.7%	1	1.7%	6	10.3%	7	12.1%	11	19.0%	24	41.4%	1	1.7%	1	1.7%	5	8.6%	4	6.9%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.5%	6	7.0%	8	9.3%	18	20.9%	45	52.3%	2	2.3%	0	0.0%	4	4.7%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	3	2.0%	3	2.0%	10	6.7%	13	8.7%	26	17.4%	83	55.7%	2	1.3%	2	1.3%	7	4.7%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	2	3.4%	0	0.0%	2	3.4%	5	8.6%	4	6.9%	39	67.2%	3	5.2%	1	1.7%	2	3.4%
町・村	計	44	100.0%	1	2.3%	0	0.0%	3	6.8%	2	4.5%	5	11.4%	5	11.4%	26	59.1%	2	4.5%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.80 地域区分別 Ⅲ-21 各業務について実際に行っている保育士の経験年数（障害のある子どもの保育に関すること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答			
全国	計	510	100.0%	16	3.1%	30	5.9%	76	14.9%	76	14.9%	86	16.9%	84	16.5%	71	13.9%	40	7.8%	4	0.8%	27	5.3%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	1	1.4%	1	1.4%	10	13.9%	13	18.1%	12	16.7%	11	15.3%	13	18.1%	9	12.5%	0	0.0%	2	2.8%
関東地区	計	124	100.0%	5	4.0%	8	6.5%	23	18.5%	21	16.9%	20	16.1%	19	15.3%	9	7.3%	11	8.9%	1	0.8%	7	5.6%
東海地区	計	47	100.0%	3	6.4%	3	6.4%	6	12.8%	9	19.1%	2	4.3%	5	10.6%	7	14.9%	7	14.9%	1	2.1%	4	8.5%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	2	5.1%	2	5.1%	5	12.8%	7	17.9%	14	35.9%	6	15.4%	1	2.6%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	7	10.1%	14	20.3%	10	14.5%	9	13.0%	13	18.8%	7	10.1%	3	4.3%	1	1.4%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	2	3.9%	5	9.8%	3	5.9%	8	15.7%	12	23.5%	6	11.8%	11	21.6%	1	2.0%	0	0.0%	3	5.9%
九州地区	計	108	100.0%	4	3.7%	4	3.7%	18	16.7%	10	9.3%	24	22.2%	16	14.8%	18	16.7%	8	7.4%	1	0.9%	5	4.6%

表NO.81 所在地区別 Ⅲ-21 各業務について実際に行っている保育士の経験年数（障害のある子どもの保育に関すること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答			
総計	計	510	100.0%	16	3.1%	30	5.9%	76	14.9%	76	14.9%	86	16.9%	84	16.5%	71	13.9%	40	7.8%	4	0.8%	27	5.3%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	5	4.3%	8	7.0%	23	20.0%	21	18.3%	17	14.8%	20	17.4%	7	6.1%	9	7.8%	1	0.9%	4	3.5%
中核市	計	58	100.0%	2	3.4%	3	5.2%	8	13.8%	10	17.2%	11	19.0%	9	15.5%	7	12.1%	3	5.2%	0	0.0%	5	8.6%
中都市	計	86	100.0%	3	3.5%	6	7.0%	15	17.4%	12	14.0%	11	12.8%	12	14.0%	15	17.4%	6	7.0%	0	0.0%	6	7.0%
小都市A	計	149	100.0%	5	3.4%	7	4.7%	22	14.8%	16	10.7%	29	19.5%	25	16.8%	20	13.4%	15	10.1%	2	1.3%	8	5.4%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	1	1.7%	4	6.9%	9	15.5%	8	13.8%	11	19.0%	17	29.3%	5	8.6%	1	1.7%	2	3.4%
町・村	計	44	100.0%	1	2.3%	5	11.4%	4	9.1%	8	18.2%	10	22.7%	7	15.9%	5	11.4%	2	4.5%	0	0.0%	2	4.5%

表NO.82 地域区分別 Ⅲ-22 各業務について実際に行っている保育士の経験年数（地域の保護者等に対する子育て支援）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答			
全国	計	510	100.0%	6	1.2%	19	3.7%	29	5.7%	41	8.0%	65	12.7%	89	17.5%	179	35.1%	53	10.4%	2	0.4%	27	5.3%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	2	2.8%	5	6.9%	2	2.8%	7	9.7%	11	15.3%	31	43.1%	11	15.3%	0	0.0%	3	4.2%
関東地区	計	124	100.0%	3	2.4%	7	5.6%	7	5.6%	15	12.1%	19	15.3%	27	21.8%	24	19.4%	17	13.7%	1	0.8%	4	3.2%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	2	4.3%	5	10.6%	4	8.5%	7	14.9%	1	2.1%	21	44.7%	5	10.6%	0	0.0%	2	4.3%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	1	2.6%	1	2.6%	3	7.7%	5	12.8%	8	20.5%	18	46.2%	1	2.6%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	1	1.4%	3	4.3%	6	8.7%	9	13.0%	18	26.1%	18	26.1%	6	8.7%	1	1.4%	6	8.7%
中国・四国地区	計	51	100.0%	1	2.0%	3	5.9%	2	3.9%	3	5.9%	6	11.8%	6	11.8%	20	39.2%	6	11.8%	0	0.0%	4	7.8%
九州地区	計	108	100.0%	1	0.9%	3	2.8%	6	5.6%	8	7.4%	12	11.1%	18	16.7%	47	43.5%	7	6.5%	0	0.0%	6	5.6%

表NO.83 所在地区別 Ⅲ-22 各業務について実際に行っている保育士の経験年数（地域の保護者等に対する子育て支援）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答			
総計	計	510	100.0%	6	1.2%	19	3.7%	29	5.7%	41	8.0%	65	12.7%	89	17.5%	179	35.1%	53	10.4%	2	0.4%	27	5.3%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	3	2.6%	5	4.3%	10	8.7%	11	9.6%	17	14.8%	23	20.0%	33	28.7%	10	8.7%	1	0.9%	2	1.7%
中核市	計	58	100.0%	1	1.7%	2	3.4%	5	8.6%	6	10.3%	4	6.9%	12	20.7%	14	24.1%	8	13.8%	0	0.0%	6	10.3%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	4	4.7%	3	3.5%	8	9.3%	9	10.5%	14	16.3%	32	37.2%	12	14.0%	0	0.0%	4	4.7%
小都市A	計	149	100.0%	2	1.3%	3	2.0%	6	4.0%	9	6.0%	22	14.8%	23	15.4%	58	38.9%	15	10.1%	1	0.7%	10	6.7%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	2	3.4%	1	1.7%	2	3.4%	7	12.1%	10	17.2%	27	46.6%	6	10.3%	0	0.0%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	3	6.8%	4	9.1%	5	11.4%	6	13.6%	7	15.9%	15	34.1%	2	4.5%	0	0.0%	2	4.5%

表NO.84 地域区分別 Ⅲ-23 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈小学校との連携に関すること〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答			
全国	計	510	100.0%	5	1.0%	12	2.4%	35	6.9%	56	11.0%	66	12.9%	99	19.4%	177	34.7%	35	6.9%	4	0.8%	21	4.1%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	1	1.4%	2	2.8%	3	4.2%	4	5.6%	4	5.6%	16	22.2%	39	54.2%	3	4.2%	0	0.0%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	1	0.8%	4	3.2%	10	8.1%	18	14.5%	25	20.2%	21	16.9%	30	24.2%	10	8.1%	1	0.8%	4	3.2%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	10.6%	9	19.1%	4	8.5%	7	14.9%	12	25.5%	8	17.0%	1	2.1%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	1	2.6%	1	2.6%	2	5.1%	3	7.7%	10	25.6%	18	46.2%	2	5.1%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	1	1.4%	3	4.3%	9	13.0%	9	13.0%	16	23.2%	18	26.1%	6	8.7%	1	1.4%	5	7.2%
中国・四国地区	計	51	100.0%	1	2.0%	2	3.9%	1	2.0%	6	11.8%	7	13.7%	8	15.7%	17	33.3%	4	7.8%	1	2.0%	4	7.8%
九州地区	計	108	100.0%	1	0.9%	2	1.9%	12	11.1%	8	7.4%	14	13.0%	21	19.4%	43	39.8%	2	1.9%	0	0.0%	5	4.6%

表NO.85 所在地区別 Ⅲ-23 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈小学校との連携に関すること〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答			
総計	計	510	100.0%	5	1.0%	12	2.4%	35	6.9%	56	11.0%	66	12.9%	99	19.4%	177	34.7%	35	6.9%	4	0.8%	21	4.1%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	1	0.9%	4	3.5%	10	8.7%	13	11.3%	15	13.0%	30	26.1%	30	26.1%	9	7.8%	2	1.7%	1	0.9%
中核市	計	58	100.0%	2	3.4%	1	1.7%	4	6.9%	11	19.0%	5	8.6%	11	19.0%	17	29.3%	2	3.4%	0	0.0%	5	8.6%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	2	2.3%	3	3.5%	11	12.8%	10	11.6%	12	14.0%	32	37.2%	11	12.8%	0	0.0%	5	5.8%
小都市A	計	149	100.0%	1	0.7%	1	0.7%	10	6.7%	14	9.4%	26	17.4%	31	20.8%	49	32.9%	7	4.7%	2	1.3%	8	5.4%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	2	3.4%	3	5.2%	5	8.6%	4	6.9%	9	15.5%	30	51.7%	3	5.2%	0	0.0%	2	3.4%
町・村	計	44	100.0%	1	2.3%	2	4.5%	5	11.4%	2	4.5%	6	13.6%	6	13.6%	19	43.2%	3	6.8%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.86 地域区分別 Ⅲ-24 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈研修会や学会などでの発表を行うこと〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答			
全国	計	510	100.0%	15	2.9%	15	2.9%	48	9.4%	47	9.2%	75	14.7%	73	14.3%	108	21.2%	92	18.0%	4	0.8%	33	6.5%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	2	2.8%	1	1.4%	7	9.7%	7	9.7%	7	9.7%	13	18.1%	19	26.4%	14	19.4%	0	0.0%	2	2.8%
関東地区	計	124	100.0%	7	5.6%	2	1.6%	10	8.1%	14	11.3%	18	14.5%	17	13.7%	17	13.7%	31	25.0%	0	0.0%	8	6.5%
東海地区	計	47	100.0%	1	2.1%	2	4.3%	6	12.8%	5	10.6%	6	12.8%	2	4.3%	9	19.1%	13	27.7%	0	0.0%	3	6.4%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	1	2.6%	3	7.7%	3	7.7%	8	20.5%	9	23.1%	9	23.1%	4	10.3%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	1	1.4%	8	11.6%	4	5.8%	12	17.4%	11	15.9%	13	18.8%	10	14.5%	3	4.3%	6	8.7%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	3	5.9%	5	9.8%	3	5.9%	6	11.8%	6	11.8%	16	31.4%	9	17.6%	0	0.0%	3	5.9%
九州地区	計	108	100.0%	4	3.7%	5	4.6%	9	8.3%	11	10.2%	18	16.7%	15	13.9%	25	23.1%	11	10.2%	1	0.9%	9	8.3%

表NO.87 所在地区別 Ⅲ-24 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈研修会や学会などでの発表を行うこと〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答			
総計	計	510	100.0%	15	2.9%	15	2.9%	48	9.4%	47	9.2%	75	14.7%	73	14.3%	108	21.2%	92	18.0%	4	0.8%	33	6.5%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	7	6.1%	4	3.5%	12	10.4%	13	11.3%	16	13.9%	15	13.0%	18	15.7%	29	25.2%	0	0.0%	1	0.9%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	3	5.2%	4	6.9%	7	12.1%	8	13.8%	11	19.0%	10	17.2%	8	13.8%	0	0.0%	7	12.1%
中都市	計	86	100.0%	1	1.2%	1	1.2%	10	11.6%	5	5.8%	13	15.1%	9	10.5%	26	30.2%	14	16.3%	1	1.2%	6	7.0%
小都市A	計	149	100.0%	6	4.0%	3	2.0%	13	8.7%	11	7.4%	21	14.1%	26	17.4%	29	19.5%	26	17.4%	1	0.7%	13	8.7%
小都市B	計	58	100.0%	1	1.7%	4	6.9%	2	3.4%	4	6.9%	10	17.2%	8	13.8%	15	25.9%	9	15.5%	1	1.7%	4	6.9%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	15.9%	7	15.9%	7	15.9%	4	9.1%	10	22.7%	6	13.6%	1	2.3%	2	4.5%

表NO.88 地域区分別 III-25 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈保育士の自己評価について確認や助言を行うこと〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	2	0.4%	6	1.2%	19	3.7%	28	5.5%	61	12.0%	86	16.9%	262	51.4%	22	4.3%	4	0.8%	20	3.9%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	1	1.4%	2	2.8%	2	2.8%	6	8.3%	11	15.3%	47	65.3%	1	1.4%	2	2.8%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	0	0.0%	2	1.6%	7	5.6%	14	11.3%	21	16.9%	26	21.0%	44	35.5%	5	4.0%	1	0.8%	4	3.2%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.3%	3	6.4%	4	8.5%	6	12.8%	24	51.1%	6	12.8%	0	0.0%	2	4.3%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	11	28.2%	24	61.5%	1	2.6%	0	0.0%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	0	0.0%	4	5.8%	1	1.4%	7	10.1%	13	18.8%	31	44.9%	6	8.7%	1	1.4%	5	7.2%
中国・四国地区	計	51	100.0%	1	2.0%	2	3.9%	0	0.0%	4	7.8%	5	9.8%	2	3.9%	34	66.7%	1	2.0%	0	0.0%	2	3.9%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	3.7%	4	3.7%	18	16.7%	17	15.7%	58	53.7%	2	1.9%	0	0.0%	5	4.6%

表NO.89 所在地区別 III-25 各業務について実際に行っている保育士の経験年数〈保育士の自己評価について確認や助言を行うこと〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	2	0.4%	6	1.2%	19	3.7%	28	5.5%	61	12.0%	86	16.9%	262	51.4%	22	4.3%	4	0.8%	20	3.9%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	1	0.9%	4	3.5%	4	3.5%	3	4.3%	16	13.9%	22	19.1%	53	46.1%	7	6.1%	1	0.9%	2	1.7%
中核市	計	58	100.0%	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	8.6%	8	13.8%	14	24.1%	22	37.9%	3	5.2%	1	1.7%	4	6.9%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	7.0%	3	3.5%	10	11.6%	13	17.4%	43	52.3%	3	3.5%	0	0.0%	4	4.7%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.7%	10	6.7%	16	10.7%	24	16.1%	80	53.7%	6	4.0%	1	0.7%	8	5.4%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	2	3.4%	1	1.7%	1	1.7%	5	8.6%	7	12.1%	37	63.8%	2	3.4%	1	1.7%	2	3.4%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	9.1%	4	9.1%	6	13.6%	4	9.1%	25	56.8%	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.90 地域区分別 IV-1 理想として任せたい保育士の経験年数〈乳児クラスの主任〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	6	1.2%	8	1.6%	57	11.2%	103	20.2%	113	22.2%	117	22.9%	72	14.1%	10	2.0%	2	0.4%	22	4.3%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	1	1.4%	8	11.1%	12	16.7%	15	20.8%	25	34.7%	9	12.5%	1	1.4%	1	1.4%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	2	1.6%	2	1.6%	14	11.3%	23	18.5%	25	20.2%	32	25.8%	18	14.5%	3	2.4%	0	0.0%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	1	2.1%	4	8.5%	11	23.4%	12	25.5%	8	17.0%	5	10.6%	3	6.4%	0	0.0%	3	6.4%
北信越地区	計	39	100.0%	1	2.6%	0	0.0%	2	5.1%	7	17.9%	10	25.6%	10	25.6%	6	15.4%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	1	1.4%	10	14.5%	17	24.6%	13	18.8%	16	23.2%	6	8.7%	0	0.0%	1	1.4%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	1	2.0%	1	2.0%	6	11.8%	13	25.5%	10	19.6%	7	13.7%	8	15.7%	3	5.9%	0	0.0%	2	3.9%
九州地区	計	108	100.0%	1	0.9%	2	1.9%	13	12.0%	20	18.5%	28	25.9%	19	17.6%	20	18.5%	0	0.0%	0	0.0%	5	4.6%

表NO.91 所在地区別 IV-1 理想として任せたい保育士の経験年数〈乳児クラスの主任〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	6	1.2%	8	1.6%	57	11.2%	103	20.2%	113	22.2%	117	22.9%	72	14.1%	10	2.0%	2	0.4%	22	4.3%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	1	0.9%	1	0.9%	12	10.4%	34	29.6%	23	20.0%	22	19.1%	16	13.9%	3	2.6%	0	0.0%	3	2.6%
中核市	計	58	100.0%	1	1.7%	1	1.7%	5	8.6%	7	12.1%	17	29.3%	17	29.3%	5	8.6%	1	1.7%	0	0.0%	4	6.9%
中都市	計	86	100.0%	1	1.2%	1	1.2%	14	16.3%	16	18.6%	13	15.1%	23	26.7%	14	16.3%	2	2.3%	0	0.0%	2	2.3%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	2	1.3%	16	10.7%	27	18.1%	35	23.5%	33	22.1%	24	16.1%	2	1.3%	1	0.7%	9	6.0%
小都市B	計	58	100.0%	2	3.4%	0	0.0%	3	5.2%	7	12.1%	18	31.0%	14	24.1%	7	12.1%	2	3.4%	1	1.7%	4	6.9%
町・村	計	44	100.0%	1	2.3%	3	6.8%	7	15.9%	12	27.3%	7	15.9%	8	18.2%	6	13.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%



表NO.92 地域区分別 IV-2 理想として任せたい保育士の経験年数〈3歳未満児クラスの主担任〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	4	0.8%	23	4.5%	76	14.9%	132	25.9%	118	23.1%	93	18.2%	38	7.5%	2	0.4%	2	0.4%	22	4.3%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	3	4.2%	12	16.7%	12	16.7%	17	23.6%	23	31.9%	4	5.6%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	1	0.8%	7	5.6%	15	12.1%	35	28.2%	30	24.2%	21	16.9%	11	8.9%	1	0.8%	0	0.0%	3	2.4%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	1	2.1%	10	21.3%	11	23.4%	14	29.8%	4	8.5%	3	6.4%	1	2.1%	0	0.0%	3	6.4%
北信越地区	計	39	100.0%	1	2.6%	4	10.3%	4	10.3%	8	20.5%	7	17.9%	11	28.2%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	2	2.9%	13	18.8%	19	27.5%	13	18.8%	14	20.3%	3	4.3%	0	0.0%	1	1.4%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	1	2.0%	0	0.0%	7	13.7%	18	35.3%	11	21.6%	6	11.8%	5	9.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	5.9%
九州地区	計	108	100.0%	1	0.9%	6	5.6%	15	13.9%	29	26.9%	26	24.1%	14	13.0%	11	10.2%	0	0.0%	0	0.0%	6	5.6%

表NO.93 所在地区別 IV-2 理想として任せたい保育士の経験年数〈3歳未満児クラスの主担任〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	4	0.8%	23	4.5%	76	14.9%	132	25.9%	118	23.1%	93	18.2%	38	7.5%	2	0.4%	2	0.4%	22	4.3%
都庁部・指定都市	計	115	100.0%	1	0.9%	3	2.6%	17	14.8%	32	27.8%	30	26.1%	22	19.1%	8	7.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.7%
中核市	計	58	100.0%	2	3.4%	1	1.7%	8	13.8%	17	29.3%	10	17.2%	11	19.0%	4	6.9%	0	0.0%	0	0.0%	5	8.6%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	4	4.7%	17	19.8%	23	26.7%	19	22.1%	13	15.1%	8	9.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.3%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	8	5.4%	22	14.8%	31	20.8%	33	22.1%	35	23.5%	9	6.0%	0	0.0%	1	0.7%	10	6.7%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	2	3.4%	4	6.9%	14	24.1%	20	34.5%	8	13.8%	4	6.9%	2	3.4%	1	1.7%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	1	2.3%	5	11.4%	8	18.2%	15	34.1%	6	13.6%	4	9.1%	5	11.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.94 地域区分別 IV-3 理想として任せたい保育士の経験年数〈3歳以上児クラスの主担任〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	2	0.4%	22	4.3%	100	19.6%	148	29.0%	107	21.0%	57	11.2%	31	6.1%	16	3.1%	2	0.4%	25	4.9%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	6	8.3%	14	19.4%	18	25.0%	16	22.2%	12	16.7%	4	5.6%	1	1.4%	1	1.4%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	2	1.6%	6	4.8%	22	17.7%	35	28.2%	27	21.8%	14	11.3%	7	5.6%	7	5.6%	0	0.0%	4	3.2%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	13	27.7%	16	34.0%	9	19.1%	3	6.4%	2	4.3%	1	2.1%	0	0.0%	3	6.4%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	1	2.6%	7	17.9%	8	20.5%	6	15.4%	10	25.6%	2	5.1%	1	2.6%	0	0.0%	4	10.3%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	2	2.9%	11	15.9%	22	31.9%	13	18.8%	10	14.5%	3	4.3%	3	4.3%	1	1.4%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	1	2.0%	12	23.5%	15	29.4%	13	25.5%	1	2.0%	3	5.9%	2	3.9%	0	0.0%	4	7.8%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	6	5.6%	21	19.4%	34	31.5%	23	21.3%	7	6.5%	10	9.3%	1	0.9%	0	0.0%	6	5.6%

表NO.95 所在地区別 IV-3 理想として任せたい保育士の経験年数〈3歳以上児クラスの主担任〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	2	0.4%	22	4.3%	100	19.6%	148	29.0%	107	21.0%	57	11.2%	31	6.1%	16	3.1%	2	0.4%	25	4.9%
都庁部・指定都市	計	115	100.0%	2	1.7%	3	2.6%	22	19.1%	37	32.2%	26	22.6%	10	8.7%	7	6.1%	6	5.2%	0	0.0%	2	1.7%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	4	6.9%	10	17.2%	16	27.6%	11	19.0%	9	15.5%	2	3.4%	1	1.7%	0	0.0%	5	8.6%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	4	4.7%	21	24.4%	25	29.1%	15	17.4%	8	9.3%	5	5.8%	6	7.0%	0	0.0%	2	2.3%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	2	1.3%	32	21.5%	38	25.5%	29	19.5%	22	14.8%	11	7.4%	1	0.7%	1	0.7%	13	8.7%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	4	6.9%	5	8.6%	18	31.0%	18	31.0%	5	8.6%	3	5.2%	1	1.7%	1	1.7%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	5	11.4%	10	22.7%	14	31.8%	8	18.2%	3	6.8%	3	6.8%	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.96 地域区分別 IV-4 理想として任せたい保育士の経験年数〈子どもの情緒の安定を図ること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	45	8.8%	53	10.4%	78	15.3%	98	19.2%	87	17.1%	58	11.4%	46	9.0%	4	0.8%	11	2.2%	30	5.9%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	7	9.7%	4	5.6%	11	15.3%	15	20.8%	10	13.9%	11	15.3%	8	11.1%	1	1.4%	3	4.2%	2	2.8%
関東地区	計	124	100.0%	12	9.7%	13	10.5%	18	14.5%	24	19.4%	23	18.5%	17	13.7%	8	6.5%	2	1.6%	2	1.6%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	7	14.9%	5	10.6%	7	14.9%	10	21.3%	7	14.9%	3	6.4%	2	4.3%	0	0.0%	1	2.1%	5	10.6%
北信越地区	計	39	100.0%	1	2.6%	5	12.8%	7	17.9%	7	17.9%	6	15.4%	7	17.9%	3	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	7	10.1%	7	10.1%	12	17.4%	13	18.8%	11	15.9%	7	10.1%	5	7.2%	0	0.0%	3	4.3%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	5	9.8%	4	7.8%	7	13.7%	7	13.7%	12	23.5%	5	9.8%	5	9.8%	0	0.0%	1	2.0%	5	9.8%
九州地区	計	108	100.0%	6	5.6%	15	13.9%	16	14.8%	22	20.4%	18	16.7%	8	7.4%	15	13.9%	1	0.9%	1	0.9%	6	5.6%

表NO.97 所在地区別 IV-4 理想として任せたい保育士の経験年数〈子どもの情緒の安定を図ること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	45	8.8%	53	10.4%	78	15.3%	98	19.2%	87	17.1%	58	11.4%	46	9.0%	4	0.8%	11	2.2%	30	5.9%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	14	12.2%	14	12.2%	20	17.4%	21	18.3%	25	21.7%	6	5.2%	8	7.0%	0	0.0%	2	1.7%	5	4.3%
中核市	計	58	100.0%	8	13.8%	4	6.9%	11	19.0%	10	17.2%	7	12.1%	7	12.1%	2	3.4%	1	1.7%	1	1.7%	7	12.1%
中都市	計	86	100.0%	9	10.5%	13	15.1%	10	11.6%	22	25.6%	11	12.8%	5	5.8%	12	14.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	4.7%
小都市A	計	149	100.0%	9	6.0%	13	8.7%	18	12.1%	27	18.1%	24	16.1%	28	18.8%	12	8.1%	2	1.3%	6	4.0%	10	6.7%
小都市B	計	58	100.0%	4	6.9%	4	6.9%	9	15.5%	8	13.8%	14	24.1%	7	12.1%	7	12.1%	1	1.7%	1	1.7%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	1	2.3%	5	11.4%	10	22.7%	10	22.7%	6	13.6%	5	11.4%	5	11.4%	0	0.0%	1	2.3%	1	2.3%

表NO.98 地域区分別 IV-5 理想として任せたい保育士の経験年数〈子どもの生命の保持を図ること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	58	11.4%	59	11.6%	74	14.5%	77	15.1%	79	15.5%	60	11.8%	57	11.2%	5	1.0%	11	2.2%	30	5.9%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	10	13.9%	3	4.2%	10	13.9%	13	18.1%	10	13.9%	13	18.1%	7	9.7%	1	1.4%	3	4.2%	2	2.8%
関東地区	計	124	100.0%	15	12.1%	13	10.5%	16	12.9%	22	17.7%	25	20.2%	15	12.1%	9	7.3%	2	1.6%	2	1.6%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	9	19.1%	5	10.6%	4	8.5%	10	21.3%	7	14.9%	3	6.4%	3	6.4%	0	0.0%	1	2.1%	5	10.6%
北信越地区	計	39	100.0%	2	5.1%	7	17.9%	5	12.8%	2	5.1%	6	15.4%	9	23.1%	5	12.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	7	10.1%	10	14.5%	13	18.8%	8	11.6%	9	13.0%	8	11.6%	7	10.1%	0	0.0%	3	4.3%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	5	9.8%	5	9.8%	9	17.6%	5	9.8%	8	15.7%	3	5.9%	9	17.6%	1	2.0%	1	2.0%	5	9.8%
九州地区	計	108	100.0%	10	9.3%	16	14.8%	17	15.7%	17	15.7%	14	13.0%	9	8.3%	17	15.7%	1	0.9%	1	0.9%	6	5.6%

表NO.99 所在地区別 IV-5 理想として任せたい保育士の経験年数〈子どもの生命の保持を図ること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	58	11.4%	59	11.6%	74	14.5%	77	15.1%	79	15.5%	60	11.8%	57	11.2%	5	1.0%	11	2.2%	30	5.9%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	19	16.5%	17	14.8%	17	14.8%	14	12.2%	22	19.1%	10	8.7%	9	7.8%	0	0.0%	2	1.7%	5	4.3%
中核市	計	58	100.0%	13	22.4%	4	6.9%	8	13.8%	7	12.1%	5	8.6%	9	15.5%	3	5.2%	1	1.7%	1	1.7%	7	12.1%
中都市	計	86	100.0%	11	12.8%	11	12.8%	10	11.6%	15	17.4%	16	18.6%	7	8.1%	11	12.8%	1	1.2%	0	0.0%	4	4.7%
小都市A	計	149	100.0%	10	6.7%	17	11.4%	17	11.4%	23	15.4%	22	14.8%	23	15.4%	19	12.8%	2	1.3%	6	4.0%	10	6.7%
小都市B	計	58	100.0%	2	3.4%	6	10.3%	11	19.0%	9	15.5%	9	15.5%	7	12.1%	9	15.5%	1	1.7%	1	1.7%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	3	6.8%	4	9.1%	11	25.0%	9	20.5%	5	11.4%	4	9.1%	6	13.6%	0	0.0%	1	2.3%	1	2.3%

表NO.100 地域区分別 IV-6 理想として任せたい保育士の経験年数〈子どもの基本的な生活習慣の支援をすること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答													
全国	計	510	100.0%	91	17.8%	93	18.2%	98	19.2%	67	13.1%	65	12.7%	34	6.7%	20	3.9%	15	2.9%	3	0.6%	12	2.4%	27	5.3%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	11	15.3%	10	13.9%	13	18.1%	9	12.5%	15	20.8%	8	11.1%	2	2.8%	1	1.4%	1	1.4%	3	4.2%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	25	20.2%	23	18.5%	24	19.4%	20	16.1%	15	12.1%	8	6.5%	2	1.6%	1	0.8%	2	1.6%	4	3.2%	4	3.2%
東海地区	計	47	100.0%	9	19.1%	4	8.5%	14	29.8%	6	12.8%	3	6.4%	3	6.4%	2	4.3%	0	0.0%	1	2.1%	5	10.6%	0	0.0%
北信越地区	計	39	100.0%	6	15.4%	8	20.5%	6	15.4%	4	10.3%	8	20.5%	3	7.7%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	14	20.3%	10	14.5%	16	23.2%	11	15.9%	5	7.2%	4	5.8%	2	2.9%	0	0.0%	3	4.3%	4	5.8%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	8	15.7%	11	21.6%	10	19.6%	8	15.7%	4	7.8%	1	2.0%	2	3.9%	0	0.0%	2	3.9%	5	9.8%	5	9.8%
九州地区	計	108	100.0%	18	16.7%	27	25.0%	15	13.9%	9	8.3%	15	13.9%	7	6.5%	9	8.3%	1	0.9%	1	0.9%	6	5.6%	6	5.6%

表NO.101 所在地区別 IV-6 理想として任せたい保育士の経験年数〈子どもの基本的な生活習慣の支援をすること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答													
総計	計	510	100.0%	91	17.8%	93	18.2%	98	19.2%	67	13.1%	65	12.7%	34	6.7%	20	3.9%	15	2.9%	3	0.6%	12	2.4%	27	5.3%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	27	23.5%	23	20.0%	25	21.7%	15	13.0%	8	7.0%	6	5.2%	5	4.3%	0	0.0%	2	1.7%	4	3.5%	4	3.5%
中核市	計	58	100.0%	16	27.6%	8	13.8%	9	15.5%	5	8.6%	3	5.2%	1	1.7%	1	1.7%	1	1.7%	1	1.7%	7	12.1%	7	12.1%
中都市	計	86	100.0%	18	20.9%	15	17.4%	16	18.6%	12	14.0%	14	16.3%	5	5.8%	2	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	4.7%	4	4.7%
小都市A	計	149	100.0%	19	12.8%	26	17.4%	31	20.8%	20	13.4%	19	12.8%	13	8.7%	4	2.7%	1	0.7%	7	4.7%	9	6.0%	9	6.0%
小都市B	計	58	100.0%	7	12.1%	12	20.7%	6	10.3%	10	17.2%	12	20.7%	2	3.4%	4	6.9%	1	1.7%	1	1.7%	3	5.2%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	4	9.1%	9	20.5%	11	25.0%	5	11.4%	7	15.9%	3	6.8%	4	9.1%	0	0.0%	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.102 地域区分別 IV-7 理想として任せたい保育士の経験年数〈子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答													
全国	計	510	100.0%	74	14.5%	94	18.4%	114	22.4%	81	15.9%	69	13.5%	20	3.9%	15	2.9%	3	0.6%	12	2.4%	28	5.5%		
北海道・東北地区	計	72	100.0%	9	12.5%	8	11.1%	18	25.0%	10	13.9%	13	18.1%	8	11.1%	1	1.4%	1	1.4%	3	4.2%	1	1.4%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	20	16.1%	22	17.7%	29	23.4%	27	21.8%	12	9.7%	5	4.0%	2	1.6%	1	0.8%	2	1.6%	4	3.2%	4	3.2%
東海地区	計	47	100.0%	8	17.0%	10	21.3%	10	21.3%	7	14.9%	3	6.4%	1	2.1%	2	4.3%	0	0.0%	1	2.1%	5	10.6%	0	0.0%
北信越地区	計	39	100.0%	5	12.8%	7	17.9%	6	15.4%	5	12.8%	10	25.6%	1	2.6%	2	5.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	11	15.9%	14	20.3%	15	21.7%	11	15.9%	8	11.6%	1	1.4%	2	2.9%	0	0.0%	3	4.3%	4	5.8%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	7	13.7%	5	9.8%	20	39.2%	4	7.8%	6	11.8%	0	0.0%	2	3.9%	0	0.0%	2	3.9%	5	9.8%	5	9.8%
九州地区	計	108	100.0%	14	13.0%	28	25.9%	16	14.8%	17	15.7%	17	15.7%	4	3.7%	4	3.7%	1	0.9%	1	0.9%	6	5.6%	6	5.6%

表NO.103 所在地区別 IV-7 理想として任せたい保育士の経験年数〈子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答													
総計	計	510	100.0%	74	14.5%	94	18.4%	114	22.4%	81	15.9%	69	13.5%	20	3.9%	15	2.9%	3	0.6%	12	2.4%	28	5.5%		
都区部・指定都市	計	115	100.0%	22	19.1%	20	17.4%	30	26.1%	20	17.4%	10	8.7%	4	3.5%	3	2.6%	0	0.0%	2	1.7%	4	3.5%	4	3.5%
中核市	計	58	100.0%	12	20.7%	9	15.5%	12	20.7%	8	13.8%	7	12.1%	3	5.2%	0	0.0%	1	1.7%	1	1.7%	7	12.1%	7	12.1%
中都市	計	86	100.0%	17	19.8%	13	15.1%	22	25.6%	13	15.1%	10	11.6%	5	5.8%	2	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	4.7%	4	4.7%
小都市A	計	149	100.0%	16	10.7%	31	20.8%	27	18.1%	24	16.1%	23	16.8%	4	2.7%	4	2.7%	1	0.7%	7	4.7%	16	10.7%	9	6.0%
小都市B	計	58	100.0%	4	6.9%	10	17.2%	12	20.7%	12	20.7%	10	17.2%	1	1.7%	4	6.9%	1	1.7%	1	1.7%	3	5.2%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	3	6.8%	11	25.0%	11	25.0%	6	13.6%	7	15.9%	3	6.8%	2	4.5%	0	0.0%	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.104 地域区分別 IV-8 理想として任せたい保育士の経験年数〈保育室や保育所内の環境を整備すること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	118	23.1%	130	25.5%	94	18.4%	61	12.0%	39	7.6%	15	2.9%	8	1.6%	4	0.8%	13	2.5%	28	5.5%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	13	18.1%	23	31.9%	11	15.3%	6	8.3%	10	13.9%	4	5.6%	0	0.0%	1	1.4%	3	4.2%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	33	26.6%	32	25.8%	24	19.4%	14	11.3%	6	4.8%	5	4.0%	1	0.8%	2	1.6%	3	2.4%	4	3.2%
東海地区	計	47	100.0%	11	23.4%	13	27.7%	6	12.8%	8	17.0%	1	2.1%	0	0.0%	2	4.3%	0	0.0%	1	2.1%	5	10.6%
北信越地区	計	39	100.0%	7	17.9%	7	17.9%	11	28.2%	3	7.7%	6	15.4%	1	2.6%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	17	24.6%	15	21.7%	15	21.7%	10	14.5%	3	4.3%	1	1.4%	1	1.4%	0	0.0%	3	4.3%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	13	25.5%	9	17.6%	12	23.5%	5	9.8%	4	7.8%	1	2.0%	0	0.0%	1	2.0%	2	3.9%	5	9.8%
九州地区	計	108	100.0%	24	22.2%	31	28.7%	15	13.9%	15	13.9%	9	8.3%	4	3.7%	2	1.9%	1	0.9%	1	0.9%	6	5.6%

表NO.105 所在地区別 IV-8 理想として任せたい保育士の経験年数〈保育室や保育所内の環境を整備すること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	118	23.1%	130	25.5%	94	18.4%	61	12.0%	39	7.6%	15	2.9%	8	1.6%	4	0.8%	13	2.5%	28	5.5%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	31	27.0%	29	25.2%	25	21.7%	12	10.4%	6	5.2%	2	1.7%	3	2.6%	1	0.9%	2	1.7%	4	3.5%
中核市	計	58	100.0%	14	24.1%	14	24.1%	8	13.8%	6	10.3%	3	5.2%	2	3.4%	0	0.0%	1	1.7%	1	1.7%	7	12.1%
中都市	計	86	100.0%	27	31.4%	19	22.1%	16	18.6%	11	12.8%	5	5.8%	3	3.5%	2	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	26	17.4%	44	29.5%	21	14.1%	20	13.4%	13	8.7%	5	3.4%	1	0.7%	1	0.7%	7	4.7%	11	7.4%
小都市B	計	58	100.0%	12	20.7%	12	20.7%	12	20.7%	10	17.2%	4	6.9%	1	1.7%	2	3.4%	1	1.7%	1	1.7%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	8	18.2%	12	27.3%	12	27.3%	2	4.5%	6	13.6%	2	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.5%	0	0.0%

表NO.106 地域区分別 IV-9 理想として任せたい保育士の経験年数〈遊具の安全管理を行うこと〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	59	11.6%	68	13.3%	111	21.8%	89	17.5%	66	12.9%	51	10.0%	28	5.5%	3	0.6%	8	1.6%	27	5.3%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	8	11.1%	11	15.3%	16	22.2%	8	11.1%	10	13.9%	12	16.7%	4	5.6%	1	1.4%	2	2.8%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	23	18.5%	14	11.3%	29	23.4%	18	14.5%	15	12.1%	11	8.9%	6	4.8%	1	0.8%	2	1.6%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	5	10.6%	6	12.8%	13	27.7%	8	17.0%	4	8.5%	2	4.3%	3	6.4%	0	0.0%	1	2.1%	5	10.6%
北信越地区	計	39	100.0%	3	7.7%	4	10.3%	7	17.9%	7	17.9%	4	10.3%	7	17.9%	4	10.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	6	8.7%	9	13.0%	16	23.2%	16	23.2%	9	13.0%	5	7.2%	3	4.3%	0	0.0%	1	1.4%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	4	7.8%	7	13.7%	9	17.6%	7	13.7%	12	23.5%	2	3.9%	4	7.8%	1	2.0%	1	2.0%	4	7.8%
九州地区	計	108	100.0%	10	9.3%	17	15.7%	21	19.4%	25	23.1%	12	11.1%	12	11.1%	4	3.7%	0	0.0%	1	0.9%	6	5.6%

表NO.107 所在地区別 IV-9 理想として任せたい保育士の経験年数〈遊具の安全管理を行うこと〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	59	11.6%	68	13.3%	111	21.8%	89	17.5%	66	12.9%	51	10.0%	28	5.5%	3	0.6%	8	1.6%	27	5.3%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	21	18.3%	16	13.9%	26	22.6%	23	20.0%	10	8.7%	7	6.1%	7	6.1%	0	0.0%	1	0.9%	4	3.5%
中核市	計	58	100.0%	10	17.2%	9	15.5%	7	12.1%	9	15.5%	4	6.9%	10	17.2%	2	3.4%	0	0.0%	1	1.7%	6	10.3%
中都市	計	86	100.0%	12	14.0%	12	14.0%	19	22.1%	13	15.1%	13	15.1%	8	9.3%	5	5.8%	1	1.2%	0	0.0%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	10	6.7%	21	14.1%	30	20.1%	26	17.4%	22	14.8%	18	12.1%	5	3.4%	2	1.3%	5	3.4%	10	6.7%
小都市B	計	58	100.0%	4	6.9%	5	8.6%	16	27.6%	10	17.2%	10	17.2%	3	5.2%	3	5.2%	0	0.0%	1	1.7%	4	6.9%
町・村	計	44	100.0%	2	4.5%	5	11.4%	13	29.5%	8	18.2%	7	15.9%	5	11.4%	4	9.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.108 地域区分別 IV-10 理想として任せたい保育士の経験年数〈子どもの病気やケガへの対応を判断すること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	21	4.1%	33	6.5%	72	14.1%	91	17.8%	93	18.2%	83	16.3%	83	16.3%	5	1.0%	5	1.0%	24	4.7%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	1	1.4%	7	9.7%	9	12.5%	13	18.1%	9	12.5%	17	23.6%	14	19.4%	1	1.4%	1	1.4%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	6	4.8%	9	7.3%	19	15.3%	19	15.3%	28	22.6%	20	16.1%	16	12.9%	1	0.8%	2	1.6%	4	3.2%
東海地区	計	47	100.0%	2	4.3%	3	6.4%	6	12.8%	9	19.1%	10	21.3%	5	10.6%	8	17.0%	1	2.1%	0	0.0%	3	6.4%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	2	5.1%	4	10.3%	4	10.3%	5	12.8%	11	28.2%	10	25.6%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	2	2.9%	2	2.9%	11	15.9%	15	21.7%	12	17.4%	13	18.8%	9	13.0%	0	0.0%	1	1.4%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	3	5.9%	4	7.8%	5	9.8%	11	21.6%	11	21.6%	3	5.9%	8	15.7%	0	0.0%	1	2.0%	5	9.8%
九州地区	計	108	100.0%	7	6.5%	6	5.6%	18	16.7%	20	18.5%	18	16.7%	14	13.0%	18	16.7%	2	1.9%	0	0.0%	5	4.6%

表NO.109 所在地区別 IV-10 理想として任せたい保育士の経験年数〈子どもの病気やケガへの対応を判断すること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	21	4.1%	33	6.5%	72	14.1%	91	17.8%	93	18.2%	83	16.3%	83	16.3%	5	1.0%	5	1.0%	24	4.7%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	0	0.0%	7	6.1%	17	14.8%	33	28.7%	21	18.3%	17	14.8%	11	9.6%	0	0.0%	1	0.9%	2	1.7%
中核市	計	58	100.0%	3	5.2%	3	5.2%	8	13.8%	7	12.1%	8	13.8%	12	20.7%	11	19.0%	1	1.7%	0	0.0%	5	8.6%
中都市	計	86	100.0%	4	4.7%	9	10.5%	9	10.5%	17	19.8%	19	22.1%	6	7.0%	17	19.8%	2	2.3%	0	0.0%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	5	3.4%	7	4.7%	25	16.8%	16	10.7%	25	16.8%	31	20.8%	26	17.4%	1	0.7%	3	2.0%	10	6.7%
小都市B	計	58	100.0%	1	1.7%	3	5.2%	6	10.3%	8	13.8%	12	20.7%	11	19.0%	11	19.0%	1	1.7%	1	1.7%	4	6.9%
町・村	計	44	100.0%	2	4.5%	4	9.1%	7	15.9%	10	22.7%	8	18.2%	6	13.6%	7	15.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.110 地域区分別 IV-11 理想として任せたい保育士の経験年数〈行政や地域の関係各所との連絡調整等を行うこと〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	4	0.8%	5	1.0%	33	6.5%	63	12.4%	81	15.9%	129	25.3%	153	30.0%	17	3.3%	2	0.4%	23	4.5%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	1	1.4%	5	6.9%	8	11.1%	7	9.7%	21	29.2%	27	37.5%	2	2.8%	1	1.4%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	2	1.6%	0	0.0%	8	6.5%	17	13.7%	28	22.6%	35	28.2%	25	20.2%	4	3.2%	0	0.0%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	1	2.1%	0	0.0%	2	4.3%	7	14.9%	5	10.6%	10	21.3%	16	34.0%	3	6.4%	0	0.0%	3	6.4%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	4	10.3%	4	10.3%	6	15.4%	21	53.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	0	0.0%	4	5.8%	6	8.7%	15	21.7%	17	24.6%	18	26.1%	3	4.3%	1	1.4%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	2	3.9%	3	5.9%	5	9.8%	6	11.8%	11	21.6%	19	37.3%	2	3.9%	0	0.0%	3	5.9%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	2	1.9%	10	9.3%	16	14.8%	16	14.8%	29	26.9%	27	25.0%	3	2.8%	0	0.0%	5	4.6%

表NO.111 所在地区別 IV-11 理想として任せたい保育士の経験年数〈行政や地域の関係各所との連絡調整等を行うこと〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	4	0.8%	5	1.0%	33	6.5%	63	12.4%	81	15.9%	129	25.3%	153	30.0%	17	3.3%	2	0.4%	23	4.5%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	1	0.9%	1	0.9%	7	6.1%	15	13.0%	26	22.6%	35	30.4%	24	20.9%	3	2.6%	0	0.0%	3	2.6%
中核市	計	58	100.0%	1	1.7%	1	1.7%	3	5.2%	8	13.8%	8	13.8%	14	24.1%	16	27.6%	2	3.4%	0	0.0%	5	8.6%
中都市	計	86	100.0%	1	1.2%	0	0.0%	6	7.0%	10	11.6%	13	15.1%	21	24.4%	28	32.6%	5	5.8%	0	0.0%	2	2.3%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	2	1.3%	8	5.4%	18	12.1%	22	14.8%	34	22.8%	50	33.6%	5	3.4%	1	0.7%	9	6.0%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	8	13.8%	4	6.9%	15	25.9%	24	41.4%	1	1.7%	1	1.7%	4	6.9%
町・村	計	44	100.0%	1	2.3%	1	2.3%	8	18.2%	4	9.1%	8	18.2%	10	22.7%	11	25.0%	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.112 地域区分別 IV-12 理想として任せたい保育士の経験年数〈指導計画を作成すること〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無効		無回答	
全国	計	510	100.0%	42	8.2%	82	16.1%	90	17.6%	63	12.4%	75	14.7%	75	14.7%	45	8.8%	2	0.4%	10	2.0%	26	5.1%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	4	5.6%	9	12.5%	11	15.3%	9	12.5%	10	13.9%	17	23.6%	8	11.1%	0	0.0%	3	4.2%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	13	10.5%	20	16.1%	25	20.2%	12	9.7%	23	18.5%	19	15.3%	4	3.2%	2	1.6%	1	0.8%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	6	12.8%	8	17.0%	13	27.7%	5	10.6%	3	6.4%	2	4.3%	5	10.6%	0	0.0%	1	2.1%	4	8.5%
北信越地区	計	39	100.0%	2	5.1%	5	12.8%	6	15.4%	2	5.1%	5	12.8%	11	28.2%	5	12.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	4	5.8%	13	18.8%	13	18.8%	7	10.1%	12	17.4%	7	10.1%	6	8.7%	0	0.0%	3	4.3%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	4	7.8%	7	13.7%	8	15.7%	8	15.7%	8	15.7%	4	7.8%	7	13.7%	0	0.0%	2	3.9%	3	5.9%
九州地区	計	108	100.0%	9	8.3%	20	18.5%	14	13.0%	20	18.5%	14	13.0%	15	13.9%	10	9.3%	0	0.0%	0	0.0%	6	5.6%

表NO.113 所在地区別 IV-12 理想として任せたい保育士の経験年数〈指導計画を作成すること〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無効		無回答	
総計	計	510	100.0%	42	8.2%	82	16.1%	90	17.6%	63	12.4%	75	14.7%	75	14.7%	45	8.8%	2	0.4%	10	2.0%	26	5.1%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	13	11.3%	20	17.4%	20	17.4%	19	16.5%	15	13.0%	12	10.4%	10	8.7%	0	0.0%	2	1.7%	4	3.5%
中核市	計	58	100.0%	6	10.3%	8	13.8%	7	12.1%	11	19.0%	8	13.8%	7	12.1%	4	6.9%	1	1.7%	0	0.0%	6	10.3%
中都市	計	86	100.0%	9	10.5%	11	12.8%	16	18.6%	9	10.5%	14	16.3%	12	14.0%	12	14.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	8	5.4%	27	18.1%	28	18.8%	11	7.4%	21	14.1%	27	18.1%	12	8.1%	0	0.0%	6	4.0%	9	6.0%
小都市B	計	58	100.0%	3	5.2%	9	15.5%	11	19.0%	8	13.8%	8	13.8%	9	15.5%	5	8.6%	1	1.7%	1	1.7%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	3	6.8%	7	15.9%	8	18.2%	5	11.4%	9	20.5%	8	18.2%	2	4.5%	0	0.0%	1	2.3%	1	2.3%

表NO.114 地域区分別 IV-13 理想として任せたい保育士の経験年数〈指導計画の確認や助言を行うこと〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無効		無回答	
全国	計	510	100.0%	4	0.8%	17	3.3%	40	7.8%	79	15.5%	95	18.6%	127	24.9%	120	23.5%	3	0.6%	2	0.4%	23	4.5%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	2	2.8%	6	8.3%	10	13.9%	10	13.9%	20	27.8%	23	31.9%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	2	1.6%	8	6.5%	11	8.9%	22	17.7%	24	19.4%	34	27.4%	18	14.5%	1	0.8%	0	0.0%	4	3.2%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	2	4.3%	6	12.8%	8	17.0%	9	19.1%	8	17.0%	10	21.3%	1	2.1%	0	0.0%	3	6.4%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	3	7.7%	6	15.4%	10	25.6%	16	41.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	0	0.0%	7	10.1%	9	13.0%	14	20.3%	18	26.1%	15	21.7%	0	0.0%	1	1.4%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	1	2.0%	1	2.0%	2	3.9%	7	13.7%	12	23.5%	9	17.6%	14	27.5%	1	2.0%	0	0.0%	4	7.8%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	4	3.7%	7	6.5%	20	18.5%	20	18.5%	28	25.9%	24	22.2%	0	0.0%	0	0.0%	5	4.6%

表NO.115 所在地区別 IV-13 理想として任せたい保育士の経験年数〈指導計画の確認や助言を行うこと〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無効		無回答	
総計	計	510	100.0%	4	0.8%	17	3.3%	40	7.8%	79	15.5%	95	18.6%	127	24.9%	120	23.5%	3	0.6%	2	0.4%	23	4.5%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	1	0.9%	8	7.0%	11	9.6%	24	20.9%	22	19.1%	27	23.5%	20	17.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.7%
中核市	計	58	100.0%	2	3.4%	0	0.0%	3	5.2%	10	17.2%	12	20.7%	15	25.9%	11	19.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	8.6%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	4	4.7%	8	9.3%	13	15.1%	15	17.4%	21	24.4%	22	25.6%	1	1.2%	0	0.0%	2	2.3%
小都市A	計	149	100.0%	1	0.7%	3	2.0%	10	6.7%	19	12.8%	31	20.8%	35	23.5%	38	25.5%	1	0.7%	1	0.7%	10	6.7%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	1	1.7%	1	1.7%	6	10.3%	8	13.8%	19	32.8%	18	31.0%	0	0.0%	1	1.7%	4	6.9%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	1	2.3%	7	15.9%	7	15.9%	7	15.9%	10	22.7%	11	25.0%	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.116 地域区分別 IV-14 理想として任せたい保育士の経験年数〈おたより等の保護者向けの書類を作成すること〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答			
全国	計	510	100.0%	37	7.3%	74	14.5%	79	15.5%	72	14.1%	78	15.3%	79	15.5%	54	10.6%	4	0.8%	6	1.2%	27	5.3%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	4	5.6%	7	9.7%	9	12.5%	11	15.3%	11	15.3%	18	25.0%	10	13.9%	0	0.0%	1	1.4%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	13	10.5%	20	16.1%	21	16.9%	19	15.3%	16	12.9%	19	15.3%	8	6.5%	2	1.6%	1	0.8%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	2	4.3%	11	23.4%	10	21.3%	7	14.9%	5	10.6%	2	4.3%	4	8.5%	1	2.1%	1	2.1%	4	8.5%
北信越地区	計	39	100.0%	1	2.6%	1	2.6%	7	17.9%	4	10.3%	6	15.4%	11	28.2%	6	15.4%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	5	7.2%	4	5.8%	15	21.7%	8	11.6%	15	21.7%	10	14.5%	6	8.7%	0	0.0%	2	2.9%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	4	7.8%	8	15.7%	5	9.8%	7	13.7%	7	13.7%	3	5.9%	11	21.6%	1	2.0%	1	2.0%	4	7.8%
九州地区	計	108	100.0%	8	7.4%	23	21.3%	12	11.1%	16	14.8%	18	16.7%	16	14.8%	9	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	6	5.6%

表NO.117 所在地区別 IV-14 理想として任せたい保育士の経験年数〈おたより等の保護者向けの書類を作成すること〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答			
総計	計	510	100.0%	37	7.3%	74	14.5%	79	15.5%	72	14.1%	78	15.3%	79	15.5%	54	10.6%	4	0.8%	6	1.2%	27	5.3%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	13	11.3%	20	17.4%	15	13.0%	23	20.0%	17	14.8%	14	12.2%	8	7.0%	0	0.0%	1	0.9%	4	3.5%
中核市	計	58	100.0%	7	12.1%	4	6.9%	11	19.0%	6	10.3%	9	15.5%	8	13.8%	6	10.3%	1	1.7%	0	0.0%	6	10.3%
中都市	計	86	100.0%	10	11.6%	13	15.1%	15	17.4%	12	14.0%	12	14.0%	10	11.6%	9	10.5%	2	2.3%	0	0.0%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	5	3.4%	25	16.8%	25	16.8%	14	9.4%	23	15.4%	30	20.1%	14	9.4%	1	0.7%	3	2.0%	9	6.0%
小都市B	計	58	100.0%	1	1.7%	6	10.3%	5	8.6%	12	20.7%	7	12.1%	10	17.2%	12	20.7%	0	0.0%	1	1.7%	4	6.9%
町・村	計	44	100.0%	1	2.3%	6	13.6%	8	18.2%	5	11.4%	10	22.7%	7	15.9%	5	11.4%	0	0.0%	1	2.3%	1	2.3%

表NO.118 地域区分別 IV-15 理想として任せたい保育士の経験年数〈職員間の連絡調整等を行うこと〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答			
全国	計	510	100.0%	13	2.5%	15	2.9%	61	12.0%	74	14.5%	87	17.1%	126	24.7%	106	20.8%	2	0.4%	2	0.4%	24	4.7%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	5	6.9%	6	8.3%	6	8.3%	9	12.5%	24	33.3%	21	29.2%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	5	4.0%	3	2.4%	16	12.9%	23	18.5%	24	19.4%	27	21.8%	21	16.9%	1	0.8%	0	0.0%	4	3.2%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	2	4.3%	7	14.9%	8	17.0%	9	19.1%	8	17.0%	9	19.1%	1	2.1%	0	0.0%	3	6.4%
北信越地区	計	39	100.0%	1	2.6%	0	0.0%	3	7.7%	4	10.3%	6	15.4%	12	30.8%	10	25.6%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	2	2.9%	2	2.9%	10	14.5%	10	14.5%	13	18.8%	18	26.1%	9	13.0%	0	0.0%	1	1.4%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	1	2.0%	1	2.0%	5	9.8%	10	19.6%	10	19.6%	5	9.8%	14	27.5%	0	0.0%	0	0.0%	5	9.8%
九州地区	計	108	100.0%	4	3.7%	2	1.9%	14	13.0%	13	12.0%	16	14.8%	32	29.6%	22	20.4%	0	0.0%	0	0.0%	5	4.6%

表NO.119 所在地区別 IV-15 理想として任せたい保育士の経験年数〈職員間の連絡調整等を行うこと〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答			
総計	計	510	100.0%	13	2.5%	15	2.9%	61	12.0%	74	14.5%	87	17.1%	126	24.7%	106	20.8%	2	0.4%	2	0.4%	24	4.7%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	9	7.8%	3	2.6%	15	13.0%	22	19.1%	20	17.4%	30	26.1%	16	13.9%	2	1.7%	0	0.0%	2	1.7%
中核市	計	58	100.0%	3	5.2%	2	3.4%	5	8.6%	7	12.1%	9	15.5%	17	29.3%	9	15.5%	0	0.0%	0	0.0%	6	10.3%
中都市	計	86	100.0%	2	2.3%	3	3.5%	10	11.6%	16	18.6%	14	16.3%	17	19.8%	22	25.6%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.3%
小都市A	計	149	100.0%	1	0.7%	6	4.0%	20	13.4%	14	9.4%	23	15.4%	41	27.5%	31	20.8%	0	0.0%	1	0.7%	10	6.7%
小都市B	計	58	100.0%	1	1.7%	1	1.7%	4	6.9%	6	10.3%	8	13.8%	15	25.9%	18	31.0%	0	0.0%	1	1.7%	4	6.9%
町・村	計	44	100.0%	1	2.3%	0	0.0%	7	15.9%	9	20.5%	11	25.0%	6	13.6%	10	22.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.120 地域区分別 IV-16 理想として任せたい保育士の経験年数〈実習生の指導を行うこと〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	8	1.6%	15	2.9%	58	11.4%	96	18.8%	96	18.8%	111	21.8%	96	18.8%	3	0.6%	1	0.2%	26	5.1%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	1	1.4%	0	0.0%	9	12.5%	11	15.3%	11	15.3%	21	29.2%	17	23.6%	1	1.4%	1	1.4%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	5	4.0%	10	8.1%	13	10.5%	26	21.0%	28	22.6%	17	13.7%	19	15.3%	1	0.8%	0	0.0%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	1	2.1%	6	12.8%	12	25.5%	9	19.1%	7	14.9%	9	19.1%	0	0.0%	0	0.0%	3	6.4%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	1	2.6%	3	7.7%	6	15.4%	2	5.1%	13	33.3%	11	28.2%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	1	1.4%	10	14.5%	10	14.5%	18	26.1%	17	24.6%	8	11.6%	0	0.0%	0	0.0%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	1	2.0%	1	2.0%	6	11.8%	6	11.8%	10	19.6%	10	19.6%	11	21.6%	0	0.0%	0	0.0%	6	11.8%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	1	0.9%	11	10.2%	25	23.1%	18	16.7%	26	24.1%	21	19.4%	1	0.9%	0	0.0%	5	4.6%

表NO.121 所在地区別 IV-16 理想として任せたい保育士の経験年数〈実習生の指導を行うこと〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	8	1.6%	15	2.9%	58	11.4%	96	18.8%	96	18.8%	111	21.8%	96	18.8%	3	0.6%	1	0.2%	26	5.1%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	1	0.9%	5	4.3%	14	12.2%	25	21.7%	27	23.5%	23	20.0%	16	13.9%	1	0.9%	0	0.0%	3	2.6%
中核市	計	58	100.0%	3	5.2%	1	1.7%	5	8.6%	12	20.7%	10	17.2%	17	29.3%	3	5.2%	1	1.7%	0	0.0%	6	10.3%
中都市	計	86	100.0%	2	2.3%	4	4.7%	10	11.6%	15	17.4%	14	16.3%	17	19.8%	20	23.3%	1	1.2%	0	0.0%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	2	1.3%	4	2.7%	17	11.4%	27	18.1%	22	14.8%	35	23.5%	32	21.5%	0	0.0%	0	0.0%	10	6.7%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	6.9%	8	13.8%	14	24.1%	12	20.7%	15	25.9%	0	0.0%	1	1.7%	4	6.9%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	1	2.3%	8	18.2%	9	20.5%	9	20.5%	7	15.9%	10	22.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.122 地域区分別 IV-17 理想として任せたい保育士の経験年数〈新人保育士の指導を行うこと〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	2	0.4%	23	4.5%	58	11.4%	88	17.3%	98	19.2%	111	21.8%	101	19.8%	3	0.6%	1	0.2%	25	4.9%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	1	1.4%	10	13.9%	7	9.7%	13	18.1%	19	26.4%	21	29.2%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	1	0.8%	10	8.1%	13	10.5%	27	21.8%	22	17.7%	22	17.7%	22	17.7%	2	1.6%	0	0.0%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	3	6.4%	7	14.9%	8	17.0%	9	19.1%	7	14.9%	9	19.1%	1	2.1%	0	0.0%	3	6.4%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	2	5.1%	2	5.1%	4	10.3%	7	17.9%	14	35.9%	7	17.9%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	3	4.3%	11	15.9%	12	17.4%	15	21.7%	15	21.7%	8	11.6%	0	0.0%	0	0.0%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	3	5.9%	6	11.8%	9	17.6%	8	15.7%	10	19.6%	10	19.6%	0	0.0%	0	0.0%	5	9.8%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	1	0.9%	9	8.3%	21	19.4%	24	22.2%	24	22.2%	24	22.2%	0	0.0%	0	0.0%	5	4.6%

表NO.123 所在地区別 IV-17 理想として任せたい保育士の経験年数〈新人保育士の指導を行うこと〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	2	0.4%	23	4.5%	58	11.4%	88	17.3%	98	19.2%	111	21.8%	101	19.8%	3	0.6%	1	0.2%	25	4.9%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	1	0.9%	7	6.1%	14	12.2%	21	18.3%	30	26.1%	22	19.1%	16	13.9%	1	0.9%	0	0.0%	3	2.6%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	4	6.9%	5	8.6%	11	19.0%	12	20.7%	16	27.6%	4	6.9%	0	0.0%	0	0.0%	6	10.3%
中都市	計	86	100.0%	1	1.2%	5	5.8%	12	14.0%	17	19.8%	12	14.0%	15	17.4%	20	23.3%	1	1.2%	0	0.0%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	4	2.7%	19	12.8%	19	12.8%	23	15.4%	40	26.8%	34	22.8%	1	0.7%	0	0.0%	9	6.0%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	2	3.4%	2	3.4%	9	15.5%	13	22.4%	10	17.2%	17	29.3%	0	0.0%	1	1.7%	4	6.9%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	1	2.3%	6	13.6%	11	25.0%	8	18.2%	8	18.2%	10	22.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%



表NO.124 地域区分別 IV-18 理想として任せたい保育士の経験年数（新人以外の保育士に指導したり、相談にのれること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答	
全国	計	510	100.0%	1	0.2%	6	1.2%	29	5.7%	87	17.1%	90	17.6%	133	26.1%	138	27.1%	1	0.2%	24	4.7%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	6.9%	9	12.5%	7	9.7%	23	31.9%	27	37.5%	0	0.0%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	0	0.0%	2	1.6%	10	8.1%	20	16.1%	28	22.6%	29	23.4%	29	23.4%	1	0.8%	0	0.0%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.3%	10	21.3%	13	27.7%	8	17.0%	11	23.4%	0	0.0%	0	0.0%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	4	10.3%	6	15.4%	11	28.2%	14	35.9%	0	0.0%	0	0.0%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	1	1.4%	3	4.3%	17	24.6%	15	21.7%	17	24.6%	11	15.9%	0	0.0%	0	0.0%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	2	3.9%	2	3.9%	6	11.8%	9	17.6%	15	29.4%	13	25.5%	0	0.0%	0	0.0%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	1	0.9%	6	5.6%	21	19.4%	12	11.1%	30	27.8%	33	30.6%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.125 所在地区別 IV-18 理想として任せたい保育士の経験年数（新人以外の保育士に指導したり、相談にのれること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答	
総計	計	510	100.0%	1	0.2%	6	1.2%	29	5.7%	87	17.1%	90	17.6%	133	26.1%	138	27.1%	1	0.2%	24	4.7%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	1	0.9%	2	1.7%	6	5.2%	25	21.7%	25	21.7%	25	21.7%	28	24.3%	0	0.0%	0	0.0%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	2	3.4%	2	3.4%	8	13.8%	13	22.4%	13	22.4%	13	22.4%	0	0.0%	0	0.0%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	9.3%	15	17.4%	15	17.4%	21	24.4%	24	27.9%	1	1.2%	0	0.0%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	2	1.3%	9	6.0%	19	12.8%	20	13.4%	48	32.2%	41	27.5%	0	0.0%	0	0.0%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.4%	8	13.8%	9	15.5%	15	25.9%	19	32.8%	0	0.0%	1	1.7%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.5%	12	27.3%	8	18.2%	9	20.5%	13	29.5%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.126 地域区分別 IV-19 理想として任せたい保育士の経験年数（保護者からの相談への対応に関すること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答	
全国	計	510	100.0%	5	1.0%	10	2.0%	39	7.6%	79	15.5%	100	19.6%	99	19.4%	151	29.6%	2	0.4%	23	4.5%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	2	2.8%	6	8.3%	6	8.3%	9	12.5%	19	26.4%	29	40.3%	0	0.0%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	1	0.8%	5	4.0%	11	8.9%	23	18.5%	32	25.8%	22	17.7%	25	20.2%	2	1.6%	0	0.0%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	12.8%	10	21.3%	9	19.1%	5	10.6%	13	27.7%	0	0.0%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%	4	10.3%	6	15.4%	9	23.1%	15	38.5%	0	0.0%	0	0.0%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	1	1.4%	5	7.2%	13	18.8%	15	21.7%	17	24.6%	13	18.8%	0	0.0%	0	0.0%
中国・四国地区	計	51	100.0%	1	2.0%	1	2.0%	2	3.9%	6	11.8%	10	19.6%	7	13.7%	19	37.3%	0	0.0%	0	0.0%
九州地区	計	108	100.0%	2	1.9%	1	0.9%	7	6.5%	17	15.7%	19	17.6%	20	18.5%	37	34.3%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.127 所在地区別 IV-19 理想として任せたい保育士の経験年数（保護者からの相談への対応に関すること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答	
総計	計	510	100.0%	5	1.0%	10	2.0%	39	7.6%	79	15.5%	100	19.6%	99	19.4%	151	29.6%	2	0.4%	23	4.5%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	4	3.5%	1	0.9%	9	7.8%	23	20.0%	29	25.2%	22	19.1%	24	20.9%	0	0.0%	1	0.9%
中核市	計	58	100.0%	1	1.7%	1	1.7%	8	10.3%	10	17.2%	10	17.2%	11	19.0%	14	24.1%	0	0.0%	0	0.0%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	4	4.7%	8	9.3%	18	20.9%	12	14.0%	16	18.6%	25	29.1%	0	0.0%	0	0.0%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	2	1.3%	10	6.7%	18	12.1%	23	15.4%	37	24.8%	48	32.2%	1	0.7%	0	0.0%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	1	1.7%	2	3.4%	4	6.9%	12	20.7%	9	15.5%	25	43.1%	1	1.7%	1	1.7%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	1	2.3%	4	9.1%	6	13.6%	14	31.8%	4	9.1%	15	34.1%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.128 地域区分別 IV-20 理想として任せたい保育士の経験年数〈保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	5	1.0%	4	0.8%	24	4.7%	54	10.6%	78	15.3%	121	23.7%	192	37.6%	6	1.2%	2	0.4%	24	4.7%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	6.9%	5	6.9%	6	8.3%	19	26.4%	36	50.0%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	1	0.8%	2	1.6%	9	7.3%	14	11.3%	21	16.9%	35	28.2%	34	27.4%	3	2.4%	0	0.0%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.3%	7	14.9%	6	12.8%	10	21.3%	16	34.0%	2	4.3%	1	2.1%	3	6.4%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	6	15.4%	10	25.6%	19	48.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	1	1.4%	2	2.9%	12	17.4%	13	18.8%	18	26.1%	18	26.1%	0	0.0%	0	0.0%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	1	2.0%	1	2.0%	1	2.0%	3	5.9%	9	17.6%	10	19.6%	23	45.1%	0	0.0%	0	0.0%	3	5.9%
九州地区	計	108	100.0%	2	1.9%	0	0.0%	4	3.7%	13	12.0%	17	15.7%	19	17.6%	46	42.6%	1	0.9%	0	0.0%	6	5.6%

表NO.129 所在地区別 IV-20 理想として任せたい保育士の経験年数〈保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	5	1.0%	4	0.8%	24	4.7%	54	10.6%	78	15.3%	121	23.7%	192	37.6%	6	1.2%	2	0.4%	24	4.7%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	3	2.6%	1	0.9%	4	3.5%	15	13.0%	25	21.7%	32	27.8%	30	26.1%	1	0.9%	11	9.6%	3	2.6%
中核市	計	58	100.0%	1	1.7%	1	1.7%	3	5.2%	6	10.3%	7	12.1%	16	27.6%	19	32.8%	0	0.0%	0	0.0%	5	8.6%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	1	1.2%	4	4.7%	10	11.6%	9	10.3%	23	29.1%	32	37.2%	2	2.3%	0	0.0%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	1	0.7%	1	0.7%	8	5.4%	15	10.1%	19	12.8%	34	22.8%	62	41.6%	0	0.0%	0	0.0%	9	6.0%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	3	5.2%	9	15.5%	8	13.8%	31	53.4%	1	1.7%	1	1.7%	4	6.9%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	9.1%	5	11.4%	9	20.5%	6	13.6%	18	40.9%	2	4.5%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.130 地域区分別 IV-21 理想として任せたい保育士の経験年数〈障害のある子どもの保育に関すること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	9	1.8%	25	4.9%	75	14.7%	108	21.2%	91	17.8%	101	19.8%	46	9.0%	25	4.9%	3	0.6%	27	5.3%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	4	5.6%	11	15.3%	10	13.9%	9	12.5%	24	33.3%	6	8.3%	6	8.3%	1	1.4%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	3	2.4%	7	5.6%	17	13.7%	33	26.6%	23	18.5%	24	19.4%	5	4.0%	7	5.6%	0	0.0%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	1	2.1%	3	6.4%	8	17.0%	9	19.1%	7	14.9%	6	12.8%	3	6.4%	5	10.6%	1	2.1%	4	8.5%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	1	2.6%	2	5.1%	8	20.5%	9	23.1%	12	30.8%	3	7.7%	1	2.6%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	2	2.9%	15	21.7%	13	18.8%	14	20.3%	13	18.8%	4	5.8%	2	2.9%	1	1.4%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	1	2.0%	4	7.8%	7	13.7%	8	15.7%	10	19.6%	8	15.7%	8	15.7%	1	2.0%	0	0.0%	4	7.8%
九州地区	計	108	100.0%	3	2.8%	4	3.7%	15	13.9%	27	25.0%	19	17.6%	14	13.0%	17	15.7%	3	2.8%	0	0.0%	6	5.6%

表NO.131 所在地区別 IV-21 理想として任せたい保育士の経験年数〈障害のある子どもの保育に関すること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	9	1.8%	25	4.9%	75	14.7%	108	21.2%	91	17.8%	101	19.8%	46	9.0%	25	4.9%	3	0.6%	27	5.3%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	5	4.3%	3	2.6%	18	15.7%	28	24.3%	18	15.7%	26	22.6%	7	6.1%	6	5.2%	1	0.9%	3	2.6%
中核市	計	58	100.0%	2	3.4%	4	6.9%	7	12.1%	16	27.6%	7	12.1%	12	20.7%	3	5.2%	2	3.4%	0	0.0%	5	8.6%
中都市	計	86	100.0%	1	1.2%	7	8.1%	15	17.4%	19	22.1%	10	11.6%	17	19.8%	8	9.3%	4	4.7%	0	0.0%	5	5.8%
小都市A	計	149	100.0%	1	0.7%	5	3.4%	25	16.8%	31	20.8%	26	17.4%	30	20.1%	13	8.7%	8	5.4%	0	0.0%	10	6.7%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	1	1.7%	4	6.9%	10	17.2%	17	29.3%	8	13.8%	11	19.0%	3	5.2%	1	1.7%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	5	11.4%	6	13.6%	4	9.1%	13	29.5%	8	18.2%	4	9.1%	2	4.5%	1	2.3%	1	2.3%

表NO.132 地域区分別 IV-22 理想として任せたい保育士の経験年数〈地域の保護者等に対する子育て支援〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	4	0.8%	11	2.2%	47	9.2%	76	14.9%	94	18.4%	115	22.5%	102	20.0%	32	6.3%	2	0.4%	27	5.3%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	1	1.4%	7	9.7%	4	5.6%	15	20.8%	15	20.8%	21	29.2%	6	8.3%	1	1.4%	2	2.8%
関東地区	計	124	100.0%	2	1.6%	5	4.0%	17	13.7%	19	15.3%	23	18.5%	27	21.8%	16	12.9%	11	8.9%	0	0.0%	4	3.2%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	2	4.3%	3	6.4%	8	17.0%	11	23.4%	7	14.9%	11	23.4%	2	4.3%	0	0.0%	3	6.4%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	6	15.4%	3	7.7%	14	35.9%	11	28.2%	1	2.6%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	1	1.4%	6	8.7%	17	24.6%	13	18.8%	11	15.9%	10	14.5%	5	7.2%	1	1.4%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	1	2.0%	2	3.9%	2	3.9%	6	11.8%	7	13.7%	15	29.4%	10	19.6%	3	5.9%	0	0.0%	5	9.8%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	11	10.2%	16	14.8%	22	20.4%	26	24.1%	23	21.3%	4	3.7%	0	0.0%	6	5.6%

表NO.133 所在地区別 IV-22 理想として任せたい保育士の経験年数〈地域の保護者等に対する子育て支援〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	4	0.8%	11	2.2%	47	9.2%	76	14.9%	94	18.4%	115	22.5%	102	20.0%	32	6.3%	2	0.4%	27	5.3%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	2	1.7%	3	2.6%	12	10.4%	21	18.3%	20	17.4%	30	26.1%	16	13.9%	8	7.0%	0	0.0%	3	2.6%
中核市	計	58	100.0%	1	1.7%	0	0.0%	6	10.3%	7	12.1%	9	15.5%	14	24.1%	8	13.8%	6	10.3%	0	0.0%	7	12.1%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	2	2.3%	9	10.5%	12	14.0%	14	16.3%	18	20.9%	21	24.4%	8	9.3%	0	0.0%	2	2.3%
小都市A	計	149	100.0%	1	0.7%	3	2.0%	13	8.7%	24	16.1%	29	19.5%	32	21.5%	27	18.1%	7	4.7%	1	0.7%	12	8.1%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.4%	4	6.9%	12	20.7%	16	27.6%	18	31.0%	2	3.4%	1	1.7%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	3	6.8%	5	11.4%	8	18.2%	10	22.7%	5	11.4%	12	27.3%	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.134 地域区分別 IV-23 理想として任せたい保育士の経験年数〈小学校との連携に関すること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	4	0.8%	9	1.8%	50	9.8%	88	17.3%	98	19.2%	102	20.0%	105	20.6%	25	4.9%	2	0.4%	27	5.3%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	1	1.4%	4	5.6%	9	12.5%	9	12.5%	23	31.9%	24	33.3%	1	1.4%	1	1.4%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	2	1.6%	5	4.0%	14	11.3%	29	23.4%	25	20.2%	19	15.3%	16	12.9%	8	6.5%	0	0.0%	6	4.8%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	1	2.1%	5	10.6%	10	21.3%	8	17.0%	8	17.0%	6	12.8%	5	10.6%	1	2.1%	3	6.4%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	2	5.1%	7	17.9%	13	33.3%	11	28.2%	2	5.1%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	0	0.0%	6	8.7%	16	23.2%	14	20.3%	11	15.9%	12	17.4%	5	7.2%	0	0.0%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	1	2.0%	0	0.0%	4	7.8%	6	11.8%	14	27.5%	9	17.6%	10	19.6%	2	3.9%	0	0.0%	5	9.8%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	2	1.9%	16	14.8%	16	14.8%	21	19.4%	19	17.6%	26	24.1%	2	1.9%	0	0.0%	6	5.6%

表NO.135 所在地区別 IV-23 理想として任せたい保育士の経験年数〈小学校との連携に関すること〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	4	0.8%	9	1.8%	50	9.8%	88	17.3%	98	19.2%	102	20.0%	105	20.6%	25	4.9%	2	0.4%	27	5.3%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	1	0.9%	3	2.6%	10	8.7%	27	23.5%	19	16.5%	27	23.5%	17	14.8%	7	6.1%	1	0.9%	3	2.6%
中核市	計	58	100.0%	2	3.4%	0	0.0%	8	13.8%	11	19.0%	9	15.5%	12	20.7%	9	15.5%	1	1.7%	0	0.0%	6	10.3%
中都市	計	86	100.0%	1	1.2%	2	2.3%	7	8.1%	13	15.1%	16	18.6%	14	16.3%	19	22.1%	10	11.6%	0	0.0%	4	4.7%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	2	1.3%	14	9.4%	27	18.1%	31	20.8%	31	20.8%	31	20.8%	3	2.0%	0	0.0%	10	6.7%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	1	1.7%	3	5.2%	5	8.6%	15	25.9%	11	19.0%	17	29.3%	1	1.7%	1	1.7%	4	6.9%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	1	2.3%	8	18.2%	3	11.4%	8	18.2%	7	15.9%	12	27.3%	3	6.8%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.136 地域区分別 IV-24 理想として任せたい保育士の経験年数〈研修会や学会などでの発表を行うこと〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	8	1.6%	18	3.5%	58	11.4%	78	15.3%	107	21.0%	85	16.7%	70	13.7%	57	11.2%	3	0.6%	26	5.1%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	1	1.4%	3	4.2%	10	13.9%	13	18.1%	22	30.6%	14	19.4%	7	9.7%	1	1.4%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	4	3.2%	4	3.2%	20	16.1%	19	15.3%	20	16.1%	14	11.3%	14	11.3%	24	19.4%	0	0.0%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	1	2.1%	2	4.3%	5	10.6%	8	17.0%	12	25.5%	5	10.6%	2	4.3%	8	17.0%	0	0.0%	4	8.5%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%	4	10.3%	10	25.6%	9	23.1%	8	20.5%	2	5.1%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	2	2.9%	11	15.9%	13	18.8%	13	18.8%	8	11.6%	8	11.6%	7	10.1%	2	2.9%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	3	5.9%	6	11.8%	5	9.8%	12	23.5%	9	17.6%	7	13.7%	6	11.8%	0	0.0%	3	5.9%
九州地区	計	108	100.0%	2	1.9%	6	5.6%	10	9.3%	19	17.6%	27	25.0%	18	16.7%	17	15.7%	3	2.8%	0	0.0%	6	5.6%

表NO.137 所在地区別 IV-24 理想として任せたい保育士の経験年数〈研修会や学会などでの発表を行うこと〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	8	1.6%	18	3.5%	58	11.4%	78	15.3%	107	21.0%	85	16.7%	70	13.7%	57	11.2%	3	0.6%	26	5.1%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	4	3.5%	2	1.7%	15	13.0%	21	18.3%	20	17.4%	15	13.0%	16	13.9%	19	16.5%	0	0.0%	3	2.6%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	3	5.2%	6	10.3%	8	13.8%	14	24.1%	10	17.2%	6	10.3%	5	8.6%	0	0.0%	6	10.3%
中都市	計	86	100.0%	1	1.2%	3	3.5%	12	14.0%	13	15.1%	14	16.3%	12	14.0%	14	16.3%	12	14.0%	1	1.2%	4	4.7%
小都市A	計	149	100.0%	3	2.0%	6	4.0%	18	12.1%	22	14.8%	30	20.1%	30	20.1%	17	11.4%	13	8.7%	0	0.0%	10	6.7%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	3	5.2%	1	1.7%	7	12.1%	18	31.0%	10	17.2%	11	19.0%	4	6.9%	1	1.7%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	1	2.3%	6	13.6%	7	15.9%	11	25.0%	8	18.2%	6	13.6%	4	9.1%	1	2.3%	0	0.0%

表NO.138 地域区分別 IV-25 理想として任せたい保育士の経験年数〈保育士の自己評価について確認や助言を行うこと〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
全国	計	510	100.0%	2	0.4%	5	1.0%	15	2.9%	43	8.4%	73	14.3%	139	27.3%	192	37.6%	15	2.9%	2	0.4%	24	4.7%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	1	1.4%	2	2.8%	5	6.9%	4	5.6%	15	20.8%	43	59.7%	0	0.0%	1	1.4%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	0	0.0%	1	0.8%	5	4.0%	15	12.1%	25	20.2%	35	28.2%	36	29.0%	2	1.6%	0	0.0%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.3%	4	8.5%	5	10.6%	15	31.9%	14	29.8%	4	8.5%	0	0.0%	3	6.4%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	1	2.6%	13	33.3%	20	51.3%	1	2.6%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	0	0.0%	3	4.3%	3	4.3%	13	18.8%	21	30.4%	19	27.5%	4	5.8%	1	1.4%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	1	2.0%	1	2.0%	1	2.0%	7	13.7%	14	27.5%	21	41.2%	2	3.9%	2	3.9%	0	0.0%	3	5.9%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	2	1.9%	1	0.9%	15	13.9%	18	16.7%	26	24.1%	39	36.1%	2	1.9%	0	0.0%	5	4.6%

表NO.139 所在地区別 IV-25 理想として任せたい保育士の経験年数〈保育士の自己評価について確認や助言を行うこと〉

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答											
総計	計	510	100.0%	2	0.4%	5	1.0%	15	2.9%	43	8.4%	73	14.3%	139	27.3%	192	37.6%	15	2.9%	2	0.4%	24	4.7%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	1	0.9%	1	0.9%	3	2.6%	11	9.6%	16	13.9%	39	33.9%	36	31.3%	4	3.5%	0	0.0%	4	3.5%
中核市	計	58	100.0%	1	1.7%	0	0.0%	1	1.7%	6	10.3%	11	19.0%	14	24.1%	18	31.0%	3	5.2%	0	0.0%	4	6.9%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	1	1.2%	4	4.7%	4	4.7%	12	14.0%	22	25.6%	37	43.0%	3	3.5%	0	0.0%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	1	0.7%	3	2.0%	15	10.1%	19	12.8%	40	26.8%	57	38.3%	3	2.0%	1	0.7%	10	6.7%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%	3	5.2%	6	10.3%	12	20.7%	31	53.4%	1	1.7%	1	1.7%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	1	2.3%	4	9.1%	4	9.1%	9	20.5%	12	27.3%	13	29.5%	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.140 地域区分別 V-1 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈一般的な業務マニュアル〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	2	0.4%	9	1.8%	77	15.1%	228	44.7%	178	34.9%	16	3.1%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	3	4.2%	8	11.1%	39	54.2%	21	29.2%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	1	0.8%	3	2.4%	15	12.1%	46	37.1%	53	42.7%	6	4.8%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	1	2.1%	10	21.3%	22	46.8%	14	29.8%	0	0.0%
北信越地区	計	39	100.0%	1	2.6%	0	0.0%	6	15.4%	12	30.8%	17	43.6%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	9	13.0%	28	40.6%	29	42.0%	3	4.3%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	13	25.5%	26	51.0%	12	23.5%	0	0.0%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	2	1.9%	16	14.8%	55	50.9%	32	29.6%	3	2.8%

表NO.141 所在地区別 V-1 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈一般的な業務マニュアル〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	2	0.4%	9	1.8%	77	15.1%	228	44.7%	178	34.9%	16	3.1%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	1	0.9%	2	1.7%	13	11.3%	48	41.7%	50	43.5%	1	0.9%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	2	3.4%	6	10.3%	26	44.8%	24	41.4%	0	0.0%
中都市	計	86	100.0%	1	1.2%	0	0.0%	13	15.1%	43	50.0%	27	31.4%	2	2.3%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	2	1.3%	23	15.4%	65	43.6%	49	32.9%	10	6.7%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	2	3.4%	11	19.0%	27	46.6%	15	25.9%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	1	2.3%	11	25.0%	19	43.2%	13	29.5%	0	0.0%

表NO.142 地域区分別 V-2 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈最低基準以上の職員配置〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	0	0.0%	4	0.8%	45	8.8%	191	37.5%	259	50.8%	11	2.2%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	1	1.4%	3	4.2%	31	43.1%	37	51.4%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	0	0.0%	1	0.8%	13	10.5%	45	36.3%	62	50.0%	3	2.4%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	10.6%	18	38.3%	24	51.1%	0	0.0%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	12.8%	14	35.9%	18	46.2%	2	5.1%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	1	1.4%	5	7.2%	28	40.6%	31	44.9%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	5.9%	20	39.2%	28	54.9%	0	0.0%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	1	0.9%	11	10.2%	35	32.4%	59	54.6%	2	1.9%

表NO.143 所在地区別 V-2 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈最低基準以上の職員配置〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	0	0.0%	4	0.8%	45	8.8%	191	37.5%	259	50.8%	11	2.2%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	0	0.0%	2	1.7%	8	7.0%	40	34.8%	65	56.5%	0	0.0%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	13.8%	17	29.3%	33	56.9%	0	0.0%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	1	1.2%	8	9.3%	31	36.0%	46	53.5%	0	0.0%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	1	0.7%	12	8.1%	60	40.3%	67	45.0%	9	6.0%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	10.3%	25	43.1%	25	43.1%	2	3.4%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	6.8%	18	40.9%	23	52.3%	0	0.0%

表NO.144 地域区分別 V-3 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈保育士の上位資格〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	21	4.1%	50	9.8%	195	38.2%	167	32.7%	52	10.2%	25	4.9%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	4	5.6%	5	6.9%	32	44.4%	24	33.3%	6	8.3%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	5	4.0%	17	13.7%	44	35.5%	41	33.1%	8	6.5%	9	7.3%
東海地区	計	47	100.0%	3	6.4%	6	12.8%	18	38.3%	10	21.3%	8	17.0%	2	4.3%
北信越地区	計	39	100.0%	1	2.6%	5	12.8%	14	35.9%	16	41.0%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	3	4.3%	8	11.6%	23	33.3%	22	31.9%	7	10.1%	6	8.7%
中国・四国地区	計	51	100.0%	2	3.9%	3	5.9%	21	41.2%	19	37.3%	6	11.8%	0	0.0%
九州地区	計	108	100.0%	3	2.8%	6	5.6%	43	39.8%	35	32.4%	17	15.7%	4	3.7%

表NO.145 所在地区別 V-3 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈保育士の上位資格〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	21	4.1%	50	9.8%	195	38.2%	167	32.7%	52	10.2%	25	4.9%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	5	4.3%	14	12.2%	46	40.0%	39	33.9%	9	7.8%	2	1.7%
中核市	計	58	100.0%	2	3.4%	6	10.3%	25	43.1%	19	32.8%	5	8.6%	1	1.7%
中都市	計	86	100.0%	7	8.1%	9	10.5%	38	44.2%	23	26.7%	6	7.0%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	5	3.4%	11	7.4%	51	34.2%	46	30.9%	22	14.8%	14	9.4%
小都市B	計	58	100.0%	1	1.7%	6	10.3%	22	37.9%	20	34.5%	4	6.9%	5	8.6%
町・村	計	44	100.0%	1	2.3%	4	9.1%	13	29.5%	20	45.5%	6	13.6%	0	0.0%

表NO.146 地域区分別 V-4 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈保育士に付随する認定資格(乳児保育、保育相談)〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無効		無回答	
全国	計	510	100.0%	22	4.3%	62	12.2%	218	42.7%	154	30.2%	35	6.9%	2	0.4%	17	3.3%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	3	4.2%	4	5.6%	35	48.6%	24	33.3%	5	6.9%	0	0.0%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	7	5.6%	23	18.5%	52	41.9%	28	22.6%	7	5.6%	1	0.8%	6	4.8%
東海地区	計	47	100.0%	2	4.3%	6	12.8%	21	44.7%	14	29.8%	3	6.4%	0	0.0%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	6	15.4%	18	46.2%	11	28.2%	1	2.6%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	4	5.8%	9	13.0%	27	39.1%	21	30.4%	5	7.2%	0	0.0%	3	4.3%
中国・四国地区	計	51	100.0%	2	3.9%	6	11.8%	22	43.1%	19	37.3%	2	3.9%	0	0.0%	0	0.0%
九州地区	計	108	100.0%	4	3.7%	8	7.4%	43	39.8%	37	34.3%	12	11.1%	1	0.9%	3	2.8%

表NO.147 所在地区別 V-4 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈保育士に付随する認定資格(乳児保育、保育相談)〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無効		無回答	
総計	計	510	100.0%	22	4.3%	62	12.2%	218	42.7%	154	30.2%	35	6.9%	2	0.4%	17	3.3%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	4	3.5%	19	16.5%	54	47.0%	27	23.5%	10	8.7%	1	0.9%	0	0.0%
中核市	計	58	100.0%	4	6.9%	10	17.2%	20	34.5%	20	34.5%	3	5.2%	1	1.7%	0	0.0%
中都市	計	86	100.0%	6	7.0%	12	14.0%	39	45.3%	23	26.7%	4	4.7%	0	0.0%	2	2.3%
小都市A	計	149	100.0%	5	3.4%	11	7.4%	63	42.3%	46	30.9%	12	8.1%	0	0.0%	12	8.1%
小都市B	計	58	100.0%	2	3.4%	5	8.6%	24	41.4%	21	36.2%	3	5.2%	0	0.0%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	1	2.3%	5	11.4%	18	40.9%	17	38.6%	3	6.8%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.148 地域区分別 V-5 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈一般的なキャリアパスモデル〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	13	2.5%	35	6.9%	229	44.9%	163	32.0%	49	9.6%	21	4.1%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	1	1.4%	2	2.8%	40	55.6%	22	30.6%	6	8.3%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	5	4.0%	12	9.7%	47	37.9%	39	31.5%	14	11.3%	7	5.6%
東海地区	計	47	100.0%	2	4.3%	3	6.4%	22	46.8%	13	27.7%	5	10.6%	2	4.3%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	3	7.7%	16	41.0%	12	30.8%	4	10.3%	4	10.3%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	5	7.2%	25	36.2%	28	40.6%	6	8.7%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	2	3.9%	2	3.9%	25	49.0%	19	37.3%	3	5.9%	0	0.0%
九州地区	計	108	100.0%	2	1.9%	8	7.4%	54	50.0%	30	27.8%	11	10.2%	3	2.8%

表NO.149 所在地区別 V-5 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈一般的なキャリアパスモデル〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	13	2.5%	35	6.9%	229	44.9%	163	32.0%	49	9.6%	21	4.1%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	3	2.6%	7	6.1%	54	47.0%	35	30.4%	14	12.2%	2	1.7%
中核市	計	58	100.0%	1	1.7%	9	15.5%	23	39.7%	19	32.8%	6	10.3%	0	0.0%
中都市	計	86	100.0%	3	3.5%	9	10.5%	36	41.9%	30	34.9%	6	7.0%	2	2.3%
小都市A	計	149	100.0%	4	2.7%	6	4.0%	69	46.3%	41	27.5%	15	10.1%	14	9.4%
小都市B	計	58	100.0%	2	3.4%	2	3.4%	25	43.1%	21	36.2%	5	8.6%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	2	4.5%	22	50.0%	17	38.6%	3	6.8%	0	0.0%

表NO.150 地域区分別 V-6 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈給与に加算するための補助金〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	1	0.2%	2	0.4%	53	10.4%	193	37.8%	250	49.0%	11	2.2%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	1	1.4%	0	0.0%	8	11.1%	29	40.3%	33	45.8%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	13	10.5%	39	31.5%	70	56.5%	2	1.6%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	12.8%	18	38.3%	23	48.9%	0	0.0%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	10.3%	17	43.6%	15	38.5%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	8.7%	28	40.6%	32	46.4%	3	4.3%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	1	2.0%	2	3.9%	18	35.3%	30	58.8%	0	0.0%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	1	0.9%	14	13.0%	44	40.7%	47	43.5%	2	1.9%

表NO.151 所在地区別 V-6 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈給与に加算するための補助金〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	1	0.2%	2	0.4%	53	10.4%	193	37.8%	250	49.0%	11	2.2%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	11	9.6%	47	40.9%	57	49.6%	0	0.0%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	9	15.5%	23	39.7%	26	44.8%	0	0.0%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	2	2.3%	8	9.3%	34	39.5%	41	47.7%	1	1.2%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	14	9.4%	46	30.9%	81	54.4%	8	5.4%
小都市B	計	58	100.0%	1	1.7%	0	0.0%	5	8.6%	30	51.7%	20	34.5%	2	3.4%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	13.6%	13	29.5%	25	56.8%	0	0.0%

表NO.152 地域区分別 V-7 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈行政や団体が行うキャリアパスに対応した研修〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	5	1.0%	8	1.6%	109	21.4%	266	52.2%	105	20.6%	17	3.3%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	1	1.4%	0	0.0%	14	19.4%	41	56.9%	15	20.8%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	2	1.6%	1	0.8%	29	23.4%	56	45.2%	32	25.8%	4	3.2%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	1	2.1%	8	17.0%	28	59.6%	8	17.0%	2	4.3%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	1	2.6%	7	17.9%	22	56.4%	6	15.4%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	1	1.4%	14	20.3%	33	47.8%	17	24.6%	3	4.3%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	1	2.0%	12	23.5%	27	52.9%	11	21.6%	0	0.0%
九州地区	計	108	100.0%	1	0.9%	3	2.8%	25	23.1%	59	54.6%	16	14.8%	4	3.7%

表NO.153 所在地区別 V-7 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈行政や団体が行うキャリアパスに対応した研修〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	5	1.0%	8	1.6%	109	21.4%	266	52.2%	105	20.6%	17	3.3%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	2	1.7%	2	1.7%	24	20.9%	60	52.2%	27	23.5%	0	0.0%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	3	5.2%	16	27.6%	29	50.0%	9	15.5%	1	1.7%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	1	1.2%	23	26.7%	38	44.2%	22	25.6%	2	2.3%
小都市A	計	149	100.0%	1	0.7%	1	0.7%	22	14.8%	84	56.4%	29	19.5%	12	8.1%
小都市B	計	58	100.0%	2	3.4%	0	0.0%	12	20.7%	33	56.9%	9	15.5%	2	3.4%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	1	2.3%	12	27.3%	22	50.0%	9	20.5%	0	0.0%

表NO.154 地域区分別 V-8 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈研修を可能にする人的配置〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	1	0.2%	4	0.8%	48	9.4%	221	43.3%	224	43.9%	12	2.4%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	1	1.4%	4	5.6%	40	55.6%	27	37.5%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	0	0.0%	1	0.8%	11	8.9%	49	39.5%	60	48.4%	3	2.4%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	12.8%	23	48.9%	17	36.2%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%	18	46.2%	15	38.5%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	10.1%	27	39.1%	32	46.4%	3	4.3%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	1	2.0%	4	7.8%	23	45.1%	23	45.1%	0	0.0%
九州地区	計	108	100.0%	1	0.9%	1	0.9%	13	12.0%	41	38.0%	50	46.3%	2	1.9%

表NO.155 所在地区別 V-8 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈研修を可能にする人的配置〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	1	0.2%	4	0.8%	48	9.4%	221	43.3%	224	43.9%	12	2.4%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	0	0.0%	1	0.9%	10	8.7%	47	40.9%	57	49.6%	0	0.0%
中核市	計	58	100.0%	1	1.7%	1	1.7%	10	17.2%	17	29.3%	29	50.0%	0	0.0%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	10	11.6%	37	43.0%	38	44.2%	1	1.2%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	12	8.1%	65	43.6%	63	42.3%	9	6.0%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	1	1.7%	2	3.4%	34	58.6%	19	32.8%	2	3.4%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	1	2.3%	4	9.1%	21	47.7%	18	40.9%	0	0.0%



表NO.156 地域区分別 V-9 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈研修を可能にする補助金〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	1	0.2%	3	0.6%	53	10.4%	198	38.8%	240	47.1%	15	2.9%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	1	1.4%	0	0.0%	6	8.3%	32	44.4%	33	45.8%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	0	0.0%	1	0.8%	11	8.9%	48	38.7%	59	47.6%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	10.6%	20	42.6%	21	44.7%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%	19	48.7%	14	35.9%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	10	14.5%	17	24.6%	39	56.5%	3	4.3%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	1	2.0%	3	5.9%	19	37.3%	28	54.9%	0	0.0%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	1	0.9%	15	13.9%	43	39.8%	46	42.6%	3	2.8%

表NO.157 所在地区別 V-9 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈研修を可能にする補助金〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	1	0.2%	3	0.6%	53	10.4%	198	38.8%	240	47.1%	15	2.9%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	7.0%	40	34.8%	66	57.4%	1	0.9%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	1	1.7%	12	20.7%	18	31.0%	26	44.8%	1	1.7%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	1	1.2%	13	15.1%	33	38.4%	37	43.0%	2	2.3%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	9	6.0%	56	37.6%	75	50.3%	9	6.0%
小都市B	計	58	100.0%	1	1.7%	1	1.7%	7	12.1%	32	55.2%	15	25.9%	2	3.4%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	9.1%	19	43.2%	21	47.7%	0	0.0%

表NO.158 地域区分別 V-10 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈キャリアパスに対応した保育所運営費の改善〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	3	0.6%	2	0.4%	58	11.4%	223	43.7%	205	40.2%	19	3.7%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	1	1.4%	0	0.0%	7	9.7%	34	47.2%	29	40.3%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	2	1.6%	1	0.8%	16	12.9%	52	41.9%	47	37.9%	6	4.8%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	8.5%	18	38.3%	23	48.9%	2	4.3%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%	24	61.5%	10	25.6%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	8.7%	28	40.6%	31	44.9%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	9.8%	22	43.1%	23	45.1%	1	2.0%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	1	0.9%	18	16.7%	45	41.7%	42	38.9%	2	1.9%

表NO.159 所在地区別 V-10 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈キャリアパスに対応した保育所運営費の改善〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	3	0.6%	2	0.4%	58	11.4%	223	43.7%	205	40.2%	19	3.7%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	1	0.9%	0	0.0%	13	11.3%	49	42.6%	50	43.5%	2	1.7%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	1	1.7%	9	15.5%	25	43.1%	23	39.7%	0	0.0%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	1	1.2%	10	11.6%	42	48.8%	30	34.9%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	12	8.1%	61	40.9%	65	43.6%	11	7.4%
小都市B	計	58	100.0%	2	3.4%	0	0.0%	8	13.8%	28	48.3%	18	31.0%	2	3.4%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	13.6%	18	40.9%	19	43.2%	1	2.3%

表NO.160 地域区分別 V-11 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈運営費等の弾力的運用〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無効		無回答	
全国	計	510	100.0%	1	0.2%	9	1.8%	71	13.9%	229	44.9%	182	35.7%	2	0.4%	16	3.1%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	1	1.4%	2	2.8%	8	11.1%	37	51.4%	22	30.6%	0	0.0%	2	2.8%
関東地区	計	124	100.0%	0	0.0%	1	0.8%	21	16.9%	50	40.3%	44	35.5%	2	1.6%	6	4.8%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	17.0%	23	48.9%	16	34.0%	0	0.0%	0	0.0%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	17.9%	23	59.0%	6	15.4%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	1	1.4%	9	13.0%	31	44.9%	25	36.2%	0	0.0%	3	4.3%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	1	2.0%	6	11.8%	18	35.3%	26	51.0%	0	0.0%	0	0.0%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	4	3.7%	12	11.1%	47	43.5%	43	39.8%	0	0.0%	2	1.9%

表NO.161 所在地区別 V-11 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈運営費等の弾力的運用〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無効		無回答	
総計	計	510	100.0%	1	0.2%	9	1.8%	71	13.9%	229	44.9%	182	35.7%	2	0.4%	16	3.1%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	0	0.0%	1	0.9%	15	13.0%	56	48.7%	42	36.5%	1	0.9%	0	0.0%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	2	3.4%	7	12.1%	29	50.0%	20	34.5%	0	0.0%	0	0.0%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	1	1.2%	15	17.4%	35	40.7%	31	36.0%	1	1.2%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	1	0.7%	2	1.3%	15	10.1%	63	42.3%	58	38.9%	0	0.0%	10	6.7%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	3	5.2%	8	13.8%	29	50.0%	15	25.9%	0	0.0%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	11	25.0%	17	38.6%	16	36.4%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.162 地域区分別 V-12 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈保育士だけでなく幼稚園教諭、その他のキャリアパス制度〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無効		無回答	
全国	計	510	100.0%	12	2.4%	20	3.9%	185	36.3%	199	39.0%	70	13.7%	1	0.2%	23	4.5%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	2	2.8%	0	0.0%	25	34.7%	36	50.0%	7	9.7%	0	0.0%	2	2.8%
関東地区	計	124	100.0%	4	3.2%	5	4.0%	49	39.5%	37	29.8%	18	14.5%	1	0.8%	10	8.1%
東海地区	計	47	100.0%	1	2.1%	2	4.3%	20	42.6%	16	34.0%	7	14.9%	0	0.0%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	1	2.6%	11	28.2%	18	46.2%	6	15.4%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	1	1.4%	22	31.9%	30	43.5%	12	17.4%	0	0.0%	3	4.3%
中国・四国地区	計	51	100.0%	2	3.9%	3	5.9%	16	31.4%	25	49.0%	5	9.8%	0	0.0%	0	0.0%
九州地区	計	108	100.0%	2	1.9%	8	7.4%	42	38.9%	37	34.3%	15	13.9%	0	0.0%	4	3.7%

表NO.163 所在地区別 V-12 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈保育士だけでなく幼稚園教諭、その他のキャリアパス制度〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無効		無回答	
総計	計	510	100.0%	12	2.4%	20	3.9%	185	36.3%	199	39.0%	70	13.7%	1	0.2%	23	4.5%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	3	2.6%	4	3.5%	39	33.9%	42	36.5%	25	21.7%	0	0.0%	2	1.7%
中核市	計	58	100.0%	2	3.4%	2	3.4%	23	39.7%	25	43.1%	5	8.6%	0	0.0%	1	1.7%
中都市	計	86	100.0%	2	2.3%	5	5.8%	26	30.2%	38	44.2%	12	14.0%	0	0.0%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	2	1.3%	4	2.7%	61	40.9%	51	34.2%	17	11.4%	1	0.7%	13	8.7%
小都市B	計	58	100.0%	3	5.2%	3	5.2%	22	37.9%	23	39.7%	3	5.2%	0	0.0%	4	6.9%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	2	4.5%	14	31.8%	20	45.5%	8	18.2%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.164 地域区分別 V-13 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈保育士確保のしくみ〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	2	0.4%	6	1.2%	81	15.9%	188	36.9%	219	42.9%	14	2.7%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	1	1.4%	1	1.4%	6	8.3%	34	47.2%	30	41.7%	0	0.0%
関東地区	計	124	100.0%	0	0.0%	1	0.8%	25	20.2%	34	27.4%	60	48.4%	4	3.2%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	9	19.1%	22	46.8%	15	31.9%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	15.4%	18	46.2%	12	30.8%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	0	0.0%	7	10.1%	26	37.7%	32	46.4%	3	4.3%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	2	3.9%	10	19.6%	17	33.3%	22	43.1%	0	0.0%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	2	1.9%	18	16.7%	37	34.3%	48	44.4%	3	2.8%

表NO.165 所在地区別 V-13 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈保育士確保のしくみ〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	2	0.4%	6	1.2%	81	15.9%	188	36.9%	219	42.9%	14	2.7%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	23	20.0%	37	32.2%	55	47.8%	0	0.0%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	2	3.4%	11	19.0%	17	29.3%	27	46.6%	1	1.7%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	1	1.2%	15	17.4%	31	36.0%	38	44.2%	1	1.2%
小都市A	計	149	100.0%	2	1.3%	1	0.7%	20	13.4%	52	34.9%	65	43.6%	9	6.0%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	1	1.7%	6	10.3%	30	51.7%	18	31.0%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	1	2.3%	6	13.6%	21	47.7%	16	36.4%	0	0.0%

表NO.166 地域区分別 V-14 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈キャリアパスに対応した求人システム〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	18	3.5%	29	5.7%	149	29.2%	196	38.4%	99	19.4%	19	3.7%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	1	1.4%	3	4.2%	27	37.5%	31	43.1%	9	12.5%	1	1.4%
関東地区	計	124	100.0%	5	4.0%	5	4.0%	40	32.3%	39	31.5%	30	24.2%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	2	4.3%	5	10.6%	12	25.5%	17	36.2%	10	21.3%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	3	7.7%	8	20.5%	16	41.0%	7	17.9%	5	12.8%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	1	1.4%	18	26.1%	31	44.9%	15	21.7%	3	4.3%
中国・四国地区	計	51	100.0%	4	7.8%	4	7.8%	10	19.6%	24	47.1%	8	15.7%	1	2.0%
九州地区	計	108	100.0%	5	4.6%	8	7.4%	34	31.5%	38	35.2%	20	18.5%	3	2.8%

表NO.167 所在地区別 V-14 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈キャリアパスに対応した求人システム〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	18	3.5%	29	5.7%	149	29.2%	196	38.4%	99	19.4%	19	3.7%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	2	1.7%	6	5.2%	36	31.3%	40	34.8%	31	27.0%	0	0.0%
中核市	計	58	100.0%	3	5.2%	5	8.6%	17	29.3%	23	39.7%	10	17.2%	0	0.0%
中都市	計	86	100.0%	5	5.8%	4	4.7%	26	30.2%	33	38.4%	16	18.6%	2	2.3%
小都市A	計	149	100.0%	5	3.4%	8	5.4%	41	27.5%	54	36.2%	28	18.8%	13	8.7%
小都市B	計	58	100.0%	2	3.4%	4	6.9%	14	24.1%	28	48.3%	6	10.3%	4	6.9%
町・村	計	44	100.0%	1	2.3%	2	4.5%	15	34.1%	18	40.9%	8	18.2%	0	0.0%

表NO.168 地域区分別 V-15 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈その他〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	1	0.2%	2	0.4%	3	0.6%	3	0.6%	11	2.2%	490	96.1%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	1	1.4%	70	97.2%
関東地区	計	124	100.0%	0	0.0%	2	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	5	4.0%	117	94.4%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	47	100.0%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%	37	94.9%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%	2	2.9%	66	95.7%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	2	3.9%	0	0.0%	48	94.1%
九州地区	計	108	100.0%	1	0.9%	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%	1	0.9%	105	97.2%

表NO.169 所在地区別 V-15 保育所でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈その他〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	1	0.2%	2	0.4%	3	0.6%	3	0.6%	11	2.2%	490	96.1%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.7%	113	98.3%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	57	98.3%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.3%	83	96.5%
小都市A	計	149	100.0%	1	0.7%	1	0.7%	1	0.7%	2	1.3%	6	4.0%	138	92.6%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	1	1.7%	0	0.0%	56	96.6%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%	43	97.7%

表NO.170 地域区分別 VI-1 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈一般的な業務マニュアル〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	4	0.8%	7	1.4%	78	15.3%	220	43.1%	176	34.5%	25	4.9%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	11	15.3%	38	52.8%	19	26.4%	4	5.6%
関東地区	計	124	100.0%	2	1.6%	4	3.2%	19	15.3%	43	34.7%	49	39.5%	7	5.6%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	1	2.1%	12	25.5%	19	40.4%	15	31.9%	0	0.0%
北信越地区	計	39	100.0%	1	2.6%	0	0.0%	8	20.5%	11	28.2%	16	41.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	7.2%	35	50.7%	25	36.2%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	1	2.0%	10	19.6%	20	39.2%	17	33.3%	3	5.9%
九州地区	計	108	100.0%	1	0.9%	1	0.9%	13	12.0%	54	50.0%	35	32.4%	4	3.7%

表NO.171 所在地区別 VI-1 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈一般的な業務マニュアル〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	4	0.8%	7	1.4%	78	15.3%	220	43.1%	176	34.5%	25	4.9%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	1	0.9%	2	1.7%	13	11.3%	47	40.9%	50	43.5%	2	1.7%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	1	1.7%	9	15.5%	21	36.2%	25	43.1%	2	3.4%
中都市	計	86	100.0%	1	1.2%	2	2.3%	12	14.0%	42	48.8%	28	32.6%	1	1.2%
小都市A	計	149	100.0%	2	1.3%	0	0.0%	21	14.1%	62	41.6%	49	32.9%	15	10.1%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	1	1.7%	8	13.8%	31	53.4%	13	22.4%	5	8.6%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	1	2.3%	15	34.1%	17	38.6%	11	25.0%	0	0.0%

表NO.172 地域区分別 VI-2 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈最低基準以上の職員配置〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	0	0.0%	3	0.6%	27	5.3%	152	29.8%	310	60.8%	18	3.5%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	4.2%	27	37.5%	40	55.6%	2	2.8%
関東地区	計	124	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	9	7.3%	30	24.2%	80	64.5%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%	16	34.0%	30	63.8%	0	0.0%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	7.7%	13	33.3%	20	51.3%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	1	1.4%	4	5.8%	24	34.8%	36	52.2%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	1	2.0%	1	2.0%	14	27.5%	34	66.7%	1	2.0%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	1	0.9%	6	5.6%	28	25.9%	70	64.8%	3	2.8%

表NO.173 所在地区別 VI-2 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈最低基準以上の職員配置〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	0	0.0%	3	0.6%	27	5.3%	152	29.8%	310	60.8%	18	3.5%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	0	0.0%	1	0.9%	6	5.2%	31	27.0%	75	65.2%	2	1.7%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	8.6%	15	25.9%	36	62.1%	2	3.4%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	2	2.3%	2	2.3%	31	36.0%	51	59.3%	0	0.0%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	5.4%	39	26.2%	91	61.1%	11	7.4%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.4%	23	39.7%	30	51.7%	3	5.2%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	9.1%	13	29.5%	27	61.4%	0	0.0%

表NO.174 地域区分別 VI-3 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈保育士の上位資格〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	13	2.5%	29	5.7%	145	28.4%	189	37.1%	108	21.2%	26	5.1%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	1	1.4%	3	4.2%	21	29.2%	33	45.8%	11	15.3%	3	4.2%
関東地区	計	124	100.0%	4	3.2%	9	7.3%	44	35.5%	35	28.2%	25	20.2%	7	5.6%
東海地区	計	47	100.0%	3	6.4%	4	8.5%	11	23.4%	14	29.8%	13	27.7%	2	4.3%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	2	5.1%	13	33.3%	15	38.5%	6	15.4%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	2	2.9%	7	10.1%	16	23.2%	27	39.1%	12	17.4%	5	7.2%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	2	3.9%	10	19.6%	24	47.1%	13	25.5%	2	3.9%
九州地区	計	108	100.0%	3	2.8%	2	1.9%	30	27.8%	41	38.0%	28	25.9%	4	3.7%

表NO.175 所在地区別 VI-3 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈保育士の上位資格〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	13	2.5%	29	5.7%	145	28.4%	189	37.1%	108	21.2%	26	5.1%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	4	3.5%	10	8.7%	28	24.3%	45	39.1%	26	22.6%	2	1.7%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	4	6.9%	20	34.5%	21	36.2%	11	19.0%	2	3.4%
中都市	計	86	100.0%	4	4.7%	4	4.7%	32	37.2%	27	31.4%	16	18.6%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	3	2.0%	6	4.0%	40	26.8%	51	34.2%	34	22.8%	15	10.1%
小都市B	計	58	100.0%	1	1.7%	4	6.9%	14	24.1%	25	43.1%	10	17.2%	4	6.9%
町・村	計	44	100.0%	1	2.3%	1	2.3%	11	25.0%	20	45.5%	11	25.0%	0	0.0%

表NO.176 地域区分別 VI-4 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈保育士に付随する認定資格（乳児保育、保育相談）〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	11	2.2%	38	7.5%	148	29.0%	198	38.8%	87	17.1%	28	5.5%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	1	1.4%	2	2.8%	17	23.6%	37	51.4%	11	15.3%	4	5.6%
関東地区	計	124	100.0%	6	4.8%	11	8.9%	43	34.7%	37	29.8%	18	14.5%	9	7.3%
東海地区	計	47	100.0%	1	2.1%	6	12.8%	13	27.7%	16	34.0%	10	21.3%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	4	10.3%	11	28.2%	18	46.2%	3	7.7%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	6	8.7%	19	27.5%	28	40.6%	11	15.9%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	2	3.9%	18	35.3%	19	37.3%	10	19.6%	2	3.9%
九州地区	計	108	100.0%	2	1.9%	7	6.5%	27	25.0%	43	39.8%	24	22.2%	5	4.6%

表NO.177 所在地区別 VI-4 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈保育士に付随する認定資格（乳児保育、保育相談）〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	11	2.2%	38	7.5%	148	29.0%	198	38.8%	87	17.1%	28	5.5%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	1	0.9%	12	10.4%	35	30.4%	42	36.5%	23	20.0%	2	1.7%
中核市	計	58	100.0%	1	1.7%	8	13.8%	17	29.3%	20	34.5%	10	17.2%	2	3.4%
中都市	計	86	100.0%	5	5.8%	6	7.0%	27	31.4%	32	37.2%	12	14.0%	4	4.7%
小都市A	計	149	100.0%	3	2.0%	8	5.4%	42	28.2%	56	37.6%	25	16.8%	15	10.1%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	3	5.2%	12	20.7%	30	51.7%	8	13.8%	5	8.6%
町・村	計	44	100.0%	1	2.3%	1	2.3%	15	34.1%	18	40.9%	9	20.5%	0	0.0%

表NO.178 地域区分別 VI-5 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈一般的なキャリアパスモデル〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無効		無回答	
全国	計	510	100.0%	10	2.0%	22	4.3%	142	27.8%	217	42.5%	90	17.6%	1	0.2%	28	5.5%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	2	2.8%	3	4.2%	18	25.0%	37	51.4%	9	12.5%	0	0.0%	3	4.2%
関東地区	計	124	100.0%	5	4.0%	7	5.6%	34	27.4%	43	34.7%	26	21.0%	0	0.0%	9	7.3%
東海地区	計	47	100.0%	1	2.1%	2	4.3%	13	27.7%	21	44.7%	9	19.1%	0	0.0%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	1	2.6%	11	28.2%	20	51.3%	4	10.3%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	2	2.9%	14	20.3%	36	52.2%	13	18.8%	0	0.0%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	2	3.9%	15	29.4%	22	43.1%	10	19.6%	0	0.0%	2	3.9%
九州地区	計	108	100.0%	2	1.9%	5	4.6%	37	34.3%	38	35.2%	19	17.6%	1	0.9%	6	5.6%

表NO.179 所在地区別 VI-5 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈一般的なキャリアパスモデル〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無効		無回答	
総計	計	510	100.0%	10	2.0%	22	4.3%	142	27.8%	217	42.5%	90	17.6%	1	0.2%	28	5.5%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	2	1.7%	3	2.6%	34	29.6%	45	39.1%	29	25.2%	0	0.0%	2	1.7%
中核市	計	58	100.0%	1	1.7%	7	12.1%	17	29.3%	20	34.5%	11	19.0%	0	0.0%	2	3.4%
中都市	計	86	100.0%	1	1.2%	7	8.1%	20	23.3%	46	53.5%	9	10.5%	0	0.0%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	5	3.4%	1	0.7%	41	27.5%	62	41.6%	24	16.1%	1	0.7%	15	10.1%
小都市B	計	58	100.0%	1	1.7%	2	3.4%	15	25.9%	27	46.6%	8	13.8%	0	0.0%	5	8.6%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	2	4.5%	15	34.1%	17	38.6%	9	20.5%	0	0.0%	1	2.3%

表NO.180 地域区分別 VI-6 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈給与に加算するための補助金〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	0	0.0%	1	0.2%	28	5.5%	154	30.2%	307	60.2%	20	3.9%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.8%	25	34.7%	42	58.3%	3	4.2%
関東地区	計	124	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	10	8.1%	31	25.0%	79	63.7%	4	3.2%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	6.4%	13	27.7%	31	66.0%	0	0.0%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	14	35.9%	21	53.8%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	4.3%	21	30.4%	41	59.4%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	5.9%	15	29.4%	32	62.7%	1	2.0%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	1	0.9%	6	5.6%	35	32.4%	61	56.5%	5	4.6%

表NO.181 所在地区別 VI-6 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈給与に加算するための補助金〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	0	0.0%	1	0.2%	28	5.5%	154	30.2%	307	60.2%	20	3.9%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	3.5%	30	26.1%	80	69.6%	1	0.9%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	12.1%	21	36.2%	28	48.3%	2	3.4%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	1	1.2%	6	7.0%	29	33.7%	48	55.8%	2	2.3%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	4.7%	36	24.2%	96	64.4%	10	6.7%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	5.2%	26	44.8%	24	41.4%	5	8.6%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%	12	27.3%	31	70.5%	0	0.0%

表NO.182 地域区分別 VI-7 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈行政や団体が行うキャリアパスに対応した研修〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	2	0.4%	5	1.0%	66	12.9%	222	43.5%	191	37.5%	24	4.7%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	11.1%	32	44.4%	28	38.9%	4	5.6%
関東地区	計	124	100.0%	1	0.8%	1	0.8%	21	16.9%	39	31.5%	56	45.2%	6	4.8%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	10.6%	26	55.3%	15	31.9%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	1	2.6%	4	10.3%	19	48.7%	12	30.8%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	1	1.4%	4	5.8%	27	39.1%	33	47.8%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	1	2.0%	7	13.7%	26	51.0%	15	29.4%	2	3.9%
九州地区	計	108	100.0%	1	0.9%	1	0.9%	17	15.7%	53	49.1%	32	29.6%	4	3.7%

表NO.183 所在地区別 VI-7 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈行政や団体が行うキャリアパスに対応した研修〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	2	0.4%	5	1.0%	66	12.9%	222	43.5%	191	37.5%	24	4.7%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	2	1.7%	1	0.9%	10	8.7%	47	40.9%	53	46.1%	2	1.7%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	3	5.2%	11	19.0%	25	43.1%	17	29.3%	2	3.4%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	12	14.0%	42	48.8%	30	34.9%	2	2.3%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	21	14.1%	57	38.3%	57	38.3%	14	9.4%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	10.3%	32	55.2%	16	27.6%	4	6.9%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	1	2.3%	6	13.6%	19	43.2%	18	40.9%	0	0.0%

表NO.184 地域区分別 VI-8 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈研修を可能にする人的配置〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	0	0.0%	4	0.8%	32	6.3%	178	34.9%	273	53.5%	23	4.5%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	5.6%	30	41.7%	33	45.8%	5	6.9%
関東地区	計	124	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	9	7.3%	41	33.1%	69	55.6%	5	4.0%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.3%	16	34.0%	28	59.6%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%	18	46.2%	16	41.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.9%	23	33.3%	40	58.0%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	2	3.9%	3	5.9%	16	31.4%	29	56.9%	1	2.0%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	2	1.9%	10	9.3%	34	31.5%	58	53.7%	4	3.7%

表NO.185 所在地区別 VI-8 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈研修を可能にする人的配置〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	0	0.0%	4	0.8%	32	6.3%	178	34.9%	273	53.5%	23	4.5%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.7%	35	30.4%	75	65.2%	3	2.6%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	2	3.4%	7	12.1%	17	29.3%	30	51.7%	2	3.4%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	1	1.2%	5	5.8%	38	44.2%	40	46.5%	2	2.3%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	11	7.4%	44	29.5%	82	55.0%	12	8.1%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	6.9%	28	48.3%	22	37.9%	4	6.9%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	1	2.3%	3	6.8%	16	36.4%	24	54.5%	0	0.0%

表NO.186 地域区分別 VI-9 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈研修を可能にする補助金〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	0	0.0%	2	0.4%	27	5.3%	153	30.0%	307	60.2%	21	4.1%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.8%	23	31.9%	44	61.1%	3	4.2%
関東地区	計	124	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	9	7.3%	33	26.6%	78	62.9%	4	3.2%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.3%	15	31.9%	29	61.7%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%	14	35.9%	20	51.3%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	4.3%	18	26.1%	44	63.8%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	1	2.0%	2	3.9%	16	31.4%	31	60.8%	1	2.0%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	1	0.9%	7	6.5%	34	31.5%	61	56.5%	5	4.6%

表NO.187 所在地区別 VI-9 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈研修を可能にする補助金〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	0	0.0%	2	0.4%	27	5.3%	153	30.0%	307	60.2%	21	4.1%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.6%	29	25.2%	82	71.3%	1	0.9%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	1	1.7%	6	10.3%	22	37.9%	27	46.6%	2	3.4%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	1	1.2%	5	5.8%	29	33.7%	48	55.8%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	4.0%	35	23.5%	97	65.1%	11	7.4%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	6.9%	26	44.8%	24	41.4%	4	6.9%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	6.8%	12	27.3%	29	65.9%	0	0.0%



表NO.188 地域区分別 VI-10 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について（キャリアパスに対応した保育所運営費の改善）

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	1	0.2%	1	0.2%	36	7.1%	170	33.3%	280	54.9%	22	4.3%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	6.9%	22	30.6%	42	58.3%	3	4.2%
関東地区	計	124	100.0%	1	0.8%	0	0.0%	10	8.1%	40	32.3%	67	54.0%	6	4.8%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%	19	40.4%	26	55.3%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	18	46.2%	17	43.6%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	4.3%	23	33.3%	39	56.5%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.9%	17	33.3%	31	60.8%	1	2.0%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	1	0.9%	14	13.0%	31	28.7%	58	53.7%	4	3.7%

表NO.189 所在地区別 VI-10 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について（キャリアパスに対応した保育所運営費の改善）

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	1	0.2%	1	0.2%	36	7.1%	170	33.3%	280	54.9%	22	4.3%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	1	0.9%	0	0.0%	6	5.2%	30	26.1%	77	67.0%	1	0.9%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	1	1.7%	8	13.8%	22	37.9%	25	43.1%	2	3.4%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	5.8%	32	37.2%	47	54.7%	2	2.3%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	5.4%	45	30.2%	83	55.7%	13	8.7%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	12.1%	26	44.8%	21	36.2%	4	6.9%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.5%	15	34.1%	27	61.4%	0	0.0%

表NO.190 地域区分別 VI-11 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について（運営費等の弾力的運用）

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無効		無回答	
全国	計	510	100.0%	1	0.2%	3	0.6%	54	10.6%	181	35.5%	245	48.0%	1	0.2%	25	4.9%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	9.7%	26	36.1%	34	47.2%	0	0.0%	5	6.9%
関東地区	計	124	100.0%	1	0.8%	0	0.0%	19	15.3%	36	29.0%	61	49.2%	0	0.0%	7	5.6%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	12.8%	19	40.4%	21	44.7%	0	0.0%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%	20	51.3%	14	35.9%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	2	2.9%	5	7.2%	24	34.8%	33	47.8%	1	1.4%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	5.9%	22	43.1%	25	49.0%	0	0.0%	1	2.0%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	1	0.9%	12	11.1%	34	31.5%	57	52.8%	0	0.0%	4	3.7%

表NO.191 所在地区別 VI-11 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について（運営費等の弾力的運用）

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無効		無回答	
総計	計	510	100.0%	1	0.2%	3	0.6%	54	10.6%	181	35.5%	245	48.0%	1	0.2%	25	4.9%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	0	0.0%	2	1.7%	11	9.6%	40	34.8%	60	52.2%	0	0.0%	2	1.7%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	13.8%	25	43.1%	23	39.7%	0	0.0%	2	3.4%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	13	15.1%	30	34.9%	40	46.5%	1	1.2%	2	2.3%
小都市A	計	149	100.0%	0	0.0%	1	0.7%	11	7.4%	45	30.2%	79	53.0%	0	0.0%	13	8.7%
小都市B	計	58	100.0%	1	1.7%	0	0.0%	6	10.3%	26	44.8%	19	32.8%	0	0.0%	6	10.3%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	11.4%	15	34.1%	24	54.5%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.192 地域区分別 VI-12 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈保育士だけでなく幼稚園教諭、その他のキャリアパス制度〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無効		無回答	
全国	計	510	100.0%	10	2.0%	14	2.7%	136	26.7%	211	41.4%	109	21.4%	1	0.2%	29	5.7%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	1	1.4%	0	0.0%	15	20.8%	38	52.8%	15	20.8%	0	0.0%	3	4.2%
関東地区	計	124	100.0%	4	3.2%	6	4.8%	34	27.4%	43	34.7%	27	21.8%	0	0.0%	10	8.1%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	1	2.1%	14	29.8%	20	42.6%	11	23.4%	0	0.0%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	1	2.6%	11	28.2%	17	43.6%	7	17.9%	0	0.0%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	1	1.4%	16	23.2%	29	42.0%	17	24.6%	0	0.0%	5	7.2%
中国・四国地区	計	51	100.0%	1	2.0%	1	2.0%	14	27.5%	23	45.1%	10	19.6%	1	2.0%	1	2.0%
九州地区	計	108	100.0%	3	2.8%	4	3.7%	32	29.6%	41	38.0%	22	20.4%	0	0.0%	6	5.6%

表NO.193 所在地区別 VI-12 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈保育士だけでなく幼稚園教諭、その他のキャリアパス制度〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無効		無回答	
総計	計	510	100.0%	10	2.0%	14	2.7%	136	26.7%	211	41.4%	109	21.4%	1	0.2%	29	5.7%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	3	2.6%	4	3.5%	23	20.0%	46	40.0%	36	31.3%	0	0.0%	3	2.6%
中核市	計	58	100.0%	2	3.4%	2	3.4%	15	25.9%	27	46.6%	10	17.2%	0	0.0%	2	3.4%
中都市	計	86	100.0%	1	1.2%	4	4.7%	27	31.4%	35	40.7%	14	16.3%	0	0.0%	5	5.8%
小都市A	計	149	100.0%	2	1.3%	2	1.3%	43	28.9%	58	38.9%	30	20.1%	0	0.0%	14	9.4%
小都市B	計	58	100.0%	2	3.4%	1	1.7%	16	27.6%	28	48.3%	6	10.3%	0	0.0%	5	8.6%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	1	2.3%	12	27.3%	17	38.6%	13	29.5%	1	2.3%	0	0.0%

表NO.194 地域区分別 VI-13 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈保育士確保のしくみ〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	2	0.4%	5	1.0%	62	12.2%	162	31.8%	256	50.2%	23	4.5%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	1	1.4%	1	1.4%	5	6.9%	27	37.5%	34	47.2%	4	5.6%
関東地区	計	124	100.0%	0	0.0%	2	1.6%	13	10.5%	34	27.4%	69	55.6%	6	4.8%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	14.9%	18	38.3%	21	44.7%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	12.8%	13	33.3%	18	46.2%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	0	0.0%	6	8.7%	22	31.9%	36	52.2%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	1	2.0%	10	19.6%	12	23.5%	27	52.9%	1	2.0%
九州地区	計	108	100.0%	0	0.0%	1	0.9%	16	14.8%	36	33.3%	51	47.2%	4	3.7%

表NO.195 所在地区別 VI-13 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈保育士確保のしくみ〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	2	0.4%	5	1.0%	62	12.2%	162	31.8%	256	50.2%	23	4.5%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	16	13.9%	30	26.1%	67	58.3%	2	1.7%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	2	3.4%	9	15.5%	15	25.9%	30	51.7%	2	3.4%
中都市	計	86	100.0%	0	0.0%	3	3.5%	10	11.6%	31	36.0%	38	44.2%	4	4.7%
小都市A	計	149	100.0%	2	1.3%	0	0.0%	14	9.4%	49	32.9%	73	49.0%	11	7.4%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	12.1%	24	41.4%	23	39.7%	4	6.9%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	13.6%	13	29.5%	25	56.8%	0	0.0%

表NO.196 地域区分別 VI-14 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈キャリアパスに対応した求人システム〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	11	2.2%	20	3.9%	104	20.4%	198	38.8%	151	29.6%	26	5.1%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	1	1.4%	2	2.8%	14	19.4%	33	45.8%	18	25.0%	4	5.6%
関東地区	計	124	100.0%	2	1.6%	7	5.6%	23	18.5%	45	36.3%	40	32.3%	7	5.6%
東海地区	計	47	100.0%	1	2.1%	2	4.3%	10	21.3%	18	38.3%	15	31.9%	1	2.1%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	1	2.6%	8	20.5%	15	38.5%	12	30.8%	3	7.7%
近畿地区	計	69	100.0%	1	1.4%	1	1.4%	12	17.4%	29	42.0%	22	31.9%	4	5.8%
中国・四国地区	計	51	100.0%	2	3.9%	1	2.0%	10	19.6%	19	37.3%	17	33.3%	2	3.9%
九州地区	計	108	100.0%	4	3.7%	6	5.6%	27	25.0%	39	36.1%	27	25.0%	5	4.6%

表NO.197 所在地区別 VI-14 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈キャリアパスに対応した求人システム〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	11	2.2%	20	3.9%	104	20.4%	198	38.8%	151	29.6%	26	5.1%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	2	1.7%	4	3.5%	21	18.3%	41	35.7%	46	40.0%	1	0.9%
中核市	計	58	100.0%	2	3.4%	5	8.6%	11	19.0%	20	34.5%	18	31.0%	2	3.4%
中都市	計	86	100.0%	3	3.5%	5	5.8%	17	19.8%	34	39.5%	24	27.9%	3	3.5%
小都市A	計	149	100.0%	3	2.0%	5	3.4%	30	20.1%	61	40.9%	37	24.8%	13	8.7%
小都市B	計	58	100.0%	1	1.7%	0	0.0%	14	24.1%	23	39.7%	13	22.4%	7	12.1%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	1	2.3%	11	25.0%	19	43.2%	13	29.5%	0	0.0%

表NO.198 地域区分別 VI-15 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈その他〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
全国	計	510	100.0%	2	0.4%	0	0.0%	5	1.0%	12	2.4%	18	3.5%	473	92.7%
北海道・東北地区	計	72	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	5.6%	1	1.4%	67	93.1%
関東地区	計	124	100.0%	1	0.8%	0	0.0%	1	0.8%	3	2.4%	9	7.3%	110	88.7%
東海地区	計	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%	1	2.1%	0	0.0%	45	95.7%
北信越地区	計	39	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	1	2.6%	37	94.9%
近畿地区	計	69	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	1	1.4%	2	2.9%	65	94.2%
中国・四国地区	計	51	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	1	2.0%	49	96.1%
九州地区	計	108	100.0%	1	0.9%	0	0.0%	1	0.9%	2	1.9%	4	3.7%	100	92.6%

表NO.199 所在地区別 VI-15 国や自治体でキャリアパスを構築していくために必要となる要素について〈その他〉

		総計		必ず必要である		必要である		どちらかといえば必要である		どちらかといえば必要ではない		必要ではない		無回答	
総計	計	510	100.0%	2	0.4%	0	0.0%	5	1.0%	12	2.4%	18	3.5%	473	92.7%
都区部・指定都市	計	115	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.7%	5	4.3%	108	93.9%
中核市	計	58	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.4%	1	1.7%	2	3.4%	53	91.4%
中都市	計	86	100.0%	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	2	2.3%	82	95.3%
小都市A	計	149	100.0%	1	0.7%	0	0.0%	1	0.7%	7	4.7%	7	4.7%	133	89.3%
小都市B	計	58	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	1	1.7%	0	0.0%	56	96.6%
町・村	計	44	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%	0	0.0%	2	4.5%	41	93.2%

順番	シート名	地域区分別	縦軸 フィールド名	横軸 フィールド名
1	表NO.1	地域区分別	I-1 各業務ごとの能力について<乳児クラスの主任>	地域区分 I-1
2	表NO.2	所在地区分別	表No.2 所在地区分別 I-1 各業務ごとの能力について<乳児クラスの主任>	所在地区分 I-1
3	表NO.3	地域区分別	表No.3 地域区分別 I-2 各業務ごとの能力について<3歳未満児クラスの主任>	地域区分 I-2
4	表NO.4	所在地区分別	表No.4 所在地区分別 I-2 各業務ごとの能力について<3歳未満児クラスの主任>	所在地区分 I-2
5	表NO.5	地域区分別	表No.5 地域区分別 I-3 各業務ごとの能力について<3歳以上児クラスの主任>	地域区分 I-3
6	表NO.6	所在地区分別	表No.6 所在地区分別 I-3 各業務ごとの能力について<3歳以上児クラスの主任>	所在地区分 I-3
7	表NO.7	地域区分別	表No.7 地域区分別 I-4 各業務ごとの能力について<子どもの情緒の安定を図ること>	地域区分 I-4
8	表NO.8	所在地区分別	表No.8 所在地区分別 I-4 各業務ごとの能力について<子どもの情緒の安定を図ること>	所在地区分 I-4
9	表NO.9	地域区分別	表No.9 地域区分別 I-5 各業務ごとの能力について<子どもの生命の保持を図ること>	地域区分 I-5
10	表NO.10	所在地区分別	表No.10 所在地区分別 I-5 各業務ごとの能力について<子どもの生命の保持を図ること>	所在地区分 I-5
11	表NO.11	地域区分別	表No.11 地域区分別 I-6 各業務ごとの能力について<子どもの生活習慣の支援をすること>	地域区分 I-6
12	表NO.12	所在地区分別	表No.12 所在地区分別 I-6 各業務ごとの能力について<子どもの生活習慣の支援をすること>	所在地区分 I-6
13	表NO.13	地域区分別	表No.13 地域区分別 I-7 各業務ごとの能力について<子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること>	地域区分 I-7
14	表NO.14	所在地区分別	表No.14 所在地区分別 I-7 各業務ごとの能力について<子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること>	所在地区分 I-7
15	表NO.15	地域区分別	表No.15 地域区分別 I-8 各業務ごとの能力について<保育室や保育所内の環境を整備すること>	地域区分 I-8
16	表NO.16	所在地区分別	表No.16 所在地区分別 I-8 各業務ごとの能力について<保育室や保育所内の環境を整備すること>	所在地区分 I-8
17	表NO.17	地域区分別	表No.17 地域区分別 I-9 各業務ごとの能力について<遊具の安全管理を行うこと>	地域区分 I-9
18	表NO.18	所在地区分別	表No.18 所在地区分別 I-9 各業務ごとの能力について<遊具の安全管理を行うこと>	所在地区分 I-9
19	表NO.19	地域区分別	表No.19 地域区分別 I-10 各業務ごとの能力について<子どもの病気やケガへの対応を判断すること>	地域区分 I-10
20	表NO.20	所在地区分別	表No.20 所在地区分別 I-10 各業務ごとの能力について<子どもの病気やケガへの対応を判断すること>	所在地区分 I-10
21	表NO.21	地域区分別	表No.21 地域区分別 I-11 各業務ごとの能力について<行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと>	地域区分 I-11
22	表NO.22	所在地区分別	表No.22 所在地区分別 I-11 各業務ごとの能力について<行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと>	所在地区分 I-11
23	表NO.23	地域区分別	表No.23 地域区分別 I-12 各業務ごとの能力について<指導計画を作成すること>	地域区分 I-12
24	表NO.24	所在地区分別	表No.24 所在地区分別 I-12 各業務ごとの能力について<指導計画を作成すること>	所在地区分 I-12
25	表NO.25	地域区分別	表No.25 地域区分別 I-13 各業務ごとの能力について<指導計画の確認や助言を行うこと>	地域区分 I-13
26	表NO.26	所在地区分別	表No.26 所在地区分別 I-13 各業務ごとの能力について<指導計画の確認や助言を行うこと>	所在地区分 I-13
27	表NO.27	地域区分別	表No.27 地域区分別 I-14 各業務ごとの能力について<おたより等の保護者向けの書類を作成すること>	地域区分 I-14
28	表NO.28	所在地区分別	表No.28 所在地区分別 I-14 各業務ごとの能力について<おたより等の保護者向けの書類を作成すること>	所在地区分 I-14
29	表NO.29	地域区分別	表No.29 地域区分別 I-15 各業務ごとの能力について<職員間の連絡調整等を行うこと>	地域区分 I-15
30	表NO.30	所在地区分別	表No.30 所在地区分別 I-15 各業務ごとの能力について<職員間の連絡調整等を行うこと>	所在地区分 I-15
31	表NO.31	地域区分別	表No.31 地域区分別 I-16 各業務ごとの能力について<実習生の指導を行うこと>	地域区分 I-16
32	表NO.32	所在地区分別	表No.32 所在地区分別 I-16 各業務ごとの能力について<実習生の指導を行うこと>	所在地区分 I-16
33	表NO.33	地域区分別	表No.33 地域区分別 I-17 各業務ごとの能力について<新人保育士の指導を行うこと>	地域区分 I-17
34	表NO.34	所在地区分別	表No.34 所在地区分別 I-17 各業務ごとの能力について<新人保育士の指導を行うこと>	所在地区分 I-17
35	表NO.35	地域区分別	表No.35 地域区分別 I-18 各業務ごとの能力について<新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること>	地域区分 I-18
36	表NO.36	所在地区分別	表No.36 所在地区分別 I-18 各業務ごとの能力について<新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること>	所在地区分 I-18
37	表NO.37	地域区分別	表No.37 地域区分別 I-19 各業務ごとの能力について<保護者からの相談への対応に関すること>	地域区分 I-19
38	表NO.38	所在地区分別	表No.38 所在地区分別 I-19 各業務ごとの能力について<保護者からの相談への対応に関すること>	所在地区分 I-19
39	表NO.39	地域区分別	表No.39 地域区分別 I-20 各業務ごとの能力について<保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること>	地域区分 I-20
40	表NO.40	所在地区分別	表No.40 所在地区分別 I-20 各業務ごとの能力について<保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること>	所在地区分 I-20
41	表NO.41	地域区分別	表No.41 地域区分別 I-21 各業務ごとの能力について<障害のある子どもへの保育に関すること>	地域区分 I-21
42	表NO.42	所在地区分別	表No.42 所在地区分別 I-21 各業務ごとの能力について<障害のある子どもへの保育に関すること>	所在地区分 I-21
43	表NO.43	地域区分別	表No.43 地域区分別 I-22 各業務ごとの能力について<地域の保護者等に対する子育て支援>	地域区分 I-22
44	表NO.44	所在地区分別	表No.44 所在地区分別 I-22 各業務ごとの能力について<地域の保護者等に対する子育て支援>	地域区分 I-22

順番	シート名	地域区分	順票名	縦軸 フィールド名	横軸 フィールド名
45	表NO.45	地域区分別	表NO.45 地域区分別 I-23 各業務ごとの能力について<小学校との連携に関する事>	所在地区分	II-23
46	表NO.46	所在地区分別	表NO.46 所在地区分別 I-23 各業務ごとの能力について<小学校との連携に関する事>	地域区分	I-23
47	表NO.47	地域区分別	表NO.47 地域区分別 I-24 各業務ごとの能力について<研修会や学食などでの発表を行うこと>	所在地区分	I-24
48	表NO.48	所在地区分別	表NO.48 所在地区分別 I-24 各業務ごとの能力について<研修会や学食などでの発表を行うこと>	地域区分	I-24
49	表NO.49	地域区分別	表NO.49 地域区分別 I-25 各業務ごとの能力について<保育士の自己評価について確認や助言を行うこと>	所在地区分	I-25
50	表NO.50	所在地区分別	表NO.50 所在地区分別 I-25 各業務ごとの能力について<保育士の自己評価について確認や助言を行うこと>	地域区分	I-25
51	表NO.51	地域区分別	表NO.51 地域区分別 II-1 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<乳児クラスの主任任>	所在地区分	II-1
52	表NO.52	所在地区分別	表NO.52 所在地区分別 II-1 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<乳児クラスの主任任>	地域区分	II-1
53	表NO.53	地域区分別	表NO.53 地域区分別 II-2 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<3歳未満児クラスの主任任>	所在地区分	II-2
54	表NO.54	所在地区分別	表NO.54 所在地区分別 II-2 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<3歳未満児クラスの主任任>	地域区分	II-2
55	表NO.55	地域区分別	表NO.55 地域区分別 II-3 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<3歳以上児クラスの主任任>	所在地区分	II-3
56	表NO.56	所在地区分別	表NO.56 所在地区分別 II-3 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<3歳以上児クラスの主任任>	地域区分	II-3
57	表NO.57	地域区分別	表NO.57 地域区分別 II-4 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<子どもの情緒の安定を図ること>	所在地区分	II-4
58	表NO.58	所在地区分別	表NO.58 所在地区分別 II-4 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<子どもの情緒の安定を図ること>	地域区分	II-4
59	表NO.59	地域区分別	表NO.59 地域区分別 II-5 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<子どもの生命の保持を図ること>	所在地区分	II-5
60	表NO.60	所在地区分別	表NO.60 所在地区分別 II-5 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<子どもの生命の保持を図ること>	地域区分	II-5
61	表NO.61	地域区分別	表NO.61 地域区分別 II-6 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<子どもの基本的な生活習慣の支援をすること>	所在地区分	II-6
62	表NO.62	所在地区分別	表NO.62 所在地区分別 II-6 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<子どもの基本的な生活習慣の支援をすること>	地域区分	II-6
63	表NO.63	地域区分別	表NO.63 地域区分別 II-7 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<子どもが様々なことに興味や関心を持つよう活動を提供すること>	所在地区分	II-7
64	表NO.64	所在地区分別	表NO.64 所在地区分別 II-7 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<子どもが様々なことに興味や関心を持つよう活動を提供すること>	地域区分	II-7
65	表NO.65	地域区分別	表NO.65 地域区分別 II-8 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<保育室や保育所内の環境を整備すること>	所在地区分	II-8
66	表NO.66	所在地区分別	表NO.66 所在地区分別 II-8 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<保育室や保育所内の環境を整備すること>	地域区分	II-8
67	表NO.67	地域区分別	表NO.67 地域区分別 II-9 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<遊具の安全管理を行うこと>	所在地区分	II-9
68	表NO.68	所在地区分別	表NO.68 所在地区分別 II-9 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<遊具の安全管理を行うこと>	地域区分	II-9
69	表NO.69	地域区分別	表NO.69 地域区分別 II-10 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<子どもが病気をやがへへの対応を判断すること>	所在地区分	II-10
70	表NO.70	所在地区分別	表NO.70 所在地区分別 II-10 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<子どもが病気をやがへへの対応を判断すること>	地域区分	II-10
71	表NO.71	地域区分別	表NO.71 地域区分別 II-11 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<行政や地域との連絡調整を行うこと>	所在地区分	II-11
72	表NO.72	所在地区分別	表NO.72 所在地区分別 II-11 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<行政や地域との連絡調整を行うこと>	地域区分	II-11
73	表NO.73	地域区分別	表NO.73 地域区分別 II-12 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<指導計画を作成すること>	所在地区分	II-12
74	表NO.74	所在地区分別	表NO.74 所在地区分別 II-12 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<指導計画を作成すること>	地域区分	II-12
75	表NO.75	地域区分別	表NO.75 地域区分別 II-13 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<指導計画の確認や助言を行うこと>	所在地区分	II-13
76	表NO.76	所在地区分別	表NO.76 所在地区分別 II-13 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<指導計画の確認や助言を行うこと>	地域区分	II-13
77	表NO.77	地域区分別	表NO.77 地域区分別 II-14 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<おたより等の保護者向けの書類を作成すること>	所在地区分	II-14
78	表NO.78	所在地区分別	表NO.78 所在地区分別 II-14 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<おたより等の保護者向けの書類を作成すること>	地域区分	II-14
79	表NO.79	地域区分別	表NO.79 地域区分別 II-15 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<職員間の連絡調整等を行うこと>	所在地区分	II-15
80	表NO.80	所在地区分別	表NO.80 所在地区分別 II-15 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<職員間の連絡調整等を行うこと>	地域区分	II-15
81	表NO.81	地域区分別	表NO.81 地域区分別 II-16 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<実習生の指導を行うこと>	所在地区分	II-16
82	表NO.82	所在地区分別	表NO.82 所在地区分別 II-16 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<実習生の指導を行うこと>	地域区分	II-16
83	表NO.83	地域区分別	表NO.83 地域区分別 II-17 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<新人保育士の指導を行うこと>	所在地区分	II-17
84	表NO.84	所在地区分別	表NO.84 所在地区分別 II-17 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<新人保育士の指導を行うこと>	地域区分	II-17
85	表NO.85	地域区分別	表NO.85 地域区分別 II-18 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること>	所在地区分	II-18
86	表NO.86	所在地区分別	表NO.86 所在地区分別 II-18 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること>	地域区分	II-18
87	表NO.87	地域区分別	表NO.87 地域区分別 II-19 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<保護者からの相談への対応に関する事>	所在地区分	II-19
88	表NO.88	所在地区分別	表NO.88 所在地区分別 II-19 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<保護者からの相談への対応に関する事>	地域区分	II-19
89	表NO.89	地域区分別	表NO.89 地域区分別 II-20 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<保護者からの苦情やクレームへの対応に関する事>	所在地区分	II-20
90	表NO.90	所在地区分別	表NO.90 所在地区分別 II-20 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<保護者からの苦情やクレームへの対応に関する事>	地域区分	II-20
91	表NO.91	地域区分別	表NO.91 地域区分別 II-21 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<障書の発行に関する事>	所在地区分	II-21
92	表NO.92	所在地区分別	表NO.92 所在地区分別 II-21 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<障書の発行に関する事>	地域区分	II-21
93	表NO.93	地域区分別	表NO.93 地域区分別 II-22 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<地域の保護者等に対する子育て支援>	所在地区分	II-22

順番	シート名	縦軸 フィールド名	横軸 フィールド名
94	表NO.94	所在地区分別	II-22 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<地域保護者等に対する子育て支援>
95	表NO.95	地域区分別	II-23 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<小学校との連携に関すること>
96	表NO.96	所在地区分別	II-23 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<小学校との連携に関すること>
97	表NO.97	地域区分別	II-24 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<研修会や学会などでの発表を行うこと>
98	表NO.98	所在地区分別	II-24 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<研修会や学会などでの発表を行うこと>
99	表NO.99	地域区分別	II-25 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<保育士の自己評価について確認や助言を行うこと>
100	表NO.100	所在地区分別	II-25 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数<保育士の自己評価について確認や助言を行うこと>
101	表NO.101	地域区分別	III-1 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<乳児クラスの主担任>
102	表NO.102	所在地区分別	III-1 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<乳児クラスの主担任>
103	表NO.103	地域区分別	III-2 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<3歳未満児クラスの主担任>
104	表NO.104	所在地区分別	III-2 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<3歳未満児クラスの主担任>
105	表NO.105	地域区分別	III-3 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<3歳以上児クラスの主担任>
106	表NO.106	所在地区分別	III-3 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<3歳以上児クラスの主担任>
107	表NO.107	地域区分別	III-4 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<子どもの情緒の安定を図ること>
108	表NO.108	所在地区分別	III-4 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<子どもの情緒の安定を図ること>
109	表NO.109	地域区分別	III-5 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<子どもの生命の保持を図ること>
110	表NO.110	所在地区分別	III-5 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<子どもの生命の保持を図ること>
111	表NO.111	地域区分別	III-6 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<子どもの基本的な生活習慣の支援すること>
112	表NO.112	所在地区分別	III-6 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<子どもの基本的な生活習慣の支援すること>
113	表NO.113	地域区分別	III-7 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること>
114	表NO.114	所在地区分別	III-7 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること>
115	表NO.115	地域区分別	III-8 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<保育室や保育所内の環境を整備すること>
116	表NO.116	所在地区分別	III-8 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<保育室や保育所内の環境を整備すること>
117	表NO.117	地域区分別	III-9 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<遊具の安全管理を行うこと>
118	表NO.118	所在地区分別	III-9 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<遊具の安全管理を行うこと>
119	表NO.119	地域区分別	III-10 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<子どもの病やケガへの対応を判断すること>
120	表NO.120	所在地区分別	III-10 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<子どもの病やケガへの対応を判断すること>
121	表NO.121	地域区分別	III-11 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<行政や地域関係各所との連絡調整を行うこと>
122	表NO.122	所在地区分別	III-11 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<行政や地域関係各所との連絡調整を行うこと>
123	表NO.123	地域区分別	III-12 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<指導計画を作成すること>
124	表NO.124	所在地区分別	III-12 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<指導計画を作成すること>
125	表NO.125	地域区分別	III-13 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<指導計画の確認や助言を行うこと>
126	表NO.126	所在地区分別	III-13 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<指導計画の確認や助言を行うこと>
127	表NO.127	地域区分別	III-14 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<おたより等の保護者向けの書類を作成すること>
128	表NO.128	所在地区分別	III-14 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<おたより等の保護者向けの書類を作成すること>
129	表NO.129	地域区分別	III-15 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<職員間の連絡調整等を行うこと>
130	表NO.130	所在地区分別	III-15 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<職員間の連絡調整等を行うこと>
131	表NO.131	地域区分別	III-16 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<実習生の指導を行うこと>
132	表NO.132	所在地区分別	III-16 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<実習生の指導を行うこと>
133	表NO.133	地域区分別	III-17 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<新人保育士の指導を行うこと>
134	表NO.134	所在地区分別	III-17 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<新人保育士の指導を行うこと>
135	表NO.135	地域区分別	III-18 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること>
136	表NO.136	所在地区分別	III-18 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること>
137	表NO.137	地域区分別	III-19 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<保護者からの相談への対応に関すること>
138	表NO.138	所在地区分別	III-19 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<保護者からの相談への対応に関すること>
139	表NO.139	地域区分別	III-20 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること>
140	表NO.140	所在地区分別	III-20 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること>
141	表NO.141	地域区分別	III-21 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<障書のある子どもの保育に関すること>
142	表NO.142	所在地区分別	III-21 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<障書のある子どもの保育に関すること>

順番	シート名	地域区分別	職業名	縦軸 フィールド名	横軸 フィールド名
143	表NO.143	地域区分別	表NO.143 地域区分別 III-22 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<地域保護者等に対する子育て支援>	所在地区分	III-22
144	表NO.144	所在地区分	表NO.144 所在地区分 III-22 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<地域の保護者等に対する子育て支援>	地域区分	III-22
145	表NO.145	地域区分別	表NO.145 地域区分別 III-23 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<小学校との連携に関すること>	所在地区分	III-23
146	表NO.146	所在地区分	表NO.146 所在地区分 III-23 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<小学校との連携に関すること>	地域区分	III-23
147	表NO.147	地域区分別	表NO.147 地域区分別 III-24 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<研修会や学食などでの発表を行うこと>	所在地区分	III-24
148	表NO.148	所在地区分	表NO.148 所在地区分 III-24 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<研修会や学食などでの発表を行うこと>	地域区分	III-24
149	表NO.149	地域区分別	表NO.149 地域区分別 III-25 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<保育士の自己評価について確認や助言を行うこと>	所在地区分	III-25
150	表NO.150	所在地区分	表NO.150 所在地区分 III-25 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について<保育士の自己評価について確認や助言を行うこと>	地域区分	III-25
151	表NO.151	地域区分別	表NO.151 地域区分別 IV-1 次のようなときに仕事へのやりがいを感じる<給料が上がったとき>	所在地区分	IV-1
152	表NO.152	所在地区分	表NO.152 所在地区分 IV-1 次のようなときに仕事へのやりがいを感じる<給料が上がったとき>	地域区分	IV-1
153	表NO.153	地域区分別	表NO.153 地域区分別 IV-2 次のようなときに仕事へのやりがいを感じる<役割が上がったとき>	所在地区分	IV-2
154	表NO.154	所在地区分	表NO.154 所在地区分 IV-2 次のようなときに仕事へのやりがいを感じる<役割が上がったとき>	地域区分	IV-2
155	表NO.155	地域区分別	表NO.155 地域区分別 IV-3 次のようなときに仕事へのやりがいを感じる<上司に自分の仕事認められたとき>	所在地区分	IV-3
156	表NO.156	所在地区分	表NO.156 所在地区分 IV-3 次のようなときに仕事へのやりがいを感じる<上司に自分の仕事認められたとき>	地域区分	IV-3
157	表NO.157	地域区分別	表NO.157 地域区分別 IV-4 次のようなときに仕事へのやりがいを感じる<自分の仕事で子どもが喜んだとき>	所在地区分	IV-4
158	表NO.158	所在地区分	表NO.158 所在地区分 IV-4 次のようなときに仕事へのやりがいを感じる<自分の仕事で子どもが喜んだとき>	地域区分	IV-4
159	表NO.159	地域区分別	表NO.159 地域区分別 IV-5 次のようなときに仕事へのやりがいを感じる<子どもの成長を感じることができたとき>	所在地区分	IV-5
160	表NO.160	所在地区分	表NO.160 所在地区分 IV-5 次のようなときに仕事へのやりがいを感じる<子どもの成長を感じることができたとき>	地域区分	IV-5
161	表NO.161	地域区分別	表NO.161 地域区分別 IV-6 次のようなときに仕事へのやりがいを感じる<保護者から感謝されたとき>	所在地区分	IV-6
162	表NO.162	所在地区分	表NO.162 所在地区分 IV-6 次のようなときに仕事へのやりがいを感じる<保護者から感謝されたとき>	地域区分	IV-6
163	表NO.163	地域区分別	表NO.163 地域区分別 IV-7 次のようなときに仕事へのやりがいを感じる<自分に任せられた業務を全てできたとき>	所在地区分	IV-7
164	表NO.164	所在地区分	表NO.164 所在地区分 IV-7 次のようなときに仕事へのやりがいを感じる<自分に任せられた業務を全てできたとき>	地域区分	IV-7
165	表NO.165	地域区分別	表NO.165 地域区分別 IV-8 次のようなときに仕事へのやりがいを感じる<重たい仕事や役割を任せられたとき>	所在地区分	IV-8
166	表NO.166	所在地区分	表NO.166 所在地区分 IV-8 次のようなときに仕事へのやりがいを感じる<重たい仕事や役割を任せられたとき>	地域区分	IV-8
167	表NO.167	地域区分別	表NO.167 地域区分別 IV-9 次のようなときに仕事へのやりがいを感じる<新しい仕事や役割を任せられたとき>	所在地区分	IV-9
168	表NO.168	所在地区分	表NO.168 所在地区分 IV-9 次のようなときに仕事へのやりがいを感じる<新しい仕事や役割を任せられたとき>	地域区分	IV-9
169	表NO.169	地域区分別	表NO.169 地域区分別 IV-10 次のようなときに仕事へのやりがいを感じる<他の職員との協力で目標が達成できたとき>	所在地区分	IV-10
170	表NO.170	所在地区分	表NO.170 所在地区分 IV-10 次のようなときに仕事へのやりがいを感じる<他の職員との協力で目標が達成できたとき>	地域区分	IV-10
171	表NO.171	地域区分別	表NO.171 地域区分別 V-1 保育士資格の取得方法について	所在地区分	V-1
172	表NO.172	所在地区分	表NO.172 所在地区分 V-1 保育士資格の取得方法について	地域区分	V-1
173	表NO.173	地域区分別	表NO.173 地域区分別 V-2 認可保育所(公営・民営)における保育士(正社員)としての通算勤務年数	所在地区分	V-2
174	表NO.174	所在地区分	表NO.174 所在地区分 V-2 認可保育所(公営・民営)における保育士(正社員)としての通算勤務年数	地域区分	V-2
175	表NO.175	地域区分別	表NO.175 地域区分別 V-3 年齢について	所在地区分	V-3
176	表NO.176	所在地区分	表NO.176 所在地区分 V-3 年齢について	地域区分	V-3
177	表NO.177	地域区分別	表NO.177 地域区分別 V-4-1 保育士以外の職務経歴	所在地区分	V-4-1
178	表NO.178	所在地区分	表NO.178 所在地区分 V-4-1 保育士以外の職務経歴	地域区分	V-4-1
179	表NO.179	地域区分別	表NO.179 地域区分別 V-4-2 (設問V-4-1)において「あり」と回答した方のみ)保育士以外の職務経歴がある場合の年数	所在地区分	V-4-2
180	表NO.180	所在地区分	表NO.180 所在地区分 V-4-2 (設問V-4-1)において「あり」と回答した方のみ)保育士以外の職務経歴がある場合の年数	地域区分	V-4-2
181	表NO.181	地域区分別	表NO.181 地域区分別 V-5-1 現在の勤務先以外の保育所における保育士(正社員)としての勤務経歴	所在地区分	V-5-1
182	表NO.182	所在地区分	表NO.182 所在地区分 V-5-1 現在の勤務先以外の保育所における保育士(正社員)としての勤務経歴	地域区分	V-5-1
183	表NO.183	地域区分別	表NO.183 地域区分別 V-5-2 (設問V-5-1)において「あり」と回答した方のみ)勤務経歴がある場合の年数	所在地区分	V-5-2
184	表NO.184	所在地区分	表NO.184 所在地区分 V-5-2 (設問V-5-1)において「あり」と回答した方のみ)勤務経歴がある場合の年数	地域区分	V-5-2
185	表NO.185	地域区分別	表NO.185 地域区分別 V-6 現在の配偶者の有無について	所在地区分	V-6
186	表NO.186	所在地区分	表NO.186 所在地区分 V-6 現在の配偶者の有無について	地域区分	V-6
187	表NO.187	地域区分別	表NO.187 地域区分別 V-7 子どもの有無について	所在地区分	V-7
188	表NO.188	所在地区分	表NO.188 所在地区分 V-7 子どもの有無について	地域区分	V-7
189	表NO.189	地域区分別	表NO.189 地域区分別 V-8 将来的に保育士としていつまで働き続けたいか	所在地区分	V-8
190	表NO.190	所在地区分	表NO.190 所在地区分 V-8 将来的に保育士としていつまで働き続けたいか	地域区分	V-8

## 集計票 保育士編

表NO.1 地域区分別 I-1 各業務ごとの能力について〈乳児クラスの主担任〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	192	10.4%	621	33.6%	594	32.1%	365	19.7%	65	3.5%	2	0.1%	11	0.6%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	26	9.9%	88	33.5%	92	35.0%	47	17.9%	9	3.4%	0	0.0%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	47	10.7%	118	26.8%	152	34.5%	103	23.4%	17	3.9%	1	0.2%	3	0.7%
東海地区	計	176	100.0%	15	8.5%	62	35.2%	64	36.4%	29	16.5%	5	2.8%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	17	12.6%	54	40.0%	44	32.6%	18	13.3%	1	0.7%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	30	11.9%	79	31.3%	71	28.2%	55	21.8%	14	5.6%	0	0.0%	3	1.2%
中国・四国地区	計	179	100.0%	19	10.6%	59	33.0%	51	28.5%	41	22.9%	7	3.9%	0	0.0%	2	1.1%
九州地区	計	404	100.0%	38	9.4%	161	39.9%	120	29.7%	72	17.8%	12	3.0%	0	0.0%	1	0.2%

表NO.2 所在地区別 I-1 各業務ごとの能力について〈乳児クラスの主担任〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	192	10.4%	621	33.6%	594	32.1%	365	19.7%	65	3.5%	2	0.1%	11	0.6%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	49	11.1%	151	34.3%	126	28.6%	88	20.0%	19	4.3%	2	0.5%	5	1.1%
中核市	計	206	100.0%	25	12.1%	66	32.0%	69	33.5%	32	15.5%	13	6.3%	0	0.0%	1	0.5%
中都市	計	321	100.0%	32	10.0%	103	32.1%	101	31.5%	72	22.4%	12	3.7%	0	0.0%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	57	10.7%	171	32.1%	171	32.1%	116	21.8%	13	2.4%	0	0.0%	4	0.8%
小都市B	計	192	100.0%	16	8.3%	77	40.1%	73	38.0%	21	10.9%	5	2.6%	0	0.0%	0	0.0%
町・村	計	159	100.0%	13	8.2%	53	33.3%	54	34.0%	36	22.6%	3	1.9%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.3 地域区分別 I-2 各業務ごとの能力について〈3歳未満児クラスの主担任〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	110	5.9%	463	25.0%	779	42.1%	413	22.3%	76	4.1%	1	0.1%	8	0.4%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	11	4.2%	64	24.3%	128	48.7%	50	19.0%	9	3.4%	0	0.0%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	32	7.3%	104	23.6%	179	40.6%	106	24.0%	19	4.3%	0	0.0%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	10	5.7%	50	28.4%	71	40.3%	38	21.6%	6	3.4%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	11	8.1%	33	24.4%	64	47.4%	25	18.5%	1	0.7%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	18	7.1%	73	29.0%	84	33.3%	57	22.6%	17	6.7%	0	0.0%	3	1.2%
中国・四国地区	計	179	100.0%	12	6.7%	43	24.0%	68	38.0%	47	26.3%	7	3.9%	0	0.0%	2	1.1%
九州地区	計	404	100.0%	16	4.0%	96	23.8%	185	45.8%	90	22.3%	17	4.2%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.4 所在地区別 I-2 各業務ごとの能力について〈3歳未満児クラスの主担任〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	110	5.9%	463	25.0%	779	42.1%	413	22.3%	76	4.1%	1	0.1%	8	0.4%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	30	6.8%	129	29.3%	159	36.1%	95	21.6%	24	5.5%	1	0.2%	2	0.5%
中核市	計	206	100.0%	15	7.3%	50	24.3%	87	42.2%	42	20.4%	11	5.3%	0	0.0%	1	0.5%
中都市	計	321	100.0%	17	5.3%	79	24.6%	133	41.4%	77	24.0%	13	4.0%	0	0.0%	2	0.6%
小都市A	計	532	100.0%	31	5.8%	115	21.6%	232	43.6%	133	25.0%	18	3.4%	0	0.0%	3	0.6%
小都市B	計	192	100.0%	9	4.7%	54	28.1%	95	49.5%	28	14.6%	6	3.1%	0	0.0%	0	0.0%
町・村	計	159	100.0%	8	5.0%	36	22.6%	73	45.9%	38	23.9%	4	2.5%	0	0.0%	0	0.0%



表NO.5 地域区分別 I-3 各業務ごとの能力について〈3歳以上児クラスの担任〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	150	8.1%	502	27.1%	744	40.2%	366	19.8%	79	4.3%	9	0.5%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	15	5.7%	71	27.0%	123	46.8%	41	15.6%	12	4.6%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	48	10.9%	124	28.1%	169	38.3%	84	19.0%	16	3.6%	0	0.0%
東海地区	計	176	100.0%	16	9.1%	52	29.5%	65	36.9%	39	22.2%	4	2.3%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	9	6.7%	37	27.4%	56	41.5%	31	23.0%	1	0.7%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	24	9.5%	79	31.3%	80	31.7%	51	20.2%	14	5.6%	4	1.6%
中国・四国地区	計	179	100.0%	16	8.9%	41	22.9%	74	41.3%	38	21.2%	8	4.5%	2	1.1%
九州地区	計	404	100.0%	22	5.4%	98	24.3%	177	43.8%	82	20.3%	24	5.9%	1	0.2%

表NO.6 所在地区別 I-3 各業務ごとの能力について〈3歳以上児クラスの担任〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	150	8.1%	502	27.1%	744	40.2%	366	19.8%	79	4.3%	9	0.5%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	41	9.3%	136	30.9%	147	33.4%	96	21.8%	16	3.6%	4	0.9%
中核市	計	206	100.0%	21	10.2%	49	23.8%	78	37.9%	43	20.9%	14	6.8%	1	0.5%
中都市	計	321	100.0%	25	7.8%	96	29.9%	123	38.3%	61	19.0%	15	4.7%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	41	7.7%	134	25.2%	227	42.7%	107	20.1%	20	3.8%	3	0.6%
小都市B	計	192	100.0%	15	7.8%	50	26.0%	92	47.9%	28	14.6%	7	3.6%	0	0.0%
町・村	計	159	100.0%	7	4.4%	37	23.3%	77	48.4%	31	19.5%	7	4.4%	0	0.0%

表NO.7 地域区分別 I-4 各業務ごとの能力について〈子どもの情緒の安定を図ること〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	6	0.3%	206	11.1%	1,143	61.8%	432	23.4%	56	3.0%	3	0.2%	4	0.2%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	1	0.4%	28	10.6%	170	64.6%	55	20.9%	8	3.0%	0	0.0%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	1	0.2%	45	10.2%	267	60.5%	112	25.4%	16	3.6%	0	0.0%	0	0.0%
東海地区	計	176	100.0%	0	0.0%	17	9.7%	114	64.8%	38	21.6%	6	3.4%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	17	12.6%	85	63.0%	32	23.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	0	0.0%	33	13.1%	154	61.1%	55	21.8%	9	3.6%	0	0.0%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	4	2.2%	20	11.2%	102	57.0%	48	26.8%	4	2.2%	0	0.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	0	0.0%	46	11.4%	251	62.1%	92	22.8%	13	3.2%	2	0.5%	0	0.0%

表NO.8 所在地区別 I-4 各業務ごとの能力について〈子どもの情緒の安定を図ること〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	6	0.3%	206	11.1%	1,143	61.8%	432	23.4%	56	3.0%	3	0.2%	4	0.2%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	0	0.0%	42	9.5%	264	60.0%	117	26.6%	15	3.4%	1	0.2%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	1	0.5%	28	13.6%	117	56.8%	48	23.3%	10	4.9%	1	0.5%	1	0.5%
中都市	計	321	100.0%	1	0.3%	36	11.2%	204	63.6%	68	21.2%	12	3.7%	0	0.0%	0	0.0%
小都市A	計	532	100.0%	1	0.2%	50	9.4%	336	63.2%	128	24.1%	14	2.6%	1	0.2%	2	0.4%
小都市B	計	192	100.0%	2	1.0%	30	15.6%	124	64.6%	32	16.7%	4	2.1%	0	0.0%	0	0.0%
町・村	計	159	100.0%	1	0.6%	20	12.6%	98	61.6%	39	24.5%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.9 地域区分別 I-5 各業務ごとの能力について〈子どもの生命の保持を図ること〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	6	0.3%	214	11.6%	1,106	59.8%	438	23.7%	79	4.3%	3	0.2%	4	0.2%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	3	1.1%	27	10.3%	166	63.1%	57	21.7%	9	3.4%	0	0.0%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	1	0.2%	51	11.6%	258	58.5%	108	24.5%	23	5.2%	0	0.0%	0	0.0%
東海地区	計	176	100.0%	0	0.0%	18	10.2%	113	64.2%	39	22.2%	5	2.8%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	19	14.1%	81	60.0%	33	24.4%	1	0.7%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	0	0.0%	35	13.9%	139	55.2%	63	25.0%	14	5.6%	0	0.0%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	1	0.6%	21	11.7%	101	56.4%	47	26.3%	8	4.5%	0	0.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	1	0.2%	43	10.6%	248	61.4%	91	22.5%	19	4.7%	2	0.5%	0	0.0%

表NO.10 所在地区別 I-5 各業務ごとの能力について〈子どもの生命の保持を図ること〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	6	0.3%	214	11.6%	1,106	59.8%	438	23.7%	79	4.3%	3	0.2%	4	0.2%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	0	0.0%	44	10.0%	257	58.4%	115	26.1%	22	5.0%	1	0.2%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	1	0.5%	22	10.7%	119	57.8%	49	23.8%	13	6.3%	1	0.5%	1	0.5%
中都市	計	321	100.0%	1	0.3%	42	13.1%	190	59.2%	72	22.4%	16	5.0%	0	0.0%	0	0.0%
小都市A	計	532	100.0%	1	0.2%	58	10.9%	323	60.7%	128	24.1%	19	3.6%	1	0.2%	2	0.4%
小都市B	計	192	100.0%	2	1.0%	31	16.1%	119	62.0%	35	18.2%	5	2.6%	0	0.0%	0	0.0%
町・村	計	159	100.0%	1	0.6%	17	10.7%	98	61.6%	39	24.5%	4	2.5%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.11 地域区分別 I-6 各業務ごとの能力について〈子どもの基本的な生活習慣の支援をすること〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	1	0.1%	76	4.1%	1,005	54.3%	687	37.1%	76	4.1%	1	0.1%	4	0.2%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	1	0.4%	10	3.8%	155	58.9%	86	32.7%	11	4.2%	0	0.0%	0	0.0%
関東地区	計	441	100.0%	0	0.0%	17	3.9%	236	53.5%	169	38.3%	19	4.3%	0	0.0%	0	0.0%
東海地区	計	176	100.0%	0	0.0%	10	5.7%	100	56.8%	61	34.7%	4	2.3%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	6	4.4%	75	55.6%	51	37.8%	2	1.5%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	0	0.0%	9	3.6%	120	47.6%	107	42.5%	14	5.6%	0	0.0%	2	0.8%
中国・四国地区	計	179	100.0%	0	0.0%	11	6.1%	97	54.2%	63	35.2%	7	3.9%	0	0.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	0	0.0%	13	3.2%	222	55.0%	150	37.1%	19	4.7%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.12 所在地区別 I-6 各業務ごとの能力について〈子どもの基本的な生活習慣の支援をすること〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	1	0.1%	76	4.1%	1,005	54.3%	687	37.1%	76	4.1%	1	0.1%	4	0.2%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	0	0.0%	18	4.1%	209	47.5%	193	43.9%	18	4.1%	1	0.2%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	0	0.0%	9	4.4%	108	52.4%	78	37.9%	10	4.9%	0	0.0%	1	0.5%
中都市	計	321	100.0%	0	0.0%	14	4.4%	170	53.0%	117	36.4%	19	5.9%	0	0.0%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	0	0.0%	18	3.4%	300	56.4%	197	37.0%	16	3.0%	0	0.0%	1	0.2%
小都市B	計	192	100.0%	1	0.5%	10	5.2%	121	63.0%	55	28.6%	5	2.6%	0	0.0%	0	0.0%
町・村	計	159	100.0%	0	0.0%	7	4.4%	97	61.0%	47	29.6%	8	5.0%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.13 地域区分別 I-7 各業務ごとの能力について〈子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	3	0.2%	201	10.9%	1,089	58.9%	482	26.1%	70	3.8%	1	0.1%	4	0.2%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	1	0.4%	27	10.3%	165	62.7%	63	24.0%	7	2.7%	0	0.0%	0	0.0%
関東地区	計	441	100.0%	0	0.0%	42	9.5%	253	57.4%	128	29.0%	17	3.9%	0	0.0%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	1	0.6%	16	9.1%	114	64.8%	38	21.6%	6	3.4%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	17	12.6%	82	60.7%	31	23.0%	4	3.0%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	0	0.0%	35	13.9%	129	51.2%	76	30.2%	11	4.4%	0	0.0%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	1	0.6%	23	12.8%	105	58.7%	41	22.9%	8	4.5%	0	0.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	0	0.0%	41	10.1%	241	59.7%	105	26.0%	17	4.2%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.14 所在地区別 I-7 各業務ごとの能力について〈子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	3	0.2%	201	10.9%	1,089	58.9%	482	26.1%	70	3.8%	1	0.1%	4	0.2%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	1	0.2%	41	9.3%	253	57.5%	126	28.6%	17	3.9%	1	0.2%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	0	0.0%	25	12.1%	108	52.4%	60	29.1%	12	5.8%	0	0.0%	1	0.5%
中都市	計	321	100.0%	0	0.0%	38	11.8%	188	58.6%	79	24.6%	15	4.7%	0	0.0%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	0	0.0%	54	10.2%	323	60.7%	138	25.9%	16	3.0%	0	0.0%	1	0.2%
小都市B	計	192	100.0%	1	0.5%	30	15.6%	117	60.9%	38	19.8%	6	3.1%	0	0.0%	0	0.0%
町・村	計	159	100.0%	1	0.6%	13	8.2%	100	62.9%	41	25.8%	4	2.5%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.15 地域区分別 I-8 各業務ごとの能力について〈保育室や保育所内の環境を整備すること〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	4	0.2%	112	6.1%	1,048	56.6%	583	31.5%	97	5.2%	2	0.1%	4	0.2%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	2	0.8%	16	6.1%	150	57.0%	82	31.2%	13	4.9%	0	0.0%	0	0.0%
関東地区	計	441	100.0%	0	0.0%	22	5.0%	249	56.5%	148	33.6%	22	5.0%	0	0.0%	0	0.0%
東海地区	計	176	100.0%	0	0.0%	9	5.1%	113	64.2%	49	27.8%	4	2.3%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	14	10.4%	68	50.4%	48	35.6%	4	3.0%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	1	0.4%	17	6.7%	139	55.2%	81	32.1%	13	5.2%	0	0.0%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	1	0.6%	12	6.7%	96	53.6%	53	29.6%	16	8.9%	0	0.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	0	0.0%	22	5.4%	233	57.7%	122	30.2%	25	6.2%	1	0.2%	1	0.2%

表NO.16 所在地区別 I-8 各業務ごとの能力について〈保育室や保育所内の環境を整備すること〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	4	0.2%	112	6.1%	1,048	56.6%	583	31.5%	97	5.2%	2	0.1%	4	0.2%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	0	0.0%	27	6.1%	235	53.4%	151	34.3%	25	5.7%	1	0.2%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	1	0.5%	14	6.8%	104	50.5%	74	35.9%	11	5.3%	1	0.5%	1	0.5%
中都市	計	321	100.0%	0	0.0%	17	5.3%	190	59.2%	92	28.7%	22	6.9%	0	0.0%	0	0.0%
小都市A	計	532	100.0%	1	0.2%	32	6.0%	310	58.3%	166	31.2%	21	3.9%	0	0.0%	2	0.4%
小都市B	計	192	100.0%	1	0.5%	17	8.9%	120	62.5%	47	24.5%	7	3.6%	0	0.0%	0	0.0%
町・村	計	159	100.0%	1	0.6%	5	3.1%	89	56.0%	53	33.3%	11	6.9%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.17 地域区分別 I-9 各業務ごとの能力について〈遊具の安全管理を行うこと〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	6	0.3%	277	15.0%	1,016	54.9%	455	24.6%	91	4.9%	1	0.1%	4	0.2%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	2	0.8%	44	16.7%	147	55.9%	62	23.6%	8	3.0%	0	0.0%	0	0.0%
関東地区	計	441	100.0%	2	0.5%	46	10.4%	247	56.0%	123	27.9%	23	5.2%	0	0.0%	0	0.0%
東海地区	計	176	100.0%	0	0.0%	24	13.6%	105	59.7%	39	22.2%	7	4.0%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	34	25.2%	65	48.1%	32	23.7%	3	2.2%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	0	0.0%	36	14.3%	143	56.7%	51	20.2%	20	7.9%	0	0.0%	2	0.8%
中国・四国地区	計	179	100.0%	1	0.6%	34	19.0%	94	52.5%	39	21.8%	10	5.6%	0	0.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	1	0.2%	59	14.6%	215	53.2%	109	27.0%	20	5.0%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.18 所在地区別 I-9 各業務ごとの能力について〈遊具の安全管理を行うこと〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	6	0.3%	277	15.0%	1,016	54.9%	455	24.6%	91	4.9%	1	0.1%	4	0.2%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	0	0.0%	55	12.5%	239	54.3%	116	26.4%	27	6.1%	1	0.2%	2	0.5%
中核市	計	206	100.0%	0	0.0%	35	17.0%	103	50.0%	53	25.7%	14	6.8%	0	0.0%	1	0.5%
中都市	計	321	100.0%	1	0.3%	46	14.3%	186	57.9%	71	22.1%	17	5.3%	0	0.0%	0	0.0%
小都市A	計	532	100.0%	1	0.2%	85	16.0%	277	52.1%	148	27.8%	20	3.8%	0	0.0%	1	0.2%
小都市B	計	192	100.0%	3	1.6%	36	18.8%	120	62.5%	26	13.5%	7	3.6%	0	0.0%	0	0.0%
町・村	計	159	100.0%	1	0.6%	20	12.6%	91	57.2%	41	25.8%	6	3.8%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.19 地域区分別 I-10 各業務ごとの能力について〈子どもの病気やケガへの対応を判断すること〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	19	1.0%	715	38.6%	654	35.4%	377	20.4%	78	4.2%	4	0.2%	3	0.2%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	4	1.5%	107	40.7%	100	38.0%	45	17.1%	6	2.3%	1	0.4%	0	0.0%
関東地区	計	441	100.0%	3	0.7%	153	34.7%	165	37.4%	95	21.5%	23	5.2%	2	0.5%	0	0.0%
東海地区	計	176	100.0%	3	1.7%	70	39.8%	70	39.8%	29	16.5%	3	1.7%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	69	51.1%	36	26.7%	28	20.7%	1	0.7%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	3	1.2%	102	40.5%	83	32.9%	48	19.0%	15	6.0%	0	0.0%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	2	1.1%	69	38.5%	56	31.3%	40	22.3%	11	6.1%	0	0.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	4	1.0%	145	35.9%	144	35.6%	92	22.8%	19	4.7%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.20 所在地区別 I-10 各業務ごとの能力について〈子どもの病気やケガへの対応を判断すること〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	19	1.0%	715	38.6%	654	35.4%	377	20.4%	78	4.2%	4	0.2%	3	0.2%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	3	0.7%	154	35.0%	159	36.1%	100	22.7%	21	4.8%	2	0.5%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	1	0.5%	78	37.9%	70	34.0%	45	21.8%	11	5.3%	0	0.0%	1	0.5%
中都市	計	321	100.0%	2	0.6%	124	38.6%	116	36.1%	63	19.6%	15	4.7%	1	0.3%	0	0.0%
小都市A	計	532	100.0%	5	0.9%	210	39.5%	188	35.3%	109	20.5%	18	3.4%	1	0.2%	1	0.2%
小都市B	計	192	100.0%	6	3.1%	95	49.5%	60	31.3%	27	14.1%	4	2.1%	0	0.0%	0	0.0%
町・村	計	159	100.0%	2	1.3%	54	34.0%	61	38.4%	33	20.8%	9	5.7%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.21 地域区分別 I-11 各業務ごとの能力について〈行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	439	23.7%	1,022	55.2%	244	13.2%	90	4.9%	44	2.4%	2	0.1%	9	0.5%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	68	25.9%	148	56.3%	28	10.6%	15	5.7%	2	0.8%	1	0.4%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	112	25.4%	235	53.3%	62	14.1%	17	3.9%	12	2.7%	1	0.2%	2	0.5%
東海地区	計	176	100.0%	45	25.6%	101	57.4%	21	11.9%	7	4.0%	1	0.6%	0	0.0%	1	0.6%
北信越地区	計	135	100.0%	33	24.4%	78	57.8%	17	12.6%	4	3.0%	2	1.5%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	67	26.6%	136	54.0%	26	10.3%	10	4.0%	11	4.4%	0	0.0%	2	0.8%
中国・四国地区	計	179	100.0%	49	27.4%	94	52.5%	17	9.5%	12	6.7%	6	3.4%	0	0.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	65	16.1%	230	56.9%	73	18.1%	25	6.2%	10	2.5%	0	0.0%	1	0.2%

表NO.22 所在地区別 I-11 各業務ごとの能力について〈行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	439	23.7%	1,022	55.2%	244	13.2%	90	4.9%	44	2.4%	2	0.1%	9	0.5%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	97	22.0%	249	56.6%	63	14.3%	14	3.2%	13	3.0%	1	0.2%	3	0.7%
中核市	計	206	100.0%	44	21.4%	108	52.4%	28	13.6%	15	7.3%	9	4.4%	0	0.0%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	96	29.9%	167	52.0%	32	10.0%	13	4.0%	12	3.7%	0	0.0%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	120	22.6%	304	57.1%	70	13.2%	27	5.1%	7	1.3%	1	0.2%	3	0.6%
小都市B	計	192	100.0%	52	27.1%	103	53.6%	28	14.6%	8	4.2%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
町・村	計	159	100.0%	30	18.9%	91	57.2%	23	14.5%	13	8.2%	2	1.3%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.23 地域区分別 I-12 各業務ごとの能力について〈指導計画を作成すること〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	6	0.3%	200	10.8%	1,098	59.4%	469	25.4%	71	3.8%	3	0.2%	3	0.2%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	1	0.4%	30	11.4%	161	61.2%	63	24.0%	8	3.0%	0	0.0%	0	0.0%
関東地区	計	441	100.0%	2	0.5%	46	10.4%	241	54.6%	131	29.7%	20	4.5%	1	0.2%	0	0.0%
東海地区	計	176	100.0%	0	0.0%	19	10.8%	110	62.5%	43	24.4%	3	1.7%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	16	11.9%	86	63.7%	32	23.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	1	0.4%	31	12.3%	140	55.6%	64	25.4%	15	6.0%	0	0.0%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	2	1.1%	16	8.9%	111	62.0%	42	23.5%	7	3.9%	0	0.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	0	0.0%	42	10.4%	249	61.6%	94	23.3%	18	4.5%	1	0.2%	0	0.0%

表NO.24 所在地区別 I-12 各業務ごとの能力について〈指導計画を作成すること〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	6	0.3%	200	10.8%	1,098	59.4%	469	25.4%	71	3.8%	3	0.2%	3	0.2%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	1	0.2%	49	11.1%	242	55.0%	124	28.2%	21	4.8%	2	0.5%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	1	0.5%	26	12.6%	113	54.9%	53	25.7%	11	5.3%	1	0.5%	1	0.5%
中都市	計	321	100.0%	0	0.0%	31	9.7%	191	59.5%	85	26.5%	14	4.4%	0	0.0%	0	0.0%
小都市A	計	532	100.0%	2	0.4%	57	10.7%	315	59.2%	139	26.1%	18	3.4%	0	0.0%	1	0.2%
小都市B	計	192	100.0%	1	0.5%	24	12.5%	130	67.7%	34	17.7%	3	1.6%	0	0.0%	0	0.0%
町・村	計	159	100.0%	1	0.6%	13	8.2%	107	67.3%	34	21.4%	4	2.5%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.25 地域区分別 I-13 各業務ごとの能力について〈指導計画の確認や助言を行うこと〉

		総計		できない	教えてもらって できる	自分自身の力で できる	他の保育士を 指導できる	保育士の集団や 組織、園全体を リードできる	無効	無回答							
全国	計	1,850	100.0%	168	9.1%	466	25.2%	680	36.8%	461	24.9%	69	3.7%	1	0.1%	5	0.3%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	29	11.0%	66	25.1%	96	36.5%	66	25.1%	6	2.3%	0	0.0%	0	0.0%
関東地区	計	441	100.0%	41	9.3%	103	23.4%	146	33.1%	130	29.5%	19	4.3%	0	0.0%	2	0.5%
東海地区	計	176	100.0%	13	7.4%	42	23.9%	77	43.8%	40	22.7%	3	1.7%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	11	8.1%	46	34.1%	46	34.1%	31	23.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	25	9.9%	65	25.8%	81	32.1%	65	25.8%	15	6.0%	0	0.0%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	18	10.1%	48	26.8%	69	38.5%	34	19.0%	9	5.0%	0	0.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	31	7.7%	96	23.8%	165	40.8%	95	23.5%	17	4.2%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.26 所在地区別 I-13 各業務ごとの能力について〈指導計画の確認や助言を行うこと〉

		総計		できない	教えてもらって できる	自分自身の力で できる	他の保育士を 指導できる	保育士の集団や 組織、園全体を リードできる	無効	無回答							
総計	計	1,850	100.0%	168	9.1%	466	25.2%	680	36.8%	461	24.9%	69	3.7%	1	0.1%	5	0.3%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	34	7.7%	103	23.4%	158	35.9%	120	27.3%	22	5.0%	1	0.2%	2	0.5%
中核市	計	206	100.0%	15	7.3%	55	26.7%	67	32.5%	53	25.7%	15	7.3%	0	0.0%	1	0.5%
中都市	計	321	100.0%	31	9.7%	70	21.8%	115	35.8%	92	28.7%	12	3.7%	0	0.0%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	50	9.4%	134	25.2%	205	38.5%	128	24.1%	14	2.6%	0	0.0%	1	0.2%
小都市B	計	192	100.0%	21	10.9%	59	30.7%	78	40.6%	32	16.7%	2	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
町・村	計	159	100.0%	17	10.7%	45	28.3%	57	35.8%	36	22.6%	4	2.5%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.27 地域区分別 I-14 各業務ごとの能力について〈おたより等の保護者向けの書類を作成すること〉

		総計		できない	教えてもらって できる	自分自身の力で できる	他の保育士を 指導できる	保育士の集団や 組織、園全体を リードできる	無効	無回答							
全国	計	1,850	100.0%	32	1.7%	316	17.1%	957	51.7%	456	24.6%	84	4.5%	2	0.1%	3	0.2%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	8	3.0%	45	17.1%	141	53.6%	59	22.4%	10	3.8%	0	0.0%	0	0.0%
関東地区	計	441	100.0%	7	1.6%	70	15.9%	220	49.9%	122	27.7%	22	5.0%	0	0.0%	0	0.0%
東海地区	計	176	100.0%	3	1.7%	35	19.9%	90	51.1%	42	23.9%	5	2.8%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	1	0.7%	27	20.0%	66	48.9%	36	26.7%	4	3.0%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	6	2.4%	48	19.0%	117	46.4%	66	26.2%	14	5.6%	0	0.0%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	4	2.2%	33	18.4%	92	51.4%	37	20.7%	12	6.7%	0	0.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	3	0.7%	58	14.4%	231	57.2%	94	23.3%	17	4.2%	1	0.2%	0	0.0%

表NO.28 所在地区別 I-14 各業務ごとの能力について〈おたより等の保護者向けの書類を作成すること〉

		総計		できない	教えてもらって できる	自分自身の力で できる	他の保育士を 指導できる	保育士の集団や 組織、園全体を リードできる	無効	無回答							
総計	計	1,850	100.0%	32	1.7%	316	17.1%	957	51.7%	456	24.6%	84	4.5%	2	0.1%	3	0.2%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	1	0.2%	70	15.9%	226	51.4%	118	26.8%	23	5.2%	1	0.2%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	2	1.0%	40	19.4%	99	48.1%	50	24.3%	14	6.8%	0	0.0%	1	0.5%
中都市	計	321	100.0%	11	3.4%	44	13.7%	158	49.2%	86	26.8%	21	6.5%	1	0.3%	0	0.0%
小都市A	計	532	100.0%	8	1.5%	84	15.8%	288	54.1%	132	24.8%	19	3.6%	0	0.0%	1	0.2%
小都市B	計	192	100.0%	7	3.6%	48	25.0%	99	51.6%	34	17.7%	4	2.1%	0	0.0%	0	0.0%
町・村	計	159	100.0%	3	1.9%	30	18.9%	87	54.7%	36	22.6%	3	1.9%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.29 地域区分別 I-15 各業務ごとの能力について〈職員間の連絡調整等を行うこと〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	92	5.0%	392	21.2%	901	48.7%	338	18.3%	119	6.4%	1	0.1%	7	0.4%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	14	5.3%	58	22.1%	140	53.2%	39	14.8%	12	4.6%	0	0.0%	0	0.0%
関東地区	計	441	100.0%	19	4.3%	91	20.6%	210	47.6%	90	20.4%	30	6.8%	0	0.0%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	9	5.1%	37	21.0%	99	56.3%	24	13.6%	6	3.4%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	11	8.1%	31	23.0%	60	44.4%	26	19.3%	6	4.4%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	10	4.0%	45	17.9%	118	46.8%	57	22.6%	21	8.3%	0	0.0%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	10	5.6%	41	22.9%	80	44.7%	29	16.2%	17	9.5%	0	0.0%	2	1.1%
九州地区	計	404	100.0%	19	4.7%	89	22.0%	194	48.0%	73	18.1%	27	6.7%	0	0.0%	2	0.5%

表NO.30 所在地区別 I-15 各業務ごとの能力について〈職員間の連絡調整等を行うこと〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	92	5.0%	392	21.2%	901	48.7%	338	18.3%	119	6.4%	1	0.1%	7	0.4%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	19	4.3%	97	22.0%	195	44.3%	98	22.3%	29	6.6%	1	0.2%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	8	3.9%	40	19.4%	97	47.1%	39	18.9%	21	10.2%	0	0.0%	1	0.5%
中都市	計	321	100.0%	21	6.5%	71	22.1%	146	45.5%	53	16.5%	29	9.0%	0	0.0%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	25	4.7%	102	19.2%	272	51.1%	102	19.2%	27	5.1%	0	0.0%	4	0.8%
小都市B	計	192	100.0%	14	7.3%	52	27.1%	98	51.0%	23	12.0%	5	2.6%	0	0.0%	0	0.0%
町・村	計	159	100.0%	5	3.1%	30	18.9%	93	58.5%	23	14.5%	8	5.0%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.31 地域区分別 I-16 各業務ごとの能力について〈実習生の指導を行うこと〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	90	4.9%	348	18.8%	938	50.7%	390	21.1%	77	4.2%	2	0.1%	5	0.3%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	11	4.2%	58	22.1%	139	52.9%	46	17.5%	8	3.0%	1	0.4%	0	0.0%
関東地区	計	441	100.0%	21	4.8%	76	17.2%	218	49.4%	105	23.8%	20	4.5%	0	0.0%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	11	6.3%	31	17.6%	95	54.0%	34	19.3%	4	2.3%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	6	4.4%	26	19.3%	75	55.6%	26	19.3%	1	0.7%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	19	7.5%	42	16.7%	120	47.6%	54	21.4%	16	6.3%	0	0.0%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	11	6.1%	42	23.5%	77	43.0%	39	21.8%	9	5.0%	0	0.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	11	2.7%	73	18.1%	214	53.0%	86	21.3%	19	4.7%	0	0.0%	1	0.2%

表NO.32 所在地区別 I-16 各業務ごとの能力について〈実習生の指導を行うこと〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	90	4.9%	348	18.8%	938	50.7%	390	21.1%	77	4.2%	2	0.1%	5	0.3%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	24	5.5%	76	17.3%	214	48.6%	102	23.2%	21	4.8%	1	0.2%	2	0.5%
中核市	計	206	100.0%	12	5.8%	39	18.9%	94	45.6%	48	23.3%	12	5.8%	0	0.0%	1	0.5%
中都市	計	321	100.0%	16	5.0%	55	17.1%	160	49.8%	74	23.1%	16	5.0%	0	0.0%	0	0.0%
小都市A	計	532	100.0%	23	4.3%	95	17.9%	283	53.2%	110	20.7%	18	3.4%	1	0.2%	2	0.4%
小都市B	計	192	100.0%	12	6.3%	48	25.0%	102	53.1%	26	13.5%	4	2.1%	0	0.0%	0	0.0%
町・村	計	159	100.0%	3	1.9%	35	22.0%	85	53.5%	30	18.9%	6	3.8%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.33 地域区分別 I-17 各業務ごとの能力について〈新人保育士の指導を行うこと〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	131	7.1%	418	22.6%	819	44.3%	400	21.6%	75	4.1%	1	0.1%	6	0.3%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	18	6.8%	62	23.6%	126	47.9%	50	19.0%	7	2.7%	0	0.0%	0	0.0%
関東地区	計	441	100.0%	26	5.9%	101	22.9%	184	41.7%	111	25.2%	17	3.9%	0	0.0%	2	0.5%
東海地区	計	176	100.0%	12	6.8%	41	23.3%	85	48.3%	32	18.2%	5	2.8%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	14	10.4%	32	23.7%	58	43.0%	28	20.7%	2	1.5%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	22	8.7%	46	18.3%	115	45.6%	50	19.8%	17	6.7%	0	0.0%	2	0.8%
中国・四国地区	計	179	100.0%	16	8.9%	47	26.3%	65	36.3%	41	22.9%	9	5.0%	0	0.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	23	5.7%	89	22.0%	186	46.0%	88	21.8%	18	4.5%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.34 所在地区別 I-17 各業務ごとの能力について〈新人保育士の指導を行うこと〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	131	7.1%	418	22.6%	819	44.3%	400	21.6%	75	4.1%	1	0.1%	6	0.3%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	25	5.7%	97	22.0%	192	43.6%	103	23.4%	19	4.3%	1	0.2%	3	0.7%
中核市	計	206	100.0%	15	7.3%	46	22.3%	88	42.7%	44	21.4%	12	5.8%	0	0.0%	1	0.5%
中都市	計	321	100.0%	22	6.9%	68	21.2%	134	41.7%	80	24.9%	16	5.0%	0	0.0%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	38	7.1%	119	22.4%	245	46.1%	109	20.5%	20	3.8%	0	0.0%	1	0.2%
小都市B	計	192	100.0%	23	12.0%	48	25.0%	89	46.4%	28	14.6%	4	2.1%	0	0.0%	0	0.0%
町・村	計	159	100.0%	8	5.0%	40	25.2%	71	44.7%	36	22.6%	4	2.5%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.35 地域区分別 I-18 各業務ごとの能力について〈新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	175	9.5%	386	20.9%	899	48.6%	308	16.6%	71	3.8%	5	0.3%	6	0.3%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	28	10.6%	58	22.1%	131	49.8%	40	15.2%	5	1.9%	0	0.0%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	35	7.9%	89	20.2%	223	50.6%	74	16.8%	17	3.9%	2	0.5%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	16	9.1%	35	19.9%	98	55.7%	20	11.4%	6	3.4%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	16	11.9%	34	25.2%	60	44.4%	24	17.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	27	10.7%	53	21.0%	112	44.4%	44	17.5%	15	6.0%	0	0.0%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	20	11.2%	33	18.4%	80	44.7%	35	19.6%	9	5.0%	0	0.0%	2	1.1%
九州地区	計	404	100.0%	33	8.2%	84	20.8%	195	48.3%	71	17.6%	19	4.7%	2	0.5%	0	0.0%

表NO.36 所在地区別 I-18 各業務ごとの能力について〈新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	175	9.5%	386	20.9%	899	48.6%	308	16.6%	71	3.8%	5	0.3%	6	0.3%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	34	7.7%	86	19.5%	226	51.4%	74	16.8%	18	4.1%	1	0.2%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	20	9.7%	50	24.3%	85	41.3%	39	18.9%	11	5.3%	0	0.0%	1	0.5%
中都市	計	321	100.0%	31	9.7%	57	17.8%	154	48.0%	58	18.1%	17	5.3%	2	0.6%	2	0.6%
小都市A	計	532	100.0%	53	10.0%	107	20.1%	267	50.2%	88	16.5%	15	2.8%	1	0.2%	1	0.2%
小都市B	計	192	100.0%	22	11.5%	52	27.1%	93	48.4%	20	10.4%	4	2.1%	1	0.5%	0	0.0%
町・村	計	159	100.0%	15	9.4%	34	21.4%	74	46.5%	29	18.2%	6	3.8%	0	0.0%	1	0.6%



表NO.37 地域区分別 I-19 各業務ごとの能力について〈保護者からの相談への対応に関すること〉

		総計		できない	教えてもらって できる	自分自身の力で できる	他の保育士を 指導できる	保育士の集団や 組織、園全体を リードできる	無効	無回答
全国	計	1,850	100.0%	14	634	814	313	63	8	4
北海道・東北地区	計	263	100.0%	1	91	121	45	4	0	1
関東地区	計	441	100.0%	5	128	217	72	16	3	0
東海地区	計	176	100.0%	0	74	68	30	3	1	0
北信越地区	計	135	100.0%	0	52	56	24	2	0	1
近畿地区	計	252	100.0%	2	78	116	39	16	0	1
中国・四国地区	計	179	100.0%	3	64	70	34	7	0	1
九州地区	計	404	100.0%	3	147	166	69	15	4	0

表NO.38 所在地区別 I-19 各業務ごとの能力について〈保護者からの相談への対応に関すること〉

		総計		できない	教えてもらって できる	自分自身の力で できる	他の保育士を 指導できる	保育士の集団や 組織、園全体を リードできる	無効	無回答
総計	計	1,850	100.0%	14	634	814	313	63	8	4
都区部・指定都市	計	440	100.0%	3	138	198	81	15	4	1
中核市	計	206	100.0%	3	69	81	40	12	0	1
中都市	計	321	100.0%	2	105	133	62	17	2	0
小都市A	計	532	100.0%	0	185	250	80	16	0	1
小都市B	計	192	100.0%	4	80	80	24	2	2	0
町・村	計	159	100.0%	2	57	72	26	1	0	1

表NO.39 地域区分別 I-20 各業務ごとの能力について〈保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること〉

		総計		できない	教えてもらって できる	自分自身の力で できる	他の保育士を 指導できる	保育士の集団や 組織、園全体を リードできる	無効	無回答
全国	計	1,850	100.0%	128	965	479	208	58	8	4
北海道・東北地区	計	263	100.0%	27	142	63	24	5	1	1
関東地区	計	441	100.0%	27	213	130	55	13	3	0
東海地区	計	176	100.0%	16	104	34	18	3	1	0
北信越地区	計	135	100.0%	10	76	32	14	2	0	1
近畿地区	計	252	100.0%	11	130	69	24	16	1	1
中国・四国地区	計	179	100.0%	15	94	39	23	7	0	1
九州地区	計	404	100.0%	22	206	112	50	12	2	0

表NO.40 所在地区別 I-20 各業務ごとの能力について〈保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること〉

		総計		できない	教えてもらって できる	自分自身の力で できる	他の保育士を 指導できる	保育士の集団や 組織、園全体を リードできる	無効	無回答
総計	計	1,850	100.0%	128	965	479	208	58	8	4
都区部・指定都市	計	440	100.0%	22	228	117	55	14	3	1
中核市	計	206	100.0%	13	111	42	27	12	0	1
中都市	計	321	100.0%	22	160	79	45	13	2	0
小都市A	計	532	100.0%	45	272	149	48	15	2	1
小都市B	計	192	100.0%	20	101	54	15	1	1	0
町・村	計	159	100.0%	6	93	38	18	3	0	1

表NO.41 地域区分別 I-21 各業務ごとの能力について〈障害のある子どもの保育に関すること〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	119	6.4%	1,069	57.8%	465	25.1%	158	8.5%	28	1.5%	5	0.3%	6	0.3%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	19	7.2%	159	60.5%	69	26.2%	14	5.3%	0	0.0%	2	0.8%	0	0.0%
関東地区	計	441	100.0%	26	5.9%	242	54.9%	131	29.7%	33	7.5%	7	1.6%	1	0.2%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	12	6.8%	119	67.6%	29	16.5%	13	7.4%	2	1.1%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	11	8.1%	80	59.3%	33	24.4%	10	7.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	18	7.1%	133	52.8%	62	24.6%	29	11.5%	9	3.6%	0	0.0%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	12	6.7%	110	61.5%	29	16.2%	21	11.7%	5	2.8%	0	0.0%	2	1.1%
九州地区	計	404	100.0%	21	5.2%	226	55.9%	112	27.7%	38	9.4%	5	1.2%	1	0.2%	1	0.2%

表NO.42 所在地区別 I-21 各業務ごとの能力について〈障害のある子どもの保育に関すること〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	119	6.4%	1,069	57.8%	465	25.1%	158	8.5%	28	1.5%	5	0.3%	6	0.3%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	26	5.9%	236	53.6%	124	28.2%	40	9.1%	12	2.7%	1	0.2%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	12	5.8%	114	55.3%	47	22.8%	28	13.6%	3	1.5%	1	0.5%	1	0.5%
中都市	計	321	100.0%	26	8.1%	189	58.9%	74	23.1%	22	6.9%	7	2.2%	1	0.3%	2	0.6%
小都市A	計	532	100.0%	34	6.4%	309	58.1%	139	26.1%	42	7.9%	4	0.8%	2	0.4%	2	0.4%
小都市B	計	192	100.0%	14	7.3%	124	64.6%	43	22.4%	10	5.2%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
町・村	計	159	100.0%	7	4.4%	97	61.0%	38	23.9%	16	10.1%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.43 地域区分別 I-22 各業務ごとの能力について〈地域の保護者等に対する子育て支援〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	323	17.5%	1,003	54.2%	352	19.0%	115	6.2%	44	2.4%	2	0.1%	11	0.6%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	43	16.3%	158	60.1%	41	15.6%	15	5.7%	4	1.5%	0	0.0%	2	0.8%
関東地区	計	441	100.0%	78	17.7%	221	50.1%	109	24.7%	19	4.3%	11	2.5%	0	0.0%	3	0.7%
東海地区	計	176	100.0%	35	19.9%	98	55.7%	26	14.8%	13	7.4%	3	1.7%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	23	17.0%	76	56.3%	26	19.3%	6	4.4%	3	2.2%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	53	21.0%	128	50.8%	41	16.3%	20	7.9%	9	3.6%	0	0.0%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	28	15.6%	99	55.3%	31	17.3%	15	8.4%	4	2.2%	0	0.0%	2	1.1%
九州地区	計	404	100.0%	63	15.6%	223	55.2%	78	19.3%	27	6.7%	10	2.5%	1	0.2%	2	0.5%

表NO.44 所在地区別 I-22 各業務ごとの能力について〈地域の保護者等に対する子育て支援〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	323	17.5%	1,003	54.2%	352	19.0%	115	6.2%	44	2.4%	2	0.1%	11	0.6%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	70	15.9%	240	54.5%	89	20.2%	26	5.9%	11	2.5%	1	0.2%	3	0.7%
中核市	計	206	100.0%	34	16.5%	111	53.9%	33	16.0%	18	8.7%	7	3.4%	0	0.0%	3	1.5%
中都市	計	321	100.0%	72	22.4%	163	50.8%	53	16.5%	22	6.9%	10	3.1%	0	0.0%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	88	16.5%	293	55.1%	108	20.3%	29	5.5%	10	1.9%	1	0.2%	3	0.6%
小都市B	計	192	100.0%	35	18.2%	113	58.9%	32	16.7%	7	3.6%	4	2.1%	0	0.0%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	24	15.1%	83	52.2%	37	23.3%	13	8.2%	2	1.3%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.45 地域区分別 I-23 各業務ごとの能力について〈小学校との連携に関すること〉

		総計		できない	教えてもらって できる	自分自身の力で できる	他の保育士を 指導できる	保育士の集団や 組織、園全体を リードできる	無効	無回答							
全国	計	1,850	100.0%	381	20.6%	982	53.1%	334	18.1%	98	5.3%	45	2.4%	2	0.1%	8	0.4%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	53	20.2%	153	58.2%	40	15.2%	13	4.9%	2	0.8%	0	0.0%	2	0.8%
関東地区	計	441	100.0%	93	21.1%	234	53.1%	82	18.6%	18	4.1%	13	2.9%	0	0.0%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	44	25.0%	89	50.6%	31	17.6%	9	5.1%	3	1.7%	0	0.0%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	27	20.0%	69	51.1%	32	23.7%	4	3.0%	2	1.5%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	64	25.4%	126	50.0%	36	14.3%	16	6.3%	9	3.6%	0	0.0%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	37	20.7%	94	52.5%	32	17.9%	10	5.6%	5	2.8%	0	0.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	63	15.6%	217	53.7%	81	20.0%	28	6.9%	11	2.7%	2	0.5%	2	0.5%

表NO.46 所在地区別 I-23 各業務ごとの能力について〈小学校との連携に関すること〉

		総計		できない	教えてもらって できる	自分自身の力で できる	他の保育士を 指導できる	保育士の集団や 組織、園全体を リードできる	無効	無回答							
総計	計	1,850	100.0%	381	20.6%	982	53.1%	334	18.1%	98	5.3%	45	2.4%	2	0.1%	8	0.4%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	93	21.1%	233	53.0%	79	18.0%	16	3.6%	15	3.4%	1	0.2%	3	0.7%
中核市	計	206	100.0%	38	18.4%	103	50.0%	33	16.0%	23	11.2%	7	3.4%	0	0.0%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	82	25.5%	174	54.2%	45	14.0%	10	3.1%	10	3.1%	0	0.0%	0	0.0%
小都市A	計	532	100.0%	96	18.0%	286	53.8%	111	20.9%	28	5.3%	8	1.5%	0	0.0%	3	0.6%
小都市B	計	192	100.0%	41	21.4%	102	53.1%	35	18.2%	11	5.7%	2	1.0%	1	0.5%	0	0.0%
町・村	計	159	100.0%	31	19.5%	84	52.8%	31	19.5%	10	6.3%	3	1.9%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.47 地域区分別 I-24 各業務ごとの能力について〈研修会や学会などでの発表を行うこと〉

		総計		できない	教えてもらって できる	自分自身の力で できる	他の保育士を 指導できる	保育士の集団や 組織、園全体を リードできる	無効	無回答							
全国	計	1,850	100.0%	463	25.0%	842	45.5%	413	22.3%	86	4.6%	36	1.9%	1	0.1%	9	0.5%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	75	28.5%	119	45.2%	56	21.3%	10	3.8%	3	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
関東地区	計	441	100.0%	103	23.4%	194	44.0%	113	25.6%	18	4.1%	11	2.5%	0	0.0%	2	0.5%
東海地区	計	176	100.0%	47	26.7%	85	48.3%	34	19.3%	6	3.4%	3	1.7%	0	0.0%	1	0.6%
北信越地区	計	135	100.0%	31	23.0%	65	48.1%	28	20.7%	9	6.7%	1	0.7%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	69	27.4%	105	41.7%	52	20.6%	17	6.7%	8	3.2%	0	0.0%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	56	31.3%	76	42.5%	34	19.0%	8	4.5%	3	1.7%	0	0.0%	2	1.1%
九州地区	計	404	100.0%	82	20.3%	198	49.0%	96	23.8%	18	4.5%	7	1.7%	1	0.2%	2	0.5%

表NO.48 所在地区別 I-24 各業務ごとの能力について〈研修会や学会などでの発表を行うこと〉

		総計		できない	教えてもらって できる	自分自身の力で できる	他の保育士を 指導できる	保育士の集団や 組織、園全体を リードできる	無効	無回答							
総計	計	1,850	100.0%	463	25.0%	842	45.5%	413	22.3%	86	4.6%	36	1.9%	1	0.1%	9	0.5%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	115	26.1%	192	43.6%	102	23.2%	17	3.9%	11	2.5%	0	0.0%	3	0.7%
中核市	計	206	100.0%	45	21.8%	93	45.1%	41	19.9%	16	7.8%	7	3.4%	1	0.5%	3	1.5%
中都市	計	321	100.0%	85	26.5%	139	43.3%	79	24.6%	9	2.8%	9	2.8%	0	0.0%	0	0.0%
小都市A	計	532	100.0%	132	24.8%	257	48.3%	116	21.8%	20	3.8%	4	0.8%	0	0.0%	3	0.6%
小都市B	計	192	100.0%	48	25.0%	93	48.4%	38	19.8%	10	5.2%	3	1.6%	0	0.0%	0	0.0%
町・村	計	159	100.0%	38	23.9%	68	42.8%	37	23.3%	14	8.8%	2	1.3%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.49 地域区分別 I-25 各業務ごとの能力について〈保育士の自己評価について確認や助言を行うこと〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	361	19.5%	657	35.5%	624	33.7%	155	8.4%	40	2.2%	2	0.1%	11	0.6%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	60	22.8%	99	37.6%	83	31.6%	19	7.2%	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
関東地区	計	441	100.0%	84	19.0%	153	34.7%	153	34.7%	37	8.4%	11	2.5%	1	0.2%	2	0.5%
東海地区	計	176	100.0%	34	19.3%	66	37.5%	59	33.5%	14	8.0%	2	1.1%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	27	20.0%	56	41.5%	37	27.4%	12	8.9%	1	0.7%	0	0.0%	2	1.5%
近畿地区	計	252	100.0%	46	18.3%	93	36.9%	74	29.4%	26	10.3%	11	4.4%	0	0.0%	2	0.8%
中国・四国地区	計	179	100.0%	40	22.3%	52	29.1%	68	38.0%	14	7.8%	3	1.7%	0	0.0%	2	1.1%
九州地区	計	404	100.0%	70	17.3%	138	34.2%	150	37.1%	33	8.2%	10	2.5%	0	0.0%	3	0.7%

表NO.50 所在地区別 I-25 各業務ごとの能力について〈保育士の自己評価について確認や助言を行うこと〉

		総計		できない		教えてもらって できる		自分自身の力で できる		他の保育士を 指導できる		保育士の集団や 組織、園全体を リードできる		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	361	19.5%	657	35.5%	624	33.7%	155	8.4%	40	2.2%	2	0.1%	11	0.6%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	83	18.9%	154	35.0%	152	34.5%	31	7.0%	15	3.4%	1	0.2%	4	0.9%
中核市	計	206	100.0%	36	17.5%	75	36.4%	61	29.6%	26	12.6%	7	3.4%	0	0.0%	1	0.5%
中都市	計	321	100.0%	72	22.4%	93	29.0%	116	36.1%	31	9.7%	7	2.2%	1	0.3%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	98	18.4%	197	37.0%	193	36.3%	35	6.6%	6	1.1%	0	0.0%	3	0.6%
小都市B	計	192	100.0%	40	20.8%	84	43.8%	47	24.5%	16	8.3%	3	1.6%	0	0.0%	2	1.0%
町・村	計	159	100.0%	32	20.1%	54	34.0%	55	34.6%	16	10.1%	2	1.3%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.51 地域区分別 II-1 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数〈乳児クラスの主任任〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	10	0.5%	169	9.1%	665	35.9%	482	26.1%	254	13.7%	168	9.1%	45	2.4%	50	2.7%	7	0.4%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	1	0.4%	16	6.1%	83	31.6%	90	34.2%	36	13.7%	24	9.1%	6	2.3%	6	2.3%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	3	0.7%	39	8.8%	169	38.3%	112	25.4%	60	13.6%	37	8.4%	8	1.8%	12	2.7%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	0	0.0%	20	11.4%	66	37.5%	44	25.0%	22	12.5%	13	7.4%	6	3.4%	5	2.8%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	14	10.4%	49	36.3%	35	25.9%	14	10.4%	14	10.4%	6	4.4%	3	2.2%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	2	0.8%	31	12.3%	93	36.9%	57	22.6%	37	14.7%	21	8.3%	5	2.0%	5	2.0%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	2	1.1%	13	7.3%	58	32.4%	43	24.0%	25	14.0%	23	12.8%	6	3.4%	7	3.9%	2	1.1%
九州地区	計	404	100.0%	2	0.5%	36	8.9%	147	36.4%	101	25.0%	60	14.9%	36	8.9%	8	2.0%	12	3.0%	2	0.5%

表NO.52 所在地区別 II-1 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数〈乳児クラスの主任任〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	10	0.5%	169	9.1%	665	35.9%	482	26.1%	254	13.7%	168	9.1%	45	2.4%	50	2.7%	7	0.4%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	2	0.5%	30	6.8%	158	35.9%	128	29.1%	61	13.9%	34	7.7%	11	2.5%	15	3.4%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	1	0.5%	23	11.2%	68	33.0%	66	32.0%	18	8.7%	21	10.2%	4	1.9%	3	1.5%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	2	0.6%	30	9.3%	117	36.4%	87	27.1%	48	15.0%	23	7.2%	4	1.2%	8	2.5%	2	0.6%
小都市A	計	532	100.0%	3	0.6%	53	10.0%	184	34.6%	126	23.7%	75	14.1%	61	11.5%	15	2.8%	14	2.6%	1	0.2%
小都市B	計	192	100.0%	1	0.5%	14	7.3%	72	37.5%	45	23.4%	36	18.8%	13	6.8%	7	3.6%	3	1.6%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	1	0.6%	19	11.9%	66	41.5%	30	18.9%	16	10.1%	16	10.1%	4	2.5%	7	4.4%	0	0.0%

表NO.53 地域区分別 II-2 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数〈3歳未満クラスの主任〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	8	0.4%	234	12.6%	808	43.7%	420	22.7%	218	11.8%	103	5.6%	33	1.8%	20	1.1%	6	0.3%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	2	0.8%	32	12.2%	112	42.6%	63	24.0%	33	12.5%	12	4.6%	5	1.9%	3	1.1%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	2	0.5%	49	11.1%	201	45.6%	104	23.6%	51	11.6%	25	5.7%	5	1.1%	3	0.7%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	0	0.0%	24	13.6%	71	40.3%	42	23.9%	20	11.4%	13	7.4%	4	2.3%	2	1.1%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	22	16.3%	57	42.2%	36	26.7%	10	7.4%	6	4.4%	4	3.0%	0	0.0%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	0	0.0%	30	11.9%	112	44.4%	55	21.8%	28	11.1%	16	6.3%	5	2.0%	5	2.0%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	2	1.1%	18	10.1%	70	39.1%	40	22.3%	24	13.4%	16	8.9%	6	3.4%	1	0.6%	2	1.1%
九州地区	計	404	100.0%	2	0.5%	59	14.6%	185	45.8%	80	19.8%	52	12.9%	15	3.7%	4	1.0%	6	1.5%	1	0.2%

表NO.54 所在地区別 II-2 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数〈3歳未満クラスの主任〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	8	0.4%	234	12.6%	808	43.7%	420	22.7%	218	11.8%	103	5.6%	33	1.8%	20	1.1%	6	0.3%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	1	0.2%	34	7.7%	199	45.2%	119	27.0%	46	10.5%	22	5.0%	9	2.0%	9	2.0%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	1	0.5%	29	14.1%	84	40.8%	51	24.8%	23	11.2%	13	6.3%	2	1.0%	1	0.5%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	2	0.6%	47	14.6%	145	45.2%	71	22.1%	36	11.2%	16	5.0%	2	0.6%	0	0.0%	2	0.6%
小都市A	計	532	100.0%	3	0.6%	73	13.7%	225	42.3%	107	20.1%	73	13.7%	36	6.8%	10	1.9%	5	0.9%	0	0.0%
小都市B	計	192	100.0%	1	0.5%	20	10.4%	84	43.8%	50	26.0%	24	12.5%	5	2.6%	6	3.1%	1	0.5%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	0	0.0%	31	19.5%	71	44.7%	22	13.8%	16	10.1%	11	6.9%	4	2.5%	4	2.5%	0	0.0%

表NO.55 地域区分別 II-3 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数〈3歳以上児クラスの主任〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	20	1.1%	202	10.9%	764	41.3%	479	25.9%	190	10.3%	107	5.8%	36	1.9%	46	2.5%	6	0.3%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	5	1.9%	25	9.5%	114	43.3%	73	27.8%	23	8.7%	12	4.6%	5	1.9%	5	1.9%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	3	0.7%	49	11.1%	189	42.9%	106	24.0%	50	11.3%	23	5.2%	6	1.4%	14	3.2%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	1	0.6%	19	10.8%	68	38.6%	50	28.4%	15	8.5%	14	8.0%	5	2.8%	4	2.3%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	16	11.9%	51	37.8%	39	28.9%	14	10.4%	8	5.9%	4	3.0%	3	2.2%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	2	0.8%	18	7.1%	107	42.5%	65	25.8%	30	11.9%	16	6.3%	6	2.4%	6	2.4%	2	0.8%
中国・四国地区	計	179	100.0%	3	1.7%	21	11.7%	62	34.6%	40	22.3%	21	11.7%	17	9.5%	6	3.4%	8	4.5%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	6	1.5%	54	13.4%	173	42.8%	106	26.2%	37	9.2%	17	4.2%	4	1.0%	6	1.5%	1	0.2%

表NO.56 所在地区別 II-3 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数〈3歳以上児クラスの主任〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	20	1.1%	202	10.9%	764	41.3%	479	25.9%	190	10.3%	107	5.8%	36	1.9%	46	2.5%	6	0.3%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	1	0.2%	38	8.6%	179	40.7%	135	30.7%	38	8.6%	22	5.0%	11	2.5%	14	3.2%	2	0.5%
中核市	計	206	100.0%	2	1.0%	23	11.2%	87	42.2%	49	23.8%	24	11.7%	13	6.3%	2	1.0%	4	1.9%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	5	1.6%	40	12.5%	147	45.8%	70	21.8%	34	10.6%	12	3.7%	3	0.9%	9	2.8%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	6	1.1%	61	11.5%	205	38.5%	135	25.4%	61	11.5%	42	7.9%	10	1.9%	12	2.3%	0	0.0%
小都市B	計	192	100.0%	4	2.1%	13	6.8%	79	41.1%	58	30.2%	20	10.4%	8	4.2%	6	3.1%	3	1.6%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	2	1.3%	27	17.0%	67	42.1%	32	20.1%	13	8.2%	10	6.3%	4	2.5%	4	2.5%	0	0.0%

表NO.57 地域区分別 II-4 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数〈子どもの情緒の安定を図ること〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	76	4.1%	472	25.5%	708	38.3%	355	19.2%	128	6.9%	67	3.6%	27	1.5%	11	0.6%	6	0.3%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	6	2.3%	66	25.1%	106	40.3%	52	19.8%	19	7.2%	9	3.4%	4	1.5%	0	0.0%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	17	3.9%	120	27.2%	172	39.0%	80	18.1%	25	5.7%	18	4.1%	6	1.4%	2	0.5%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	9	5.1%	31	17.6%	73	41.5%	36	20.5%	16	9.1%	7	4.0%	3	1.7%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	10	7.4%	31	23.0%	52	38.5%	22	16.3%	15	11.1%	4	3.0%	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	12	4.8%	75	29.8%	82	32.5%	39	15.5%	21	8.3%	15	6.0%	3	1.2%	3	1.2%	2	0.8%
中国・四国地区	計	179	100.0%	3	1.7%	51	28.5%	67	37.4%	34	19.0%	15	8.4%	5	2.8%	3	1.7%	0	0.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	19	4.7%	98	24.3%	156	38.6%	92	22.8%	17	4.2%	9	2.2%	8	2.0%	4	1.0%	1	0.2%

表NO.58 所在地区別 II-4 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数〈子どもの情緒の安定を図ること〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	76	4.1%	472	25.5%	708	38.3%	355	19.2%	128	6.9%	67	3.6%	27	1.5%	11	0.6%	6	0.3%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	22	5.0%	129	29.3%	157	35.7%	82	18.6%	25	5.7%	17	3.9%	3	0.7%	3	0.7%	2	0.5%
中核市	計	206	100.0%	9	4.4%	54	26.2%	78	37.9%	42	20.4%	8	3.9%	9	4.4%	0	0.0%	4	1.9%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	17	5.3%	87	27.1%	123	38.3%	57	17.8%	21	6.5%	11	3.4%	3	0.9%	1	0.3%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	18	3.4%	125	23.5%	201	37.8%	103	19.4%	52	9.8%	20	3.8%	11	2.1%	2	0.4%	0	0.0%
小都市B	計	192	100.0%	8	4.2%	40	20.8%	73	38.0%	41	21.4%	18	9.4%	5	2.6%	5	2.6%	1	0.5%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	2	1.3%	37	23.3%	76	47.8%	30	18.9%	4	2.5%	5	3.1%	5	3.1%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.59 地域区分別 II-5 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数〈子どもの生命の保持を図ること〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	126	6.8%	471	25.5%	662	35.8%	343	18.5%	137	7.4%	61	3.3%	36	1.9%	9	0.5%	5	0.3%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	15	5.7%	67	25.5%	98	37.3%	47	17.9%	21	8.0%	10	3.8%	4	1.5%	0	0.0%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	29	6.6%	117	26.5%	156	35.4%	78	17.7%	34	7.7%	16	3.6%	8	1.8%	2	0.5%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	10	5.7%	32	18.2%	71	40.3%	39	22.2%	12	6.8%	8	4.5%	3	1.7%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	13	9.6%	24	17.8%	49	36.3%	31	23.0%	12	8.9%	4	3.0%	1	0.7%	1	0.7%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	19	7.5%	87	34.5%	72	28.6%	35	13.9%	20	7.9%	10	4.0%	5	2.0%	3	1.2%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	11	6.1%	48	26.8%	71	39.7%	25	14.0%	15	8.4%	5	2.8%	3	1.7%	0	0.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	29	7.2%	96	23.8%	145	35.9%	88	21.8%	23	5.7%	8	2.0%	12	3.0%	2	0.5%	1	0.2%

表NO.60 所在地区別 II-5 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数〈子どもの生命の保持を図ること〉

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	126	6.8%	471	25.5%	662	35.8%	343	18.5%	137	7.4%	61	3.3%	36	1.9%	9	0.5%	5	0.3%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	35	8.0%	124	28.2%	159	36.1%	72	16.4%	26	5.9%	17	3.9%	4	0.9%	2	0.5%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	14	6.8%	50	24.3%	64	31.1%	52	25.2%	11	5.3%	8	3.9%	1	0.5%	4	1.9%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	26	8.1%	90	28.0%	113	35.2%	52	16.2%	24	7.5%	9	2.8%	4	1.2%	2	0.6%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	32	6.0%	123	23.1%	183	34.4%	112	21.1%	46	8.6%	20	3.8%	15	2.8%	1	0.2%	0	0.0%
小都市B	計	192	100.0%	12	6.3%	43	22.4%	69	35.9%	36	18.8%	21	10.9%	4	2.1%	6	3.1%	0	0.0%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	7	4.4%	41	25.8%	74	46.5%	19	11.9%	9	5.7%	3	1.9%	6	3.8%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.61 地域区分別 II-6 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数(子どもの基本的な生活習慣の支援をすること)

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	231	12.5%	743	40.2%	556	30.1%	208	11.2%	65	3.5%	22	1.2%	16	0.9%	3	0.2%	6	0.3%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	25	9.5%	112	42.6%	82	31.2%	25	9.5%	12	4.6%	3	1.1%	3	1.1%	0	0.0%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	59	13.4%	176	39.9%	132	29.9%	53	12.0%	10	2.3%	7	1.6%	3	0.7%	0	0.0%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	16	9.1%	60	34.1%	66	37.5%	22	12.5%	6	3.4%	3	1.7%	2	1.1%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	21	15.6%	47	34.8%	46	34.1%	16	11.9%	4	3.0%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	33	13.1%	122	48.4%	55	21.8%	19	7.5%	13	5.2%	5	2.0%	2	0.8%	1	0.4%	2	0.8%
中国・四国地区	計	179	100.0%	21	11.7%	70	39.1%	55	30.7%	21	11.7%	7	3.9%	2	1.1%	2	1.1%	0	0.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	56	13.9%	156	38.6%	120	29.7%	52	12.9%	13	3.2%	1	0.2%	4	1.0%	1	0.2%	1	0.2%

表NO.62 所在地区別 II-6 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数(子どもの基本的な生活習慣の支援をすること)

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	231	12.5%	743	40.2%	556	30.1%	208	11.2%	65	3.5%	22	1.2%	16	0.9%	3	0.2%	6	0.3%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	54	12.3%	170	38.6%	140	31.8%	49	11.1%	16	3.6%	5	1.1%	3	0.7%	1	0.2%	2	0.5%
中核市	計	206	100.0%	22	10.7%	94	45.6%	54	26.2%	23	11.2%	8	3.9%	1	0.5%	0	0.0%	2	1.0%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	49	15.3%	125	38.9%	99	30.8%	35	10.9%	9	2.8%	3	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	67	12.6%	201	37.8%	161	30.3%	68	12.8%	18	3.4%	11	2.1%	6	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
小都市B	計	192	100.0%	26	13.5%	67	34.9%	58	30.2%	24	12.5%	9	4.7%	2	1.0%	5	2.6%	0	0.0%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	13	8.2%	86	54.1%	44	27.7%	9	5.7%	5	3.1%	0	0.0%	2	1.3%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.63 地域区分別 II-7 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数(子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること)

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	140	7.6%	628	33.9%	663	35.8%	267	14.4%	91	4.9%	31	1.7%	20	1.1%	5	0.3%	5	0.3%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	15	5.7%	78	29.7%	112	42.6%	38	14.4%	11	4.2%	4	1.5%	3	1.1%	1	0.4%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	30	6.8%	163	37.0%	155	35.1%	61	13.8%	18	4.1%	8	1.8%	3	0.7%	2	0.5%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	11	6.3%	43	24.4%	72	40.9%	31	17.6%	11	6.3%	4	2.3%	3	1.7%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	13	9.6%	47	34.8%	40	29.6%	25	18.5%	8	5.9%	2	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	23	9.1%	97	38.5%	78	31.0%	25	9.9%	18	7.1%	6	2.4%	3	1.2%	1	0.4%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	15	8.4%	60	33.5%	56	31.3%	32	17.9%	7	3.9%	4	2.2%	4	2.2%	0	0.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	33	8.2%	140	34.7%	150	37.1%	55	13.6%	18	4.5%	3	0.7%	4	1.0%	0	0.0%	1	0.2%

表NO.64 所在地区別 II-7 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数(子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること)

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	140	7.6%	628	33.9%	663	35.8%	267	14.4%	91	4.9%	31	1.7%	20	1.1%	5	0.3%	5	0.3%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	33	7.5%	152	34.5%	159	36.1%	60	13.6%	21	4.8%	8	1.8%	4	0.9%	2	0.5%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	15	7.3%	67	32.5%	77	37.4%	32	15.5%	6	2.9%	5	2.4%	1	0.5%	1	0.5%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	24	7.5%	121	37.7%	98	30.5%	55	17.1%	16	5.0%	3	0.9%	1	0.3%	2	0.6%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	39	7.3%	176	33.1%	197	37.0%	72	13.5%	32	6.0%	10	1.9%	6	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
小都市B	計	192	100.0%	17	8.9%	54	28.1%	72	37.5%	28	14.6%	9	4.7%	5	2.6%	6	3.1%	0	0.0%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	12	7.5%	58	36.5%	60	37.7%	20	12.6%	7	4.4%	0	0.0%	2	1.3%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.65 地域区分別 II-8 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（保育室や保育所内の環境を整備すること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	391	21.1%	808	43.7%	447	24.2%	131	7.1%	41	2.2%	13	0.7%	11	0.6%	3	0.2%	5	0.3%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	57	21.7%	117	44.5%	59	22.4%	19	7.2%	7	2.7%	1	0.4%	2	0.8%	0	0.0%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	86	19.5%	211	47.8%	104	23.6%	28	6.3%	4	0.9%	4	0.9%	2	0.5%	1	0.2%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	26	14.8%	71	40.3%	54	30.7%	14	8.0%	9	5.1%	1	0.6%	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	23	17.0%	62	45.9%	35	25.9%	11	8.1%	2	1.5%	1	0.7%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	49	19.4%	118	46.8%	50	19.8%	18	7.1%	10	4.0%	4	1.6%	1	0.4%	1	0.4%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	40	22.3%	68	38.0%	47	26.3%	13	7.3%	6	3.4%	2	1.1%	2	1.1%	0	0.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	110	27.2%	161	39.9%	98	24.3%	28	6.9%	3	0.7%	0	0.0%	3	0.7%	0	0.0%	1	0.2%

表NO.66 所在地区別 II-8 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（保育室や保育所内の環境を整備すること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	391	21.1%	808	43.7%	447	24.2%	131	7.1%	41	2.2%	13	0.7%	11	0.6%	3	0.2%	5	0.3%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	87	19.8%	196	44.5%	117	26.6%	26	5.9%	8	1.8%	3	0.7%	1	0.2%	1	0.2%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	39	18.9%	100	48.5%	42	20.4%	18	8.7%	4	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	75	23.4%	146	45.5%	74	23.1%	19	5.9%	3	0.9%	2	0.6%	0	0.0%	1	0.3%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	113	21.2%	222	41.7%	126	23.7%	42	7.9%	17	3.2%	7	1.3%	5	0.9%	0	0.0%	0	0.0%
小都市B	計	192	100.0%	43	22.4%	73	38.0%	50	26.0%	16	8.3%	5	2.6%	1	0.5%	3	1.6%	0	0.0%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	34	21.4%	71	44.7%	38	23.9%	10	6.3%	4	2.5%	0	0.0%	2	1.3%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.67 地域区分別 II-9 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（遊具の安全管理を行うこと）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	277	15.0%	687	37.1%	505	27.3%	219	11.8%	95	5.1%	34	1.8%	18	1.0%	6	0.3%	9	0.5%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	39	14.8%	102	38.8%	73	27.8%	27	10.3%	11	4.2%	5	1.9%	3	1.1%	1	0.4%	2	0.8%
関東地区	計	441	100.0%	58	13.2%	176	39.9%	130	29.5%	45	10.2%	20	4.5%	7	1.6%	3	0.7%	1	0.2%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	20	11.4%	62	35.2%	44	25.0%	33	18.8%	15	8.5%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%
北信越地区	計	135	100.0%	19	14.1%	44	32.6%	44	32.6%	16	11.9%	5	3.7%	4	3.0%	2	1.5%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	42	16.7%	97	38.5%	60	23.8%	25	9.9%	16	6.3%	7	2.8%	2	0.8%	2	0.8%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	28	15.6%	59	33.0%	48	26.8%	24	13.4%	11	6.1%	4	2.2%	3	1.7%	1	0.6%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	71	17.6%	147	36.4%	106	26.2%	49	12.1%	17	4.2%	6	1.5%	5	1.2%	1	0.2%	2	0.5%

表NO.68 所在地区別 II-9 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（遊具の安全管理を行うこと）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	277	15.0%	687	37.1%	505	27.3%	219	11.8%	95	5.1%	34	1.8%	18	1.0%	6	0.3%	9	0.5%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	58	13.2%	160	36.4%	132	30.0%	56	12.7%	22	5.0%	7	1.6%	1	0.2%	2	0.5%	2	0.5%
中核市	計	206	100.0%	28	13.6%	68	33.0%	61	29.6%	28	13.6%	13	6.3%	3	1.5%	1	0.5%	2	1.0%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	52	16.2%	119	37.1%	100	31.2%	31	9.7%	13	4.0%	3	0.9%	0	0.0%	2	0.6%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	86	16.2%	190	35.7%	136	25.6%	67	12.6%	29	5.5%	13	2.4%	9	1.7%	2	0.4%	0	0.0%
小都市B	計	192	100.0%	30	15.6%	79	41.1%	40	20.8%	24	12.5%	10	5.2%	2	1.0%	5	2.6%	1	0.5%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	23	14.5%	71	44.7%	36	22.6%	13	8.2%	8	5.0%	6	3.8%	2	1.3%	0	0.0%	0	0.0%



表NO.69 地域区分別 II-10 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（子どもの病気やケガへの対応を判断すること）

		総計	1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答				
全国	計	1,850	100.0%	51	2.8%	356	19.2%	602	32.5%	395	21.4%	227	12.3%	124	6.7%	75	4.1%	13	0.7%	1	0.1%	6	0.3%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	11	4.2%	31	11.8%	80	30.4%	66	25.1%	40	15.2%	15	5.7%	17	6.5%	2	0.8%	0	0.0%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	8	1.8%	89	20.2%	161	36.5%	83	18.8%	51	11.6%	29	6.6%	17	3.9%	2	0.5%	0	0.0%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	6	3.4%	29	16.5%	58	33.0%	38	21.6%	22	12.5%	14	8.0%	8	4.5%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	3	2.2%	29	21.5%	36	26.7%	31	23.0%	23	17.0%	10	7.4%	2	1.5%	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	6	2.4%	61	24.2%	66	26.2%	60	23.8%	22	8.7%	18	7.1%	14	5.6%	3	1.2%	0	0.0%	2	0.8%
中国・四国地区	計	179	100.0%	8	4.5%	31	17.3%	62	34.6%	32	17.9%	24	13.4%	15	8.4%	5	2.8%	1	0.6%	0	0.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	9	2.2%	86	21.3%	139	34.4%	85	21.0%	45	11.1%	23	5.7%	12	3.0%	4	1.0%	0	0.0%	1	0.2%

表NO.70 所在地区別 II-10 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（子どもの病気やケガへの対応を判断すること）

		総計	1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答				
総計	計	1,850	100.0%	51	2.8%	356	19.2%	602	32.5%	395	21.4%	227	12.3%	124	6.7%	75	4.1%	13	0.7%	1	0.1%	6	0.3%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	8	1.8%	91	20.7%	128	29.1%	102	23.2%	58	13.2%	29	6.6%	19	4.3%	4	0.9%	0	0.0%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	9	4.4%	25	12.1%	70	34.0%	47	22.8%	28	13.6%	19	9.2%	2	1.0%	2	1.0%	1	0.5%	3	1.5%
中都市	計	321	100.0%	11	3.4%	60	18.7%	111	34.6%	67	20.9%	45	14.0%	14	4.4%	10	3.1%	2	0.6%	0	0.0%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	10	1.9%	108	20.3%	175	32.9%	119	22.4%	52	9.8%	37	7.0%	30	5.6%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
小都市B	計	192	100.0%	8	4.2%	38	19.8%	56	29.2%	36	18.8%	27	14.1%	13	6.8%	9	4.7%	4	2.1%	0	0.0%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	5	3.1%	34	21.4%	62	39.0%	24	15.1%	17	10.7%	12	7.5%	5	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.71 地域区分別 II-11 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと）

		総計	1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答		
全国	計	1,850	100.0%	4	0.2%	80	4.3%	286	15.5%	388	21.0%	352	19.0%	353	19.1%	238	12.9%	130	7.0%	19	1.0%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	0	0.0%	10	3.8%	30	11.4%	58	22.1%	51	19.4%	54	20.5%	42	16.0%	16	6.1%	2	0.8%
関東地区	計	441	100.0%	2	0.5%	16	3.6%	82	18.6%	104	23.6%	77	17.5%	74	16.8%	52	11.8%	29	6.6%	5	1.1%
東海地区	計	176	100.0%	1	0.6%	5	2.8%	25	14.2%	31	17.6%	30	17.0%	36	20.5%	28	15.9%	18	10.2%	2	1.1%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	8	5.9%	16	11.9%	23	17.0%	32	23.7%	24	17.8%	25	18.5%	6	4.4%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	0	0.0%	9	3.6%	37	14.7%	49	19.4%	45	17.9%	53	21.0%	31	12.3%	24	9.5%	4	1.6%
中国・四国地区	計	179	100.0%	0	0.0%	4	2.2%	17	9.5%	34	19.0%	41	22.9%	40	22.3%	30	16.8%	11	6.1%	2	1.1%
九州地区	計	404	100.0%	1	0.2%	28	6.9%	79	19.6%	89	22.0%	76	18.8%	72	17.8%	30	7.4%	26	6.4%	3	0.7%

表NO.72 所在地区別 II-11 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと）

		総計	1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無効	無回答		
総計	計	1,850	100.0%	4	0.2%	80	4.3%	286	15.5%	388	21.0%	352	19.0%	353	19.1%	238	12.9%	130	7.0%	19	1.0%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	2	0.5%	19	4.3%	66	15.0%	94	21.4%	79	18.0%	89	20.2%	55	12.5%	29	6.6%	7	1.6%
中核市	計	206	100.0%	1	0.5%	6	2.9%	31	15.0%	30	14.6%	56	27.2%	39	18.9%	26	12.6%	13	6.3%	4	1.9%
中都市	計	321	100.0%	0	0.0%	15	4.7%	44	13.7%	66	20.6%	72	22.4%	52	16.2%	42	13.1%	28	8.7%	2	0.6%
小都市A	計	532	100.0%	1	0.2%	27	5.1%	84	15.8%	120	22.6%	89	16.7%	102	19.2%	72	13.5%	32	6.0%	5	0.9%
小都市B	計	192	100.0%	0	0.0%	10	5.2%	25	13.0%	37	19.3%	32	16.7%	41	21.4%	25	13.0%	21	10.9%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	0	0.0%	3	1.9%	36	22.6%	41	25.8%	24	15.1%	30	18.9%	18	11.3%	7	4.4%	0	0.0%

表NO.73 地域区分別 II-12 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（指導計画を作成すること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	169	9.1%	608	32.9%	566	30.6%	300	16.2%	108	5.8%	63	3.4%	25	1.4%	5	0.3%	6	0.3%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	15	5.7%	85	32.3%	81	30.8%	53	20.2%	15	5.7%	8	3.0%	5	1.9%	0	0.0%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	36	8.2%	161	36.5%	121	27.4%	76	17.2%	28	6.3%	13	2.9%	4	0.9%	1	0.2%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	18	10.2%	44	25.0%	57	32.4%	33	18.8%	9	5.1%	12	6.8%	2	1.1%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	14	10.4%	35	25.9%	49	36.3%	25	18.5%	9	6.7%	2	1.5%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	25	9.9%	92	36.5%	77	30.6%	24	9.5%	15	6.0%	9	3.6%	6	2.4%	2	0.8%	2	0.8%
中国・四国地区	計	179	100.0%	16	8.9%	50	27.9%	51	28.5%	30	16.8%	16	8.9%	10	5.6%	5	2.8%	0	0.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	45	11.1%	141	34.9%	130	32.2%	59	14.6%	16	4.0%	9	2.2%	2	0.5%	1	0.2%	1	0.2%

表NO.74 所在地区別 II-12 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（指導計画を作成すること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	169	9.1%	608	32.9%	566	30.6%	300	16.2%	108	5.8%	63	3.4%	25	1.4%	5	0.3%	6	0.3%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	35	8.0%	146	33.2%	125	28.4%	76	17.3%	30	6.8%	22	5.0%	3	0.7%	2	0.5%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	14	6.8%	59	28.6%	76	36.9%	35	17.0%	13	6.3%	5	2.4%	0	0.0%	2	1.0%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	29	9.0%	115	35.8%	97	30.2%	51	15.9%	16	5.0%	8	2.5%	3	0.9%	1	0.3%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	56	10.5%	171	32.1%	159	29.9%	82	15.4%	34	6.4%	16	3.0%	13	2.4%	0	0.0%	1	0.2%
小都市B	計	192	100.0%	20	10.4%	56	29.2%	60	31.3%	36	18.8%	11	5.7%	4	2.1%	4	2.1%	0	0.0%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	15	9.4%	61	38.4%	49	30.8%	20	12.6%	4	2.5%	8	5.0%	2	1.3%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.75 地域区分別 II-13 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（指導計画の確認や助言を行うこと）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	10	0.5%	141	7.6%	475	25.7%	509	27.5%	336	18.2%	237	12.8%	121	6.5%	15	0.8%	6	0.3%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	1	0.4%	13	4.9%	51	19.4%	72	27.4%	56	21.3%	39	14.8%	29	11.0%	1	0.4%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	3	0.7%	31	7.0%	132	29.9%	129	29.3%	79	17.9%	48	10.9%	15	3.4%	3	0.7%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	2	1.1%	13	7.4%	43	24.4%	53	30.1%	25	14.2%	25	14.2%	14	8.0%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	8	5.9%	26	19.3%	42	31.1%	28	20.7%	23	17.0%	8	5.9%	0	0.0%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	2	0.8%	22	8.7%	72	28.6%	70	27.8%	39	15.5%	27	10.7%	16	6.3%	3	1.2%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	0	0.0%	15	8.4%	36	20.1%	43	24.0%	32	17.9%	28	15.6%	20	11.2%	3	1.7%	2	1.1%
九州地区	計	404	100.0%	2	0.5%	39	9.7%	115	28.5%	100	24.8%	77	19.1%	47	11.6%	19	4.7%	4	1.0%	1	0.2%

表NO.76 所在地区別 II-13 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（指導計画の確認や助言を行うこと）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	10	0.5%	141	7.6%	475	25.7%	509	27.5%	336	18.2%	237	12.8%	121	6.5%	15	0.8%	6	0.3%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	2	0.5%	36	8.2%	127	28.9%	124	28.2%	75	17.0%	51	11.6%	21	4.8%	3	0.7%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	1	0.5%	11	5.3%	54	26.2%	56	27.2%	42	20.4%	32	15.5%	5	2.4%	3	1.5%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	3	0.9%	25	7.8%	82	25.5%	97	30.2%	59	18.4%	35	10.9%	13	4.0%	6	1.9%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	3	0.6%	37	7.0%	130	24.4%	150	28.2%	101	19.0%	59	11.1%	52	9.8%	0	0.0%	0	0.0%
小都市B	計	192	100.0%	1	0.5%	19	9.9%	41	21.4%	45	23.4%	29	15.1%	34	17.7%	19	9.9%	2	1.0%	2	1.0%
町・村	計	159	100.0%	0	0.0%	13	8.2%	41	25.8%	37	23.3%	30	18.9%	26	16.4%	11	6.9%	1	0.6%	0	0.0%

表NO.77 地域区分別 II-14 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（おたより等の保護者向けの書類を作成すること）

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無回答										
全国	計	1,850	100.0%	185	10.0%	588	31.8%	532	28.8%	266	14.4%	132	7.1%	84	4.5%	41	2.2%	17	0.9%	5	0.3%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	14	5.3%	89	33.8%	77	29.3%	49	18.6%	16	6.1%	10	3.8%	6	2.3%	1	0.4%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	41	9.3%	152	34.5%	125	28.3%	63	14.3%	30	6.8%	17	3.9%	9	2.0%	3	0.7%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	22	12.5%	41	23.3%	57	32.4%	21	11.9%	20	11.4%	7	4.0%	5	2.8%	3	1.7%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	14	10.4%	38	28.1%	39	28.9%	21	15.6%	15	11.1%	7	5.2%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	27	10.7%	77	30.6%	68	27.0%	36	14.3%	20	7.9%	17	6.7%	2	0.8%	4	1.6%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	21	11.7%	44	24.6%	46	25.7%	29	16.2%	13	7.3%	13	7.3%	8	4.5%	4	2.2%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	46	11.4%	147	36.4%	120	29.7%	47	11.6%	18	4.5%	13	3.2%	10	2.5%	2	0.5%	1	0.2%

表NO.78 所在地区別 II-14 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（おたより等の保護者向けの書類を作成すること）

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無回答										
総計	計	1,850	100.0%	185	10.0%	588	31.8%	532	28.8%	266	14.4%	132	7.1%	84	4.5%	41	2.2%	17	0.9%	5	0.3%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	41	9.3%	142	32.3%	119	27.0%	80	18.2%	35	8.0%	13	3.0%	5	1.1%	4	0.9%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	17	8.3%	70	34.0%	63	30.6%	27	13.1%	13	6.3%	12	5.8%	2	1.0%	0	0.0%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	39	12.1%	97	30.2%	101	31.5%	34	10.6%	28	8.7%	11	3.4%	5	1.6%	5	1.6%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	54	10.2%	171	32.1%	152	28.6%	72	13.5%	34	6.4%	26	4.9%	18	3.4%	5	0.9%	0	0.0%
小都市B	計	192	100.0%	16	8.3%	54	28.1%	56	29.2%	31	16.1%	11	5.7%	12	6.3%	8	4.2%	3	1.6%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	18	11.3%	54	34.0%	41	25.8%	22	13.8%	11	6.9%	10	6.3%	3	1.9%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.79 地域区分別 II-15 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（職員間の連絡調整等を行うこと）

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無回答										
全国	計	1,850	100.0%	72	3.9%	284	15.4%	481	26.0%	407	22.0%	290	15.7%	187	10.1%	87	4.7%	30	1.6%	12	0.6%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	9	3.4%	43	16.3%	60	22.8%	57	21.7%	52	19.8%	20	7.6%	17	6.5%	3	1.1%	2	0.8%
関東地区	計	441	100.0%	18	4.1%	71	16.1%	119	27.0%	97	22.0%	76	17.2%	37	8.4%	17	3.9%	4	0.9%	2	0.5%
東海地区	計	176	100.0%	6	3.4%	18	10.2%	44	25.0%	42	23.9%	33	18.8%	21	11.9%	9	5.1%	2	1.1%	1	0.6%
北信越地区	計	135	100.0%	5	3.7%	20	14.8%	34	25.2%	28	20.7%	19	14.1%	19	14.1%	8	5.9%	2	1.5%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	9	3.6%	45	17.9%	79	31.3%	49	19.4%	28	11.1%	30	11.9%	5	2.0%	4	1.6%	3	1.2%
中国・四国地区	計	179	100.0%	8	4.5%	21	11.7%	38	21.2%	35	19.6%	30	16.8%	27	15.1%	12	6.7%	5	2.8%	3	1.7%
九州地区	計	404	100.0%	17	4.2%	66	16.3%	107	26.5%	99	24.5%	52	12.9%	33	8.2%	19	4.7%	10	2.5%	1	0.2%

表NO.80 所在地区別 II-15 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（職員間の連絡調整等を行うこと）

		総計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	該当なし (実際に業務を行って いない場合等)	無回答										
総計	計	1,850	100.0%	72	3.9%	284	15.4%	481	26.0%	407	22.0%	290	15.7%	187	10.1%	87	4.7%	30	1.6%	12	0.6%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	14	3.2%	73	16.6%	115	26.1%	107	24.3%	69	15.7%	40	9.1%	16	3.6%	3	0.7%	3	0.7%
中核市	計	206	100.0%	9	4.4%	29	14.1%	61	29.6%	46	22.3%	29	14.1%	22	10.7%	4	1.9%	4	1.9%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	13	4.0%	52	16.2%	81	25.2%	72	22.4%	57	17.8%	30	9.3%	10	3.1%	5	1.6%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	23	4.3%	89	13.0%	140	26.3%	115	21.6%	78	14.7%	60	11.3%	33	6.2%	9	1.7%	5	0.9%
小都市B	計	192	100.0%	6	3.1%	29	15.1%	43	22.4%	42	21.9%	28	14.6%	22	11.5%	13	6.8%	8	4.2%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	7	4.4%	32	20.1%	41	25.8%	25	15.7%	29	18.2%	13	8.2%	11	6.9%	1	0.6%	0	0.0%

表NO.81 地域区分別 II-16 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（実習生の指導を行うこと）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	15	0.8%	168	9.1%	630	34.1%	570	30.8%	253	13.7%	140	7.6%	53	2.9%	16	0.9%	5	0.3%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	1	0.4%	16	6.1%	81	30.8%	88	33.5%	41	15.6%	21	8.0%	12	4.6%	2	0.8%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	5	1.1%	42	9.5%	164	37.2%	128	29.0%	56	12.7%	31	7.0%	8	1.8%	6	1.4%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	1	0.6%	19	10.8%	57	32.4%	51	29.0%	25	14.2%	15	8.5%	7	4.0%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	9	6.7%	41	30.4%	49	36.3%	22	16.3%	12	8.9%	2	1.5%	0	0.0%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	4	1.6%	25	9.9%	88	34.9%	78	31.0%	33	13.1%	14	5.6%	7	2.8%	2	0.8%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	1	0.6%	12	6.7%	47	26.3%	52	29.1%	33	18.4%	22	12.3%	8	4.5%	3	1.7%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	3	0.7%	45	11.1%	152	37.6%	124	30.7%	43	10.6%	25	6.2%	9	2.2%	2	0.5%	1	0.2%

表NO.82 所在地区別 II-16 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（実習生の指導を行うこと）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	15	0.8%	168	9.1%	630	34.1%	570	30.8%	253	13.7%	140	7.6%	53	2.9%	16	0.9%	5	0.3%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	3	0.7%	55	12.5%	150	34.1%	135	30.7%	61	13.9%	20	4.5%	9	2.0%	6	1.4%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	2	1.0%	16	7.8%	75	36.4%	68	33.0%	21	10.2%	19	9.2%	3	1.5%	0	0.0%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	6	1.9%	30	9.3%	105	32.7%	105	32.7%	42	13.1%	21	6.5%	5	1.6%	6	1.9%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	3	0.6%	40	7.5%	185	34.8%	150	28.2%	85	16.0%	42	7.9%	25	4.7%	2	0.4%	0	0.0%
小都市B	計	192	100.0%	1	0.5%	19	9.9%	57	29.7%	55	28.6%	27	14.1%	24	12.5%	6	3.1%	2	1.0%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	0	0.0%	8	5.0%	58	36.5%	57	35.8%	17	10.7%	14	8.8%	5	3.1%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.83 地域区分別 II-17 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（新人保育士の指導を行うこと）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	5	0.3%	121	6.5%	501	27.1%	611	33.0%	336	18.2%	182	9.8%	71	3.8%	16	0.9%	7	0.4%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	1	0.4%	6	2.3%	57	21.7%	95	36.1%	55	20.9%	33	12.5%	13	4.9%	2	0.8%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	2	0.5%	37	8.4%	136	30.8%	139	31.5%	70	15.9%	39	8.8%	12	2.7%	5	1.1%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	0	0.0%	15	8.5%	49	27.8%	52	29.5%	32	18.2%	17	9.7%	10	5.7%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	4	3.0%	30	22.2%	50	37.0%	30	22.2%	18	13.3%	3	2.2%	0	0.0%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	2	0.8%	23	9.1%	62	24.6%	96	38.1%	39	15.5%	19	7.5%	7	2.8%	1	0.4%	3	1.2%
中国・四国地区	計	179	100.0%	0	0.0%	9	5.0%	38	21.2%	55	30.7%	39	21.8%	23	12.8%	11	6.1%	3	1.7%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	0	0.0%	27	6.7%	129	31.9%	124	30.7%	71	17.6%	33	8.2%	15	3.7%	4	1.0%	1	0.2%

表NO.84 所在地区別 II-17 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（新人保育士の指導を行うこと）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	5	0.3%	121	6.5%	501	27.1%	611	33.0%	336	18.2%	182	9.8%	71	3.8%	16	0.9%	7	0.4%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	1	0.2%	36	8.2%	129	29.3%	139	31.6%	88	20.0%	29	6.6%	12	2.7%	4	0.9%	2	0.5%
中核市	計	206	100.0%	0	0.0%	13	6.3%	61	29.6%	68	33.0%	30	14.6%	26	12.6%	4	1.9%	1	0.5%	3	1.5%
中都市	計	321	100.0%	4	1.2%	24	7.5%	80	24.9%	121	37.7%	54	16.8%	26	8.1%	7	2.2%	4	1.2%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	0	0.0%	29	5.5%	142	26.7%	166	31.2%	109	20.5%	50	9.4%	32	6.0%	4	0.8%	0	0.0%
小都市B	計	192	100.0%	0	0.0%	10	5.2%	41	21.4%	64	33.3%	33	17.2%	31	16.1%	9	4.7%	3	1.6%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	0	0.0%	9	5.7%	48	30.2%	53	33.3%	22	13.8%	20	12.6%	7	4.4%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.85 地域区分別 II-18 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	7	0.4%	88	4.8%	377	20.4%	516	27.9%	420	22.7%	291	15.7%	127	6.9%	17	0.9%	7	0.4%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	1	0.4%	7	2.7%	39	14.8%	76	28.9%	60	22.8%	47	17.9%	29	11.0%	3	1.1%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	3	0.7%	23	5.2%	107	24.3%	118	26.8%	101	22.9%	61	13.8%	23	5.2%	4	0.9%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	0	0.0%	9	5.1%	45	25.6%	39	22.2%	41	23.3%	29	16.5%	12	6.8%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	1	0.7%	5	3.7%	21	15.6%	38	28.1%	37	27.4%	23	17.0%	10	7.4%	0	0.0%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	2	0.8%	19	7.5%	48	19.0%	74	29.4%	57	22.6%	34	13.5%	11	4.4%	4	1.6%	3	1.2%
中国・四国地区	計	179	100.0%	0	0.0%	4	2.2%	33	18.4%	44	24.6%	43	24.0%	33	18.4%	20	11.2%	1	0.6%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	0	0.0%	21	5.2%	84	20.8%	127	31.4%	81	20.0%	64	15.8%	22	5.4%	4	1.0%	1	0.2%

表NO.86 所在地区別 II-18 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	7	0.4%	88	4.8%	377	20.4%	516	27.9%	420	22.7%	291	15.7%	127	6.9%	17	0.9%	7	0.4%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	2	0.5%	24	5.5%	94	21.4%	130	29.5%	109	24.8%	61	13.9%	13	3.0%	5	1.1%	2	0.5%
中核市	計	206	100.0%	0	0.0%	10	4.9%	40	19.4%	58	28.2%	50	24.3%	34	16.5%	8	3.9%	3	1.5%	3	1.5%
中都市	計	321	100.0%	5	1.6%	18	5.6%	69	21.5%	86	26.8%	71	22.1%	52	16.2%	17	5.3%	2	0.6%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	0	0.0%	25	4.7%	111	20.9%	146	27.4%	115	21.6%	81	15.2%	53	10.0%	1	0.2%	0	0.0%
小都市B	計	192	100.0%	0	0.0%	4	2.1%	30	15.6%	55	28.6%	41	21.4%	35	18.2%	21	10.9%	5	2.6%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	0	0.0%	7	4.4%	33	20.8%	41	25.8%	34	21.4%	28	17.6%	15	9.4%	1	0.6%	0	0.0%

表NO.87 地域区分別 II-19 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（保護者からの相談への対応に関すること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	22	1.2%	146	7.9%	450	24.3%	497	26.9%	339	18.3%	254	13.7%	120	6.5%	17	0.9%	5	0.3%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	0	0.0%	13	4.9%	66	25.1%	74	28.1%	55	20.9%	35	13.3%	19	7.2%	0	0.0%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	5	1.1%	44	10.0%	124	28.1%	118	26.8%	69	15.6%	49	11.1%	29	6.6%	2	0.5%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	0	0.0%	9	5.1%	44	25.0%	45	25.6%	34	19.3%	29	16.5%	14	8.0%	1	0.6%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	2	1.5%	9	6.7%	21	15.6%	39	28.9%	35	25.9%	19	14.1%	7	5.2%	3	2.2%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	5	2.0%	27	10.7%	68	27.0%	60	23.8%	45	17.9%	32	12.7%	12	4.8%	2	0.8%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	3	1.7%	15	8.4%	35	19.6%	45	25.1%	28	15.6%	33	18.4%	15	8.4%	4	2.2%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	7	1.7%	29	7.2%	92	22.8%	116	28.7%	73	18.1%	57	14.1%	24	5.9%	5	1.2%	1	0.2%

表NO.88 所在地区別 II-19 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（保護者からの相談への対応に関すること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	22	1.2%	146	7.9%	450	24.3%	497	26.9%	339	18.3%	254	13.7%	120	6.5%	17	0.9%	5	0.3%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	6	1.4%	43	9.8%	111	25.2%	117	26.6%	82	18.6%	49	11.1%	28	6.4%	3	0.7%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	3	1.5%	13	6.3%	44	21.4%	65	31.6%	33	16.0%	34	16.5%	6	2.9%	6	2.9%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	6	1.9%	28	8.7%	83	25.9%	89	27.7%	64	19.9%	38	11.8%	12	3.7%	0	0.0%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	4	0.8%	41	7.7%	127	23.9%	144	27.1%	94	17.7%	70	13.2%	48	9.0%	4	0.8%	0	0.0%
小都市B	計	192	100.0%	0	0.0%	13	6.8%	41	21.4%	42	21.9%	40	20.8%	37	19.3%	14	7.3%	4	2.1%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	3	1.9%	8	5.0%	44	27.7%	40	25.2%	26	16.4%	26	16.4%	12	7.5%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.89 地域区分別 II-20 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	9	0.5%	70	3.8%	247	13.4%	441	23.8%	395	21.4%	392	21.2%	249	13.5%	42	2.3%	5	0.3%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	0	0.0%	7	2.7%	27	10.3%	47	17.9%	69	26.2%	57	21.7%	46	17.5%	9	3.4%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	3	0.7%	20	4.5%	67	15.2%	128	29.0%	89	20.2%	82	18.6%	42	9.5%	9	2.0%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	0	0.0%	5	2.8%	25	14.2%	38	21.6%	32	18.2%	40	22.7%	34	19.3%	2	1.1%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	5	3.7%	14	10.4%	25	18.5%	30	22.2%	34	25.2%	24	17.8%	3	2.2%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	3	1.2%	13	5.2%	44	17.5%	62	24.6%	50	19.8%	49	19.4%	25	9.9%	5	2.0%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	1	0.6%	3	1.7%	15	8.4%	33	18.4%	41	22.9%	47	26.3%	33	18.4%	5	2.8%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	2	0.5%	17	4.2%	55	13.6%	108	26.7%	84	20.8%	83	20.5%	45	11.1%	9	2.2%	1	0.2%

表NO.90 所在地区分別 II-20 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	9	0.5%	70	3.8%	247	13.4%	441	23.8%	395	21.4%	392	21.2%	249	13.5%	42	2.3%	5	0.3%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	5	1.1%	15	3.4%	59	13.4%	112	25.5%	106	24.1%	91	20.7%	40	9.1%	11	2.5%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	0	0.0%	10	4.9%	25	12.1%	54	26.2%	38	18.4%	54	26.2%	15	7.3%	8	3.9%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	1	0.3%	16	5.0%	47	14.6%	79	24.6%	74	23.1%	63	19.6%	33	10.3%	7	2.2%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	1	0.2%	19	3.6%	65	12.2%	127	23.9%	109	20.5%	101	19.0%	102	19.2%	8	1.5%	0	0.0%
小都市B	計	192	100.0%	1	0.5%	5	2.6%	27	14.1%	34	17.7%	40	20.8%	43	22.4%	36	18.8%	5	2.6%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	1	0.6%	5	3.1%	24	15.1%	35	22.0%	28	17.6%	40	25.2%	23	14.5%	3	1.9%	0	0.0%

表NO.91 地域区分別 II-21 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（障害のある子どもの保育に関すること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	21	1.1%	128	6.9%	405	21.9%	529	28.6%	325	17.6%	232	12.5%	102	5.5%	100	5.4%	8	0.4%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	2	0.8%	19	7.2%	52	19.8%	75	28.5%	52	19.8%	32	12.2%	13	4.9%	16	6.1%	2	0.8%
関東地区	計	441	100.0%	5	1.1%	28	6.3%	106	24.0%	131	29.7%	65	14.7%	59	13.4%	20	4.5%	26	5.9%	1	0.2%
東海地区	計	176	100.0%	1	0.6%	11	6.3%	34	19.3%	50	28.4%	29	16.5%	28	15.9%	15	8.5%	6	3.4%	2	1.1%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	11	8.1%	34	25.2%	29	21.5%	28	20.7%	21	15.6%	6	4.4%	6	4.4%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	5	2.0%	25	9.9%	59	23.4%	76	30.2%	37	14.7%	23	9.1%	15	6.0%	11	4.4%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	3	1.7%	10	5.6%	28	15.6%	51	28.5%	31	17.3%	26	14.5%	16	8.9%	13	7.3%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	5	1.2%	24	5.9%	92	22.8%	117	29.0%	83	20.5%	43	10.6%	17	4.2%	22	5.4%	1	0.2%

表NO.92 所在地区分別 II-21 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（障害のある子どもの保育に関すること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	21	1.1%	128	6.9%	405	21.9%	529	28.6%	325	17.6%	232	12.5%	102	5.5%	100	5.4%	8	0.4%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	7	1.6%	35	8.0%	108	24.5%	127	28.9%	77	17.5%	51	11.6%	16	3.6%	18	4.1%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	2	1.0%	14	6.8%	49	23.8%	50	24.3%	32	15.5%	32	15.5%	8	3.9%	17	8.3%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	4	1.2%	21	6.5%	63	19.6%	99	30.8%	52	16.2%	41	12.8%	14	4.4%	24	7.5%	3	0.9%
小都市A	計	532	100.0%	6	1.1%	37	7.0%	117	22.0%	149	28.0%	97	18.2%	65	12.2%	37	7.0%	23	4.3%	1	0.2%
小都市B	計	192	100.0%	2	1.0%	8	4.2%	32	16.7%	51	26.6%	46	24.0%	25	13.0%	13	6.8%	14	7.3%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	0	0.0%	13	8.2%	36	22.6%	53	33.3%	21	13.2%	18	11.3%	14	8.8%	4	2.5%	0	0.0%

表NO.93 地域区分別 II-22 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（地域の保護者等に対する子育て支援）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	8	0.4%	79	4.3%	293	15.8%	451	24.4%	343	18.5%	332	17.9%	204	11.0%	131	7.1%	9	0.5%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	0	0.0%	12	4.6%	35	13.3%	64	24.3%	51	19.4%	49	18.3%	32	12.2%	20	7.6%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	1	0.2%	21	4.8%	88	20.0%	111	25.2%	71	16.1%	73	16.6%	42	9.5%	31	7.0%	3	0.7%
東海地区	計	176	100.0%	1	0.6%	4	2.3%	31	17.6%	37	21.0%	28	15.9%	36	20.5%	25	14.2%	13	7.4%	1	0.6%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	5	3.7%	20	14.8%	24	17.8%	37	27.4%	22	16.3%	22	16.3%	5	3.7%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	2	0.8%	14	5.6%	44	17.5%	67	26.6%	42	16.7%	44	17.5%	19	7.5%	19	7.5%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	1	0.6%	6	3.4%	16	8.9%	39	21.8%	34	19.0%	41	22.9%	26	14.5%	15	8.4%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	3	0.7%	17	4.2%	59	14.6%	109	27.0%	80	19.8%	68	16.8%	38	9.4%	28	6.9%	2	0.5%

表NO.94 所在地区別 II-22 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（地域の保護者等に対する子育て支援）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	8	0.4%	79	4.3%	293	15.8%	451	24.4%	343	18.5%	332	17.9%	204	11.0%	131	7.1%	9	0.5%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	3	0.7%	22	5.0%	76	17.3%	112	25.5%	82	18.6%	75	17.0%	40	9.1%	26	5.9%	4	0.9%
中核市	計	206	100.0%	0	0.0%	10	4.9%	27	13.1%	52	25.2%	35	17.0%	43	20.9%	14	6.8%	23	11.2%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	3	0.9%	14	4.4%	56	17.4%	67	20.9%	66	20.6%	56	17.4%	25	7.8%	32	10.0%	2	0.6%
小都市A	計	532	100.0%	0	0.0%	23	4.3%	83	15.6%	135	25.4%	94	17.7%	90	16.9%	79	14.8%	28	5.3%	0	0.0%
小都市B	計	192	100.0%	2	1.0%	7	3.6%	18	9.4%	43	22.4%	39	20.3%	37	19.3%	28	14.6%	17	8.9%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	0	0.0%	3	1.9%	33	20.8%	42	26.4%	27	17.0%	31	19.5%	18	11.3%	5	3.1%	0	0.0%

表NO.95 地域区分別 II-23 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（小学校との連携に関すること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	3	0.2%	63	3.4%	334	18.1%	515	27.8%	361	19.5%	308	16.6%	152	8.2%	106	5.7%	1	0.1%	7	0.4%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	0	0.0%	7	2.7%	39	14.8%	74	28.1%	59	22.4%	40	15.2%	24	9.1%	18	6.8%	1	0.4%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	2	0.5%	14	3.2%	87	19.7%	132	29.9%	85	19.3%	60	13.6%	33	7.5%	26	5.9%	0	0.0%	2	0.5%
東海地区	計	176	100.0%	0	0.0%	4	2.3%	37	21.0%	41	23.3%	32	18.2%	30	17.0%	21	11.9%	11	6.3%	0	0.0%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	5	3.7%	20	14.8%	29	21.5%	31	23.0%	29	21.5%	11	8.1%	10	7.4%	0	0.0%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	0	0.0%	9	3.6%	46	18.3%	75	29.8%	35	13.9%	55	21.8%	15	6.0%	16	6.3%	0	0.0%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	0	0.0%	3	1.7%	23	12.8%	34	19.0%	43	24.0%	44	24.6%	21	11.7%	10	5.6%	0	0.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	1	0.2%	21	5.2%	82	20.3%	130	32.2%	76	18.8%	50	12.4%	27	6.7%	15	3.7%	0	0.0%	2	0.5%

表NO.96 所在地区別 II-23 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（小学校との連携に関すること）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	3	0.2%	63	3.4%	334	18.1%	515	27.8%	361	19.5%	308	16.6%	152	8.2%	106	5.7%	1	0.1%	7	0.4%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	2	0.5%	15	3.4%	78	17.7%	137	31.1%	84	19.1%	76	17.3%	28	6.4%	18	4.1%	0	0.0%	2	0.5%
中核市	計	206	100.0%	1	0.5%	5	2.4%	32	15.5%	59	28.6%	45	21.8%	38	18.4%	10	4.9%	13	6.3%	0	0.0%	3	1.5%
中都市	計	321	100.0%	0	0.0%	15	4.7%	61	19.0%	78	24.3%	63	19.6%	48	15.0%	29	9.0%	26	8.1%	0	0.0%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	0	0.0%	17	3.2%	100	18.8%	145	27.3%	118	22.2%	79	14.8%	48	9.0%	24	4.5%	1	0.2%	0	0.0%
小都市B	計	192	100.0%	0	0.0%	8	4.2%	27	14.1%	48	25.0%	38	19.8%	32	16.7%	22	11.5%	18	9.4%	0	0.0%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	0	0.0%	3	1.9%	36	22.6%	48	30.2%	13	8.4%	33	22.0%	13	8.4%	7	4.4%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.97 地域区分別 II-24 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（研修会や学会などでの発表を行うこと）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	20	1.1%	89	4.8%	264	14.3%	341	18.4%	300	16.2%	372	20.1%	305	16.5%	148	8.0%	3	0.2%	8	0.4%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	1	0.4%	6	2.3%	28	10.6%	48	18.3%	53	20.2%	58	22.1%	42	16.0%	26	9.9%	0	0.0%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	5	1.1%	29	6.6%	73	16.6%	95	21.5%	70	15.9%	77	17.5%	61	13.8%	28	6.3%	1	0.2%	2	0.5%
東海地区	計	176	100.0%	1	0.6%	5	2.8%	24	13.6%	35	19.9%	21	11.9%	34	19.3%	37	21.0%	18	10.2%	0	0.0%	1	0.6%
北信越地区	計	135	100.0%	2	1.5%	4	3.0%	20	14.8%	16	11.9%	36	26.7%	24	17.8%	21	15.6%	11	8.1%	1	0.7%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	4	1.6%	15	6.0%	36	14.3%	48	19.0%	33	13.1%	48	19.0%	46	18.3%	20	7.9%	0	0.0%	2	0.8%
中国・四国地区	計	179	100.0%	2	1.1%	10	5.6%	16	8.9%	25	14.0%	32	17.9%	35	19.6%	40	22.3%	17	9.5%	1	0.6%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	5	1.2%	20	5.0%	67	16.6%	74	18.3%	55	13.6%	96	23.8%	58	14.4%	28	6.9%	0	0.0%	1	0.2%

表NO.98 所在地区別 II-24 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（研修会や学会などでの発表を行うこと）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	20	1.1%	89	4.8%	264	14.3%	341	18.4%	300	16.2%	372	20.1%	305	16.5%	148	8.0%	3	0.2%	8	0.4%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	6	1.4%	27	6.1%	60	13.6%	92	20.9%	70	15.9%	91	20.7%	63	14.3%	28	6.4%	1	0.2%	2	0.5%
中核市	計	206	100.0%	0	0.0%	9	4.4%	34	16.5%	39	18.9%	38	18.4%	44	21.4%	20	9.7%	19	9.2%	1	0.5%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	6	1.9%	20	6.2%	48	15.0%	45	14.0%	64	19.9%	57	17.8%	51	15.9%	29	9.0%	0	0.0%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	5	0.9%	18	3.4%	73	13.7%	106	19.9%	81	15.2%	100	18.8%	105	19.7%	41	7.7%	1	0.2%	2	0.4%
小都市B	計	192	100.0%	1	0.5%	9	4.7%	20	10.4%	38	19.8%	26	13.5%	43	22.4%	34	17.7%	20	10.4%	0	0.0%	1	0.5%
町・村	計	159	100.0%	2	1.3%	6	3.8%	29	18.2%	21	13.2%	21	13.2%	37	23.3%	32	20.1%	11	6.9%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.99 地域区分別 II-25 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（保育士の自己評価について確認や助言を行うこと）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	3	0.2%	49	2.6%	218	11.8%	337	18.2%	342	18.5%	409	22.1%	403	21.8%	77	4.2%	2	0.1%	10	0.5%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	0	0.0%	3	1.1%	20	7.6%	44	16.7%	48	18.3%	63	24.0%	73	27.8%	11	4.2%	0	0.0%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	1	0.2%	14	3.2%	59	13.4%	94	21.3%	106	24.0%	78	17.7%	67	15.2%	19	4.3%	1	0.2%	2	0.5%
東海地区	計	176	100.0%	0	0.0%	6	3.4%	21	11.9%	27	15.3%	28	15.9%	42	23.9%	42	23.9%	8	4.5%	0	0.0%	2	1.1%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	3	2.2%	10	7.4%	23	17.0%	24	17.8%	36	26.7%	35	25.9%	4	3.0%	0	0.0%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	1	0.4%	7	2.8%	38	15.1%	50	19.8%	40	15.9%	53	21.0%	53	21.0%	8	3.2%	0	0.0%	2	0.8%
中国・四国地区	計	179	100.0%	0	0.0%	4	2.2%	16	8.9%	22	12.3%	29	16.2%	41	22.9%	54	30.2%	11	6.1%	0	0.0%	2	1.1%
九州地区	計	404	100.0%	1	0.2%	12	3.0%	54	13.4%	77	19.1%	67	16.6%	96	23.8%	79	19.6%	16	4.0%	1	0.2%	1	0.2%

表NO.100 所在地区別 II-25 各業務について自信をもってできるようになるまでに必要と思われる経験年数（保育士の自己評価について確認や助言を行うこと）

		総計		1年未満		1年以上 3年未満		3年以上 5年未満		5年以上 7年未満		7年以上 10年未満		10年以上 15年未満		15年以上		該当なし (実際に業務を行って いない場合等)		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	3	0.2%	49	2.6%	218	11.8%	337	18.2%	342	18.5%	409	22.1%	403	21.8%	77	4.2%	2	0.1%	10	0.5%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	2	0.5%	14	3.2%	62	14.1%	81	18.4%	96	21.8%	92	20.9%	74	16.8%	17	3.9%	0	0.0%	2	0.5%
中核市	計	206	100.0%	0	0.0%	10	4.9%	12	5.8%	47	22.8%	36	17.5%	52	25.2%	35	17.0%	12	5.8%	0	0.0%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	1	0.3%	10	3.1%	42	13.1%	52	16.2%	61	19.0%	74	23.1%	63	19.6%	14	4.4%	1	0.3%	3	0.9%
小都市A	計	532	100.0%	0	0.0%	8	1.5%	61	11.5%	98	18.4%	105	19.7%	106	19.9%	131	24.6%	21	3.9%	1	0.2%	1	0.2%
小都市B	計	192	100.0%	0	0.0%	3	1.6%	19	9.9%	33	17.2%	23	12.0%	44	22.9%	59	30.7%	9	4.7%	0	0.0%	2	1.0%
町・村	計	159	100.0%	0	0.0%	4	2.5%	22	13.8%	26	16.4%	21	13.2%	41	25.8%	41	25.8%	4	2.5%	0	0.0%	0	0.0%



表NO.101 地域区分別 III-1 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈乳児クラスの主任〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	994	53.7%	369	19.9%	669	36.2%	469	25.4%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	142	54.0%	51	19.4%	103	39.2%	82	31.2%
関東地区	計	441	100.0%	228	51.7%	78	17.7%	138	31.3%	111	25.2%
東海地区	計	176	100.0%	97	55.1%	32	18.2%	48	27.3%	38	21.6%
北信越地区	計	135	100.0%	72	53.3%	24	17.8%	46	34.1%	32	23.7%
近畿地区	計	252	100.0%	138	54.8%	60	23.8%	83	32.9%	76	30.2%
中国・四国地区	計	179	100.0%	96	53.6%	52	29.1%	74	41.3%	48	26.8%
九州地区	計	404	100.0%	221	54.7%	72	17.8%	177	43.8%	82	20.3%

表NO.102 所在地区別 III-1 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈乳児クラスの主任〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	994	53.7%	369	19.9%	669	36.2%	469	25.4%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	232	52.7%	76	17.3%	164	37.3%	111	25.2%
中核市	計	206	100.0%	114	55.3%	53	25.7%	78	37.9%	70	34.0%
中都市	計	321	100.0%	177	55.1%	66	20.6%	102	31.8%	76	23.7%
小都市A	計	532	100.0%	289	54.3%	105	19.7%	199	37.4%	123	23.1%
小都市B	計	192	100.0%	101	52.6%	33	17.2%	74	38.5%	51	26.6%
町・村	計	159	100.0%	81	50.9%	36	22.6%	52	32.7%	38	23.9%

表NO.103 地域区分別 III-2 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈3歳未満児クラスの主任〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	899	48.6%	358	19.4%	632	34.2%	492	26.6%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	125	47.5%	44	16.7%	97	36.9%	93	35.4%
関東地区	計	441	100.0%	210	47.6%	80	18.1%	121	27.4%	102	23.1%
東海地区	計	176	100.0%	89	50.6%	30	17.0%	47	26.7%	41	23.3%
北信越地区	計	135	100.0%	65	48.1%	20	14.8%	51	37.8%	34	25.2%
近畿地区	計	252	100.0%	124	49.2%	62	24.6%	78	31.0%	72	28.6%
中国・四国地区	計	179	100.0%	90	50.3%	51	28.5%	64	35.8%	51	28.5%
九州地区	計	404	100.0%	196	48.5%	71	17.6%	174	43.1%	99	24.5%

表NO.104 所在地区別 III-2 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈3歳未満児クラスの主任〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	899	48.6%	358	19.4%	632	34.2%	492	26.6%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	217	49.3%	75	17.0%	152	34.5%	116	26.4%
中核市	計	206	100.0%	98	47.6%	56	27.2%	73	35.4%	69	33.5%
中都市	計	321	100.0%	154	48.0%	54	16.8%	95	29.6%	87	27.1%
小都市A	計	532	100.0%	265	49.8%	109	20.5%	189	35.5%	121	22.7%
小都市B	計	192	100.0%	93	48.4%	29	15.1%	77	40.1%	53	27.6%
町・村	計	159	100.0%	72	45.3%	35	22.0%	46	28.9%	46	28.9%

表NO.105 地域区分別 III-3 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈3歳以上児クラスの主任任〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	909	49.1%	355	19.2%	612	33.1%	487	26.3%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	132	50.2%	42	16.0%	96	36.5%	90	34.2%
関東地区	計	441	100.0%	218	49.4%	73	16.6%	112	25.4%	90	20.4%
東海地区	計	176	100.0%	93	52.8%	35	19.9%	52	29.5%	41	23.3%
北信越地区	計	135	100.0%	64	47.4%	22	16.3%	53	39.3%	38	28.1%
近畿地区	計	252	100.0%	127	50.4%	54	21.4%	69	27.4%	71	28.2%
中国・四国地区	計	179	100.0%	89	49.7%	52	29.1%	57	31.8%	57	31.8%
九州地区	計	404	100.0%	186	46.0%	77	19.1%	173	42.8%	100	24.8%

表NO.106 所在地区別 III-3 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈3歳以上児クラスの主任任〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	909	49.1%	355	19.2%	612	33.1%	487	26.3%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	220	50.0%	68	15.5%	134	30.5%	109	24.8%
中核市	計	206	100.0%	102	49.5%	54	26.2%	73	35.4%	65	31.6%
中都市	計	321	100.0%	157	48.9%	54	16.8%	89	27.7%	87	27.1%
小都市A	計	532	100.0%	265	49.8%	110	20.7%	192	36.1%	120	22.6%
小都市B	計	192	100.0%	89	46.4%	33	17.2%	77	40.1%	61	31.8%
町・村	計	159	100.0%	76	47.8%	36	22.6%	47	29.6%	45	28.3%

表NO.107 地域区分別 III-4 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈子どもの情緒の安定を図ること〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	913	49.4%	464	25.1%	804	43.5%	370	20.0%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	119	45.2%	66	25.1%	99	37.6%	71	27.0%
関東地区	計	441	100.0%	225	51.0%	102	23.1%	200	45.4%	82	18.6%
東海地区	計	176	100.0%	79	44.9%	41	23.3%	85	48.3%	31	17.6%
北信越地区	計	135	100.0%	62	45.9%	30	22.2%	60	44.4%	25	18.5%
近畿地区	計	252	100.0%	128	50.8%	61	24.2%	100	39.7%	53	21.0%
中国・四国地区	計	179	100.0%	97	54.2%	61	34.1%	76	42.5%	40	22.3%
九州地区	計	404	100.0%	203	50.2%	103	25.5%	184	45.5%	68	16.8%

表NO.108 所在地区別 III-4 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈子どもの情緒の安定を図ること〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	913	49.4%	464	25.1%	804	43.5%	370	20.0%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	214	48.6%	97	22.0%	199	45.2%	84	19.1%
中核市	計	206	100.0%	102	49.5%	49	23.8%	80	38.8%	45	21.8%
中都市	計	321	100.0%	154	48.0%	83	25.9%	144	44.9%	59	18.4%
小都市A	計	532	100.0%	269	50.6%	143	26.9%	228	42.9%	108	20.3%
小都市B	計	192	100.0%	91	47.4%	48	25.0%	81	42.2%	39	20.3%
町・村	計	159	100.0%	83	52.2%	44	27.7%	72	45.3%	35	22.0%

表NO.109 地域区分別 III-5 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈子どもの生命の保持を図ること〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	801	43.3%	490	26.5%	772	41.7%	312	16.9%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	96	36.5%	67	25.5%	83	31.6%	58	22.1%
関東地区	計	441	100.0%	204	46.3%	98	22.2%	178	40.4%	66	15.0%
東海地区	計	176	100.0%	74	42.0%	50	28.4%	81	46.0%	26	14.8%
北信越地区	計	135	100.0%	57	42.2%	31	23.0%	62	45.9%	21	15.6%
近畿地区	計	252	100.0%	107	42.5%	81	32.1%	95	37.7%	44	17.5%
中国・四国地区	計	179	100.0%	83	46.4%	54	30.2%	78	43.6%	37	20.7%
九州地区	計	404	100.0%	180	44.6%	109	27.0%	195	48.3%	60	14.9%

表NO.110 所在地区別 III-5 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈子どもの生命の保持を図ること〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	801	43.3%	490	26.5%	772	41.7%	312	16.9%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	202	45.9%	110	25.0%	190	43.2%	63	14.3%
中核市	計	206	100.0%	85	41.3%	52	25.2%	80	38.8%	45	21.8%
中都市	計	321	100.0%	138	43.0%	83	25.9%	125	38.9%	51	15.9%
小都市A	計	532	100.0%	231	43.4%	154	28.9%	226	42.5%	83	15.6%
小都市B	計	192	100.0%	76	39.6%	45	23.4%	84	43.8%	36	18.8%
町・村	計	159	100.0%	69	43.4%	46	28.9%	67	42.1%	34	21.4%

表NO.111 地域区分別 III-6 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈子どもの基本的生活習慣の支援をすること〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	567	30.6%	431	23.3%	550	29.7%	435	23.5%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	75	28.5%	60	22.8%	67	25.5%	71	27.0%
関東地区	計	441	100.0%	138	31.3%	96	21.8%	129	29.3%	93	21.1%
東海地区	計	176	100.0%	57	32.4%	42	23.9%	53	30.1%	37	21.0%
北信越地区	計	135	100.0%	37	27.4%	25	18.5%	39	28.9%	29	21.5%
近畿地区	計	252	100.0%	74	29.4%	65	25.8%	69	27.4%	64	25.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	66	36.9%	49	27.4%	53	29.6%	47	26.3%
九州地区	計	404	100.0%	120	29.7%	94	23.3%	140	34.7%	94	23.3%

表NO.112 所在地区別 III-6 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈子どもの基本的生活習慣の支援をすること〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	567	30.6%	431	23.3%	550	29.7%	435	23.5%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	144	32.7%	98	22.3%	129	29.3%	110	25.0%
中核市	計	206	100.0%	62	30.1%	48	23.3%	53	25.7%	53	25.7%
中都市	計	321	100.0%	94	29.3%	75	23.4%	94	29.3%	72	22.4%
小都市A	計	532	100.0%	165	31.0%	130	24.4%	170	32.0%	114	21.4%
小都市B	計	192	100.0%	60	31.3%	39	20.3%	61	31.8%	44	22.9%
町・村	計	159	100.0%	42	26.4%	41	25.8%	43	27.0%	42	26.4%

表NO.113 地域区分別 III-7 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について（子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること）

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	986	53.3%	510	27.6%	916	49.5%	533	28.8%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	133	50.6%	77	29.3%	118	44.9%	98	37.3%
関東地区	計	441	100.0%	232	52.6%	112	25.4%	222	50.3%	114	25.9%
東海地区	計	176	100.0%	97	55.1%	50	28.4%	88	50.0%	46	26.1%
北信越地区	計	135	100.0%	76	56.3%	36	26.7%	71	52.6%	43	31.9%
近畿地区	計	252	100.0%	137	54.4%	73	29.0%	119	47.2%	71	28.2%
中国・四国地区	計	179	100.0%	106	59.2%	58	32.4%	84	46.9%	57	31.8%
九州地区	計	404	100.0%	205	50.7%	104	25.7%	214	53.0%	104	25.7%

表NO.114 所在地区別 III-7 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について（子どもが様々なことに興味や関心を持つような活動を提供すること）

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	986	53.3%	510	27.6%	916	49.5%	533	28.8%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	244	55.5%	116	26.4%	227	51.6%	121	27.5%
中核市	計	206	100.0%	103	50.0%	52	25.2%	82	39.8%	70	34.0%
中都市	計	321	100.0%	167	52.0%	90	28.0%	171	53.3%	90	28.0%
小都市A	計	532	100.0%	286	53.8%	148	27.8%	257	48.3%	148	27.8%
小都市B	計	192	100.0%	109	56.8%	50	26.0%	97	50.5%	57	29.7%
町・村	計	159	100.0%	77	48.4%	54	34.0%	82	51.6%	47	29.6%

表NO.115 地域区分別 III-8 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について（保育室や保育所内の環境を整備すること）

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	455	24.6%	380	20.5%	340	18.4%	612	33.1%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	45	17.1%	53	20.2%	28	10.6%	108	41.1%
関東地区	計	441	100.0%	102	23.1%	82	18.6%	68	15.4%	124	28.1%
東海地区	計	176	100.0%	49	27.8%	43	24.4%	38	21.6%	58	33.0%
北信越地区	計	135	100.0%	24	17.8%	24	17.8%	27	20.0%	40	29.6%
近畿地区	計	252	100.0%	71	28.2%	49	19.4%	52	20.6%	88	34.9%
中国・四国地区	計	179	100.0%	59	33.0%	40	22.3%	39	21.8%	63	35.2%
九州地区	計	404	100.0%	105	26.0%	89	22.0%	88	21.8%	131	32.4%

表NO.116 所在地区別 III-8 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について（保育室や保育所内の環境を整備すること）

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	455	24.6%	380	20.5%	340	18.4%	612	33.1%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	117	26.6%	79	18.0%	80	18.2%	134	30.5%
中核市	計	206	100.0%	49	23.8%	49	23.8%	44	21.4%	69	33.5%
中都市	計	321	100.0%	68	21.2%	63	19.6%	71	22.1%	111	34.6%
小都市A	計	532	100.0%	132	24.8%	115	21.6%	79	14.8%	172	32.3%
小都市B	計	192	100.0%	47	24.5%	35	18.2%	32	16.7%	66	34.4%
町・村	計	159	100.0%	42	26.4%	39	24.5%	34	21.4%	60	37.7%

表NO.117 地域区分別 Ⅲ-9 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈遊具の安全管理を行うこと〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	459	24.8%	471	25.5%	328	17.7%	137	7.4%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	52	19.8%	68	25.9%	27	10.3%	18	6.8%
関東地区	計	441	100.0%	108	24.5%	90	20.4%	83	18.8%	30	6.8%
東海地区	計	176	100.0%	46	26.1%	50	28.4%	30	17.0%	10	5.7%
北信越地区	計	135	100.0%	30	22.2%	31	23.0%	25	18.5%	10	7.4%
近畿地区	計	252	100.0%	68	27.0%	56	22.2%	44	17.5%	18	7.1%
中国・四国地区	計	179	100.0%	45	25.1%	44	24.6%	28	15.6%	12	6.7%
九州地区	計	404	100.0%	110	27.2%	132	32.7%	91	22.5%	39	9.7%

表NO.118 所在地区別 Ⅲ-9 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈遊具の安全管理を行うこと〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	459	24.8%	471	25.5%	328	17.7%	137	7.4%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	115	26.1%	89	20.2%	87	19.8%	27	6.1%
中核市	計	206	100.0%	56	27.2%	56	27.2%	32	15.5%	20	9.7%
中都市	計	321	100.0%	83	25.9%	84	26.2%	61	19.0%	19	5.9%
小都市A	計	532	100.0%	125	23.5%	141	26.5%	95	17.9%	47	8.8%
小都市B	計	192	100.0%	47	24.5%	46	24.0%	30	15.6%	10	5.2%
町・村	計	159	100.0%	33	20.8%	55	34.6%	23	14.5%	14	8.8%

表NO.119 地域区分別 Ⅲ-10 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈子どもの病気やケガへの対応を判断すること〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	1,054	57.0%	660	35.7%	838	45.3%	353	19.1%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	140	53.2%	105	39.9%	114	43.3%	68	25.9%
関東地区	計	441	100.0%	263	59.6%	150	34.0%	188	42.6%	72	16.3%
東海地区	計	176	100.0%	100	56.8%	64	36.4%	84	47.7%	33	18.8%
北信越地区	計	135	100.0%	81	60.0%	53	39.3%	74	54.8%	29	21.5%
近畿地区	計	252	100.0%	132	52.4%	81	32.1%	102	40.5%	50	19.8%
中国・四国地区	計	179	100.0%	104	58.1%	62	34.6%	80	44.7%	35	19.6%
九州地区	計	404	100.0%	234	57.9%	145	35.9%	196	48.5%	66	16.3%

表NO.120 所在地区別 Ⅲ-10 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈子どもの病気やケガへの対応を判断すること〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	1,054	57.0%	660	35.7%	838	45.3%	353	19.1%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	252	57.3%	164	37.3%	208	47.3%	87	19.8%
中核市	計	206	100.0%	116	56.3%	76	36.9%	88	42.7%	52	25.2%
中都市	計	321	100.0%	178	55.5%	114	35.5%	138	43.0%	55	17.1%
小都市A	計	532	100.0%	306	57.5%	192	36.1%	246	46.2%	93	17.5%
小都市B	計	192	100.0%	115	59.9%	57	29.7%	85	44.3%	38	19.8%
町・村	計	159	100.0%	87	54.7%	57	35.8%	73	45.9%	28	17.6%

表NO.121 地域区分別 III-11 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	440	23.8%	161	8.7%	278	15.0%	83	4.5%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	50	19.0%	22	8.4%	28	10.6%	15	5.7%
関東地区	計	441	100.0%	93	21.1%	29	6.6%	67	15.2%	15	3.4%
東海地区	計	176	100.0%	47	26.7%	10	5.7%	16	9.1%	8	4.5%
北信越地区	計	135	100.0%	23	17.0%	8	5.9%	17	12.6%	4	3.0%
近畿地区	計	252	100.0%	71	28.2%	21	8.3%	39	15.5%	9	3.6%
中国・四国地区	計	179	100.0%	40	22.3%	20	11.2%	30	16.8%	11	6.1%
九州地区	計	404	100.0%	116	28.7%	51	12.6%	81	20.0%	21	5.2%

表NO.122 所在地区別 III-11 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈行政や地域の関係各所との連絡調整を行うこと〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	440	23.8%	161	8.7%	278	15.0%	83	4.5%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	119	27.0%	32	7.3%	63	14.3%	24	5.5%
中核市	計	206	100.0%	53	25.7%	18	8.7%	33	16.0%	10	4.9%
中都市	計	321	100.0%	78	24.3%	16	5.0%	50	15.6%	15	4.7%
小都市A	計	532	100.0%	118	22.2%	54	10.2%	83	15.6%	16	3.0%
小都市B	計	192	100.0%	36	18.8%	16	8.3%	27	14.1%	6	3.1%
町・村	計	159	100.0%	36	22.6%	25	15.7%	22	13.8%	12	7.5%

表NO.123 地域区分別 III-12 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈指導計画を作成すること〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	600	32.4%	522	28.2%	480	25.9%	624	33.7%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	83	31.6%	91	34.6%	57	21.7%	103	39.2%
関東地区	計	441	100.0%	122	27.7%	105	23.8%	74	16.8%	137	31.1%
東海地区	計	176	100.0%	59	33.5%	43	24.4%	48	27.3%	45	25.6%
北信越地区	計	135	100.0%	34	25.2%	32	23.7%	48	35.6%	49	36.3%
近畿地区	計	252	100.0%	90	35.7%	68	27.0%	57	22.6%	88	34.9%
中国・四国地区	計	179	100.0%	77	43.0%	49	27.4%	63	35.2%	70	39.1%
九州地区	計	404	100.0%	135	33.4%	134	33.2%	133	32.9%	132	32.7%

表NO.124 所在地区別 III-12 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈指導計画を作成すること〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	600	32.4%	522	28.2%	480	25.9%	624	33.7%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	150	34.1%	104	23.6%	96	21.8%	141	32.0%
中核市	計	206	100.0%	65	31.6%	59	28.6%	45	21.8%	77	37.4%
中都市	計	321	100.0%	94	29.3%	80	24.9%	83	25.9%	100	31.2%
小都市A	計	532	100.0%	175	32.9%	154	28.9%	148	27.8%	176	33.1%
小都市B	計	192	100.0%	70	36.5%	62	32.3%	62	32.3%	76	39.6%
町・村	計	159	100.0%	46	28.9%	63	39.6%	46	28.9%	54	34.0%

表NO.125 地域区分別 III-13 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について（指導計画の確認や助言を行うこと）

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	460	24.9%	306	16.5%	202	10.9%	253	13.7%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	60	22.8%	36	13.7%	20	7.6%	37	14.1%
関東地区	計	441	100.0%	98	22.2%	64	14.5%	34	7.7%	55	12.5%
東海地区	計	176	100.0%	45	25.6%	21	11.9%	12	6.8%	23	13.1%
北信越地区	計	135	100.0%	24	17.8%	19	14.1%	14	10.4%	14	10.4%
近畿地区	計	252	100.0%	65	25.8%	45	17.9%	27	10.7%	38	15.1%
中国・四国地区	計	179	100.0%	61	34.1%	32	17.9%	31	17.3%	23	12.8%
九州地区	計	404	100.0%	107	26.5%	89	22.0%	64	15.8%	63	15.6%

表NO.126 所在地区別 III-13 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について（指導計画の確認や助言を行うこと）

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	460	24.9%	306	16.5%	202	10.9%	253	13.7%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	118	26.8%	66	15.0%	44	10.0%	64	14.5%
中核市	計	206	100.0%	46	22.3%	40	19.4%	19	9.2%	23	11.2%
中都市	計	321	100.0%	83	25.9%	39	12.1%	33	10.3%	53	16.5%
小都市A	計	532	100.0%	127	23.9%	87	16.4%	57	10.7%	65	12.2%
小都市B	計	192	100.0%	51	26.6%	34	17.7%	30	15.6%	27	14.1%
町・村	計	159	100.0%	35	22.0%	40	25.2%	19	11.9%	21	13.2%

表NO.127 地域区分別 III-14 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について（おたより等の保護者向けの書類を作成すること）

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	425	23.0%	265	14.3%	143	7.7%	488	26.4%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	48	18.3%	27	10.3%	20	7.6%	84	31.9%
関東地区	計	441	100.0%	102	23.1%	69	15.6%	32	7.3%	105	23.8%
東海地区	計	176	100.0%	45	25.6%	23	13.1%	12	6.8%	37	21.0%
北信越地区	計	135	100.0%	26	19.3%	14	10.4%	14	10.4%	32	23.7%
近畿地区	計	252	100.0%	56	22.2%	34	13.5%	16	6.3%	63	25.0%
中国・四国地区	計	179	100.0%	47	26.3%	26	14.5%	12	6.7%	54	30.2%
九州地区	計	404	100.0%	101	25.0%	72	17.8%	37	9.2%	113	28.0%

表NO.128 所在地区別 III-14 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について（おたより等の保護者向けの書類を作成すること）

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	425	23.0%	265	14.3%	143	7.7%	488	26.4%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	109	24.8%	65	14.8%	40	9.1%	103	23.4%
中核市	計	206	100.0%	55	26.7%	34	16.5%	10	4.9%	45	21.8%
中都市	計	321	100.0%	66	20.6%	48	15.0%	24	7.5%	85	26.5%
小都市A	計	532	100.0%	119	22.4%	69	13.0%	35	6.6%	158	29.7%
小都市B	計	192	100.0%	38	19.8%	22	11.5%	17	8.9%	45	23.4%
町・村	計	159	100.0%	38	23.9%	27	17.0%	17	10.7%	52	32.7%

表NO.129 地域区分別 Ⅲ-15 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈職員間の連絡調整等を行うこと〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	364	19.7%	305	16.5%	248	13.4%	97	5.2%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	37	14.1%	42	16.0%	28	10.6%	18	6.8%
関東地区	計	441	100.0%	88	20.0%	53	12.0%	48	10.9%	21	4.8%
東海地区	計	176	100.0%	39	22.2%	26	14.8%	32	18.2%	6	3.4%
北信越地区	計	135	100.0%	22	16.3%	19	14.1%	17	12.6%	3	2.2%
近畿地区	計	252	100.0%	54	21.4%	39	15.5%	38	15.1%	14	5.6%
中国・四国地区	計	179	100.0%	35	19.6%	35	19.6%	22	12.3%	8	4.5%
九州地区	計	404	100.0%	89	22.0%	91	22.5%	63	15.6%	27	6.7%

表NO.130 所在地区別 Ⅲ-15 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈職員間の連絡調整等を行うこと〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	364	19.7%	305	16.5%	248	13.4%	97	5.2%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	100	22.7%	56	12.7%	62	14.1%	25	5.7%
中核市	計	206	100.0%	38	18.4%	34	16.5%	24	11.7%	8	3.9%
中都市	計	321	100.0%	69	21.5%	49	15.3%	46	14.3%	16	5.0%
小都市A	計	532	100.0%	94	17.7%	93	17.5%	65	12.2%	29	5.5%
小都市B	計	192	100.0%	35	18.2%	31	16.1%	31	16.1%	5	2.6%
町・村	計	159	100.0%	28	17.6%	42	26.4%	20	12.6%	14	8.8%

表NO.131 地域区分別 Ⅲ-16 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈実習生の指導を行うこと〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	449	24.3%	239	12.9%	73	3.9%	148	8.0%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	49	18.6%	27	10.3%	8	3.0%	27	10.3%
関東地区	計	441	100.0%	106	24.0%	55	12.5%	16	3.6%	34	7.7%
東海地区	計	176	100.0%	50	28.4%	18	10.2%	5	2.8%	12	6.8%
北信越地区	計	135	100.0%	27	20.0%	10	7.4%	2	1.5%	3	2.2%
近畿地区	計	252	100.0%	64	25.4%	34	13.5%	17	6.7%	21	8.3%
中国・四国地区	計	179	100.0%	42	23.5%	27	15.1%	9	5.0%	15	8.4%
九州地区	計	404	100.0%	111	27.5%	68	16.8%	16	4.0%	36	8.9%

表NO.132 所在地区別 Ⅲ-16 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈実習生の指導を行うこと〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	449	24.3%	239	12.9%	73	3.9%	148	8.0%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	110	25.0%	39	8.9%	16	3.6%	32	7.3%
中核市	計	206	100.0%	53	25.7%	31	15.0%	10	4.9%	10	4.9%
中都市	計	321	100.0%	82	25.5%	45	14.0%	11	3.4%	26	8.1%
小都市A	計	532	100.0%	135	25.4%	66	12.4%	16	3.0%	41	7.7%
小都市B	計	192	100.0%	38	19.8%	24	12.5%	12	6.3%	19	9.9%
町・村	計	159	100.0%	31	19.5%	34	21.4%	8	5.0%	20	12.6%



表NO.133 地域区分別 III-17 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈新人保育士の指導を行うこと〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	582	31.5%	224	12.1%	224	12.1%	127	6.9%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	69	26.2%	22	8.4%	29	11.0%	24	9.1%
関東地区	計	441	100.0%	134	30.4%	59	13.4%	47	10.7%	25	5.7%
東海地区	計	176	100.0%	64	36.4%	13	7.4%	19	10.8%	12	6.8%
北信越地区	計	135	100.0%	35	25.9%	16	11.9%	12	8.9%	5	3.7%
近畿地区	計	252	100.0%	83	32.9%	35	13.9%	40	15.9%	18	7.1%
中国・四国地区	計	179	100.0%	58	32.4%	24	13.4%	22	12.3%	11	6.1%
九州地区	計	404	100.0%	139	34.4%	55	13.6%	55	13.6%	32	7.9%

表NO.134 所在地区別 III-17 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈新人保育士の指導を行うこと〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	582	31.5%	224	12.1%	224	12.1%	127	6.9%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	155	35.2%	43	9.8%	54	12.3%	38	8.6%
中核市	計	206	100.0%	65	31.6%	30	14.6%	29	14.1%	9	4.4%
中都市	計	321	100.0%	101	31.5%	44	13.7%	41	12.8%	20	6.2%
小都市A	計	532	100.0%	172	32.3%	64	12.0%	54	10.2%	35	6.6%
小都市B	計	192	100.0%	46	24.0%	16	8.3%	26	13.5%	11	5.7%
町・村	計	159	100.0%	43	27.0%	27	17.0%	20	12.6%	14	8.8%

表NO.135 地域区分別 III-18 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	482	26.1%	176	9.5%	222	12.0%	127	6.9%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	57	21.7%	20	7.6%	30	11.4%	21	8.0%
関東地区	計	441	100.0%	105	23.8%	45	10.2%	46	10.4%	25	5.7%
東海地区	計	176	100.0%	56	31.8%	10	5.7%	20	11.4%	9	5.1%
北信越地区	計	135	100.0%	31	23.0%	10	7.4%	12	8.9%	7	5.2%
近畿地区	計	252	100.0%	64	25.4%	23	9.1%	36	14.3%	22	8.7%
中国・四国地区	計	179	100.0%	44	24.6%	19	10.6%	19	10.6%	12	6.7%
九州地区	計	404	100.0%	125	30.9%	49	12.1%	59	14.6%	31	7.7%

表NO.136 所在地区別 III-18 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈新人以外の保育士に指導したり、相談に乗れること〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	482	26.1%	176	9.5%	222	12.0%	127	6.9%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	130	29.5%	40	9.1%	51	11.6%	34	7.7%
中核市	計	206	100.0%	53	25.7%	21	10.2%	22	10.7%	13	6.3%
中都市	計	321	100.0%	82	25.5%	31	9.7%	43	13.4%	19	5.9%
小都市A	計	532	100.0%	140	26.3%	52	9.8%	59	11.1%	35	6.6%
小都市B	計	192	100.0%	39	20.3%	15	7.8%	25	13.0%	9	4.7%
町・村	計	159	100.0%	38	23.9%	17	10.7%	22	13.8%	17	10.7%

表NO.137 地域区分別 III-19 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について（保護者からの相談への対応に関すること）

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	965	52.2%	382	20.6%	650	35.1%	237	12.8%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	127	48.3%	57	21.7%	76	28.9%	36	13.7%
関東地区	計	441	100.0%	219	49.7%	89	20.2%	154	34.9%	57	12.9%
東海地区	計	176	100.0%	90	51.1%	22	12.5%	75	42.6%	26	14.8%
北信越地区	計	135	100.0%	78	57.8%	28	20.7%	42	31.1%	15	11.1%
近畿地区	計	252	100.0%	133	52.8%	48	19.0%	82	32.5%	37	14.7%
中国・四国地区	計	179	100.0%	95	53.1%	42	23.5%	62	34.6%	20	11.2%
九州地区	計	404	100.0%	223	55.2%	96	23.8%	159	39.4%	46	11.4%

表NO.138 所在地区別 III-19 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について（保護者からの相談への対応に関すること）

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	965	52.2%	382	20.6%	650	35.1%	237	12.8%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	219	49.8%	81	18.4%	170	38.6%	57	13.0%
中核市	計	206	100.0%	109	52.9%	36	17.5%	60	29.1%	25	12.1%
中都市	計	321	100.0%	161	50.2%	65	20.2%	118	36.8%	41	12.8%
小都市A	計	532	100.0%	288	54.1%	117	22.0%	179	33.6%	63	11.8%
小都市B	計	192	100.0%	102	53.1%	36	18.8%	70	36.5%	29	15.1%
町・村	計	159	100.0%	86	54.1%	47	29.6%	53	33.3%	22	13.8%

表NO.139 地域区分別 III-20 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について（保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること）

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	1,031	55.7%	431	23.3%	681	36.8%	221	11.9%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	140	53.2%	63	24.0%	75	28.5%	40	15.2%
関東地区	計	441	100.0%	249	56.5%	97	22.0%	161	36.5%	45	10.2%
東海地区	計	176	100.0%	93	52.8%	29	16.5%	80	45.5%	21	11.9%
北信越地区	計	135	100.0%	86	63.7%	29	21.5%	43	31.9%	17	12.6%
近畿地区	計	252	100.0%	144	57.1%	56	22.2%	94	37.3%	28	11.1%
中国・四国地区	計	179	100.0%	91	50.8%	50	27.9%	58	32.4%	20	11.2%
九州地区	計	404	100.0%	228	56.4%	107	26.5%	170	42.1%	50	12.4%

表NO.140 所在地区別 III-20 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について（保護者からの苦情やクレームへの対応に関すること）

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	1,031	55.7%	431	23.3%	681	36.8%	221	11.9%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	246	55.9%	90	20.5%	165	37.5%	48	10.9%
中核市	計	206	100.0%	118	57.3%	47	22.8%	69	33.5%	26	12.6%
中都市	計	321	100.0%	178	55.5%	62	19.3%	120	37.4%	36	11.2%
小都市A	計	532	100.0%	296	55.6%	135	25.4%	198	37.2%	66	12.4%
小都市B	計	192	100.0%	106	55.2%	46	24.0%	68	35.4%	23	12.0%
町・村	計	159	100.0%	87	54.7%	51	32.1%	61	38.4%	22	13.8%

表NO.141 地域区分別 III-21 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈障害のある子どもの保育に関すること〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	1,190	64.3%	443	23.9%	1,102	59.6%	435	23.5%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	159	60.5%	71	27.0%	151	57.4%	68	25.9%
関東地区	計	441	100.0%	291	66.0%	90	20.4%	253	57.4%	98	22.2%
東海地区	計	176	100.0%	99	56.3%	32	18.2%	104	59.1%	38	21.6%
北信越地区	計	135	100.0%	95	70.4%	33	24.4%	88	65.2%	29	21.5%
近畿地区	計	252	100.0%	168	66.7%	62	24.6%	142	56.3%	65	25.8%
中国・四国地区	計	179	100.0%	118	65.9%	46	25.7%	113	63.1%	45	25.1%
九州地区	計	404	100.0%	260	64.4%	109	27.0%	251	62.1%	92	22.8%

表NO.142 所在地区別 III-21 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈障害のある子どもの保育に関すること〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	1,190	64.3%	443	23.9%	1,102	59.6%	435	23.5%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	284	64.5%	97	22.0%	263	59.8%	116	26.4%
中核市	計	206	100.0%	128	62.1%	47	22.8%	131	63.6%	53	25.7%
中都市	計	321	100.0%	201	62.6%	72	22.4%	191	59.5%	62	19.3%
小都市A	計	532	100.0%	343	64.5%	133	25.0%	308	57.9%	120	22.6%
小都市B	計	192	100.0%	135	70.3%	43	22.4%	111	57.8%	50	26.0%
町・村	計	159	100.0%	99	62.3%	51	32.1%	98	61.6%	34	21.4%

表NO.143 地域区分別 III-22 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈地域の保護者等に対する子育て支援〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	602	32.5%	154	8.3%	421	22.8%	104	5.6%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	79	30.0%	23	8.7%	50	19.0%	15	5.7%
関東地区	計	441	100.0%	142	32.2%	36	8.2%	94	21.3%	24	5.4%
東海地区	計	176	100.0%	61	34.7%	8	4.5%	36	20.5%	6	3.4%
北信越地区	計	135	100.0%	39	28.9%	6	4.4%	29	21.5%	3	2.2%
近畿地区	計	252	100.0%	94	37.3%	21	8.3%	62	24.6%	20	7.9%
中国・四国地区	計	179	100.0%	51	28.5%	16	8.9%	47	26.3%	10	5.6%
九州地区	計	404	100.0%	136	33.7%	44	10.9%	103	25.5%	26	6.4%

表NO.144 所在地区別 III-22 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈地域の保護者等に対する子育て支援〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	602	32.5%	154	8.3%	421	22.8%	104	5.6%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	159	36.1%	32	7.3%	88	20.0%	24	5.5%
中核市	計	206	100.0%	72	35.0%	16	7.8%	50	24.3%	13	6.3%
中都市	計	321	100.0%	104	32.4%	25	7.8%	74	23.1%	17	5.3%
小都市A	計	532	100.0%	166	31.2%	44	8.3%	123	23.1%	30	5.6%
小都市B	計	192	100.0%	55	28.6%	13	6.8%	42	21.9%	10	5.2%
町・村	計	159	100.0%	46	28.9%	24	15.1%	44	27.7%	10	6.3%

表NO.145 地域区分別 III-23 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について（小学校との連携に関すること）

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	609	32.9%	173	9.4%	445	24.1%	110	5.9%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	82	31.2%	29	11.0%	66	25.1%	14	5.3%
関東地区	計	441	100.0%	140	31.7%	30	6.8%	108	24.5%	24	5.4%
東海地区	計	176	100.0%	57	32.4%	13	7.4%	29	16.5%	8	4.5%
北信越地区	計	135	100.0%	48	35.6%	7	5.2%	43	31.9%	6	4.4%
近畿地区	計	252	100.0%	91	36.1%	21	8.3%	53	21.0%	16	6.3%
中国・四国地区	計	179	100.0%	58	32.4%	19	10.6%	34	19.0%	9	5.0%
九州地区	計	404	100.0%	133	32.9%	54	13.4%	112	27.7%	33	8.2%

表NO.146 所在地区別 III-23 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について（小学校との連携に関すること）

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	609	32.9%	173	9.4%	445	24.1%	110	5.9%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	158	35.9%	32	7.3%	98	22.3%	24	5.5%
中核市	計	206	100.0%	76	36.9%	18	8.7%	52	25.2%	13	6.3%
中都市	計	321	100.0%	103	32.1%	21	6.5%	75	23.4%	19	5.9%
小都市A	計	532	100.0%	171	32.1%	55	10.3%	133	25.0%	30	5.6%
小都市B	計	192	100.0%	51	26.6%	19	9.9%	52	27.1%	13	6.8%
町・村	計	159	100.0%	50	31.4%	28	17.6%	35	22.0%	11	6.9%

表NO.147 地域区分別 III-24 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について（研修会や学会などでの発表を行うこと）

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	362	19.6%	200	10.8%	256	13.8%	113	6.1%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	46	17.5%	24	9.1%	32	12.2%	12	4.6%
関東地区	計	441	100.0%	84	19.0%	46	10.4%	59	13.4%	21	4.8%
東海地区	計	176	100.0%	38	21.6%	17	9.7%	26	14.8%	9	5.1%
北信越地区	計	135	100.0%	20	14.8%	12	8.9%	18	13.3%	12	8.9%
近畿地区	計	252	100.0%	50	19.8%	29	11.5%	30	11.9%	21	8.3%
中国・四国地区	計	179	100.0%	35	19.6%	23	12.8%	26	14.5%	10	5.6%
九州地区	計	404	100.0%	89	22.0%	49	12.1%	65	16.1%	28	6.9%

表NO.148 所在地区別 III-24 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について（研修会や学会などでの発表を行うこと）

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	362	19.6%	200	10.8%	256	13.8%	113	6.1%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	88	20.0%	41	9.3%	54	12.3%	29	6.6%
中核市	計	206	100.0%	43	20.9%	27	13.1%	24	11.7%	17	8.3%
中都市	計	321	100.0%	66	20.6%	27	8.4%	50	15.6%	19	5.9%
小都市A	計	532	100.0%	107	20.1%	49	9.2%	77	14.5%	25	4.7%
小都市B	計	192	100.0%	28	14.6%	26	13.5%	26	13.5%	11	5.7%
町・村	計	159	100.0%	30	18.9%	30	18.9%	25	15.7%	12	7.5%

表NO.149 地域区分別 III-25 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈保育士の自己評価について確認や助言を行うこと〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
全国	計	1,850	100.0%	478	25.8%	299	16.2%	240	13.0%	124	6.7%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	59	22.4%	43	16.3%	22	8.4%	21	8.0%
関東地区	計	441	100.0%	111	25.2%	60	13.6%	49	11.1%	25	5.7%
東海地区	計	176	100.0%	49	27.8%	35	19.9%	15	8.5%	9	5.1%
北信越地区	計	135	100.0%	32	23.7%	26	19.3%	17	12.6%	10	7.4%
近畿地区	計	252	100.0%	73	29.0%	35	13.9%	41	16.3%	10	4.0%
中国・四国地区	計	179	100.0%	43	24.0%	30	16.8%	24	13.4%	12	6.7%
九州地区	計	404	100.0%	111	27.5%	70	17.3%	72	17.8%	37	9.2%

表NO.150 所在地区別 III-25 各業務のスキルアップの研修に関する希望と経験等について〈保育士の自己評価について確認や助言を行うこと〉

		総計		希望		経験等 (園内研修)		経験等 (園外研修)		経験等 (自己研鑽)	
総計	計	1,850	100.0%	478	25.8%	299	16.2%	240	13.0%	124	6.7%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	112	25.5%	75	17.0%	49	11.1%	35	8.0%
中核市	計	206	100.0%	63	30.6%	37	18.0%	27	13.1%	10	4.9%
中都市	計	321	100.0%	83	25.9%	43	13.4%	41	12.8%	22	6.9%
小都市A	計	532	100.0%	132	24.8%	82	15.4%	66	12.4%	35	6.6%
小都市B	計	192	100.0%	49	25.5%	22	11.5%	33	17.2%	13	6.8%
町・村	計	159	100.0%	39	24.5%	40	25.2%	24	15.1%	9	5.7%

表NO.151 地域区分別 IV-1 次のようなときに仕事へのやりがいを感じるか〈給料が上がったとき〉

		総計		まったく感じない		感じない		あまり感じない		まあまあ感じる		感じる		非常に感じる		経験した ことがない		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	6	0.3%	19	1.0%	93	5.0%	296	16.0%	724	39.1%	628	33.9%	61	3.3%	23	1.2%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	0	0.0%	5	1.9%	21	8.0%	44	16.7%	95	36.1%	87	33.1%	7	2.7%	4	1.5%
関東地区	計	441	100.0%	1	0.2%	5	1.1%	22	5.0%	69	15.6%	158	35.8%	161	36.5%	17	3.9%	8	1.8%
東海地区	計	176	100.0%	0	0.0%	3	1.7%	6	3.4%	34	19.3%	70	39.8%	54	30.7%	9	5.1%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	10	7.4%	27	20.0%	52	38.5%	39	28.9%	7	5.2%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	2	0.8%	2	0.8%	13	5.2%	42	16.7%	109	43.3%	74	29.4%	9	3.6%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	1	0.6%	2	1.1%	8	4.5%	23	12.8%	75	41.9%	64	35.8%	3	1.7%	3	1.7%
九州地区	計	404	100.0%	2	0.5%	2	0.5%	13	3.2%	57	14.1%	165	40.8%	149	36.9%	9	2.2%	7	1.7%

表NO.152 所在地区別 IV-1 次のようなときに仕事へのやりがいを感じるか〈給料が上がったとき〉

		総計		まったく感じない		感じない		あまり感じない		まあまあ感じる		感じる		非常に感じる		経験した ことがない		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	6	0.3%	19	1.0%	93	5.0%	296	16.0%	724	39.1%	628	33.9%	61	3.3%	23	1.2%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	1	0.2%	7	1.6%	20	4.5%	77	17.5%	167	38.0%	142	32.3%	16	3.6%	10	2.3%
中核市	計	206	100.0%	0	0.0%	1	0.5%	7	3.4%	32	15.5%	84	40.8%	70	34.0%	8	3.9%	4	1.9%
中都市	計	321	100.0%	1	0.3%	4	1.2%	13	4.0%	48	15.0%	126	39.3%	117	36.4%	11	3.4%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	2	0.4%	4	0.8%	23	4.3%	84	15.8%	221	41.5%	184	34.6%	10	1.9%	4	0.8%
小都市B	計	192	100.0%	2	1.0%	2	1.0%	22	11.5%	30	15.6%	70	36.5%	53	27.6%	9	4.7%	4	2.1%
町・村	計	159	100.0%	0	0.0%	1	0.6%	8	5.0%	25	15.7%	56	35.2%	62	39.0%	7	4.4%	0	0.0%

表NO.153 地域区分別 IV-2 次のようなときに仕事へのやりがいを感じるか〈役職が上がったとき〉

		総計		まったく感じない		感じない		あまり感じない		まあまあ感じる		感じる		非常に感じる		経験したことがない		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	19	1.0%	56	3.0%	182	9.8%	309	16.7%	460	24.9%	233	12.6%	560	30.3%	2	0.1%	29	1.6%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	7	2.7%	10	3.8%	29	11.0%	47	17.9%	60	22.8%	26	9.9%	80	30.4%	1	0.4%	3	1.1%
関東地区	計	441	100.0%	3	0.7%	17	3.9%	38	8.6%	87	19.7%	115	26.1%	48	10.9%	124	28.1%	0	0.0%	9	2.0%
東海地区	計	176	100.0%	2	1.1%	4	2.3%	19	10.8%	31	17.6%	34	19.3%	25	14.2%	59	33.5%	1	0.6%	1	0.6%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	4	3.0%	15	11.1%	20	14.8%	39	28.9%	14	10.4%	43	31.9%	0	0.0%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	2	0.8%	7	2.8%	28	11.1%	40	15.9%	57	22.6%	37	14.7%	77	30.6%	0	0.0%	4	1.6%
中国・四国地区	計	179	100.0%	2	1.1%	5	2.8%	21	11.7%	21	11.7%	48	26.8%	23	12.8%	55	30.7%	0	0.0%	4	2.2%
九州地区	計	404	100.0%	3	0.7%	9	2.2%	32	7.9%	63	15.6%	107	26.5%	60	14.9%	122	30.2%	0	0.0%	8	2.0%

表NO.154 所在地区別 IV-2 次のようなときに仕事へのやりがいを感じるか〈役職が上がったとき〉

		総計		まったく感じない		感じない		あまり感じない		まあまあ感じる		感じる		非常に感じる		経験したことがない		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	19	1.0%	56	3.0%	182	9.8%	309	16.7%	460	24.9%	233	12.6%	560	30.3%	2	0.1%	29	1.6%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	6	1.4%	12	2.7%	39	8.9%	92	20.9%	106	24.1%	49	11.1%	126	28.6%	1	0.2%	9	2.0%
中核市	計	206	100.0%	1	0.5%	10	4.9%	19	9.2%	30	14.6%	52	25.2%	28	13.6%	60	29.1%	0	0.0%	6	2.9%
中都市	計	321	100.0%	4	1.2%	12	3.7%	27	8.4%	52	16.2%	86	26.8%	53	16.5%	85	26.5%	0	0.0%	2	0.6%
小都市A	計	532	100.0%	4	0.8%	10	1.9%	62	11.7%	84	15.8%	137	25.8%	70	13.2%	158	29.7%	0	0.0%	7	1.3%
小都市B	計	192	100.0%	4	2.1%	5	2.6%	20	10.4%	26	13.5%	40	20.8%	15	7.8%	76	39.6%	1	0.5%	5	2.6%
町・村	計	159	100.0%	0	0.0%	7	4.4%	15	9.4%	25	15.7%	39	24.5%	18	11.3%	55	34.6%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.155 地域区分別 IV-3 次のようなときに仕事へのやりがいを感じるか〈上司に自分の仕事が認められたとき〉

		総計		まったく感じない		感じない		あまり感じない		まあまあ感じる		感じる		非常に感じる		経験したことがない		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	1	0.1%	4	0.2%	19	1.0%	141	7.6%	643	34.8%	995	53.8%	15	0.8%	1	0.1%	31	1.7%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	0	0.0%	1	0.4%	3	1.1%	34	12.9%	91	34.6%	128	48.7%	3	1.1%	0	0.0%	3	1.1%
関東地区	計	441	100.0%	0	0.0%	1	0.2%	9	2.0%	31	7.0%	159	36.1%	226	51.2%	6	1.4%	1	0.2%	8	1.8%
東海地区	計	176	100.0%	1	0.6%	0	0.0%	2	1.1%	17	9.7%	56	31.8%	97	55.1%	1	0.6%	0	0.0%	2	1.1%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	6	4.4%	47	34.8%	80	59.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	18	7.1%	88	34.9%	141	56.0%	1	0.4%	0	0.0%	3	1.2%
中国・四国地区	計	179	100.0%	0	0.0%	1	0.6%	2	1.1%	12	6.7%	61	34.1%	98	54.7%	0	0.0%	0	0.0%	5	2.8%
九州地区	計	404	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.5%	23	5.7%	141	34.9%	225	55.7%	4	1.0%	0	0.0%	9	2.2%

表NO.156 所在地区別 IV-3 次のようなときに仕事へのやりがいを感じるか〈上司に自分の仕事が認められたとき〉

		総計		まったく感じない		感じない		あまり感じない		まあまあ感じる		感じる		非常に感じる		経験したことがない		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	1	0.1%	4	0.2%	19	1.0%	141	7.6%	643	34.8%	995	53.8%	15	0.8%	1	0.1%	31	1.7%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	1	0.2%	1	0.2%	3	0.7%	33	7.5%	154	35.0%	232	52.7%	5	1.1%	0	0.0%	11	2.5%
中核市	計	206	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.0%	16	7.8%	69	33.5%	112	54.4%	1	0.5%	0	0.0%	6	2.9%
中都市	計	321	100.0%	0	0.0%	1	0.3%	4	1.2%	15	4.7%	105	32.7%	191	59.5%	3	0.9%	1	0.3%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	0	0.0%	1	0.2%	3	0.6%	49	9.2%	193	36.3%	276	51.9%	4	0.8%	0	0.0%	6	1.1%
小都市B	計	192	100.0%	0	0.0%	1	0.5%	6	3.1%	20	10.4%	62	32.3%	95	49.5%	2	1.0%	0	0.0%	6	3.1%
町・村	計	159	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	8	5.0%	60	37.7%	89	56.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%

表NO.157 地域区分別 IV-4 次のようなときに仕事へのやりがいを感じるか〈自分の仕事で子どもが喜んだとき〉

		総計		まったく感じない		感じない		あまり感じない		まあまあ感じる		感じる		非常に感じる		経験したことがない		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%	42	2.3%	368	19.9%	1,416	76.5%	0	0.0%	2	0.1%	20	1.1%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	9	3.4%	66	25.1%	186	70.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.8%
関東地区	計	441	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	8	1.8%	81	18.4%	343	77.8%	0	0.0%	0	0.0%	8	1.8%
東海地区	計	176	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	4	2.3%	40	22.7%	131	74.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	26	19.3%	109	80.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	2.8%	49	19.4%	194	77.0%	0	0.0%	1	0.4%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	2.8%	34	19.0%	137	76.5%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.7%
九州地区	計	404	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	9	2.2%	72	17.8%	316	78.2%	0	0.0%	1	0.2%	6	1.5%

表NO.158 所在地区別 IV-4 次のようなときに仕事へのやりがいを感じるか〈自分の仕事で子どもが喜んだとき〉

		総計		まったく感じない		感じない		あまり感じない		まあまあ感じる		感じる		非常に感じる		経験したことがない		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%	42	2.3%	368	19.9%	1,416	76.5%	0	0.0%	2	0.1%	20	1.1%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	15	3.4%	95	21.6%	322	73.2%	0	0.0%	0	0.0%	8	1.8%
中核市	計	206	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	42	20.4%	158	76.7%	0	0.0%	0	0.0%	5	2.4%
中都市	計	321	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	3	0.9%	49	15.3%	268	83.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
小都市A	計	532	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	15	2.8%	102	19.2%	409	76.9%	0	0.0%	2	0.4%	3	0.6%
小都市B	計	192	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	3.6%	45	23.4%	136	70.8%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.1%
町・村	計	159	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	35	22.0%	123	77.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.159 地域区分別 IV-5 次のようなときに仕事へのやりがいを感じるか〈子どもの成長を感じる事ができたとき〉

		総計		まったく感じない		感じない		あまり感じない		まあまあ感じる		感じる		非常に感じる		経験したことがない		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	0	0.0%	2	0.1%	0	0.0%	29	1.6%	329	17.8%	1,472	79.6%	0	0.0%	18	1.0%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	2.7%	49	18.6%	205	77.9%	0	0.0%	2	0.8%
関東地区	計	441	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	1.1%	75	17.0%	354	80.3%	0	0.0%	7	1.6%
東海地区	計	176	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.3%	32	18.2%	140	79.5%	0	0.0%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.5%	22	16.3%	111	82.2%	0	0.0%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	2.0%	55	21.8%	191	75.8%	0	0.0%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	0	0.0%	2	1.1%	0	0.0%	1	0.6%	40	22.3%	133	74.3%	0	0.0%	3	1.7%
九州地区	計	404	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	1.2%	56	13.9%	338	83.7%	0	0.0%	5	1.2%

表NO.160 所在地区別 IV-5 次のようなときに仕事へのやりがいを感じるか〈子どもの成長を感じる事ができたとき〉

		総計		まったく感じない		感じない		あまり感じない		まあまあ感じる		感じる		非常に感じる		経験したことがない		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	0	0.0%	2	0.1%	0	0.0%	29	1.6%	329	17.8%	1,472	79.6%	0	0.0%	18	1.0%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	10	2.3%	91	20.7%	331	75.2%	0	0.0%	8	1.8%
中核市	計	206	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	42	20.4%	160	77.7%	0	0.0%	4	1.9%
中都市	計	321	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.9%	49	15.3%	269	83.8%	0	0.0%	0	0.0%
小都市A	計	532	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	11	2.1%	85	16.0%	433	81.4%	0	0.0%	3	0.6%
小都市B	計	192	100.0%	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%	5	2.6%	37	19.3%	145	75.5%	0	0.0%	3	1.6%
町・村	計	159	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	25	15.7%	134	84.3%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.161 地域区分別 IV-6 次のようなときに仕事へのやりがいを感じるか〈保護者から感謝されたとき〉

		総計		まったく感じない		感じない		あまり感じない		まあまあ感じる		感じる		非常に感じる		経験したことがない		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	0	0.0%	2	0.1%	4	0.2%	81	4.4%	496	26.8%	1,240	67.0%	4	0.2%	2	0.1%	21	1.1%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%	15	5.7%	79	30.0%	165	62.7%	1	0.4%	0	0.0%	2	0.8%
関東地区	計	441	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	20	4.5%	122	27.7%	298	65.3%	3	0.7%	0	0.0%	7	1.6%
東海地区	計	176	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	12	6.8%	42	23.9%	122	69.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	2	1.5%	36	26.7%	96	71.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.8%	10	4.0%	68	27.0%	168	66.7%	0	0.0%	1	0.4%	3	1.2%
中国・四国地区	計	179	100.0%	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	5	2.8%	54	30.2%	116	64.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.7%
九州地区	計	404	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	17	4.2%	95	23.5%	285	70.5%	0	0.0%	1	0.2%	6	1.5%

表NO.162 所在地区別 IV-6 次のようなときに仕事へのやりがいを感じるか〈保護者から感謝されたとき〉

		総計		まったく感じない		感じない		あまり感じない		まあまあ感じる		感じる		非常に感じる		経験したことがない		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	0	0.0%	2	0.1%	4	0.2%	81	4.4%	496	26.8%	1,240	67.0%	4	0.2%	2	0.1%	21	1.1%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	25	5.7%	123	28.0%	282	64.1%	0	0.0%	1	0.2%	8	1.8%
中核市	計	206	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	2.4%	74	35.9%	122	59.2%	0	0.0%	0	0.0%	5	2.4%
中都市	計	321	100.0%	0	0.0%	1	0.3%	1	0.3%	18	5.6%	78	24.3%	222	69.2%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
小都市A	計	532	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.4%	18	3.4%	131	24.6%	375	70.5%	1	0.2%	1	0.2%	4	0.8%
小都市B	計	192	100.0%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%	11	5.7%	50	26.0%	124	64.6%	2	1.0%	0	0.0%	4	2.1%
町・村	計	159	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.5%	40	25.2%	115	72.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

表NO.163 地域区分別 IV-7 次のようなときに仕事へのやりがいを感じるか〈自分に任せられた業務を全うできたとき〉

		総計		まったく感じない		感じない		あまり感じない		まあまあ感じる		感じる		非常に感じる		経験したことがない		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	1	0.1%	3	0.2%	19	1.0%	208	11.2%	784	42.4%	802	43.4%	7	0.4%	1	0.1%	25	1.4%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	2.3%	42	16.0%	101	38.4%	110	41.8%	1	0.4%	0	0.0%	3	1.1%
関東地区	計	441	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.9%	47	10.7%	202	45.8%	177	40.1%	1	0.2%	1	0.2%	9	2.0%
東海地区	計	176	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	24	13.6%	76	43.2%	74	42.0%	2	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	1	0.7%	1	0.7%	12	8.9%	65	48.1%	56	41.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	0	0.0%	1	0.4%	1	0.4%	23	9.1%	115	45.6%	108	42.9%	1	0.4%	0	0.0%	3	1.2%
中国・四国地区	計	179	100.0%	1	0.6%	0	0.0%	3	1.7%	20	11.2%	75	41.9%	77	43.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.7%
九州地区	計	404	100.0%	0	0.0%	1	0.2%	4	1.0%	40	9.9%	150	37.1%	200	49.5%	2	0.5%	0	0.0%	7	1.7%

表NO.164 所在地区別 IV-7 次のようなときに仕事へのやりがいを感じるか〈自分に任せられた業務を全うできたとき〉

		総計		まったく感じない		感じない		あまり感じない		まあまあ感じる		感じる		非常に感じる		経験したことがない		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	1	0.1%	3	0.2%	19	1.0%	208	11.2%	784	42.4%	802	43.4%	7	0.4%	1	0.1%	25	1.4%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	0	0.0%	1	0.2%	5	1.1%	47	10.7%	198	45.0%	177	40.2%	2	0.5%	0	0.0%	10	2.3%
中核市	計	206	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.0%	23	11.2%	88	42.7%	88	42.7%	0	0.0%	0	0.0%	5	2.4%
中都市	計	321	100.0%	0	0.0%	1	0.3%	4	1.2%	34	10.6%	132	41.1%	149	46.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.8%	71	13.3%	211	39.7%	238	44.7%	2	0.4%	1	0.2%	5	0.9%
小都市B	計	192	100.0%	1	0.5%	1	0.5%	4	2.1%	23	12.0%	92	47.9%	64	33.3%	3	1.6%	0	0.0%	4	2.1%
町・村	計	159	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	10	6.3%	63	39.6%	86	54.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%



表NO.165 地域区分別 IV-8 次のようなときに仕事へのやりがいを感じるか〈責任の重い仕事や役割を任せられたとき〉

		総計		まったく感じない		感じない		あまり感じない		まあまあ感じる		感じる		非常に感じる		経験したことがない		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	11	0.6%	28	1.5%	187	10.1%	460	24.9%	679	36.7%	369	19.9%	89	4.8%	1	0.1%	26	1.4%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	3	1.1%	3	1.1%	37	14.1%	78	29.7%	88	33.5%	40	15.2%	10	3.8%	0	0.0%	4	1.5%
関東地区	計	441	100.0%	1	0.2%	6	1.4%	44	10.0%	113	25.6%	163	37.0%	84	19.0%	23	5.2%	0	0.0%	7	1.6%
東海地区	計	176	100.0%	2	1.1%	5	2.8%	20	11.4%	50	28.4%	62	35.2%	28	15.9%	9	5.1%	0	0.0%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	1	0.7%	18	13.3%	34	25.2%	53	39.3%	24	17.8%	5	3.7%	0	0.0%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	1	0.4%	2	0.8%	20	7.9%	50	19.8%	99	39.3%	60	23.8%	14	5.6%	1	0.4%	5	2.0%
中国・四国地区	計	179	100.0%	2	1.1%	3	1.7%	21	11.7%	41	22.9%	65	36.3%	37	20.7%	7	3.9%	0	0.0%	3	1.7%
九州地区	計	404	100.0%	2	0.5%	8	2.0%	27	6.7%	94	23.3%	149	36.9%	96	23.8%	21	5.2%	0	0.0%	7	1.7%

表NO.166 所在地区別 IV-8 次のようなときに仕事へのやりがいを感じるか〈責任の重い仕事や役割を任せられたとき〉

		総計		まったく感じない		感じない		あまり感じない		まあまあ感じる		感じる		非常に感じる		経験したことがない		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	11	0.6%	28	1.5%	187	10.1%	460	24.9%	679	36.7%	369	19.9%	89	4.8%	1	0.1%	26	1.4%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	2	0.5%	7	1.6%	45	10.2%	122	27.7%	160	36.4%	76	17.3%	18	4.1%	1	0.2%	9	2.0%
中核市	計	206	100.0%	0	0.0%	3	1.5%	21	10.2%	35	17.0%	86	41.7%	47	22.8%	7	3.4%	0	0.0%	7	3.4%
中都市	計	321	100.0%	2	0.6%	5	1.6%	36	11.2%	78	24.3%	114	35.5%	70	21.8%	16	5.0%	0	0.0%	0	0.0%
小都市A	計	532	100.0%	1	0.2%	9	1.7%	52	9.8%	136	25.6%	197	37.0%	108	20.3%	25	4.7%	0	0.0%	4	0.8%
小都市B	計	192	100.0%	5	2.6%	4	2.1%	19	9.9%	54	28.1%	60	31.3%	29	15.1%	17	8.9%	0	0.0%	4	2.1%
町・村	計	159	100.0%	1	0.6%	0	0.0%	14	8.8%	35	22.0%	62	39.0%	39	24.5%	6	3.8%	0	0.0%	2	1.3%

表NO.167 地域区分別 IV-9 次のようなときに仕事へのやりがいを感じるか〈新しい仕事や役割を任せられたとき〉

		総計		まったく感じない		感じない		あまり感じない		まあまあ感じる		感じる		非常に感じる		経験したことがない		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	7	0.4%	20	1.1%	205	11.1%	540	29.2%	689	37.2%	324	17.5%	39	2.1%	26	1.4%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	1	0.4%	5	1.9%	41	15.6%	84	31.9%	92	35.0%	30	11.4%	6	2.3%	4	1.5%
関東地区	計	441	100.0%	1	0.2%	2	0.5%	47	10.7%	140	31.7%	157	35.6%	74	16.8%	13	2.9%	7	1.6%
東海地区	計	176	100.0%	1	0.6%	4	2.3%	22	12.5%	49	27.8%	63	35.8%	32	18.2%	3	1.7%	2	1.1%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	1	0.7%	13	9.6%	40	29.6%	59	43.7%	19	14.1%	3	2.2%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	1	0.4%	2	0.8%	23	9.1%	60	23.8%	111	44.0%	51	20.2%	3	1.2%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	2	1.1%	1	0.6%	25	14.0%	52	29.1%	63	35.2%	30	16.8%	2	1.1%	4	2.2%
九州地区	計	404	100.0%	1	0.2%	5	1.2%	34	8.4%	115	28.5%	144	35.6%	88	21.8%	9	2.2%	8	2.0%

表NO.168 所在地区別 IV-9 次のようなときに仕事へのやりがいを感じるか〈新しい仕事や役割を任せられたとき〉

		総計		まったく感じない		感じない		あまり感じない		まあまあ感じる		感じる		非常に感じる		経験したことがない		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	7	0.4%	20	1.1%	205	11.1%	540	29.2%	689	37.2%	324	17.5%	39	2.1%	26	1.4%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	2	0.5%	8	1.8%	45	10.2%	132	30.0%	156	35.5%	82	18.6%	5	1.1%	10	2.3%
中核市	計	206	100.0%	0	0.0%	3	1.5%	20	9.7%	58	28.2%	78	37.9%	39	18.9%	4	1.9%	4	1.9%
中都市	計	321	100.0%	1	0.3%	2	0.6%	37	11.5%	103	32.1%	114	35.5%	56	17.4%	8	2.5%	0	0.0%
小都市A	計	532	100.0%	0	0.0%	3	0.6%	65	12.2%	150	28.2%	210	39.5%	89	16.7%	11	2.1%	4	0.8%
小都市B	計	192	100.0%	3	1.6%	4	2.1%	23	12.0%	56	29.2%	71	37.0%	21	10.9%	8	4.2%	6	3.1%
町・村	計	159	100.0%	1	0.6%	0	0.0%	15	9.4%	41	25.8%	60	37.7%	37	23.3%	3	1.9%	2	1.3%

表NO.169 地域区分別 IV-10 次のようなときに仕事へのやりがいを感じるか〈他の職員との協働で目標が達成できたとき〉

		総計		まったく感じない		感じない		あまり感じない		まあまあ感じる		感じる		非常に感じる		経験したことがない		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	1	0.1%	1	0.1%	15	0.8%	197	10.6%	700	37.8%	907	49.0%	10	0.5%	19	1.0%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	1	0.4%	0	0.0%	3	1.1%	38	14.4%	111	42.2%	106	40.3%	2	0.8%	2	0.8%
関東地区	計	441	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.7%	52	11.8%	171	38.8%	205	46.5%	3	0.7%	7	1.6%
東海地区	計	176	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.7%	25	14.2%	68	38.6%	77	43.8%	3	1.7%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	0	0.0%	1	0.7%	1	0.7%	8	5.9%	62	45.9%	63	46.7%	0	0.0%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	29	11.5%	90	35.7%	132	52.4%	0	0.0%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.1%	19	10.6%	61	34.1%	94	52.5%	0	0.0%	3	1.7%
九州地区	計	404	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.7%	26	6.4%	137	33.9%	230	56.9%	2	0.5%	6	1.5%

表NO.170 所在地区別 IV-10 次のようなときに仕事へのやりがいを感じるか〈他の職員との協働で目標が達成できたとき〉

		総計		まったく感じない		感じない		あまり感じない		まあまあ感じる		感じる		非常に感じる		経験したことがない		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	1	0.1%	1	0.1%	15	0.8%	197	10.6%	700	37.8%	907	49.0%	10	0.5%	19	1.0%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.9%	56	12.7%	167	38.0%	202	45.9%	3	0.7%	8	1.8%
中核市	計	206	100.0%	1	0.5%	0	0.0%	1	0.5%	18	8.7%	67	32.5%	115	55.8%	0	0.0%	4	1.9%
中都市	計	321	100.0%	0	0.0%	1	0.3%	4	1.2%	39	12.1%	120	37.4%	155	48.3%	2	0.6%	0	0.0%
小都市A	計	532	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	0.9%	51	9.6%	200	37.6%	270	50.8%	3	0.6%	3	0.6%
小都市B	計	192	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	20	10.4%	90	46.9%	77	40.1%	0	0.0%	4	2.1%
町・村	計	159	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	13	8.2%	56	35.2%	88	55.3%	2	1.3%	0	0.0%

表NO.171 地域区分別 V-1 保育士資格の取得方法について

		総計		養成校卒業		保育士試験		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	1,726	93.3%	97	5.2%	3	0.2%	24	1.3%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	246	93.5%	15	5.7%	1	0.4%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	419	95.0%	19	4.3%	0	0.0%	3	0.7%
東海地区	計	176	100.0%	165	93.8%	9	5.1%	0	0.0%	2	1.1%
北信越地区	計	135	100.0%	131	97.0%	3	2.2%	0	0.0%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	232	92.1%	15	6.0%	0	0.0%	5	2.0%
中国・四国地区	計	179	100.0%	167	93.3%	10	5.6%	0	0.0%	2	1.1%
九州地区	計	404	100.0%	366	90.6%	26	6.4%	2	0.5%	10	2.5%

表NO.172 所在地区別 V-1 保育士資格の取得方法について

		総計		養成校卒業		保育士試験		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	1,726	93.3%	97	5.2%	3	0.2%	24	1.3%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	409	93.0%	28	6.4%	0	0.0%	3	0.7%
中核市	計	206	100.0%	191	92.7%	10	4.9%	0	0.0%	5	2.4%
中都市	計	321	100.0%	304	94.7%	13	4.0%	1	0.3%	3	0.9%
小都市A	計	532	100.0%	499	93.8%	25	4.7%	2	0.4%	6	1.1%
小都市B	計	192	100.0%	177	92.2%	9	4.7%	0	0.0%	6	3.1%
町・村	計	159	100.0%	146	91.8%	12	7.5%	0	0.0%	1	0.6%

表NO.173 地域区分別 V-2 認可保育所（公営・民営）における保育士（正規職員）としての通算勤務年数

	総計	3年未満	3年以上 ~6年未満	6年以上 ~9年未満	9年以上 ~12年未満	12年以上 ~15年未満	15年以上 ~18年未満	18年以上 ~21年未満	21年以上 ~24年未満	24年以上 ~27年未満	27年以上 ~30年未満	30年以上	無回答
全国	計 1,850 100.0%	290 15.7%	405 21.9%	304 16.4%	239 12.9%	158 8.5%	104 5.6%	70 3.8%	64 3.5%	46 2.5%	26 1.4%	43 2.3%	101 5.5%
北海道・東北地区	計 263 100.0%	44 16.7%	47 17.9%	47 17.9%	32 12.2%	25 9.5%	13 4.9%	14 5.3%	6 2.3%	10 3.8%	3 1.1%	6 2.3%	16 6.1%
関東地区	計 441 100.0%	68 15.4%	101 22.9%	87 19.7%	85 19.7%	28 6.3%	27 6.1%	11 2.5%	11 2.5%	8 1.8%	8 1.8%	6 1.4%	21 4.8%
関西地区	計 176 100.0%	23 13.1%	53 30.1%	35 19.9%	18 10.2%	14 8.0%	4 2.3%	4 2.3%	7 4.0%	5 2.8%	3 1.7%	5 2.8%	
北信越地区	計 135 100.0%	23 17.0%	28 20.7%	23 17.0%	20 14.8%	11 8.1%	9 6.7%	5 3.7%	5 3.7%	3 2.2%	1 0.7%	1 0.7%	6 4.4%
近畿地区	計 252 100.0%	43 17.1%	59 23.4%	31 12.3%	39 15.5%	18 7.1%	18 7.1%	11 4.4%	8 3.2%	5 2.0%	1 0.4%	8 3.2%	11 4.4%
中国・四国地区	計 179 100.0%	18 10.1%	43 24.0%	24 13.4%	17 9.5%	23 12.8%	9 5.0%	9 5.0%	6 3.4%	6 3.4%	3 1.7%	6 3.4%	15 8.4%
九州地区	計 404 100.0%	71 17.6%	74 18.3%	57 14.1%	48 11.9%	39 9.7%	24 5.9%	16 4.0%	21 5.2%	9 2.2%	5 1.2%	13 3.2%	27 6.7%

表NO.174 所在地区別 V-2 認可保育所（公営・民営）における保育士（正規職員）としての通算勤務年数

	総計	3年未満	3年以上 ~6年未満	6年以上 ~9年未満	9年以上 ~12年未満	12年以上 ~15年未満	15年以上 ~18年未満	18年以上 ~21年未満	21年以上 ~24年未満	24年以上 ~27年未満	27年以上 ~30年未満	30年以上	無回答
総計	計 1,850 100.0%	290 15.7%	405 21.9%	304 16.4%	239 12.9%	158 8.5%	104 5.6%	70 3.8%	64 3.5%	46 2.5%	26 1.4%	43 2.3%	101 5.5%
都区部・指定都市	計 440 100.0%	57 13.0%	105 23.9%	78 17.7%	62 14.1%	39 8.9%	25 5.7%	7 1.6%	21 4.8%	4 0.9%	6 1.4%	7 1.6%	29 6.6%
中核市	計 206 100.0%	31 15.0%	47 22.8%	32 15.5%	31 15.0%	19 9.2%	10 4.9%	4 1.9%	8 3.9%	7 3.4%	2 1.0%	3 1.5%	12 5.8%
中都市	計 321 100.0%	54 16.8%	72 22.4%	51 15.9%	47 14.6%	28 8.7%	16 5.0%	12 3.7%	9 2.8%	13 4.0%	3 0.9%	1 0.3%	15 4.7%
小都市A	計 532 100.0%	93 17.5%	119 22.4%	85 16.0%	70 13.2%	41 7.7%	35 6.6%	27 5.1%	14 2.6%	11 2.1%	7 1.3%	12 2.3%	18 3.4%
小都市B	計 192 100.0%	28 14.6%	39 20.3%	30 15.6%	14 7.3%	21 10.9%	13 6.8%	11 5.7%	3 1.6%	8 4.2%	4 2.1%	12 6.3%	17 8.9%
町・村	計 159 100.0%	29 18.2%	29 18.2%	29 18.2%	15 9.4%	10 6.3%	5 3.1%	9 5.7%	9 5.7%	3 1.9%	4 2.5%	9 5.0%	10 6.3%

表NO.175 地域区分別 V-3 年齢について

	総計	20歳以上 ~22歳未満	22歳以上 ~24歳未満	24歳以上 ~26歳未満	26歳以上 ~28歳未満	28歳以上 ~30歳未満	30歳以上 ~32歳未満	32歳以上 ~34歳未満	34歳以上 ~40歳未満	40歳以上 ~50歳未満	50歳以上	無回答
全国	計 1,850 100.0%	53 2.9%	185 10.0%	215 11.6%	220 11.9%	141 7.6%	165 8.9%	92 5.0%	274 14.8%	313 16.9%	176 9.5%	16 0.8%
北海道・東北地区	計 263 100.0%	4 1.5%	18 6.8%	22 8.4%	29 11.0%	23 8.7%	22 8.4%	13 4.9%	57 21.7%	47 17.9%	28 9.9%	2 0.8%
関東地区	計 441 100.0%	14 3.2%	39 8.8%	55 12.5%	56 12.7%	46 10.4%	46 10.4%	23 5.2%	59 13.4%	67 15.2%	33 7.5%	3 0.7%
関西地区	計 176 100.0%	4 2.3%	23 13.1%	30 17.0%	24 13.6%	14 8.0%	13 7.4%	8 4.5%	14 8.0%	32 18.2%	14 8.0%	0 0.0%
北信越地区	計 135 100.0%	3 2.2%	17 12.6%	16 11.9%	22 16.3%	8 5.9%	10 7.4%	7 5.2%	21 15.6%	23 17.0%	8 5.9%	0 0.0%
近畿地区	計 252 100.0%	7 2.8%	39 15.5%	33 13.1%	27 10.7%	10 4.0%	30 11.9%	19 7.5%	27 10.7%	37 14.7%	23 9.1%	0 0.0%
中国・四国地区	計 179 100.0%	6 3.4%	12 6.7%	16 8.9%	20 11.2%	13 7.3%	14 7.8%	10 5.6%	23 12.8%	40 22.3%	23 12.8%	2 1.1%
九州地区	計 404 100.0%	15 3.7%	37 9.2%	43 10.6%	42 10.4%	27 6.7%	30 7.4%	12 3.0%	73 18.1%	67 16.6%	49 12.1%	9 2.2%

表NO.176 所在地区別 V-3 年齢について

	総計	20歳以上 ~22歳未満	22歳以上 ~24歳未満	24歳以上 ~26歳未満	26歳以上 ~28歳未満	28歳以上 ~30歳未満	30歳以上 ~32歳未満	32歳以上 ~34歳未満	34歳以上 ~40歳未満	40歳以上 ~50歳未満	50歳以上	無回答
総計	計 1,850 100.0%	53 2.9%	185 10.0%	215 11.6%	220 11.9%	141 7.6%	165 8.9%	92 5.0%	274 14.8%	313 16.9%	176 9.5%	16 0.8%
都区部・指定都市	計 440 100.0%	8 1.8%	47 10.7%	52 11.8%	61 13.9%	34 7.7%	50 11.4%	21 4.8%	70 15.9%	64 14.5%	29 6.6%	4 0.9%
中核市	計 206 100.0%	4 1.9%	24 11.7%	21 10.2%	24 11.7%	14 6.8%	18 8.7%	12 5.8%	31 15.0%	41 19.9%	15 7.3%	2 1.0%
中都市	計 321 100.0%	8 2.5%	32 10.0%	46 14.3%	38 11.8%	30 9.3%	28 8.7%	22 6.9%	34 10.6%	54 16.8%	28 8.7%	1 0.3%
小都市A	計 532 100.0%	18 3.4%	51 9.6%	65 12.2%	54 10.2%	36 6.8%	46 8.6%	26 4.9%	88 16.5%	90 16.9%	55 10.3%	3 0.6%
小都市B	計 192 100.0%	4 2.1%	18 9.4%	18 9.4%	24 12.5%	13 6.8%	11 5.7%	8 4.2%	29 15.1%	36 18.8%	27 14.1%	4 2.1%
町・村	計 159 100.0%	11 6.9%	13 8.2%	13 8.2%	19 11.9%	14 8.8%	12 7.5%	3 1.9%	22 13.8%	28 17.6%	22 13.8%	2 1.3%

表NO.177 地域区分別 V-4-1 保育士以外の職務経験

		総計		あり		なし		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	454	24.5%	1,383	74.8%	13	0.7%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	78	29.7%	184	70.0%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	129	29.3%	308	69.8%	4	0.9%
東海地区	計	176	100.0%	25	14.2%	150	85.2%	1	0.6%
北信越地区	計	135	100.0%	26	19.3%	109	80.7%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	44	17.5%	206	81.7%	2	0.8%
中国・四国地区	計	179	100.0%	52	29.1%	126	70.4%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	100	24.8%	300	74.3%	4	1.0%

表NO.178 所在地区別 V-4-1 保育士以外の職務経験

		総計		あり		なし		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	454	24.5%	1,383	74.8%	13	0.7%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	118	26.8%	317	72.0%	5	1.1%
中核市	計	206	100.0%	45	21.8%	159	77.2%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	82	25.5%	237	73.8%	2	0.6%
小都市A	計	532	100.0%	127	23.9%	403	75.8%	2	0.4%
小都市B	計	192	100.0%	43	22.4%	147	76.6%	2	1.0%
町・村	計	159	100.0%	39	24.5%	120	75.5%	0	0.0%

表NO.179 地域区分別 V-4-2 (設問V-4-1において「あり」と回答した方のみ) 保育士以外の職務経験がある場合の年数

		総計		3年未満		3年以上 ～6年未満		6年以上 ～9年未満		9年以上 ～12年未満		12年以上 ～15年未満		15年以上		無回答	
全国	計	454	100.0%	160	35.2%	139	30.6%	69	15.2%	27	5.9%	15	3.3%	29	6.4%	15	3.3%
北海道・東北地区	計	78	100.0%	26	33.3%	26	33.3%	13	16.7%	2	2.6%	6	7.7%	1	1.3%	4	5.1%
関東地区	計	129	100.0%	49	38.0%	46	35.7%	17	13.2%	5	3.9%	4	3.1%	5	3.9%	3	2.3%
東海地区	計	25	100.0%	5	20.0%	10	40.0%	6	24.0%	3	12.0%	0	0.0%	1	4.0%	0	0.0%
北信越地区	計	26	100.0%	11	42.3%	5	19.2%	4	15.4%	3	11.5%	0	0.0%	2	7.7%	1	3.8%
近畿地区	計	44	100.0%	12	27.3%	11	25.0%	9	20.5%	2	4.5%	2	4.5%	6	13.6%	2	4.5%
中国・四国地区	計	52	100.0%	21	40.4%	14	26.9%	5	9.6%	4	7.7%	2	3.8%	5	9.6%	1	1.9%
九州地区	計	100	100.0%	36	36.0%	27	27.0%	15	15.0%	8	8.0%	1	1.0%	9	9.0%	4	4.0%

表NO.180 所在地区別 V-4-2 (設問V-4-1において「あり」と回答した方のみ) 保育士以外の職務経験がある場合の年数

		総計		3年未満		3年以上 ～6年未満		6年以上 ～9年未満		9年以上 ～12年未満		12年以上 ～15年未満		15年以上		無回答	
総計	計	454	100.0%	160	35.2%	139	30.6%	69	15.2%	27	5.9%	15	3.3%	29	6.4%	15	3.3%
都区部・指定都市	計	118	100.0%	43	36.4%	40	33.9%	14	11.9%	10	8.5%	3	2.5%	4	3.4%	4	3.4%
中核市	計	45	100.0%	14	31.1%	13	28.9%	5	11.1%	5	11.1%	2	4.4%	3	6.7%	3	6.7%
中都市	計	82	100.0%	33	40.2%	24	29.3%	17	20.7%	1	1.2%	2	2.4%	3	3.7%	2	2.4%
小都市A	計	127	100.0%	39	30.7%	42	33.1%	21	16.5%	6	4.7%	2	1.6%	12	9.4%	5	3.9%
小都市B	計	43	100.0%	16	37.2%	10	23.3%	6	14.0%	3	7.0%	2	4.7%	5	11.6%	1	2.3%
町・村	計	39	100.0%	15	38.5%	10	25.6%	6	15.4%	2	5.1%	4	10.3%	2	5.1%	0	0.0%

表NO.181 地域区分別 V-5-1 現在の勤務先以外の保育所における保育士（正規職員）としての勤務経験

		総計		あり		なし		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	494	26.7%	1,332	72.0%	2	0.1%	22	1.2%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	74	28.1%	184	70.0%	2	0.8%	3	1.1%
関東地区	計	441	100.0%	140	31.7%	297	67.3%	0	0.0%	4	0.9%
東海地区	計	176	100.0%	33	18.8%	143	81.3%	0	0.0%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	28	20.7%	107	79.3%	0	0.0%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	62	24.6%	185	73.4%	0	0.0%	5	2.0%
中国・四国地区	計	179	100.0%	45	25.1%	132	73.7%	0	0.0%	2	1.1%
九州地区	計	404	100.0%	112	27.7%	284	70.3%	0	0.0%	8	2.0%

表NO.182 所在地区別 V-5-1 現在の勤務先以外の保育所における保育士（正規職員）としての勤務経験

		総計		あり		なし		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	494	26.7%	1,332	72.0%	2	0.1%	22	1.2%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	135	30.7%	299	68.0%	1	0.2%	5	1.1%
中核市	計	206	100.0%	55	26.7%	148	71.8%	0	0.0%	3	1.5%
中都市	計	321	100.0%	88	27.4%	229	71.3%	0	0.0%	4	1.2%
小都市A	計	532	100.0%	125	23.5%	400	75.2%	1	0.2%	6	1.1%
小都市B	計	192	100.0%	54	28.1%	135	70.3%	0	0.0%	3	1.6%
町・村	計	159	100.0%	37	23.3%	121	76.1%	0	0.0%	1	0.6%

表NO.183 地域区分別 V-5-2 (設問V-5-1において1「あり」と回答した方のみ) 勤務経験がある場合の年数

		総計		3年未満		3年以上 ～6年未満		6年以上 ～9年未満		9年以上 ～12年未満		12年以上 ～15年未満		15年以上		無回答	
全国	計	494	100.0%	151	30.6%	153	31.0%	81	16.4%	41	8.3%	23	4.7%	32	6.5%	13	2.6%
北海道・東北地区	計	74	100.0%	27	36.5%	26	35.1%	10	13.5%	3	4.1%	3	4.1%	3	4.1%	2	2.7%
関東地区	計	140	100.0%	34	24.3%	48	34.3%	31	22.1%	9	6.4%	8	5.7%	9	6.4%	1	0.7%
東海地区	計	33	100.0%	10	30.3%	9	27.3%	8	24.2%	3	9.1%	0	0.0%	3	9.1%	0	0.0%
北信越地区	計	28	100.0%	8	28.6%	8	28.6%	4	14.3%	2	7.1%	1	3.6%	2	7.1%	3	10.7%
近畿地区	計	62	100.0%	23	37.1%	14	22.6%	9	14.5%	11	17.7%	1	1.6%	4	6.5%	0	0.0%
中国・四国地区	計	45	100.0%	14	31.1%	18	40.0%	2	4.4%	4	8.9%	2	4.4%	3	6.7%	2	4.4%
九州地区	計	112	100.0%	35	31.3%	30	26.8%	17	15.2%	9	8.0%	8	7.1%	8	7.1%	5	4.5%

表NO.184 所在地区別 V-5-2 (設問V-5-1において1「あり」と回答した方のみ) 勤務経験がある場合の年数

		総計		3年未満		3年以上 ～6年未満		6年以上 ～9年未満		9年以上 ～12年未満		12年以上 ～15年未満		15年以上		無回答	
総計	計	494	100.0%	151	30.6%	153	31.0%	81	16.4%	41	8.3%	23	4.7%	32	6.5%	13	2.6%
都区部・指定都市	計	135	100.0%	43	31.9%	40	29.6%	29	21.5%	10	7.4%	4	3.0%	6	4.4%	3	2.2%
中核市	計	55	100.0%	10	18.2%	15	27.3%	10	18.2%	8	14.5%	5	9.1%	4	7.3%	3	5.5%
中都市	計	88	100.0%	29	33.0%	28	31.8%	16	18.2%	6	6.8%	2	2.3%	7	8.0%	0	0.0%
小都市A	計	125	100.0%	38	30.4%	39	31.2%	19	15.2%	12	9.6%	7	5.6%	5	4.0%	5	4.0%
小都市B	計	54	100.0%	21	38.9%	19	35.2%	1	1.9%	3	5.6%	5	9.3%	4	7.4%	1	1.9%
町・村	計	37	100.0%	10	27.0%	12	32.4%	6	16.2%	2	5.4%	0	0.0%	6	16.2%	1	2.7%

表NO.185 地域区分別 V-6 現在の配偶者の有無について

		総計		はい		いいえ		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	735	39.7%	1,101	59.5%	14	0.8%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	116	44.1%	146	55.5%	1	0.4%
関東地区	計	441	100.0%	161	36.5%	277	62.8%	3	0.7%
東海地区	計	176	100.0%	68	38.6%	108	61.4%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	64	47.4%	70	51.9%	1	0.7%
近畿地区	計	252	100.0%	88	34.9%	163	64.7%	1	0.4%
中国・四国地区	計	179	100.0%	83	46.4%	94	52.5%	2	1.1%
九州地区	計	404	100.0%	155	38.4%	243	60.1%	6	1.5%

表NO.186 所在地区別 V-6 現在の配偶者の有無について

		総計		はい		いいえ		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	735	39.7%	1,101	59.5%	14	0.8%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	147	33.4%	291	66.1%	2	0.5%
中核市	計	206	100.0%	74	35.9%	129	62.6%	3	1.5%
中都市	計	321	100.0%	121	37.7%	199	62.0%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	226	42.5%	305	57.3%	1	0.2%
小都市B	計	192	100.0%	95	49.5%	91	47.4%	6	3.1%
町・村	計	159	100.0%	72	45.3%	86	54.1%	1	0.6%

表NO.187 地域区分別 V-7 子どもの有無について

		総計		はい		いいえ		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	667	36.1%	1,176	63.6%	7	0.4%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	113	43.0%	150	57.0%	0	0.0%
関東地区	計	441	100.0%	133	30.2%	306	69.4%	2	0.5%
東海地区	計	176	100.0%	54	30.7%	122	69.3%	0	0.0%
北信越地区	計	135	100.0%	53	39.3%	82	60.7%	0	0.0%
近畿地区	計	252	100.0%	79	31.3%	173	68.7%	0	0.0%
中国・四国地区	計	179	100.0%	85	47.5%	93	52.0%	1	0.6%
九州地区	計	404	100.0%	150	37.1%	250	61.9%	4	1.0%

表NO.188 所在地区別 V-7 子どもの有無について

		総計		はい		いいえ		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	667	36.1%	1,176	63.6%	7	0.4%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	119	27.0%	320	72.7%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	71	34.5%	133	64.6%	2	1.0%
中都市	計	321	100.0%	100	31.2%	220	68.5%	1	0.3%
小都市A	計	532	100.0%	219	41.2%	312	58.6%	1	0.2%
小都市B	計	192	100.0%	88	45.8%	102	53.1%	2	1.0%
町・村	計	159	100.0%	70	44.0%	89	56.0%	0	0.0%

表NO.189 地域区分別 V-8 将来的に保育士としていつまで働き続けたいか

		総計		体力の続く限り いつまでも		親の介護が 始まるまで		子どもが ある程度 自立するまで		子どもが 産まれるまで		結婚するまで		その他		無効		無回答	
全国	計	1,850	100.0%	840	45.4%	117	6.3%	187	10.1%	228	12.3%	187	10.1%	245	13.2%	10	0.5%	36	1.9%
北海道・東北地区	計	263	100.0%	125	47.5%	14	5.3%	34	12.9%	22	8.4%	19	7.2%	43	16.3%	1	0.4%	5	1.9%
関東地区	計	441	100.0%	213	48.3%	26	5.9%	31	7.0%	69	15.6%	37	8.4%	57	12.9%	1	0.2%	7	1.6%
東海地区	計	176	100.0%	57	32.4%	8	4.5%	25	14.2%	20	11.4%	33	18.8%	28	15.9%	2	1.1%	3	1.7%
北信越地区	計	135	100.0%	70	51.9%	10	7.4%	14	10.4%	18	13.3%	6	4.4%	15	11.1%	0	0.0%	2	1.5%
近畿地区	計	252	100.0%	104	41.3%	14	5.6%	25	9.9%	34	13.5%	38	15.1%	35	13.9%	2	0.8%	0	0.0%
中国・四国地区	計	179	100.0%	70	39.1%	19	10.6%	23	12.8%	19	10.6%	14	7.8%	25	14.0%	0	0.0%	9	5.0%
九州地区	計	404	100.0%	201	49.8%	26	6.4%	35	8.7%	46	11.4%	40	9.9%	42	10.4%	4	1.0%	10	2.5%

表NO.190 所在地区別 V-8 将来的に保育士としていつまで働き続けたいか

		総計		体力の続く限り いつまでも		親の介護が 始まるまで		子どもが ある程度 自立するまで		子どもが 産まれるまで		結婚するまで		その他		無効		無回答	
総計	計	1,850	100.0%	840	45.4%	117	6.3%	187	10.1%	228	12.3%	187	10.1%	245	13.2%	10	0.5%	36	1.9%
都区部・指定都市	計	440	100.0%	187	42.5%	30	6.8%	36	8.2%	56	12.7%	52	11.8%	73	16.6%	5	1.1%	1	0.2%
中核市	計	206	100.0%	101	49.0%	12	5.8%	19	9.2%	30	14.6%	16	7.8%	19	9.2%	1	0.5%	8	3.9%
中都市	計	321	100.0%	140	43.6%	23	7.2%	27	8.4%	52	16.2%	30	9.3%	41	12.8%	0	0.0%	8	2.5%
小都市A	計	532	100.0%	258	48.5%	29	5.5%	60	11.3%	59	11.1%	51	9.6%	64	12.0%	2	0.4%	9	1.7%
小都市B	計	192	100.0%	82	42.7%	15	7.8%	25	13.0%	11	5.7%	22	11.5%	29	15.1%	1	0.5%	7	3.6%
町・村	計	159	100.0%	72	45.3%	8	5.0%	20	12.6%	20	12.6%	16	10.1%	19	11.9%	1	0.6%	3	1.9%

## 保育士のキャリアパスに関する調査研究委員及び執筆者一覧

西村 重 稀 (仁愛大学 教授)

溝口 元 (立正大学 大学院教授)

石川 昭 義 (仁愛大学 教授)

清水 益 治 (帝塚山大学 教授)

千葉 武 夫 (聖和短期大学 教授)

田中 浩 二 (東京成徳短期大学 准教授)

高橋 英 治 (広島県・富士保育園 園長)



## 保育士のキャリアパスに関する調査研究報告書

---

発行：平成27年3月

発行所：社会福祉法人 日本保育協会

〒102-0083

東京都千代田区麹町1丁目6番2号 アーバンネット麹町ビル6階

電話 03-3222-2116（事業部直通） FAX 03-3222-2117

URL <http://www.nippo.or.jp/>

---

本書の内容あるいは一部を転用、複製複写（コピー）する場合は、法律で認められた場合を除き、当協会あてに許諾を求めてください。

